関東一泉同窓会
五十年の歴史

1958年7月 ～ 2008年10月

関東一泉同窓会

関東一泉同窓会　役　員

平成20年10月25日現在

会　　長	浅井　敏郎	（一中50）
副 会 長	糸多　宗人	（一中54）
副 会 長	杉原　弘泰	（泉丘９）
副 会 長	村上　与恵	（泉丘12）
副 会 長	宇野　明美	（泉丘23）
監　　事	西島　幸夫	（泉丘９）
監事兼事務局長	山下　哲之	（泉丘22）
顧　　問	高浪　克子	（泉丘４）

「関東一泉同窓会 五十年の歴史」をまとめるにあたり

・平成18年９月、会報「一泉」編集室・小林弘子（泉丘12）氏から、一泉本部事務局保管資料「いずみの原」（昭和33年８月20日発行）号外に、昭和33年７月25日「一泉同窓会関東支部結成」と掲載されていることを知らされた。その記事から２年後に50周年を迎えることが判明し、急遽、資料収集にあたった。
収集できた資料は、散逸を防ぐためデータ化し、保存することにし、年度毎に掲載した。そのため、資料集となっているが、今後は、毎年、年度代表幹事期によって総会の企画・演出、出席予定者と実数、写真、次期への申渡し事項がデータ化されて保存されることが望ましい。
まとめに使用した、資料原本は、一泉本部事務局に保管を依頼。

・資料の出典を明記したが、記名のないものは、関東一泉同窓会の会員が保存していた資料、年度代表幹事引継会報告書による。
・引用資料はレイアウトの変更をした場合もあるが、文章等は原文のままである。
・出席者（予定）リストは、年度代表幹事期が決まる以前の昭和33年～57年は、北山雅義（一中55）氏保管資料による。
年度代表幹事期の企画運営になった昭和58年度以降は、総会当日に配布された式次第や年度代表幹事引継会の報告書記載の出席者を基本にした。但し、資料不足の場合は、「加能人」誌を参考にした。
平成14年度以降の出席者数は、実績数である。
・出席者リストのうち、女性の数は、判断が難しい名前もあるので、おおよその数である。

（文責・村上与恵）

表紙・題字は、氷田正男（草風）（一中54）氏による。

■主な資料
一泉同窓会本部保管資料
一泉同窓会・会報「一泉」
校内新聞「いずみの原」縮刷版Ⅰ、同Ⅱ
金沢一中泉丘高校百年史〈前・後編〉
加能人誌（昭和36年8月号～）
関東一泉同窓会保管資料
（準備会・当日配布紙・引継会等）
北山雅義（一中55）、氷田正男（一中54）
高浪克子（泉丘４）、白尾三樹（泉丘７）
吉田和可（泉丘11）、村上与恵（泉丘12）
樫田清樹（泉丘21）

（提供者 敬称略・順不同）

■情報提供・編集協力（敬称略・順不同）
高島　誠（加能人社 代表）
中山一郎（一泉同窓会本部事務局長）
小林弘子（泉丘12・会報「一泉」編集室）
松原公慈（石川県東京事務所長）
金沢市立玉川図書館
関東一泉同窓会
古沢英雄（一中42）、納賀節二（一中46）
氷田正男（一中54）、高浪克子（泉丘４）
高浪之雄（泉丘６）、西島幸夫（泉丘９）
新谷　修（泉丘11）、村上与恵（泉丘12）
松宮秀夫（泉丘12）、藤村治憲（泉丘16）
高山　充（泉丘20）、山下哲之（泉丘22）
茶谷和久（泉丘22）、宇野明美（泉丘23）
大砂雅子（泉丘26）、堀　浩明（泉丘28）

50年史の発刊に当って

関東一泉同窓会　会長　　浅井　敏郎
（一中50期）

関東一泉同窓会は、昭和33年に一泉同窓会の関東支部として設立されました。今年で丁度創立50周年の節目を迎えました。設立に当って奔走されました初代会長の納賀雅友さんを初めとした緒先輩のご心労に対し深い感謝と敬意を表するものです。

今回出来上がりました50年史を読み通しましたが、先ず創立２年目の34年度の総会では127名と多数の方々が出席されておられます。出席された方々の名前を拝見しますと、経済界、官界、教育者、学界それにかつての陸海軍の将星が名を連ねておられ、私は大変懐かしく思いました。特に設立当初から終始世話役として努められましたデモさんこと吉野勝太郎先生の記事を拝見して、一中時代のかつての先生の姿を想起致しました。剣道の教師として時にきびしく、また温情溢るる先生として我々を鍛えてくれました。吉野先生はかねてから金沢一中と泉丘高校の同窓会の合体に執念を燃やされておられましたが、その成果を見られて昭和53年に亡くなられました。

昭和60年代になりますと、関東における一泉同窓会の出席者の大半は当然のことながら泉丘高校の卒業生が占めるようになりました。ここに同窓会の発展の足跡を見て大変嬉しく思いました。

前会長の河毛二郎さんが次のように話された記事が掲載されてありますが、素晴らしい言葉ですので、ここに引用致しました。

「人生は石垣のようなものだと考えていまして、石垣はがっちりと積んでいても隙間ができます。ゆとりといってもよいですが、その隙間に小さくても草花を咲かせたい。私はそう思っているのです」

この言葉を読んで私は河毛さんの人柄が偲ばれました。

最後になりましたが、この50年史は村上与恵さん（泉丘12期）が情熱を燃やされて中心となって編集されたものです。またこの仕事を終始支えていたのは、高浪克子さん（泉丘４期）、山下哲之さん（泉丘22期）で私はこのお三人の努力に深く感謝致します。加能人社の高島　誠さんには沢山の資料を利用させて頂きました。ここに厚く御礼を申し上げます。一人でも多くの同窓生がこの50年史に目を通されることを期待致します。

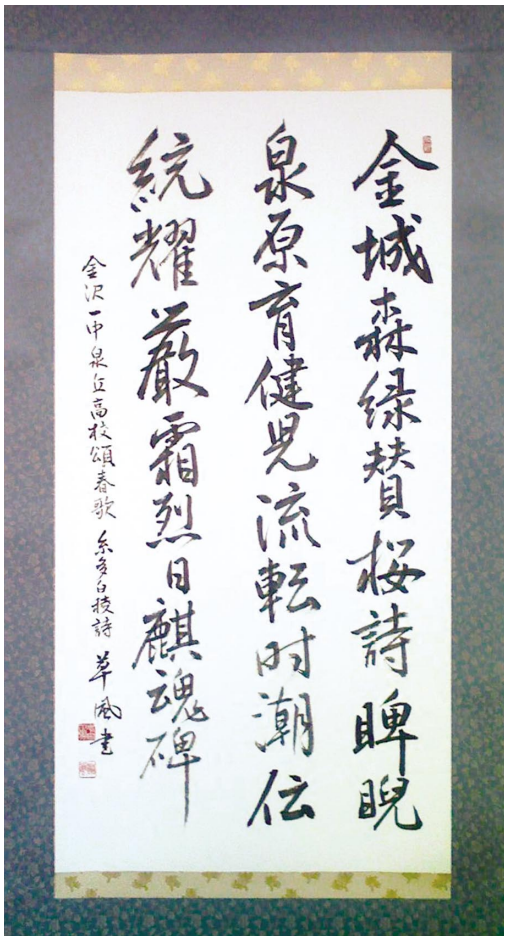
平成20年10月吉日

金沢一中泉丘高校頌春歌

関東一泉同窓会　副会長　　糸多　宗人
（一中54期）

金城森緑賛桜詩
睥睨泉原育健児
流転時潮伝統耀
厳霜烈日麒魂碑

金城の森緑にして桜詩を賛え
泉原を睥睨（へいげい）して健児を育む
流転の時潮にも伝統かがやき
厳霜烈日の麒魂の碑たり



この母校への思いをこめた詩は、糸多宗人副会長が同期の方々から作詩するよう勧められて平成18年に作られたものです。同期の氷田正男（草風）氏が掛け軸に書かれ、平成19年の関東一泉同窓会総会において披露されました。

目　次

50年史の発刊にあたって　浅井 敏郎 関東一泉同窓会 会　長

金沢一中泉丘高校頌春歌　糸多 宗人 関東一泉同窓会 副会長

昭和33年（1958年）…… 6
昭和34年（1959年）…… 8
昭和35年（1960年）…… 9
昭和36年（1961年）…… 9
昭和37年（1962年）…… 10
昭和38年（1963年）…… 11
昭和39年（1964年）…… 13
昭和40年（1965年）…… 15
昭和41年（1966年）…… 16
昭和42年（1967年）…… 18
昭和43年（1968年）…… 19
昭和44年（1969年）…… 20
昭和45年（1970年）…… 21
昭和46年（1971年）…… 22
昭和47年（1972年）…… 23
昭和48年（1973年）…… 23
昭和49年（1974年）…… 25
昭和50年（1975年）…… 26
昭和51年（1976年）…… 27
昭和52年（1977年）…… 27
昭和53年（1978年）…… 28
昭和54年（1979年）…… 29
昭和55年（1980年）…… 31
昭和56年（1981年）…… 33
昭和57年（1982年）…… 35
昭和58年（1983年）…… 37
昭和59年（1984年）…… 38
昭和60年（1985年）…… 40
昭和61年（1986年）…… 42
昭和62年（1987年）…… 44
昭和63年（1988年）…… 47
平成１年（1989年）…… 48
平成２年（1990年）…… 50
平成３年（1991年）…… 52
平成４年（1992年）…… 54
平成５年（1993年）…… 56
平成６年（1994年）…… 58
平成７年（1995年）…… 60
平成８年（1996年）…… 62
平成９年（1997年）…… 64
平成10年（1998年）…… 66
平成11年（1999年）…… 67
平成12年（2000年）…… 68
平成13年（2001年）…… 69
平成14年（2002年）…… 71
平成15年（2003年）…… 73
河毛会長のお話を聞く会 …… 75
平成16年（2004年）…… 77
平成17年（2005年）…… 79
平成18年（2006年）…… 81
平成19年（2007年）…… 83
平成20年（2008年）…… 85

関東一泉同窓会会則 …… 87

昭和33年

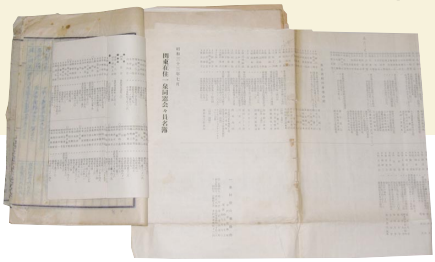
3.9　関門国道トンネルが開通（全長3461m）
3.24　初のフィルター付きたばこ・ホープを発売
4.1　売春防止法施行
7.6　大相撲昇年６場所制になる。初の名古屋場所初日
11.27　皇太子妃に正田美智子さんの婚約発表
12.1　１万円札発行（聖徳太子）
12.23　東京タワー完成（333m）

ソ連、フルシチョフが主導権を確立
イラク革命と中東動乱
米ソ人工衛星とミサイル競走始まる

1958.7.25(金)
一泉同窓会関東支部結成
（関東一泉同窓会　発会式）
於・日本海運クラブ

金沢から来賓　英　安吉一泉同窓会会長、吉野勝太郎同副会長、
山本外吉泉丘高等学校長、宮沢外与治教諭
会場では、学校からテープレコーダーに吹き込んで持参された一中、泉丘校歌が奏せられ、併せて展覧会も開催された。
会費　500円
当日の出席者リストは見当たらないが、この時期、関東支部の構成員は約600名。
※一中482名（3回～55回（泉丘1）生）、泉丘115名（2～9期生）の氏名が一泉同窓会本部が作成した「関東在住一泉同窓会々員名簿」にある。

校内新聞「いずみの原」号外S33.8.20発行／一泉同窓会関東支部総会の御案内（発起人発行）／一泉本部資料の「発会に上京したことの礼状」より



「関東在住一泉同窓会々員名簿」昭和33年7月

納賀雅友 初代会長

納賀雅友氏略歴
金沢一中（明41・一中15）、神戸高商、東京商大を卒え山下汽船㈱に入社。同社常務、船舶運営会理事長、次で大連汽船㈱社長を勤め大連で終戦を迎え、日本へ帰国後は玉井商船㈱社長、会長を歴任された。晩年は海運会館理事長として前後六十余年、海運界に貢献、33年に藍綬褒章と勲三等瑞宝章を賜った。関東一泉同窓会長、東京石川県人会顧問。昭和46年4月26日死去。享年81。
（略歴は加能人誌,子息節二氏より）
（写真は節二氏提供）

いずみの原　号外
発行所　石川県立金沢泉丘高等学校　情報委員会新聞部
発行人　久保　勝彦
編集人　石橋　武
昭和三十三年八月二十日発行

工事のみ縣へ移管

年内に内装完備は無理
工事繰上げで伴わない資金面

各方面から多大の期待を寄せられている図書館建設工事は、建田組とは事実であり、このの手によって順調なスタートを切ったが、本然五十六号で、そのことについて報道した記事中に大きな誤りがあったので、ここで訂正しておわび申上げます。
問題の記事は五十六　人間係一千万円、一般　巣下図一のモダンな設号「図書館いよいよ着　ならびに教職員百万円　の夢が存在しているのエ」の見出しで始まる　その他で残りの金額を　非常に見事な図書館へ
もので、その記事　埋めることになってい　備を持ち、教育的価値
中「心配された資金面　る訳だが、建設工事が　の大きいものになるこ
の問題も担当が県へ移　早くなったこと、募　と
ったことで解決され、　金の進行状態、初めの
県内の一泉同窓会で百　資金計画の「その他」
万円、県外から三百万　の部分が決定であるこ
円、積立金が明春には　とだで、相当な金額
五百万円になり、残り　の借入れの必要もある
一千万円は県が借財し　模様で、年内に新図書
てあてることになった　館が内装までも完備し
もの に仕上がるかど　たい」という部分であるが
うかは現在のところ確　担当が県へ移ったとあ
るのは、工事のみであ　定していない。というり
り資金面は全く移管さ　のが現状のようで、目
れていないのであって　下関係者の間で研究さ
予定では建設資金約二　れている。
千万円のうち一泉同窓　しかし、いずれにし
会関係五百万円、PT　ても、この新図書館が

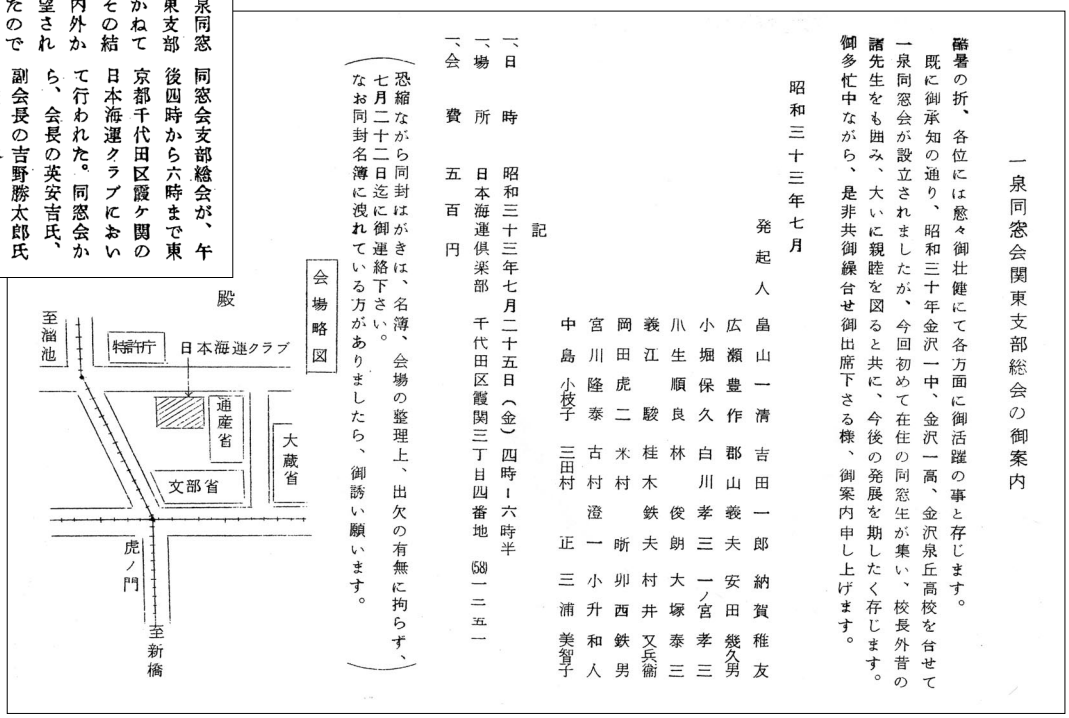
一泉同窓会関東支部結成
校長先生も出席，7月25日発会式

一泉同窓会関東支部総会が、午後四時から六時まで東京都千代田区霞ヶ関のからその結成を内外から、会長の英安吉氏、副会長の吉野勝太郎氏ていたので学校から俊長先生、宮あるが、この沢先生が出席され、会の係と関係場では思い出の旧一中者の間で準備が進められ泉丘の校歌が奏せられ、（学校からテープレコよ七月二十参）あわせて展覧会も催された。なお支部の構成員は現在のところ約六百名である。

泉丘校内新聞「いずみの原」号外　S33.8.20

一泉同窓会関東支部結成
校長先生も出席，7月25日発会式

一泉同窓会関東支部総会が、午後四時から六時まで東京都千代田区霞ヶ関のからその結成を内外から、会長の英安吉氏、副会長の吉野勝太郎氏ていたので学校から俊長先生、宮あるが、この沢先生が出席され、会の係と関係場では思い出の旧一中者の間で準備が進められ泉丘の校歌が奏せられ、（学校からテープレコよ七月二十参）あわせて展覧会も催された。なお支部の構成員は現在のところ約六百名である。
当日、第一回の一泉



一泉同窓会関東支部総会の御案内

酷暑の折、各位には愈々御壮健にて各方面に御活躍の事と存じます。
既に御承知の通り、昭和三十年金沢一中、金沢一高、金沢泉丘高校を合せて一泉同窓会が設立されましたが、今回初めて在住の同窓生が集い、校長外昔の諸先生をも囲み、大いに親睦を図ると共に、今後の発展を期したく存じます。御多忙中ながら、是非共御繰合せ御出席下さる様、御案内申し上げます。

昭和三十三年七月

発起人
畠山一清　吉田一郎　納賀稚友
広瀬豊作　郡山義夫　安田幾久男
小堀保久　白川孝三　一ノ宮孝三
八生順良　林俊朗　大塚泰三
義江駿桂　木鉄夫　村井又兵衛
岡田虎二　米村晰　卯西鉄男
宮川隆泰　古村澄一　小升和人
中島小枝子　三田村正三　浦美智子

記

一、日　時　昭和三十三年七月二十五日（金）四時ー六時半
一、場　所　日本海運倶楽部　千代田区霞関三丁目四番地　(58)一二五一
一、会　費　五百円

恐縮ながら同封はがきは、名簿、会場の整理上、出欠の有無に拘らず、七月二十二日迄に御連絡下さい。
なお同封名簿に洩れている方がありましたら、御誘い願います。

殿

会場略図

参加の呼びかけ文　　発起人発行「一泉同窓会関東支部総会の御案内」S33.7

拝啓

盛夏の候愈々御健勝にて御活動のこと誠に慶賀の至りに存じます　陳者今回関東一泉同窓会の発会に当り私共も新しくその盛会につらなり更に久方に在京会員各位の御壮顔を拝しその御謦咳に接する機会を得ました事は実に光栄欣快至極の事にて記念すべき忘れ難い感激の一日で御座いました。桜章伝統の意気満溢する雰囲気を心ゆくまで楽しむ事が出来ました。席上一口御挨拶申上ぐ筈の処失礼をいたしましたのでこゝに遅れ乍ら連名をもつて御礼の微意を表し併せて将来の貴会の御発展と諸兄の御健闘を遙かにお祈り申上げ尚母校の将来に何卒絶えざる御支援と御鞭撻を賜わる様重ねて御願い申し上げ御挨拶にかえます。

先づは略儀乍ら御礼まで如斯で御座います。

七月

一泉同窓会長　英　安吉
同副会長　吉野勝太郎
石川県立金沢泉丘高等学校長　山本外吉
同教諭　宮沢外与治

殿

関東一泉同窓会　発会式への礼状（一泉本部資料）

昭和34、36、37年度の
総会出席者（予定）
リスト

関東在住の卒業生のリストづくりに
使われた同窓会等名簿と同期会名簿類

昭和33年（1958.10.1（水））
関東一泉同窓会世話人会
於・新橋倶楽部

★本部資料　昭和33年9月18日付けの世話人会案内状。
世話人として納賀氏ら20名の連名で呼びかけている。

関東一泉同窓会世話人会の御案内

残暑厳しき折各位には愈々御健勝の事と存じます。

先般七月二十五日の総会には御出席を賜り、盛況裡に終了致すことが出来、誠に御同慶に堪えません。

扨て当日席上にて、今後世話人を定め、名簿の充実完備を図ることを申合せましたが、本部とも打合せの結果、左記の方々に御世話願う様決定致しましたので、誠に恐縮ながら御諒案の上是非共御引受け下さいます様御願い申し上げます。

就きましては第一回の会合を左記にて開き、今後の運営等につき御高見を得たく存じますので御多忙中とは存じますが御参集の程御願い申し上げます。

昭和三十三年九月十八日

関東一泉同窓会世話人

記

一、日　時　昭和三十三年十月一日（水）午後五時半
一、場　所　新橋倶楽部（新橋演舞場隣）　54ニニ一八
一、会　費　不要（夕食は準備致します）

当日御支障の方は中央区銀座七丁目一（株大和内（57八八三
事務所まで御一報下さい。

世話人氏名

平成回数							
15	納賀	雅友	98	岡本外世雄	泉2	新妻	実
21	郡山	義夫	42	淡中	孝一	泉3	服田伊三郎
21	中堂	麗恵	45	桂木	鉄夫	泉4	新谷	陽
25	松田	政平	49	岡田	虎二	泉5	中島川枝子
25	安田	幾久男	50	青地	龍男	泉7	前田フサ子
27	白川	孝三	53	小竹	昭人	泉8	村上	啓一
31	太田	久雄	54	堀	弘明		

（一泉本部資料）

昭和34年

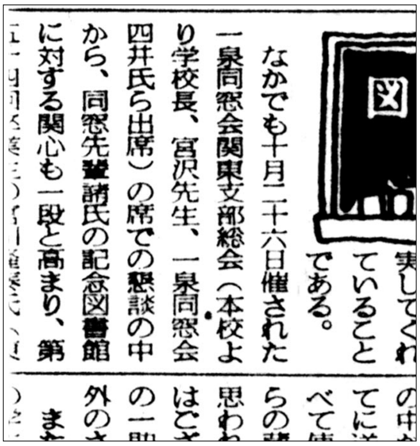
この年の国内・海外の主な出来事

1.1　メートル法実施
1.10　ＮＨＫ教育テレビ開局
4.10　皇太子殿下･正田美智子さまご成婚
7.12　200m背泳で田中聡子が世界新
7.24　児島明子がミス･ユニバースに
9.26　伊勢湾台風が猛威（死者5041人、57万戸が被害）

ソ連のロケット、月の裏側の撮影に成功
中国、チベット反乱鎮圧とインド国境侵入
フルシチョフ首相が訪米、米ソ緊張緩和

1959.10.26(月)
一泉同窓会関東支部総会
於・日本海運クラブ(多分)

10月26日に総会が行われ、金沢からは四井謙次一泉同窓会事務局長、山本外吉泉丘高等学校長、宮沢教諭が出席されたという記事が「いずみの原」（S34.12.23発行）にある。
現存していた出席（予定）者リストによると、来賓６名、会員121名の出席があった。他、詳細は不明である。


実してくれていることである。なかでも十月二十六日催された一泉同窓会関東支部総会（本校より学校長、宮沢先生、一泉同窓会四井氏ら出席）の席での懇談の中から、同窓先輩諸氏の記念図書館に対する関心も一段と高まり、第

昭和34年12月23日発行「いずみの原」より

先輩から多数の寄贈図書
宮川氏（一中21年卒 在東京）が六九冊も

図書館だより　図書委員会

新図書館もこの春開館して以来半年に余る日々をすごした。名実ともに勉学、教養のセンターとして生徒の利用度や利用態度も日増しに向上してきている。

とりわけ喜ばしいことは、先輩同窓生をはじめ学校内外の人達からの有益な図書の寄贈があり、ついで私達の図書館を充実してくれていることである。

なかでも十月二十六日催された一泉同窓会関東支部総会（本校より学校長、宮沢先生、一泉同窓会四井氏ら出席）の席での懇談の中から、同窓先輩諸氏の記念図書館に対する関心も一段と高まり、第

手紙とともに総計六十九冊におよぶ図書をご寄贈いただいた。

宮川氏のお便りの一部を紹介しよう。

「（前略）またスライドで立派な図書館をおみせいただき、大変ありがとうございました。校舎や大乗寺山、満願寺山のながめなど、なつかしい限りでした。十五万冊分の書庫に今のところ二万冊とかで、追々充実されることとは存じますが、まだ少ないように思いました。そこで帰宅後少し本を整理し、主に学生時代に使用したものの中から若干を抜いて本日先生あてに送らせていただきました。すべて使い古しではあり、またそちらの蔵書と重複するものも多いと思われ、ありきたりの本ばかりではございますが、生徒諸君の勉学の一助に役立てていただければ望外のさいわいです。

また新聞室のために、東京大学

年東大進学率は金沢では金大付属高が最も高いときいておりますが私達の同期（昭和十七年入学、二十一年四卒、四修及び二十二年五卒、つまり第54回、第55回卒業生）では十四%が東大に入っております。京大入学者はさらにこれを上回っておりました。当時と状況が違うとはいえ、このごろの泉丘は昔の一中より格落ちしているというようなことをきくとさびしく思います。今年は泉丘の競争率も高かったとかきいておりますが、今後の諸先生方のご指導と生徒諸君の勉励によって、やがては昔日の金沢一中をしのぐような立派な学校にしていただきたいと願っております。（後略）」

なお、宮川氏より受贈した書目の主なものは次のとおりである。

△Jodn Christopher I～IV (By Romain Rolland Translae by Gilbent Ca

昭和34年度　総会出席者（予定）リスト

来賓（６名）
英安吉一泉同窓会会長、四井謙次同事務局長
山本外吉金沢泉丘高等学校長、宮沢外与治同校教諭、
長谷川秀治同校旧職員、和沢同校職員

一中　102名
（一中12）　栗山新太郎
（一中14）　和田順顕
（一中15）　納賀雅友、越藤恒吉
（一中16）　柴田弥一郎
（一中17）　草野義男
（一中18）　山田武治、広瀬豊作、住吉四郎
（一中19）　村上正徳
（一中20）　服部知治、森島守人、飯本信之
（一中21）　佐藤賢了、高柳良幹、中堂観恵、郡山義夫
（一中22）　吉野勝太郎、後藤尚弘
（一中23）　長沢雄次、太田公秀
（一中25）　松田政平、小竹文夫、中條清勝、柴田博
（一中26）　奥田太郎、宮野武雄
（一中27）　柴山威則、白川孝三、黒田重治
（一中29）　押村孫二
（一中30）　小林重一、保田克孝、黒田千吉郎、
　初島葭江、洞庭謙、寺尾政喜
（一中31）　瓜生順良、太田久雄
（一中32）　一又正夫、赤井直恭、森義雄、水口菊一
（一中33）　高田小市、高口保明
（一中34）　田中公平
（一中35）　瀧田孫人、北形義友、福田重一
（一中36）　高柳日出臣、村上四郎
（一中37）　井上彰久
（一中38）　小俣外世雄、中山正敏
（一中39）　中村敏雄
（一中41）　内田淳一郎
（一中42）　松本順、古沢英雄、氷田作治
（一中43）　藤田正辰、義江駿
（一中44）　佐藤博、荒木直繁
（一中45）　荒川宏、小倉弘吉、中村八郎、高木寛、
　安田道夫、波多野勝郎
（一中46）　堀内邦光、坂木敏雄
（一中47）　本田尹夫、越智啓介
（一中48）　新田義博
（一中49）　鬼塚通敬
（一中50）　米田松雄
（一中51）　毛藤文男
（一中52）　田辺英五郎、塚岸昭二
（一中53）　森肇、杉谷光治、大窪利昭、人見悠紀夫、
　前川隆、市橋昌利、宮崎賢次
（一中54）　大島政忠、北川暁、宮川隆泰、石崎定男、
　氷田正男、糸多宗人、楽満一輝、岡本佼、
　中村健次
（一中55）　西田芳、村田文四郎、大桑啓仁、利岡正、
　本多章、石崎一郎、石橋雄二

泉丘　19名（男15　女４）
（泉丘１）　岡田寛
（泉丘２）　中上正、北野昭義、
（泉丘３）　古村澄一、吉村正俊、服部光雄
（泉丘４）　難波正彦、越馬進
（泉丘５）　中山嘉和子
（泉丘６）　三田村正、長田勝之、土田淑子
（泉丘７）　前田フサ子
（泉丘８）　長谷川正英、川島溥哉、藤森宏
（泉丘９）　野口嘉与、若林智雄、株田美智代

昭和35年 1960

この年の国内・海外の主な出来事

2.23　皇太子妃、男子ご出産
5.24　チリ地震の津波来襲
9.10　ＮＨＫ、民放４局、カラーテレビ本放送スタート
10.12　浅沼社会党委員長が刺殺される

ケネディが米大統領に当選
米Ｕ－２型機事件
東西首脳会談決裂

開催時期・会場等不明　★出席予定者リストも見当たらず

昭和36年 1961.10.23(月)

この年の国内・海外の主な出来事

4.19　ライシャワー教授が駐日米大使として着任
8.8　松川事件、全員に無罪判決
9.16　第２室戸台風、瞬間最大風速84.5　を記録
10.15　日紡貝塚女子バレーボール欧州遠征から帰国、24戦全勝「東洋の魔女」といわれる

ソ連・ガガーリン少佐が宇宙飛行
ソ連が50メガトン級を含む核実験再開
東西ベルリン危機

第四回関東一泉同窓会

於・日本海運クラブ

約100名出席
金沢から来賓　英　安吉一泉同窓会長、山本外吉泉丘高等学校長

畠山一清（荏原製作社長）、広瀬豊作（元蔵相）、草鹿任一（元海軍中将）、中川善之助（学習院大学教授）、佐藤賢了（元陸軍中将）、八田四郎次（東北大名誉教授）、安田幾久男（日本軽金属社長）、森島守人（代議士）、鏑木政岐（東大教授）、瓜生順良（宮内庁次長）氏ら多彩なメンバーが出席。

・加能人誌Ｓ36.11月号より

関東一泉同窓会

和やかに第四回総会

関東一泉同窓会（会長納賀雅友氏）は十月二十三日午後六時から、東京霞関の海運クラブで第四回総会を開催、金沢からは一泉同窓会長英安吉氏、山本泉丘高校長が出席し母校の近況を報告した。

当日は畠山一清（荏原製作社長）広瀬豊作（元蔵相）草鹿任一（元海軍中将）中川善之助（学習院大教授）佐藤賢了（元陸軍中将）八田四郎次（東北大名誉教授）安田幾久男（日本軽金属社長）森島守人（代議士）鏑木政岐（東大教授）瓜生順良（宮内庁次長）の各氏ら多彩なメンバー約百人が出席、泉丘高出身の女性三人も彩りをそえた。

例により元デモ先生こと吉野勝太郎氏（石川県学生寮主事）の司会で始まり、畠山、広瀬、安田、佐藤、草鹿、森島の各氏らが近況報告や思い出話を行ない、草鹿元将軍は「どうも自分は軍人になったのは失敗だった。俳優になっておれば成功したと思う」とユーモアたっぷりだったが、佐藤元将軍は「東西ドイツの対立をめぐる米ソの軍事勢力について」軍事評論を堂々一席ぶったのとは対照的だった。

（加能人誌Ｓ36.11月号）

昭和36年度　総会出席者（予定）リスト

来賓（３名）
英安吉一泉同窓会会長、
山本外吉金沢泉丘高等学校長、
豊田善雄氏

一中　59名

（一中７）	畠山一清
（一中15）	納賀雅友
（一中17）	水上成友
（一中18）	草野義男、野村義文、廣瀬豊作、千田文郎、廣瀬光家、山田武治
（一中20）	森島守人、八田四郎次
（一中21）	佐藤賢了、郡山義夫、中堂観恵
（一中22）	中川善之助、関謹爾、後藤尚弘、近岡孝吉、吉野勝太郎
（一中23）	長沢雄次
（一中25）	安田幾久男、中條清勝、小竹文夫
（一中27）	亀田外、白川孝三、鏑木政岐
（一中29）	木村珪二、井波信一
（一中31）	瓜生順良
（一中32）	水口菊一、赤井直恭
（一中33）	高田小市、中川政雄
（一中34）	蒲生欣一郎、二木秀雄
（一中35）	林俊朗
（一中38）	沢田久雄
（一中39）	瓜生復男、沼田菊蔵
（一中41）	杉田正
（一中43）	藤田正辰
（一中44）	広川寿夫、佐藤博、荒木直繁、堀田茂雄
（一中45）	八木田喜良、小倉弘吉、金原経
（一中51）	毛藤文男
（一中52）	田辺英五郎、南正一
（一中53）	市橋昌利
（一中54）	岡本佼、中村健次、川久保昇
（一中55）	円羽靖一郎、利岡正、石橋雄二、本多章

泉丘　22名（男19　女３）

（泉丘２）	大れい子
（泉丘３）	古村澄一、北村弘（昭26卒）、吉村正俊
（泉丘４）	恵美暁、越馬進、石橋英夫、徳田修二、宮本宏記、難波正彦
（泉丘５）	本多明、野村弘毅、羽野良久
（泉丘６）	三田村正、井下義雄、徳田由雄、長田勝之
（泉丘７）	前田フサ子
（泉丘８）	河原勇
（泉丘11）	小林二郎、松本耀子、前多一雄

金沢一中東京同窓会
安田日軽金社長の祝賀会

さる五月、東洋最大のアルミ精錬会社日本軽金属の副社長から社長に昇任した安田幾久男氏（金沢市出身）の祭任祝賀会が、安田氏の母校金沢一中東京同窓会有志により、七月十八日午後六時から東京千代田区の東京会館別館で開かれた。

当の出席者は畠山一清氏（東京石川県人会名誉会長）はじめ別記の如く旧金沢一中卒の著名ばかり、同窓の気安さから裏話もでて和気あいあい、元一中の名物教師デモ先生こと吉野勝太郎氏（石川県学生寮主事）の司会で、畠山一清氏はじめ中川善之助氏（学習院大教授）八田四郎次氏（東北大名誉教授）広瀬豊作氏（元蔵相）など巧みなテーブルスピーチで安田氏をほめたり、思い出の珍談奇談を披露して一同洪笑、和やかに終始した。（写真は安田氏）

出席者　畠山一清　和田順顕　越藤恒吉　清水与七郎　広瀬豊作　森島守人　高柳良幹　八田四郎次　郡山義夫　中堂観恵　近岡孝吉　中川善之助　長沢雄次　浅井豊　中条清勝　吉野勝太郎　小竹文夫　太田恒男　高田精作　松田政平　清水準一　小畑保行　浅井　清　遠藤外与人　奥田善道　大塚豊　黒田重治　白川孝三　柴山威則　亀田　外　西野常男　太田久雄　鏑木政岐　山岸喜義　有若一郎

金沢一中東京同窓会有志が集まって安田幾久男氏（昭和46年に関東一泉同窓会会長就任）の日軽金の社長就任を祝った。（加能人誌Ｓ36.8月号）

この年の国内・海外の主な出来事

昭和37年

6.10	北陸トンネル開通（北陸本線、13.87km当時日本最長）	キューバ危機
7.3	世界体操選手権大会、男子団体で日本初優勝	グレン中佐が宇宙飛行
8.12	堀江謙一、日本人初小型ヨットで太平洋単独横断成功	ミシシッピ大学暴動
8.19	作新学院が甲子園初の春夏連続制覇	
9.5	金田正一投手（国鉄）が三振奪取世界新の3514個達成	

1962.10.2(火)

関東一泉同窓会総会

於・日本海運クラブ

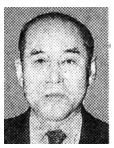
約120名出席

金沢から来賓　英　安吉一泉同窓会長、嵯峨喬70周年記念行事実行委員長、
森　義雄泉丘高等学校長

母校70周年式典参加を申し合わせる。

・加能人誌Ｓ37.11月号より

高柳真三氏（一中27）
（日本学士院会員）



瓜生順良氏（一中31）
（宮内庁次長）

関東一泉同窓会総会

関東一泉同窓会は十月二日午後六時から霞ケ関の日本海運クラブで秋季総会を開いた。郷里から森泉丘高校長、英一泉同窓会長、嵯峨喬七十周年記念行事実行委員長三氏が招かれ、関東組みは会長納賀雅友氏はじめ草鹿任一、広瀬豊作、瓜生順良、高柳真三、八田四郎次、郡山義夫、西野常男、谷恵吉郎、白崎文雄、雄谷重夫、根岸巌、林俊三、吉田直茂の諸氏ら一中卒業生に泉丘高卒の若手を加え百二十名が集まった。

郷里や母校のことを話しあったり、長老連から「学業一辺倒では人造りができぬ、もっと精神教育に力を」「愛国心を考えるべきだ」という意見がでたり、「ボート部再建せよ」との希望など和やかに話しあい来年の七十周年式にはこぞって参加しようと申しあわせた。

（加能人誌Ｓ37.11月号）

昭和37年度　総会出席者（予定）リスト

来賓（３名）

英安吉一泉同窓会会長、
嵯峨喬（一中50）70周年記念行事実行委員長、
森義雄金沢泉丘高等学校長

一中　81名

(一中13)	草鹿任一
(一中15)	納賀雅友
(一中17)	水上成友、草野義男
(一中18)	広瀬豊作、千田文七郎、松川恭佐
(一中20)	谷恵吉郎、八田四郎次
(一中21)	高柳良幹、郡山義夫
(一中22)	関謹爾、藤野靖、近岡孝吉、吉野勝太郎
(一中23)	太田公秀、浅井豊、長沢雄次
(一中25)	松田政平、中條清勝
(一中26)	小堀保行、清水準一、長久
(一中27)	西野常男、白川孝三、高柳眞三
(一中30)	黒田千吉郎
(一中31)	清水俊雄、根岸巌、白崎文雄、瓜生順良、太田久雄
(一中32)	森義雄、瓜生留雄、吉田直茂
(一中34)	蒲生欣一郎
(一中35)	橋奎次、林俊朗
(一中36)	永井宏、堀吉久
(一中38)	安原二郎、小松勇作、友田正雄、中山正敏、
(一中40)	角尾順三、中島道夫、有田秀男
(一中41)	山岸智十郎、南丁巳知、伊藤和夫、野上彦三、杉田正
(一中42)	古沢英雄、雄谷重夫
(一中44)	荒木直繁、吉野秀一郎
(一中45)	金原経、中村八郎
(一中46)	吉田喜市、納賀節二、村井又兵衛
(一中47)	小鍛冶敏雄、新田正之、那谷敏郎、中村達、浜屋芳次、中川智雄
(一中49)	高橋啓、森忠蔵
(一中51)	鍛冶堯
(一中52)	南礼次、能谷明
(一中53)	人見悠紀夫、杉谷光治、前川隆
(一中54)	宮川隆泰、楽満一輝、泉谷勝巳
(一中55)	石橋雄二、丹羽靖一郎、利岡正

泉丘　25名（男23　女2）

(泉丘２)	北俊成
(泉丘３)	服部光雄
(泉丘４)	難波正彦
(泉丘５)	野村弘毅、本多明
(泉丘６)	徳田由雄、長田勝之、北野昭式、高西健夫、辻裕
(泉丘７)	前田フサ子
(泉丘８)	藤森宏、河原勇
(泉丘９)	谷本門
(泉丘10)	小林勝
(泉丘11)	松原悠紀雄、小林二郎、秋田靖彦、前多一雄、倉見正博、吉田和可
(泉丘12)	勝田博、武藤彰、喜多禎一
(泉丘14)	吉田昌兼

昭和38年

1963.9.26(木)

関東一泉同窓会総会

於・日本海運クラブ

この年の国内・海外の主な出来事

1.1	「鉄腕アトム」テレビ放送開始
2.10	北九州市発足（門司、小倉、八幡、戸畑、若松の５市合併）
2.17	寺沢徹が別府マラソン、２時間15分15秒世界最高記録で優勝
2.28	日本の岩窟王・吉田石松に名古屋高裁で無罪判決
5.26	大鵬が初の６場所連続優勝
9.12	松川事件再上告審で最高裁が上告棄却、17被告全員の無罪確定
12.8	プロレスラー力道山ヤクザに刺され、15日死亡

ケネディ米大統領暗殺事件
ローマ法王ヨハネ23世死去、パウロ６世が即位

108名出席
金沢から来賓　英　安吉一泉同窓会長、森義雄泉丘高等学校長
旧師　下地朝良、吉野勝太郎、塩崎光蔵氏

母校が70周年記念を迎えた折り、出席者も多彩な顔ぶれであった。バレリーナ大れい子氏他泉丘高卒多数出席。

・加能人誌Ｓ38.10月号より

★昭和38年10月15日　一泉創立70周年記念式典が行われる。

郷友の集い

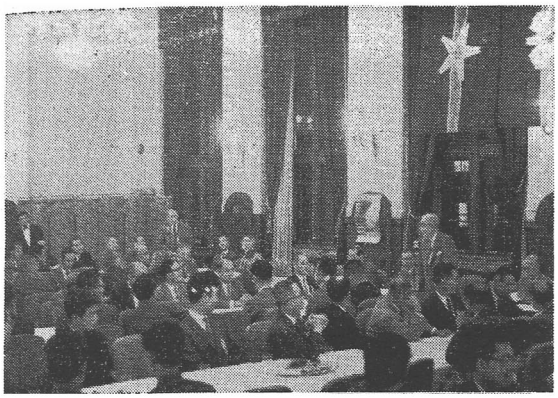
関東一泉同窓会総会

多彩な顔ぶれ出席

旧金沢一中、泉丘高校同窓の一泉同窓会関東支部は九月二十六日夕六時から霞ヶ関のシャンデリア輝やく海運クラブ（支配人原屋嘉幸氏＝金沢）で賑やかに総会を開いた。母校七十周年記念会を扣えた折から出席者も元大臣、海軍将官、学界の長老、芸術家、少壮実業家など多彩な顔ぶれでかってない盛況となった。

六時半、納賀会長の開会の挨拶ではじまり、森校長は母校の近況を、金沢から上京出席を欠かしたことがない英同窓会長は「会員一万人の同窓会名簿もできたし、十月十二日の七十周年にはご帰郷出席をお待ちしている」と報告、

草鹿任一元中将の音頭で乾盃のあと懇親会に入り、旧師吉野勝太郎氏が出席者を紹介、また黒田重治氏が同期の天文学の権威鏑木政岐博士を紹介、鏑木氏が星について短かく語り、また義宮妃候補選考中の瓜生宮内庁次長、朝日に郷土の人国記を書いた赤井直恭氏、衆院選出馬を予想される桂木鉄夫氏、バレリーナ大れい子らもかんたんにあいさつ、越藤氏が「四高、金商、小松中、七中などのように月例会を作ってほしい」と提案、八時半一中側が一中の歌、泉丘側が現校歌を合唱するなど、和やかなうちに柴田元海軍中将の音頭で万才を唱和して閉会した。なおまた月例会の件は翌日の昼食会のあと吉野、黒田、鏑木小堀氏らが話しあい発起人約二十人を選び年に数回気楽に集まれる会をつくることになった。



上＝関東一泉同窓会総会。

出席者　（旧師）下地朝良　吉野勝太郎
塩崎光蔵（校長）　森　義雄　（会長）英安吉
（13回卒～）草鹿任一　和田順顕　越藤恒吉
納賀雅友　鶴来政雄　太田龍弥　柴田弥一郎
草野義男　水上成友　野村義文　千田文七郎
広瀬豊作　山本可武　谷恵吉郎　八田四郎次
飯本信之　蚊野豊次
（21回卒～）中堂観恵　尾山藤二　中川善之助
中条清勝　松田政平　高野与作　鏑木政岐
黒田重治　白川孝三　吉岡峻一　寺尾政喜
木村珪二　井波信一　黒田千吉郎
（31回卒～）瓜生順良　清水俊雄　太田久雄
赤井直恭　吉田直茂　柴田喬　鍋谷太喜雄
安田俊雄　林　俊朗　橋　奎次　村上四郎
沢田久雄　伊藤春夫　南丁己知　木村達二
（41回卒～）伊藤和夫　田中喜良　山岸智十郎
内田淳一郎　松田　正　向　正夫　松梅誠治
久保田全俊　吉沢英雄　山中一意　細田晴行
吉野秀一郎　小倉弘吉　荒川　宏　桂木鉄夫
金原　経　山田耕二
（51回卒～）高橋　完　能谷耕正　安高　敬
塚岸昭二　岡本　俊　中川了一　長村雅雄
石橋雄二　河村賢一
（泉丘高卒）大れい子　北　俊正　中上　正
武部隆佐　松田　耕　恵美　暁　高橋恵美子
那谷和美　北野昭式　寺田　陽　毛利雅樹
前田フサ子　池田克哉　座主利夫　門谷博之
浜本庄一郎　竹田　浩　宇野判治　白川順子
堂井武司　大谷孝弘　中川　進　小室拓士
小林二郎　綿谷睦夫　吉藤茂紀　越島英二
高尾忠一　土田洋　番場美恵子　吉田昌兼

（加能人誌Ｓ38.10月号）

昭和38年度　総会出席者（予定）リスト

来賓（６名）
英安吉一泉同窓会会長
森義雄金沢泉丘高等学校長
（旧師）
原田金太郎氏、下地朝良氏、吉野勝太郎氏、塩崎光蔵氏

一中　125名
（一中10）　吉田一郎
（一中13）　草鹿任一
（一中14）　和田順顕
（一中15）　越藤恒吉、納賀雅友、鶴来政雄、大沢勝、太田龍弥、
（一中16）　柴田弥一郎
（一中17）　草野義男、水上成友
（一中18）　千田文七郎、野村義文、広瀬豊作
（一中20）　山本可武、谷恵吉郎、飯本信之、八田四郎次、森島守人、蚊野豊次
（一中21）　数馬伊三郎、中堂観恵、高柳良幹、尾山藤仁
（一中22）　近岡孝吉、新田義任、中川善之助、新明正道
（一中23）　北川政、長沢雄次
（一中25）　中條清勝、松田政平
（一中26）　小堀保行、清水準一、高野与作
（一中27）　高畠吉之助、鏑木政岐、黒田重治、白川孝三、高柳眞三、吉岡峻一
（一中29）　木村珪二、三大寺義久、松田心一、井波信一
（一中30）　黒田千吉郎、保田克孝、寺尾政喜
（一中31）　瓜生順良、清水俊雄、太田久雄
（一中32）　下村節義、柴田喬、赤井直恭、吉田直茂
（一中33）　鍋谷太喜雄、安田俊雄、米本正、武藤文雄
（一中34）　浦茂、小島喜久男
（一中35）　林俊朗、橋奎次
（一中36）　村上四郎、杉森久英、伊藤素衛
（一中38）　沢田久雄、小松勇作
（一中39）　越村衛一、前田弘、木原愼三、城田正二、伊藤春夫
（一中40）　中島道夫、角尾順三、木村達二
（一中41）　伊藤和夫、杉田正、山岸智十郎、内田淳一郎、向正夫、松梅誠治、小鍛冶栄一、八十島健二、田中喜良、南丁巳知
（一中42）　古沢英雄、久保田全俊、吉田正一
（一中43）　河毛一郎、河毛二郎
（一中44）　角本良平、古西一郎、吉野秀一郎、山中一意、広川寿夫、細田晴行
（一中45）　小倉弘吉、荒川宏、山口九郎、安田道夫、桂木鉄夫、金原経
（一中46）　納賀節二、村井又兵衛
（一中47）　新田正之、中村達
（一中49）　林威、鬼塚通敬、山田耕二
（一中50）　米村哲
（一中52）　大河千弘、高橋完、能谷明、塚岸昭二
（一中53）　安高敬
（一中54）　川久保昇、岡本俊、宮川隆泰、水野慶一郎
（一中55）　中川了一、石橋雄二、丹羽靖一郎、河村賢一、長村雅雄

泉丘　　44名（男35　女9）
（泉丘２）　北俊成、中上正、大れい子
（泉丘３）　武部隆佐、松田耕（昭26卒）
（泉丘４）　恵美暁、戸田、難波正彦
（泉丘５）　宮本晴彦、高橋恵美子、那谷和美
（泉丘６）　梶谷英之、北野昭式、高西健夫、寺田陽、毛利雅樹
（泉丘７）　前田フサ子、池内克哉、西野博、座主利夫
（泉丘８）　門谷博之
（泉丘９）　南藤和子、織作輝子、宇野判治、森井博、浜本庄一郎、白川順子、竹田浩、三由敏雄
（泉丘10）　堂井武司、大谷孝弘、中川進、白陸まつ美、小室拓士
（泉丘11）　綿谷睦夫、吉藤茂紀、小林二郎
（泉丘12）　高尾忠一、越島英二、土田洋
（泉丘13）　番場美恵子
（泉丘14）　松田幸彦、渡辺国彦、吉田昌兼

金沢一中
泉丘高校

七十周年

金沢で多彩な記念行事

多くの人材を輩出、名門校の誉れ高い県下最古の中学校、旧金沢一中、泉丘高校の創立七十周年を祝う記念祭は、十月十二日から四日間にわたり、泉丘高校ならびに一泉同窓会、ＰＴＡらが中心となり、金沢市内で多彩な行事をくりひろげた。

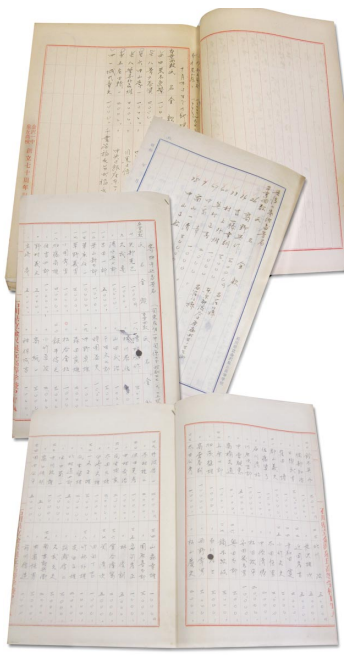
旧金沢一中は明治二十七年に第一回三人の卒業生をだし、戦後の学制改革で泉丘高校となってから今日に至るまで一万三千余名の卒業生を送りだし、県内はもちろん中央の政財界で名ざましい活躍ぶりをみせ名門校の誉れを高くしているだけに、七十周年を祝う記念行事も力の入ったものだったなお記念事業実行委員会は左記のほか昨年すでに立派な記念図書館を建設寄付している。

慰霊祭・同窓会総会（12日）午前十時から金沢市富樫町の母校講堂で先ず創立いらいの物故者二千一柱の慰霊祭を鏑木尾山神社宮司祭主で厳かに行ない、英一泉同窓会長が祭文を朗読、遺族井村豊子さんらが玉串を捧げた。そのあと読いて同窓会総会に移り、英会長が議長となり、経過報告、会計報告承認のあと役員選挙に入ったが、五十年にわたり同窓会の世話を続けてきた英会長の辞意に対し再選の声もでたが、正式の正副会長以下の役員決定は後日に譲ることとし、体育館で直会に入り、グループごとに机を囲んで歓談、思い出話しに花を咲かせた。

出席者約二百名。はるばる県外から馳せ参じた次の人々らの顔も見え、何十年ぶりの再会で話がはずむ組、早速同夜の二次会を打ちあわせる組、中には同期生が一人もいないと手持ち不沙汰の人もあったが、それぞれの感慨をなつかしの校舎にこめて頬を紅潮させていた。

県外から参加した主な人々（順不同）
山本常石　草鹿任一　井波達之　山根弘毅
和田順顕　広瀬豊作　瓜生順良　中川善之助
横井元雄　鏑木政岐　井波達之　山本雅造
松田政平　太田久雄　吉田直茂　桂木鉄夫
榎並鋼三　持田政二　高木義男　井口清次郎
小倉弘吉　上杉正年　有田秀雄　八十島健二
中島信梧　能木場俊吉

（写真は同窓会総会あとの直会のスナップ。広瀬元蔵相、中村禎雄元校長らの顔が見える）



母校の70周年記念事業のために、関東一泉同窓会創立直後より関東在住者から寄附が寄せられた。写真は、寄附者と金額の控の一部。

（加能人誌Ｓ38.11月号）

この年の国内・海外の主な出来事

4.28　日本、OECD（経済協力開発機構）に正式加盟
5.17　慶大の渡辺泰輔投手が立大戦で初の完全試合達成（東京六大学）
6.1　25年ぶりにビール、酒類が全面的に自由価格になる
9.23　巨人・王貞治、年間55本塁打の日本新記録達成
10.10　第18回オリンピック東京大会開会

ジョンソン米大統領誕生
ソ連、フルシチョフを追放

昭和39年

1964.9.28(月)

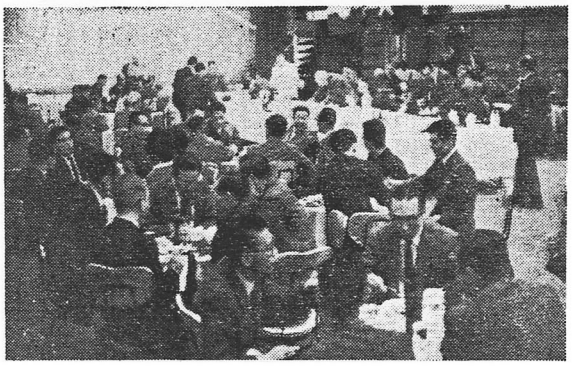
関東一泉同窓会総会

於・目黒雅叙園観光ホテル

約110名出席
金沢から来賓　英　安吉前一泉同窓会会長、石崎同副会長、四井謙次一泉同窓会事務局長、森　義雄泉丘高等学校長
この年から会場は目黒雅叙園観光ホテルとなった。会長、来賓挨拶に続き、吉野勝太郎（石川県学生寮長）氏が出席者全員を紹介した。

・加能人誌S39.9、10号より

関東一泉同窓会総会



関東一泉同窓会総会が九月二十八日夜六時から、東京目黒の雅叙園観光ホテルで賑やかに開かれた。

先ず納賀会長があいさつ、金沢からかけつけた英前本部会長が「同窓会の世話して半世紀、これまで幾たびか同窓の友情に泣いた」と感激調のあいさつ、さらに森母校々長、石崎本部副会長、四井事務局長らが母校の近況や事務局設置により盛んになった活動ぶりを報告、吉野氏が拍手裡に出席者全員を紹介。

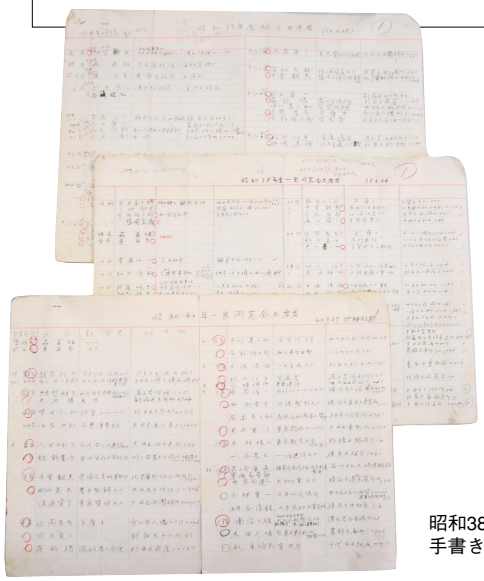
瓜生宮内庁次長「この会にでると疲れも吹き飛ぶ、明後日の義宮さまのご婚儀もとどこおりなく果したい」はじめ、度々のヘリコプター事故調査から帰ったばかりの浦航空幕僚長、開業したばかりの北野弁護士若い女性の前田さんと次々スピーチ、「だまれ！」で有名になった佐藤賢了元中将が求められて「だまれ！」一声に拍手かっさいそのあと校歌、応援歌が桜章健児の昔にかえって賑やかに歌われ、最後に太田竜弥氏（15回）の万才で八時終了した。

出席者（明治四〇年、一四回卒）和田順顕
（一五）太田龍弥　（一六）柴田弥一郎　（一七）英安吉　油谷正三　野村義文　住吉四郎　（二〇）小竹直政　蚊野豊次　飯本信之　八田四郎次（二一）佐藤賢了　高柳良幹　中堂観恵　（二二）前田愛二　藤野靖　近岡孝吉　吉野勝太郎　（二三）中条清勝　松田政平　（二六）清水準一　（二七）白川孝三　柴山威則　高島吉之助　黒田重治　吉岡峻一　西野常男　（二九）木村珪二一ノ谷孝三　（三〇）黒田千吉郎　林錬策　山本直一保田克孝　中村斉治　硎谷淳銈　小川小三郎洞庭謙　世良田健一　島崎康通　（三二）瓜生順良　清水俊雄　（三三）森義雄　森島豊人　吉田直茂　（三三）武藤文雄　安田俊雄　米本正（三四）浦茂　蒲生欣一郎　（三五）小林敏雄　橋奎次　（三六）西出次郎　田口利介　（三八）沢田久雄宮田正雄　（三九）谷内上　瀬野政夫　山本正治有田秀男　（四一）杉田正　南丁巳知　山岸智十郎　内田淳一郎　（四二）能谷俊雄　（四四）山中一意　吉野秀一郎　砺波宏明　（四五）桂木鉄夫八木田喜良　安田道夫　小倉弘吉　金原隆（四六）納賀節二　吉田喜市　森忠吉　村井又兵衛　（四七）中川智雄　福岡二郎　小鍛治敏雄中村達　藤田三郎　（五一）東与光　宮沢幸夫（五二）川向又蔵　（五六）相木武　長村雅雄　石橋雄二　（泉丘）国盛隆　吉岡弘泰　松田耀子由田文子　中上正　恵美暁　北野昭弐　四井武前田フサ子　佐々木信憲　向献夫　定本正人加藤順子　三由敏雄　小倉周次郎　小室拓士小林二郎　越島英二　加納武文　土田洋　能沢正夫

×

×

（加能人誌S39.10月号）



昭和38、39、40年度の
手書きの出席者リスト

一泉同窓会事務所を母校内に設置。関東、関西の一泉同窓会参加を呼びかけている。

泉丘校内新聞「いずみの原」
S39.10.10

後輩よがんばれ

一泉同窓会から

一泉同窓会も二万五千有余の会員となり、今春総会の決議により母校内に事務所を置き、さる七月より事務を執っていますが先日記念図書館集会室の前に一室を区切り移転いたしました。

関東、関西両支部も盛んに活躍しており、関東支部は来る二十八日東京都目黒区雅叙園にて総会を開くことになり学校からは森校長、同窓会からは前会長英安吉、新会長越馬徳治の両氏が参会、毎会百五十名程の出席があり盛大にやっています。

関西支部をそのうち開催のはずです。在校生諸君におかれてはできるだけ同窓会をも利用され現在いささか沈滞気分にある学業、スポーツ各面にわたり全員一致協力奮起一番本来の一中、泉丘にもどらるるよう切望して歩みません。

筆者は四谷謙次氏。

（一泉懇話会の盛況ぶり）

一泉同窓会便り

旧金沢一中、泉丘高校同窓の一泉同窓会は今年春の総会で決議された前会長英安吉氏（金沢市石浦町）の表彰の件は、同校二十九回生の日展審査員木村珪二氏（東京教育大教授）に依頼して胸像を作製して贈ることに決定、十月十五日の創校記念日に催される一泉同窓会秋の懇親会席上で英氏に贈呈することになった。なおこの経費は卒業生有志より一口五百円の募金でまかなう。

一泉懇話会結成　昨年の一泉七十周年記念行事に努力した有志たちの発起で、十月三日夕六時、金沢のつば甚で一泉懇話会が結成された。

当日は一八回卒の英安吉氏から井口清次郎、四井謙次（22回）松尾宝作（26）岡重雄安井睦美（31）森義雄（32）吉岡直敏（34）市島亀太郎（35）津田駒次郎（44）石崎皓三（45）坂本三十次、吉田彰一（47）宮太郎（52）中野達之（泉丘4）ら中壮年層の一中健児九十余名出席のもとに先ず石崎皓三氏が開会あいさつ、英安吉氏が設立の動機と経過を報告、役員に代表幹事英安吉、井口清次郎、宮太郎三氏、その他幹事を選任、年会費六千円年総会（八月）、懇親会、講演会など開くことと規約を決定、つづいて酒宴に入り、先輩後輩入りまじって歓談、なつかしの歌も飛びだし、大広間をゆるがすほどの盛況のうちに英氏の「我らの団結強かれ」の万才で八時半散会した。

東京一泉同窓会　本年度の総会を九月二十八日、目黒の雅叙園で開くことになり、在京同窓の多数出席を望んでいる。

×　×

（加能人誌Ｓ39.9月号に予告掲載）

昭和39年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（５名）
英安吉前一泉同窓会会長、越馬徳治一泉同窓会会長、
石崎皓三同副会長、四井謙次同窓会事務局長
森義雄金沢泉丘高等学校長

一中　112名
(一中13)　草鹿任一
(一中14)　和田順顕
(一中15)　太田龍弥、大沢勝、納賀雅友
(一中16)　柴田弥一郎
(一中17)　酒井忠治郎
(一中18)　油谷正之、野村義文、住吉四郎
(一中20)　小竹直政、蚊野豊次、飯本信之、八田四郎次、
(一中21)　中堂観恵、高柳良幹、佐藤賢了
(一中22)　前田愛二、藤野靖、中川善之助、近岡孝吉、吉野勝太郎
(一中25)　中條清勝、松田政平
(一中26)　清水準一、小堀保行
(一中27)　白川孝三、柴山威則、高畠吉之助、黒田重治、吉岡峻一、西野常男
(一中29)　木村珪二、一ノ谷孝三、井波信一
(一中30)　黒田千吉郎、林錬策、山本直一、保田克孝、中村斎治、硎谷淳鉦、小川小三郎、洞庭謙、世良田健一、島崎康通
(一中31)　清水俊雄、瓜生順良
(一中32)　赤井直恭、吉田直茂、柴田喬、森島豊人
(一中33)　武藤文雄、中川政雄、米本正、安田俊雄
(一中34)　浦茂、蒲生欣一郎
(一中35)　小林敏雄、北形義友、橋奎次、林俊朗
(一中36)　山森末男、西出次郎、田口利介、村上四郎
(一中38)　沢田久雄、宮田正雄、小俣外世雄
(一中39)　瀬野政夫、前田弘、山本正治
(一中40)　谷内上、有田秀男
(一中41)　南丁巳知、杉田正、山岸智十郎、内田淳一郎、伊藤和夫
(一中42)　氷田作治、松本順、能谷俊雄
(一中43)　義江駿
(一中44)　吉野秀一郎、山中一意、砺波宏明
(一中45)　桂木鉄夫、八木田喜良、安田道夫、金原経、久間春彦、小倉弘吉
(一中46)　納賀節二、吉田喜市、森忠吉、、村井又兵衛
(一中47)　福岡二郎、小鍛冶敏雄、中村達、藤田三明、中川智雄
(一中51)　宮沢幸夫、東与光、上田正家
(一中52)　川向又蔵、能谷耕正
(一中54)　川久保昇、岡本佼、宮川隆泰
(一中55)　長村雅雄、石橋雄二、相木武

泉丘　30名（男26　女4）
(泉丘１)　國盛隆
(泉丘２)　吉岡弘泰、中上正、北俊成、松田耀子、由田文子、高岡歩
(泉丘３)　武部隆佐
(泉丘４)　難波正彦、恵美暁
(泉丘６)　長田勝之、北野昭式、四井武
(泉丘７)　前田フサ子、池内克哉
(泉丘８)　佐々木信憲、向献夫、定木正人
(泉丘９)　加藤順子、三由敏雄、小倉周次郎
(泉丘10)　奥村哲、堂井武司、小室拓士
(泉丘11)　小林二郎
(泉丘12)　越島英二、加納竹文、土田洋
(泉丘13)　能沢正夫
(泉丘14)　河崎肇
(泉丘15)　宝達徹

この年の国内・海外の主な出来事

昭和40年

3.10　気象庁が富士山頂気象レーダー運用開始
5.18　ファイティング原田、世界バンタム級チャンピオンに
6.6　日本サッカーリーグ結成、開幕
9.24　国鉄がみどりの窓口開設
10.21　朝永振一郎がノーベル物理学賞受賞
11.10　南極観測事業再開、自衛艦「ふじ」で第７次観測隊が東京出港
米軍がベトナム北爆開始

1965.9.27(月)

関東一泉同窓会総会

於・目黒雅叙園観光ホテル

約120名出席
金沢から来賓　英　安吉前一泉同窓会会長、森義雄泉丘高等学校長
躍進東京の映画を観賞する。司会・吉野勝太郎石川県学生寮長
・加能人誌Ｓ40.10月号より

関東一泉同窓会総会

関東一泉同窓会は九月二十七日五時半から、目黒の雅叙園で、懇親総会を開いた。

先ず躍進東京の映画を観賞したのち、六時から総会に入り、納賀雅友会長のあいさつ、金沢から出席の森校長、英前本部会長が母校や同窓会本部の近況を報告、司会の吉野勝太郎氏が約百二十名の出席者全員を紹介、越藤恒吉、瓜生順良、郡山義夫氏らがテーブルスピーチを行なって後輩に感銘を与え、懇親宴では校歌や応援歌で気勢大いにあがり、八時半ごろ柴田弥一郎氏の万才首唱で和気あいあい散会した。

（加能人誌Ｓ40.10月号）

各地石川県人の集い

札幌石川県人会

家族レクリエーション

札幌石川県人会は八月二十二日、公園前の中島温泉で会員家族レクリエーションを行なった。当日は幸い好天に恵まれ、久々の国衆の集いとあって、加賀弁丸出しのなごやかな会合となった。

賑やかなうちに前田会長のこれまた加賀弁の賜しい挨拶に始まり、酒宴酣ともなり余興の一番手に吉中幹事長の山中節がとび出し、アンコールの連続、江頭婦人の文句入り詩吟、さてはのんびり鴨緑江節の踊、ソーラン節の合唱やメノコ踊りなど拍手喝采、時の過ぎるのも忘れて踊りまくった。

「こんな安い会費で、こんな御馳走で、こんな愉快なこと毎月頼む」とは出席者の声だったが、正直なお話ではあるが、それでは持てない。……とは幹事の声……。

札幌木曜会

毎月第二木曜日に札幌石川県人会有志の昼食会を開いているが、八月は十二日第九六回の会合で、三森定男先生（北海学園大教授、大聖寺出身）の時局問題（ベトナム戦争）の講演を聞いた。（吉中幹事長報）

函館で道連総会

北海道石川県人会連合会（前田幸太郎会長）は第九回の年度総会を函館石川県人会の当番で、十月十日函館の湯の川温泉旭館ホテルで、中西石川県知事と町

関東一泉同窓会総会

関東一泉同窓会は九月二十七日五時半から、目黒の雅叙園で、懇親総会を開いた。

先ず躍進東京の映画を観賞したのち、六時から総会に入り、納賀雅友会長のあいさつ、金沢から出席の森校長、英前本部会長が母校や同窓会本部の近況を報告、司会の吉野勝太郎氏が約百二十名の出席者全員を紹介、越藤恒吉、瓜生順良、郡山義夫氏らがテーブルスピーチを行なって後輩に感銘を与え、懇親宴では校歌や応援歌で気勢大いにあがり、八時半ごろ柴田弥一郎氏の万才首唱で和気あいあい散会した。

金商同窓会関東支部

新支部長に穴田秀男氏

金商同窓会関東支部では、本部役員の改選と歩調を合わせ画期的活動を開始するためこのほど役員をつぎの通り改選した。

昭和40年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（２名）
英安吉前一泉同窓会会長
森義雄金沢泉丘高等学校長

一中　83名
(一中14)　和田順顕
(一中15)　越藤恒吉、納賀雅友、大沢勝
(一中16)　柴田弥一郎
(一中18)　住吉四郎
(一中20)　八田四郎次、蚊野豊次
(一中21)　中堂観恵、郡山義夫、佐藤賢了
(一中22)　近岡孝吉、前田愛二、藤野靖、中川善之助、吉野勝太郎
(一中25)　中條清勝、松田政平
(一中26)　小堀保行
(一中27)　吉岡峻一、西野常男、高畠吉之助、黒田重治
(一中29)　木村珪二、一ノ谷孝三
(一中30)　島崎康通、黒田千吉郎、世良田健一、小林重一、研谷淳銈
(一中31)　南浮二雄、太田久雄、瓜生順良
(一中32)　赤井直恭
(一中33)　鍋谷太喜雄、中川政雄、武藤文雄、米本正
(一中34)　蒲生欣一郎
(一中35)　小林敏雄、林俊朗
(一中36)　神保儁、永井宏、高柳日出臣
(一中38)　中山正敏、小俣外世雄、安原二郎、小松勇作
(一中39)　前田弘、山本正治、伊藤春夫
(一中40)　有田秀男
(一中41)　山岸智十郎、向正夫、南丁巳知、杉田正、伊藤和夫
(一中42)　氷田作治、松本順
(一中44)　佐藤博、古西一郎、飯森正秀、荒木直繁
(一中45)　金原経、西川浩史、桂木鉄夫、安田道夫、荒川宏
(一中46)　村上淳男、森忠吉、吉田喜市、納賀節二
(一中47)　中川智雄、村井又兵衛、小鍛冶敏雄、中村達
(一中52)　能谷明、塚岸昭二、南正一
(一中54)　岡本佼、楽満一輝、石崎定男
(一中55)　長村雅雄

泉丘　21名（男19　女2）
(泉丘２)　北俊成、大れい子
(泉丘４)　恵美暁、国本明
(泉丘６)　北野昭式
(泉丘７)　池内克哉、前田フサ子
(泉丘８)　佐々木信憲、向献夫、宮本毅、岩上誠次、川島溥哉、定木正人、中川外司、平松喬、門谷博之、山城一夫
(泉丘９)　竹田浩
(泉丘11)　小林二郎、中山純夫、浅尾広行

この年の国内・海外の主な出来事

5.30　米原潜、横須賀港に初入港
6.29　ビートルズ来日
7.4　新東京国際空港の建設地で閣議、成田市三里塚と決定
11.1　国立劇場開場
12.9　建国記念日2月11日と公布

昭和41年

1966.10.6(木)
関東一泉同窓会総会
於・目黒雅叙園観光ホテル

約80名出席
金沢より来賓　英　安吉前一泉同窓会会長、張江　啓泉丘高等学校長英氏より坂本三十次、桂木鉄夫氏らの衆議院選出馬にむけて後援会結成する旨報告あり。

吉野勝太郎氏は開会の挨拶で、「10周年を明年に控え…」と来年が10年目と話されている。
・加能人誌S41.11月号より

関東一泉同窓会総会
東京、目黒の雅叙園で

十月六日午後六時から東京目黒雅叙園ホテルで開催、会員百余名参集、劈頭石川県学生寮長吉野勝太郎氏（大正4年卒）から『第九回総会を迎え、母校泉丘高校の発展と共に栄えた本会の足跡を回顧し、ここに十周年を明年に控え、烈々たる若き人々の息吹を結集し、老若一体、往年の桜章意気の高揚に資せん』のと新たなる決意を発表して開会を宣し、次いで金沢から来会の泉丘高校長張江啓氏（昭7年卒）及び常任顧問英安吉氏（明44）より母校と一泉同窓会の近況報告あり、英氏より来る十月十五日母校創立記念日を卜し、尾山神社で同窓桂木鉄夫氏（昭13）、坂本三十次氏（昭15）両氏の将来を期待し、同窓有志相会し、後援会結成の式をあげんとの報告あり、会員の最年長元海軍少将、南東艦隊司令長官草鹿任一氏（明39）の音頭で一同の健康と繁栄を祈念して乾盃、これより酒宴に入った。

今昔を語り、快笑団らん、マイクより流れる応援歌に往年の桜章生活を追想しながら快をつくした。宴酣なる頃八田四郎次（大2）中川善之助（大4）黒田重治（大9）瓜生復男（昭6）桂木鉄夫、前田フサ子（昭30、泉丘）諸氏のテーブルスピーチあり、最後に泉丘校出身者全員の指揮で全員校歌応援歌を合唱、心ゆくまで桜章意気を謳歌し、最後に年長草野義男氏（明43）の発声で関東一泉同窓会の万才を三唱、午後八時再会を約して散会した。出席者次のとおり。

草鹿任一　草野義男　蚊野豊次　中堂観恵
高倉奉朔　松田政平　黒田重治　白川孝三
鏑木政岐　村尾金二　瓜生順良　赤井直恭
吉田直茂　武藤文雄　中川政雄　瓜生復男
山本正治　伊藤和夫　永田作治　松林理彦
中林二郎　山中一意　高柳武男　西川浩史
小倉弘吉　桂木鉄夫　納賀節二　下村吉郎
川島栄一　岡島重雄　楽満一輝　川久保昇
池内克哉　小林二郎　岡田喜昭　山下忠洋
小堀保行　小林重一　安田俊雄　荒木直繁
島崎成一　岩上誠次　山城一夫　住駒幸英
室田直義　三河三郎　小森淳　八田四郎次
英安吉　北川政　中川善之助　黒田千吉郎
米本正　本田泰　世良田健一　吉野勝太郎
荒川宏　四井武　高畠吉之助　鍋谷太喜雄
張江啓　前田弘　八木田喜良　前田フサ子
杉田正　向献夫　久々津篤男　山岸智十郎
宮本毅　竹田浩　吉野秀一郎　駿河敬次郎
山口豊　下村外志夫　米谷大一郎

（加能人誌S41.11月号）
S41年総会の詳細な記事

昭和41(1966.09.10(土))
一泉同窓会東京有志会
於・東京ステーションホテル

東京在住有志が集まり、次期衆議院選挙出馬を目指す同窓の桂木鉄夫、坂本三十次両氏を激励した。
・加能人誌S41.10月号より

一泉同窓、東京有志会
桂木、坂本激励会

一泉同窓会の東京在住有志が九月十日夕六時から、東京ステーションホテルで次期衆院選出馬を目指す同窓の桂木鉄夫（八重洲駐車場社長、金沢市）坂本三十次（能登観光開発副社長、穴水町）両氏の激励会を開いた。

小堀保行氏の司会で金沢からはせつけた一泉同窓会の長老英安吉氏や学習院大教授中川善之助氏、その他世話人、同期生らから激励のことばがあり、桂木、坂本両氏から感謝と信念、信条がのべられ、盛んに激励の拍手がおくられた。

出席者　英安吉　蚊野豊次　八田四郎次
谷恵吉郎　郡山義夫　佐藤賢了　高柳良幹
中川善之助　吉野勝太郎　後藤尚弘　斉藤浜
中条清勝　松田政平　小堀保行　白川孝三
吉岡峻一　木村圭二　小林重一　鍋谷太喜雄
瓜生留雄　蒲生欣一郎　安原二郎　中林二郎
内田淳一郎　山岸智十郎　金原経　荒川宏
小倉弘吉　桂木鉄夫　酒井章　八木田喜良
西川浩史　古川博　坂本三十次　藤田三明
浅川美末　井上和夫　杉田正　小俣外世雄
中村八郎　中村達　下村吉郎　安田道夫
西野常男　黒田重治　高木兼二　米村晢
有田　吉村　高島

関東一泉同窓会　十月六日夜六時から、下目黒の雅叙園観光ホテルで秋の懇親会を開いた。郷里から張江泉丘高校長、越馬同窓会長、英前会長らが出席、秋の一夜を楽しんだ。

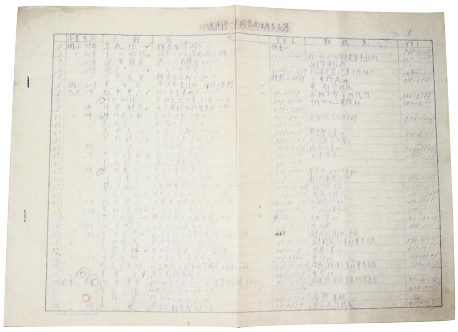
（加能人誌S41.10月号　有志会と総会の速報記事）

昭和41年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（２名）
英安吉前一泉同窓会会長
張江啓金沢泉丘高等学校長

一中　56名
（一中13）　草鹿任一
（一中14）　和田順顕
（一中15）　納賀雅友
（一中17）　酒井忠治郎、草野義男
（一中20）　蚊野豊次、八田四郎次
（一中21）　中堂観恵
（一中22）　中川善之助、前田愛二、高倉奉朔、吉野勝太郎
（一中23）　北川政
（一中25）　中条清勝、松田政平
（一中27）　黒田重治、白川孝三、鏑木政岐、高畠吉之助
（一中29）　村尾金二
（一中30）　黒田千吉郎、世良田健一
（一中31）　瓜生順良
（一中32）　赤井直恭、吉田直茂
（一中33）　中川政雄、鍋谷太喜雄、米本正、武藤文雄
（一中38）　安原二郎、本田泰
（一中39）　山本正治、前田弘、瓜生復男
（一中41）　向正夫、杉田正、伊藤和夫
（一中42）　氷田作治
（一中43）　義江駿、松林理彦、中林二郎
（一中44）　山中一意、高柳武男
（一中45）　西川浩史、小倉弘吉、八木田喜良、荒川宏、桂木鉄夫
（一中46）　納賀節二、下村吉郎
（一中47）　川島栄一
（一中49）　平岸恒雄
（一中50）　岡島重雄
（一中54）　楽満一輝、川久保昇、岡本佼

泉丘　12名（男11　女１）
（泉丘６）　四井武、北野昭式
（泉丘７）　池内克哉、前田フサ子
（泉丘８）　向献夫、宮本毅
（泉丘９）　竹田浩
（泉丘11）　渡辺拓、小林二郎
（泉丘13）　岡田喜昭、山下忠洋
（泉丘14）　久々津篤男



昭和41年度総会
出席者（予定）リスト

昭和42年度総会（創立10周年記念総会）　出席者（予定）リスト

来賓（５名）
英安吉一泉同窓会名誉会長、宮太郎一泉同窓会会長、
四井謙次同事務局長
張江啓金沢泉丘高等学校長、原田金太郎同校旧職員

一中　102名
（一中10）　吉田一郎
（一中12）　牧野喜太郎
（一中13）　草鹿任一
（一中15）　納賀雅友、越藤恒吉
（一中20）　八田四郎次、蚊野豊次、鈴木英介
（一中21）　佐藤賢了、中堂観恵、郡山義夫
（一中22）　藤野靖、中川善之助、吉野勝太郎
（一中25）　安田幾久男、松田政平、中条清勝
（一中26）　高野与作、清水準一、小堀保行、奥田善通
（一中27）　藤沢直三、白川孝三、吉岡峻一、黒田重治、鏑木政岐
（一中29）　松田心一、木村珪二、村尾金二、竹田東洋雄
（一中30）　世良田健一、黒田千吉郎、島崎康通
（一中31）　太田久雄、南浮二雄、根岸巌、瓜生順良、清水俊雄
（一中32）　納賀節二、柴田喬、瓜生留雄、赤井直恭、下村節義、吉田直茂
（一中33）　中川政雄、米本正、武藤文雄
（一中34）　二木秀雄、吉藤幸朔
（一中38）　犬塚泰三、沢田久雄、友田正雄、中山正敏
（一中39）　前田弘、幸村博敏、伊藤春夫、沼田菊蔵、瓜生復男
（一中40）　福田正次郎
（一中42）　氷田作治
（一中44）　荒木直繁、吉野秀一郎、古西一郎
（一中45）　西川浩史、桂木鉄夫、駿河敬次郎、金原経、荒川宏、中村八郎、安田道夫、木村成郎、久間春彦、高木兼二、小倉弘吉
（一中46）　吉田喜市、森忠吉、菅野孝夫
（一中47）　坂本三十次、太島金治、藤田三明、森一男、深見信一、小鍛治敏雄、福岡二郎、池保、中川智雄
（一中49）　五反田良精、浅川美来
（一中51）　竹下一郎、堀内俊彦
（一中52）　新保卓而
（一中53）　井上和夫
（一中54）　山本浩、氷田正男、伊勢長一、宮野達郎、木村博典、川久保昇、岡本佼、中村喜三郎
（一中56）　長林茂、中上正

泉丘　41名（男39　女２）
（泉丘２）　白尾惇
（泉丘３）　池屋敏雄
（泉丘４）　徳田修二、国本明
（泉丘６）　北野昭式、四井武、宮本増、鈴木郁夫、安生武史、辻由美子、石坂雄二、高西健夫
（泉丘７）　池内克哉、前田フサ子
（泉丘８）　向献夫、加藤嘉久、山口豊、藤盛曠和、山田茂市、北島敏男、定木正人、岩上誠次、高畑博之、飯倉元、宮本毅、佐々木信憲、平田一雄、宮丸凱史、荒木二夫、星野正憲、下村外志夫
（泉丘９）　竹田浩、谷本門
（泉丘10）　小森惇、米谷大一郎
（泉丘11）　吉村外茂勝、小林二郎、渡辺拓、中野弘史
（泉丘12）　三河三郎
（泉丘13）　岡田喜昭

昭和42年

1967.9.13(水)

関東一泉同窓会
10周年記念総会

於・目黒雅叙園観光ホテル

この年の国内・海外の主な出来事

3.6　日本航空が世界一周航路営業開始
4.13　国産人工衛星第1号・ラムダ４Ｓ打ち上げ失敗
4.15　東京都知事選で社会・共産推薦の美濃部亮吉が初当選
　　初の革新都政誕生
6.10　東京教育大評議会が筑波学園都市移転を強行採決
9.28　国鉄上越線新清水トンネル開通
10.20　吉田茂元首相没（享年89歳）

ベトナム戦争で米軍は、「枯葉作戦」開始
中国、初の水爆実験
欧州共同体（EC）成立
東南アジア諸国連合（ASEAN）結成
［南ア］世界初の心臓移植手術

114名出席
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、英　安吉一泉同窓会名誉会長、
四井謙次一泉同窓会事務局長、張江　啓泉丘高等学校長
10周年記念総会は、坂本・桂木氏当選並びに中川善之助金大学長就任祝賀を兼ねて盛大に開かれた。
・加能人誌Ｓ42.10月号より

関東一泉同窓会
10周年記念総会

旧金沢一中、泉丘校同窓の関東一泉同窓会は九月十三日夜七時四十分から、東京目黒の雅叙園観光ホテルで10周年記念総会ならびに同窓の桂木、坂本両代議士、中川金大学長の当選ならびに就任祝賀会を兼ねて開かれた。

先ず金沢から上京の英同窓会名誉会長が10年間関東会長をつとめた納賀雅友氏（代理節二氏、46回生）に加賀人形を贈呈、同じく上京出席の宮太郎同窓会長（51回）が就任のあいさつ、張江啓校長（39回）も「桜章健児が育てた桜章スピリットを泉丘高の後輩にも築きあげたい」とのべ、中川金大学長（22回）のあいさつにつづいて桂木代議士（45回）は「坂本代議士とともに立派な本当の保守政党確立に努力している」と決意をのべ、吉田一郎相談役（10回）の音頭で乾盃して開宴。八時半閉会まで賑やかに交歓、青春の思い出にひたり、和やかに解散した

出席者
（金沢）張江啓　英安吉　宮太郎
四井謙次　多川直次　石崎皓三　高島誠
（恩師）原田金太郎（明36・10回～）吉田一郎
草鹿任一　越藤恒吉（大正卒）八田四郎次
蚊野豊次　中堂観恵　郡山義夫　中川善之助
吉野勝太郎　高倉奉朔　松田政平　奥田善通
安田幾久男　白川孝三　吉岡峻一　黒田重治
鏑木政岐　松田心一　木村珪二　村尾金二
竹田東洋雄　世良田健一　南浮二雄　柴田喬
瓜生順良　瓜生留雄　赤井直恭　武藤文雄
下村節義　吉田直茂（昭和卒）　友吉正雄
前田　弘　沼田菊蔵　氷田作治　幸村博敏
古西一郎　荒木直繁　山中一意　吉野秀一郎
高柳武男　西川浩史　中村八郎　高木兼二
桂木鉄夫　小倉弘吉　金原経　荒川宏　池保
安田道夫　中川智雄　森　忠吉　小鍛冶敏雄
納賀節二　太島金治　深見信一　堀内俊彦
新保卓而　宮川隆泰　氷田正男　伊勢長一
木村博典　川久保昇　岡本俊　中村喜三郎
山本　浩　北村好文　村上満　亀田千代造
長林　茂（泉丘高）白尾惇　中上正　今井弘
高岡　歩　松田耀子　町田邦夫　由田文子
中野達也　藤原安子　徳田修二　三田村正
前田フサ子　四井武　安生武史　辻由美子
高西健夫　宮本増　池内克哉　向献夫　山口豊
加藤嘉久　定木正人　岩上誠次　高博博之
平田一雄　宮丸凱央　飯倉元　佐々木倍憲
荒木二夫　宮元毅　下村外志夫　星野正憲
黒田武　竹田浩　米谷大一郎　吉村外茂勝
岡田喜昭　（写真は会場スナップ）

（加能人誌Ｓ42.10月号）

この年の国内・海外の主な出来事

1.9　マラソンの円谷幸吉が自殺
2.20　金嬉老、清水市内で2人をライフルで射殺し逃亡、寸又峡温泉でろう城
4.12　日本初の超高層ビル・霞が関ビル完成
7.1　郵便番号制度実施
8.8　札幌医大・和田寿郎教授が日本初の心臓移植手術
10.17　川端康成、ノーベル文学賞受賞
12.10　八王子市で3億円強奪事件

アポロ8号が月周回
ロバート・ケネディ上院議員暗殺
マーチン・ルーサー・キング師暗殺

昭和43年

1968.9.27(金)
関東一泉同窓会総会
於・目黒雅叙園観光ホテル

130余名出席（近年稀なる盛況と加能人誌にあり）
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、四井謙次一泉同窓会事務局長、張江　啓泉丘高等学校長
劈頭、故英一泉同窓会名誉会長の霊に一同黙祷を捧げ、冥福を祈った。
・加能人誌Ｓ43.10月号より

関東一泉同窓会
総会と懇親会

第十一回関東一泉同窓会は、去る九月二十七日午後六時より東京目黒雅叙園観光ホテルにて開かれ、明治三十八年生れの大先輩より最近の泉丘卒業生等百三十有余名が参集、近年稀なる盛況を呈した。

吉野幹事司会、劈頭先般死去の故英名誉会長の霊に対し一同黙祷、その冥福を祈るついで母校張江校長の学校一般情況報告、宮一泉同窓会長及び新参議院議員和田静夫氏の挨拶、最年長牧野喜太郎氏(八十二才)の発声にて乾盃し、互いに健康と母校の発展を祝し、宴に入る。旧友知己、卓を囲んで久濶を叙し、談論風発、和気堂に満つ、テーブルスピーチに入り、八田工学博士、鏑木理学博士、浦元防衛幕僚長等各期代表の所感発表あり、殊に数名の女子会員の発言は同窓会近来になき異彩を放つ。

終って若き血をもる会員の音頭にて校歌応援団歌を合唱、往年の意気を偲ぶ。最後に元海軍中将中堂観恵氏の発声にて金沢一中、泉丘高校の万才を三唱、再会を約して八時半散会した。(吉野勝太郎氏報)

ゲスト　張江　啓　宮太郎　四井謙次

会員　牧野喜太郎（明38卒）
八田四郎次　中堂観恵　吉野勝太郎　近岡孝吉　松田政平　中条清勝　白川孝三　柴山威則　黒田重治　鏑木政岐　村尾金二　竹田東洋雄　木村桂二　高口啓　島崎康通　世良田健一　吉岡峻一　清水俊雄　赤井直恭　吉田直茂　下村節義　武藤文雄　柴田喬　中川政雄　米本正（以上大正卒）
梅田達男　浦　茂　安江四郎　伊藤春夫　西出大三　木原慎三　谷内　上　上野一男　内田淳一郎　松本順　鳥居忍　久保田全俊　山田謙造　辻　永徳　鴻野五八　坂部重之　中谷郁夫　石田勝雄　山中一意　荒木直繁　岡本勇作　八木田喜良　荒川宏　桂木鉄夫　駿河敬次郎　金原経　森　忠吉　吉田喜市　池　保　中島太治　納賀節二　深見信一　平原豊穂　寺田　猛　松浦秀一　浅川美来　石川　治　岡本　実　和田静夫　菅野卓郎　卯西喜久次　深田幸雄　小原明　五反田良精　富沢一夫（以上昭和戦前、以下戦後卒業）
宮川隆泰　岡本　俊　中村喜三郎　改田　守　楽満一輝　中上　正　丹羽靖一郎　長林　茂　白尾　惇　中野達也　亀田千代造　長村雅紘　糸多宗人　村上　満　平野　明　今井　弘　申田文子　高岡　歩　松田耀子　吉岡弘泰　池屋敏雄　徳田修二　篠木俊明　前田フサ子　白尾三樹　織田浩治　藤森　宏　中川外司　山城一夫　定木正人　清水博行　藤沢経子　奥野康雄　高坂要子　竹田　浩　小林二郎　吉村外茂勝　渡辺　拓　額谷忠彦　岡田喜昭

（加能人誌Ｓ43.10月号）

昭和43年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
宮太郎一泉同窓会会長、四井謙次同事務局長
張江啓金沢泉丘高等学校長

一中　94名
(一中12)　牧野喜太郎
(一中15)　納賀雅友
(一中17)　酒井忠治郎
(一中20)　八田四郎次
(一中21)　中堂観恵
(一中22)　吉野勝太郎
(一中25)　松田政平
(一中26)　奥田善通
(一中27)　白川孝三、黒田重治、亀田外、鏑木政岐、吉岡峻一
(一中29)　村尾金二、竹田東洋雄、木村珪二、高口啓、押村孫二
(一中30)　世良田健一、島崎康通
(一中31)　清水俊雄
(一中32)　赤井直恭、吉田直茂、下村節義、柴田喬
(一中33)　中川政雄、米本正
(一中34)　梅田達男、浦茂
(一中35)　安江四郎
(一中36)　村上四郎
(一中38)　友田正雄、沢田久雄
(一中37)　広瀬道次郎
(一中39)　伊藤春夫、瓜生復男
(一中40)　福田正次郎、谷内上
(一中41)　上野一男、内田淳一郎、吉田一雄、、野田茂
(一中42)　杉谷勇、松本順、古沢英雄、鳥居忍、久保田全俊、山田謙造、辻永徳、鴻野五八
坂部重之、中谷郁夫、石田勝雄
(一中44)　山中一意、荒木直繁
(一中45)　岡本勇作、八木田喜良、荒川宏、桂木鉄夫、駿河敬次郎、金原経、西川浩史、中村八郎
(一中46)　森忠吉、吉田喜市、中島丈治
(一中47)　深見信一、中川智雄
(一中49)　浅川美来、岡本実
(一中50)　川北博、寺田猛
(一中51)　和田静夫
(一中52)　富沢一夫、池野昭二、井上和夫
(一中54)　宮川隆泰、岡本俊、中村喜三郎、楽満一輝、糸多宗人、泉谷勝巳
(一中55)　改田守、丹羽靖一郎
(一中56)　竹内武次、村上満、今井弘、高岡歩、中上正、長林茂、白尾惇、中野達也
(一中57)　亀田千代造、北村好文

泉丘　27名（男22　女５）
(泉丘２)　松田耀子
(泉丘３)　池屋敏雄
(泉丘４)　松田淳、徳田修二
(泉丘５)　篠木俊明
(泉丘６)　辻由美子、北野昭式
(泉丘７)　白尾三樹、織田浩治、前田フサ子
(泉丘８)　小西義昭、藤森宏、三納吉二、中川外司、向献夫、佐々木信憲、山城一夫、定木正人
(泉丘９)　藤沢経子、谷本門、高坂要子、竹田浩
(泉丘11)　吉村外茂樹、小林二郎、渡辺拓
(泉丘12)　額谷忠彦
(泉丘13)　岡田喜昭

この年の国内・海外の主な出来事

昭和44年

1.18､19　東京大学安田講堂に機動隊導入
5.26　東名高速道路全通開通
11.19　佐藤､ニクソン会談で「沖縄1972年返還」決まる
11.30　プロ野球、金田正一投手引退

アポロ11号、人類初の月面着陸（7.20）

1969.9.26(金)
関東一泉同窓会総会
於・目黒雅叙園観光ホテル

約120名出席
金沢から来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、四井謙次一泉同窓会事務局長、
張江　啓泉丘高等学校長
大学在学中の若い会員の発声で校歌、応援歌を歌い盛り上がった。
・加能人誌Ｓ44.11月号より

関東一泉同窓会総会

関東一泉同窓会は九月二十六日午后六時より第十三回総会並びに懇親会を目黒の雅叙園観光ホテルで開催した。

劈頭故英前会長の一周忌に当たり全員黙祷を捧げてその冥福を祈り、次いで吉野常任幹事より明治二十六年金沢一中創立以来正に七十有余年、今春泉丘高校卒業生を交えてここに二万人の会員を有する大同団結を称し、伝統に輝やく母校の隆昌と会員一同の健闘を祝して開会の辞をのべ、次いで張江校長の母校報告に耳を傾け、周囲の情況は必らずしもその伝統のねばりは総ての部面に成果を修めるには至らぬが、その生徒活動の全面によく之が浸透し教育効果を挙げつつある現状を聞き、更に宮同窓会長より母校の各方面は極めて健全なる一途をたどりつつある旨を聞き一同之を祝福し、82才の最高令牧野喜太郎氏(明治38年卒)の発声にて乾杯。それより各自同期卓を囲んで追懐談に花を咲かせつつ盃を交わし、和気あいあい、往年の意気堂に満つ、ついで出席百二十有名交に立って自己紹介、所感をのべ、その間拍手、交歓止むなし、最后に大学在学の若き会員の発声にて一同校歌応援歌のコーラスに入り、老若共に在学時代にかえり快をつくし、最後に八田四郎次氏(大正2年卒)の発声で万才を三唱、再会を約して八時半散会した。

来賓　張江　啓　宮　太郎
出席者　牧野喜太郎　八田四郎次
山本可武　蚊野豊次　郡山義夫　数馬伊三郎
高倉奉朔　藤野　靖　中条清勝　吉野勝太郎
白川孝三　鏑木政岐　黒田重次　高畠吉之助
吉岡峻一　須佐正武　小林重一　世良田健一
太田久雄　谷本義盛　吉田直茂　黒田千吉郎
武藤文雄　柴田　喬　赤井直恭　近藤師家司
伊藤春夫　上野一男　吉田正一　広瀬道次郎
古沢英雄　中谷郁夫　鳥居　忍　内田淳一郎
鴻野五八　辻　永徳　角本良平　古西　一郎
岡本勇作　安田道夫　西川浩史　桂木　鉄夫
小倉弘吉　荒川　宏　金原　経　駿河啓次郎
久間春彦　中村八郎　中川智雄　八木田喜良
中島久雄　清水昭夫　宮沢幸夫　近藤外喜成
酒井忠之　北中久一　浅香喜夫　五反田良精
能谷耕正　辻　良平　宮川隆泰　戸部新十郎
楽満一輝　岡本　佼　白尾　惇　前田フサ子
長森　茂　長森政紘　高岡　歩　佐々木信憲
今井　弘　藤本悦子　竹田　浩　佐々木一博
押村孫二　伊藤栄一　東　与光　吉野秀一郎
三宅　弘　竹下一郎　南　礼次　長谷川　信
糸多宗人　荒木一夫　北野昭式　宮本　宏記
中川外司　小林二郎　越沢克行　永田　正男
中川　進　浅尾広行　山崎俊樹　吉村外茂勝
田上賢三　割出秀樹　土橋重夫　松原悠紀雄
北野昭義　深田　徹　大谷孝弘（吉野氏記）

（加能人誌Ｓ44.11月号）
※文中第十三回とあるが、第十二回の誤り

昭和44年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
宮太郎一泉同窓会会長、四井謙次同事務局長
張江啓金沢泉丘高等学校長

一中　96名
(一中10)　吉田一郎
(一中12)　牧野喜太郎
(一中13)　草鹿任人
(一中15)　納賀雅友
(一中20)　八田四郎次、山本可武、蚊野豊次
(一中21)　郡山義夫、数馬伊三郎
(一中22)　高倉奉朔、藤野靖、前田愛二、吉野勝太郎
(一中25)　中條清勝
(一中26)　小堀保行
(一中27)　白川孝三、鏑木政岐、黒田重治、高畠吉之助、吉岡峻一
(一中29)　山本利行、須佐正武
(一中30)　世良田健一、小林重一、黒田千吉郎
(一中31)　荻野友雄、太田久雄、根岸巌、谷本義盛
(一中32)　下村節義、吉田直茂、柴田喬、赤井直恭
(一中33)　近藤師家司、米本正、武藤文雄
(一中36)　高柳日出臣
(一中37)　広瀬道次郎
(一中38)　沢田久雄
(一中39)　前田弘、伊藤春夫、山本正治
(一中41)　上野一男、内田淳一郎
(一中42)　吉田正一、古沢英雄、中谷郁夫、松本順、氷田作治、鳥居忍、鴻野五八、辻永徳、中谷外作
(一中44)　角本良平、古西一郎
(一中45)　岡本勇作、安田道夫、西川浩史、桂木鉄夫、小倉弘吉、荒川宏、金原経、中村八郎、久間春彦、八木田喜良、駿河敬次郎
(一中46)　納賀節二
(一中47)　中川智雄、池保、藤田三明、中島久雄
(一中49)　五反田良精、菅野卓郎
(一中51)　近藤外喜成、清水昭夫、末松伸一郎、和田静夫、宮沢幸夫、戸部新十郎、室谷与三松、酒井忠之、北中久一
(一中52)　能谷明
(一中54)　辻良平、宮川隆泰、楽満一輝、岡本佼、泉谷勝巳、浅香善夫
(一中55)　竹中道人、改田守、長村雅雄
(一中56)　白尾惇、長林茂
(一中57)　北村好文

泉丘　17名（男15　女２）
(泉丘２)　高岡歩、今井弘
(泉丘３)　藤本悦子
(泉丘７)　前田フサ子
(泉丘８)　佐々木信憲
(泉丘９)　竹田浩
(泉丘10)　中川進、大谷孝弘
(泉丘11)　浅尾広行、佐々木一博、吉村外茂勝、松原悠紀雄
(泉丘20)　山崎俊樹、田上賢三、割出秀樹、土橋重夫
(泉丘21)　深田徹

この年の国内・海外の主な出来事

昭和45年

2.11　国産は初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功
3.14　日本万国博覧会、大阪・千里ケ丘で開会
3.31　日航機「よど号」赤軍派学生ら9人がハイジャック
8.2　東京・銀座などで「歩行者天国」始まる
11.25　三島由紀夫事件、三島と楯の会1人割腹自殺

1970.9.21(月)
関東一泉同窓会総会
於・目黒雅叙園観光ホテル

約80名出席
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、張江　啓泉丘高等学校長
上京中の中川善之助金沢大学学長、別川悠紀夫、坂本三十次議員ら挨拶
出席者は、金沢土産のどじょうの蒲焼に舌鼓をうつ。

・加能人誌Ｓ45.10月号より

関東一泉同窓会の集い

第13回関東一泉同窓会が九月二十一日夕六時から東京目黒の雅叙園観光ホテルで八十有余名の会員出席の上盛大に開かれた。

先ず吉野幹事(大4卒)が開会宣し、80年に垂んとする母校の輝やかしき歴史と伝統に深き思慕の情を共にする同窓会員相会し永久に隆盛発展を継承する母校を中心に誇りと喜びを感ずる本会の意義をのべ、併せて全国各地に現在活躍する会員の近況の一端を報じて、その健闘を祈った。

ついで郷里からかけつけた一泉同窓会長宮太郎氏(昭14卒)が、母校並びに同窓会の近況を報告し、一同相共にその健全な発展を祝福。次に幸い上京中の金大学長中川善之助氏(大4卒)及び衆議院議員別川悠紀夫氏(昭11卒)同坂本三十次氏(昭15卒)の挨拶のあと、最年長の吉田一郎氏（85才、明36卒）の音頭で乾盃し、各自卓を囲んで久濶を慰し、金沢土産どじょうの蒲焼に舌鼓をうちつつ懐旧談に花を咲かせた。

宴酣の頃、長老草鹿任一氏（84才、明38卒）はじめ押村孫二氏(大11卒)瓜生順良氏(大13卒)浦茂氏(昭2卒)吉田正一氏(昭10卒)古西一郎(昭12)ら一中出身者、泉丘高校出身の今井弘氏(昭25卒)北野昭式氏(昭29卒)前田フサ子氏(同)徳田修二氏(昭27卒)らの所感発表あり、最後に一同校歌、応援団歌を声高らかに唱和し、牧野喜太郎氏(明38卒)の発声で同窓会の万才を高らかに三唱し、名残りを惜しみつつ八時散会した。（吉野氏報）

当日の出席者は前記の外、次の通り

蚊野豊次　八田四郎次　郡山義夫　近岡孝吉
中条清勝　吉野勝太郎　松田政平　小堀保行
白川孝三　高畠吉之助　鏑木政岐　吉岡峻一
西野常男　世良田健一　黒田重治　村尾金二
木村珪二　黒田千吉郎　小林重一　荻野友雄
吉田直茂　富柳日出臣　下村節義　赤井直恭
米本　正　浅田賢造　小松勇作　鳥居　忍
氷田作治　山田謙造　堀　義雄　中谷郁夫
浅井利一　吉野秀一郎　山中一憲　中村八郎
金原　経　石崎皓三　森　忠吉　納賀節二
菅野孝夫　中島久雄　藤田三明　池　保
直江　悟　伊藤栄一　西　久夫　辻　良平
岡本　俊　泉谷勝己　長林　茂　白尾　惇
荒木一夫　中野達也　松岡耀子　藤本悦子
宮本　毅　丸山雅正　吉野　修　中川外司

（加能人誌Ｓ45.10月号）

昭和45年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（２名）
宮太郎一泉同窓会会長
張江啓金沢泉丘高等学校長

一中　68名
(一中10)　吉田一郎
(一中12)　牧野喜太郎
(一中13)　草鹿任人
(一中15)　納賀雅友
(一中20)　蚊野豊次、八田四郎次
(一中21)　郡山義夫
(一中22)　中川善之助、近岡孝吉、吉野勝太郎
(一中25)　中条清勝、松田政平
(一中26)　小堀保行、奥田善通
(一中27)　白川孝三、吉岡峻一、高畠吉之助、鏑木政岐、西野常男、黒田重治
(一中29)　村尾金二、木村珪二、押村孫二
(一中30)　世良田健一、黒田千吉郎、小林重一
(一中31)　荻野友雄、瓜生順良
(一中32)　吉田直茂、下村節義、赤井直恭
(一中33)　米本正、中川政雄
(一中34)　浦茂、浅田賢造
(一中36)　高柳日出臣
(一中38)　小松勇作、沢田久雄
(一中39)　前田弘
(一中42)　鳥居忍、氷田作治、鴻野五八、堀義雄、山田謙造、吉田正一、中谷郁夫
(一中43)　別川悠紀夫、義江駿
(一中44)　佐藤博、山中一意、古西一郎、吉野秀一郎
(一中45)　中村八郎、金原経、久間春彦、駿河敬次郎
(一中46)　森忠吉、菅野孝夫
(一中47)　坂本三十次、中島久雄、藤田三明
(一中49)　直江悟、浅川美来、五反田良精
(一中51)　伊藤栄一
(一中52)　能谷明
(一中54)　辻良平、岡本俊、泉谷勝巳

泉丘　15名（男13　女２）
(泉丘２)　白尾惇、山本審、荒木一夫、今井弘
(泉丘３)　藤本悦子
(泉丘４)　徳田修二
(泉丘６)　北野昭式
(泉丘７)　前田フサ子
(泉丘８)　吉野修、中川外司、宮本毅、徳光金明、田村利雄
(泉丘11)　佐々木一博

この年の国内・海外の主な出来事

昭和46年

5.14　婦女8人連続殺人容疑で大久保清逮捕
6.27　第9回参院選、初のテレビ政見放送開始
7.1　環境庁が発足

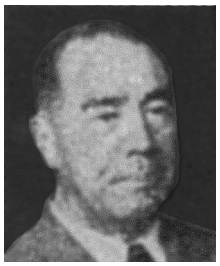
エジプトのアスワン・ハイ・ダムが完工式
国連総会、中国の国連復帰を決定

1971.9.21(火)

関東一泉同窓会総会（第14回）

於・目黒雅叙園観光ホテル

60余名出席
金沢より来賓　吉田長久（一中30）石川県議会議長
納賀雅友関東一泉同窓会会長逝去（4月26日・享年81）。
新会長に安田幾久男氏（日本軽金属KK前社長・一中25）、副会長に鏑木政岐氏（国学院大学教授・一中27）就任。
・加能人誌S46.10月号より



安田幾久男 第二代会長

安田幾久男氏略歴
金沢一中（大7・一中25）、東大（工）卒。日本軽金属㈱前社長・相談役（昭和46年当時）。
昭和46年、第二代関東一泉同窓会長に就任。

関東一泉同窓会総会

新会長に安田幾久男氏

関東一泉同窓会は九月二十一日午後六時から、東京目黒の雅叙園観光ホテルで第十四回総会を開いた。

明治39年卒業の大先輩草鹿任一氏ほか会員六十余名が出席、劈頭故納賀雅友前会長の冥福を祈り全員黙祷を捧げてから議事に入り、先ず欠員の新会長に安田幾久男氏（大7卒、日本軽金属前社長）を満場一致で選任のあと、副会長に国学院大学教授鏑木政岐氏（大9卒）の選任も満場一致で決定、両氏より就任あいさつがあり、心気一新全員協力して本会並びに母校の発展に寄与せんとの決意が示され、全員拍手をもって之に賛し和気満堂に満つ。

ついで金沢より来会の石川県議長吉田長久氏（大14卒）のあいさつのあと草鹿大先輩（85才）の音頭で一同の健康隆昌を祝して乾盃、それより追憶に、快談に、往時を偲んで談笑の時を過ごし、最後に泉丘校歌、金沢一中校歌及び応援団歌の合唱に若き日の意気を示し、鏑木副会長の発声で関東一泉同窓会の万才を三唱し、再会を約して解散した。（写真は安田新会長、吉野氏報）

出席者　草鹿任一　蚊野豊次　八田四郎次　郡山義夫　吉野勝太郎　松田政平　宮川隆正　安田幾久男　小堀保行　黒田重治　鏑木政岐　柴山威則　柴山夫人　吉岡峻一　白川孝三　高畠吉之助　西野常男　吉田長久　島崎康通　黒田千吉郎　瓜生順良　吉田直茂　下村節義　米本正　浦茂　安原二郎　有田化成工　杉田正　山岸智十郎　上野一男　関暢　辻永徳　氷田作治　吉田正一　鳥居忍　堀義雄　中谷郁夫　古沢英雄　吉野秀一郎　八木田喜良　桂木鉄夫　岡本勇作　高木寛　金原経　寺尾誠介　中村八郎　納賀節二　中島久雄　大島金治　奥田敬和　山本武夫　能谷耕正　宮川隆泰　高尾明弘　浅香善夫　岡本俊　荒木一夫　徳田修二　野本正作　前田フサ子　竹田浩　吉田昌兼　加藤義裕　清水敏幸

（加能人誌S46.10月号）

昭和46年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（1名）
吉田長久（一中30）県議会議長

一中　67名
（一中10）　吉田一郎
（一中13）　草鹿任一
（一中20）　蚊野豊次、八田四郎次
（一中21）　郡山義夫
（一中22）　中川善之助、吉野勝太郎
（一中25）　安田幾久男、松田政平、宮川隆正
（一中26）　小堀保行
（一中27）　黒田重治、鏑木政岐、柴山威則、吉岡峻一、白川孝三、高畠吉之助、西野常男
（一中30）　黒田千吉郎、小林重一、島崎康通
（一中31）　瓜生順良、清水俊雄
（一中32）　吉田直茂、下村節義
（一中33）　米本正
（一中34）　浦茂
（一中38）　安原二郎
（一中39）　西出大三
（一中41）　南丁巳知、杉田正、山岸智十郎、上野一男
（一中42）　辻永徳、氷田作治、吉田正一、鳥居忍、堀義雄、中谷郁夫、山田謙造、鴻野五八
（一中43）　別川悠紀夫
（一中44）　吉野秀一郎
（一中45）　桂木鉄夫、安田道夫、岡本勇作、高木寛、金原経、西川浩史、寺尾誠介、中村八郎、八木田喜良
（一中46）　有田元広、菅野孝夫、森忠吉
（一中47）　中島久雄、中川智雄、太島金治
（一中49）　五反田良精
（一中52）　奥田敬和、松田利三、井土清、山本武夫、渡辺治朗
（一中54）　宮川隆泰、浅香善夫、岡本俊

泉丘　6名（男6　女0）
（泉丘2）　荒木一夫
（泉丘6）　野本正作（旧姓湊）
（泉丘8）　中川外司
（泉丘9）　竹田浩
（泉丘14）　吉田昌兼
（泉丘19）　加藤義裕

昭和47年
1972

この年の国内・海外の主な出来事

1.24　グアム島で元日本兵の横井庄一さん発見
2.17　妙義山中で連合赤軍の最高幹部・永田洋子、森恒夫逮捕
2.19　浅間山荘事件
5.15　沖縄施政権返還、沖縄県発足
7.7　第一次田中内閣成立

開催時期・会場等不明★出席予定者リスト等資料見当たらず

（加能人誌　昭和47年９、10、11月号にも記事なし）

# 昭和48年
1973.9.21(金)

この年の国内・海外の主な出来事

4.14　プロ野球パ・リーグが２シーズン制に
8.8　金大中拉致事件
9.29　筑波大設置決まる(東京教育大廃止)
10.22　巨人がプロ野球9連覇達成
ウォーターゲート事件

関東一泉同窓会総会
（第16回）
於・目黒雅叙園観光ホテル

約100名出席
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、張江　啓泉丘高等学校長
母校創立80周年記念と銘うって開かれた。
金沢名物どじょうの蒲焼を味わい、先輩、後輩のスピーチ、女性会員合同の校歌コーラスで和やかに盛り上がった。
司会・鏑木政岐副会長

・加能人誌Ｓ48.10月号、本部資料・第16回出席者リストより

◎昭和48年３月　母校創立80周年

関東一泉同窓会が

母校80周年記念同窓会

関東一泉同窓会は九月二十一日午後六時から、東京・目黒の雅叙園で第16回総会並びに懇親会を母校創立80周年記念と銘うって開催した。

明治36年卒業の吉田一郎大先輩(八七)始め20才台の若い会員も多数ふくめて会員約百名が参集し、若やいだ雰囲気の中に記念撮影して開会、鏑木副会長司会の下に日軽金相談役の本会会長安田幾久男氏が開会のあいさつ、次いで金沢より出席の宮一郎本部一泉同窓会長が母校及び本会の現状を報告併せて十月十五日を期して行なわれる母校80周年記念事業につき説明と協力依頼と将来の発展に更に邁進せんとの決意を示され全員の拍手と賛意をうけた。続いて吉田先輩の力強い音頭で一同その健康と発展を祝して乾盃ののち開宴となった。

金沢名物どじょうのかば焼にふるさとの味を心ゆくまでかみしめ、宴たけなわのころ、瓜生順良氏、浦茂氏、坂本三十次氏ほか若い人々からもテーブルスピーチ、女性会員合同の校歌コーラス等あり、和やかな気分を盛りあげた。最後に全員の雲に聳ゆるの応援団歌合唱ののち、松田政平氏の音頭で万才を三唱、再会を約して八時散会した。（吉野幹事報）

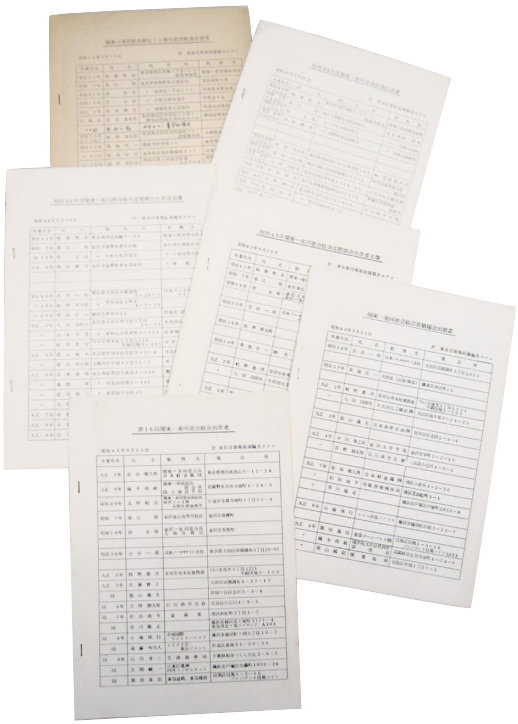
出席者　安田幾久男　鏑木政岐　北野昭式
宮　太郎　吉田一郎　蚊野豊次　吉野勝太郎
近岡孝吉　松田政平　宮川隆正　小堀保行
遠藤外与人　白川孝三　吉岡峻一　黒田重治
村尾金二　押村孫二　小林重一　瓜生順良
吉田直茂　下村節義　米本　正　浦　茂
高柳日出臣　黒田千吉郎　小松勇作　伊藤直之
杉田　正　南丁巳知　山岸智十郎　雄谷重夫
鴻野五八　堀　義雄　久保木信夫　池田　稔
吉野秀一郎　金原経　西川浩史　中村八郎
寺尾誠介　岡本勇作　大西正治　老田他四郎
坂本三十次　藤田三明　島村　貢　富沢一夫
奥田敬和　能谷　明　泉谷勝巳　川久保昇
岡本　佼　宮川隆泰　氷田正男　高岡　歩
松田耀子　新藤安子　今井　弘　篠原誠子
中島フミ子　赤岡淳子　山崎良子　髭和子
土屋京子　木村博子　長沢光男　上田広次
沼田清一郎　徳田修二　桝本洋子　首藤くに
丸山美代子　高波克子　氷見正久　沼田武二郎
向田タミ子　生垣　中　宮本　毅　定木正人
中川外司　森田幸子　大西和子　小林喜代江
山県悦子　稲宮きみ　岡田京子　住駒明弘
高山美恵子　川本悦子　長谷川栄

（加能人誌Ｓ48.10月号）

第１６回関東一泉同窓会総会出席者

昭和４８年９月２１日　　於 東京目黒雅叙園観光ホテル

卒業年次	氏　名	勤務先	現住所
大正　7年	安田幾久男		
大正　9年	鏑木政岐		
昭和２９年	北野昭式		
昭和　7年	張江啓		
昭和１４年	宮太郎		
明治３６年	吉田一郎		
大正　2年	蚊野豊次		
大正　3年	佐藤賢了		
同	郡山義夫		
同　4年	吉野勝太郎		
同　7年	松田政平		
同	宮川隆正		
同　8年	小堀保行		
同	遠藤外与人		
同	白川孝三		
同	吉岡峻一		
同	黒田重治		



昭和42～48年度の出席者（予定）リスト

（本部資料）※手書き文字は原文のまま

昭和48年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（２名）
宮太郎一泉同窓会会長
張江啓金沢泉丘高等学校長

一中　67名
（一中10）　吉田一郎
（一中20）　蚊野豊次
（一中21）　佐藤賢了、郡山義夫
（一中22）　吉野勝太郎
（一中25）　松田政平、宮川隆正、安田幾久男
（一中26）　小堀保行、遠藤外与人
（一中27）　白川孝三、吉岡峻一、黒田重治、鏑木政岐
（一中29）　村尾金二、押村孫二
（一中30）　小林重一、世良田健一、黒田千吉郎
（一中31）　瓜生順良、谷本義盛
（一中32）　吉田直茂、下村節義
（一中33）　米本正
（一中34）　浦茂
（一中35）　牛塚藤雄、高柳元臣
（一中36）　高柳日出臣
（一中38）　安原二郎、小松勇作
（一中39）　前田弘、伊藤直之
（一中41）　杉田正、南丁巳知、山岸智十郎
（一中42）　雄谷重夫、鴻野五八、堀義雄、中谷郁夫、山田謙造、久保木信夫、辻永徳
（一中44）　池田稔、吉野秀一郎
（一中45）　桂木鉄夫、金原経、西川浩史、中村八郎、駿河敬次郎、隅谷正峯、寺尾誠介、岡本勇作
（一中46）　大西正治
（一中47）　老田他四郎、中島久雄、中川智雄、中島章、藤田三明
（一中52）　奥田敬和、能谷明、泉和男
（一中54）　泉谷勝巳、川久保昇、浅香善夫、岡本佼、井上韶久、氷田正男

泉丘　19名（男８　女11）
（泉丘２）　高岡歩、松田耀子、新藤安子、荒木一夫、今井弘、篠原誠子、中島英美子
（泉丘４）　赤岡淳子、山崎良子、髭和子、土屋京子、長沢光男、上田広次、沼田清一郎、徳田修二、幸村鹿子、桝本洋子、首藤くに
（泉丘６）　北野昭式

この年の国内・海外の主な出来事

2.26　フィリピン・ルバング島で元日本兵・小野田少尉発見
5.24　土光敏夫、経団連会長就任
8.30　東京・丸の内、三菱重工本社前で時限爆弾爆発
10.8　佐藤前首相、74年度ノーベル平和賞受賞決定
11.26　田中首相辞意、12.9三木内閣成立

オランダ・ハーグ事件

昭和49年

1974.9.25(水)

関東一泉同窓会総会
（第17回）
於・目黒雅叙園観光ホテル

90余名出席
金沢より来賓　石崎皎三氏（宮一泉同窓会会長代理）
宴半ばに、出席男女会員による感想や思い出の発表があった。
司会・鏑木政岐副会長
・加能人誌Ｓ49.11月号より

関東一泉同窓会が総会

創立八十年の伝統をつぐ元金沢一中及び泉丘高校出身者による関東一泉同窓会は、秋晴れの九月二十五日午後六時から、東京目黒の雅叙園観光ホテルで第十七回総会を開いた。

当日は大先輩の明治36年卒業の吉田一郎氏(八八、日本パーオキサイド)はじめ佐藤賢了、中川善之助、黒田重治、根岸巌、浦茂牛塚藤雄氏ら諸先輩及び泉丘高出身、少壮気鋭の防大生など九十有余名参集、国土建設学院長鏑木政岐副会長の司会で始まり、安田幾久男会長のあいさつ、金沢本部より来会の宮太郎同窓会長代理石崎皎三氏の母校及び同窓会近況報告を聞いたあと、吉田大先輩の音頭で乾盃して開宴、金沢よりのどじょうの蒲焼に舌鼓をうちながら、旧友互いに卓を囲み、盃を交わし談笑感激を共にし、宴半ばごろ前記先輩各位並びに泉丘高出身の男女会員から感想や思い出の発表あり、宴たけなわなるや校歌、応援歌のコーラスが流れ、在校時代の和やかな桜咲く校庭の雰囲気を再現して懐旧の情やみがたく、名残りつきぬうち最後に白川孝三氏の発声で会の万才を三唱して八時閉会した。

出席者　吉田一郎　蚊野豊次　佐藤賢了
中川善之助　近岡孝吉　藤野靖　吉野勝太郎
安田幾久男　松田政平　宮川隆正　小堀保行
遠藤外与人　鏑木政岐　黒田重治　西野常男
白川孝三　吉岡峻一　押村孫二　村尾金二
小林重一　黒田千吉郎　吉田直茂　根岸　巌
下村節義　浦　茂　浅田賢造　牛塚藤雄
南丁巳知　杉田正　山岸智十郎　中谷郁夫
古沢英雄　山田謙造　鴻野五八　辻　永徳
浅井利一　石崎皓三　西川浩史　寺尾誠介
金原　経　安田道夫　中村八郎　西　久夫
能谷耕正　泉　和男　山本武夫　宮川隆泰
永田正男　岡本　佼　楽満一輝　泉谷勝巳
奥田光夫　多田春夫　長林　茂　土田淑子
能勢和夫　寺田久義　武藤文雄　今井　弘
松田耀子　宮　子章　竹田　孝　山本　蕃
池田　穣　白尾　淳　篠原誠子　向田タミ子
長沢光男　上田広次　幸村鹿子　川本悦子
沼田武二郎　能勢三津子　北野昭式　沢靖子
岡田八重子　辻　克彦　安生武史　福島　徹
沼田清一郎　政岡君子　三村雅子　河原　勇
加藤順子　野口美智代　高野　章　森井　博
中山幸夫　福田武城　中西　健　村中　肇
高田和行（吉野幹事報）

（加能人誌Ｓ49.11月号）
※関東一泉の保管資料に出席者（予定者）リスト見当たらず。

この年の国内・海外の主な出来事

5.7　エリザベス女王来日
5.16　日本女子登山隊が女性初のエベレスト登頂に成功
6.3　佐藤元首相没(74)
7.19　沖縄海洋博開幕
8.4　日本赤軍が大使館占拠で超法規的措置
9.30　天皇皇后両陛下、初訪米に出発

サイゴン陥落でベトナム戦争終結

昭和50年

1975.9.17(水)

関東一泉同窓会総会（第18回）

於・目黒雅叙園観光ホテル

約100名出席
金沢より来賓　宮 太郎一泉同窓会会長(代理の方出席)、松岡正信泉丘高等学校長
90歳の吉田一郎氏から20代の大学生も参加。
会の劈頭、常連大先輩・森島守人、佐藤賢了、中川善之助氏の冥福を祈り黙祷を捧げた。・加能人誌Ｓ50.10月号より

関東一泉(金沢一中)同窓会が総会

関東一泉同窓会の第十八回総会は九月十七日、東京・目黒の雅叙園観光ホテルで行われ、90才の大先輩吉田一郎氏(明36卒)はじめ、20代の大学生も交え会員約百名が参集して盛大だった。

劈頭昨年までの常連大先輩森島守人（大2卒）佐藤賢了(大3)中川善之助(大4)三氏の冥福を祈って黙禱を捧げ、安田幾久男会長(大7)が開会のあいさつのあと、松岡正信泉丘高校長、宮太郎一泉同窓会長代理三郎裕両氏から母校の現状報告に併せて九月二十日、大体育館完成が報告され、吉田大先輩の力強い音頭で乾杯して宴に入り、金沢市よりのどじょうの蒲焼きの香りを賞味しながら往時を追想し、盃を重ね、宴半ばに郡山義夫、瓜生順良、浦茂、安田道夫瓜生復男、奥田敬和氏らほか各期代表交々所感を発表し。更に女子出席者一同のコーラス、さては雲に聳ゆる……。見はるかす加賀の野に……。混頓の闇貫きて……等々応援歌の合唱に場内和気あいあい、あの桜咲く校庭の若人の青春にかえり、最後に宮川隆正氏(大7)の発声で万才を唱和し、再会を約して別れた。（吉野勝太郎氏報）

出席者は前出のほか次の各氏。（順不同）

鏑木政岐　松岡正信　吉本　明　北野昭式
蚊野豊次　藤野　靖　松田政平　小堀保行
高野与作　遠藤外与人　黒田重治　松崎英丸
野崎与五郎　有田秀男　安原二郎　伊藤春夫
近藤師家男　堀義雄　小俣外世雄　鴻野五八
吉田正一　古沢英雄　荒木直繁　内田淳一郎
辻永徳　嶋村隆　金原経　能谷明　岡本佼
中谷郁夫　中条清勝　吉田喜市　藤田三明
宮川隆泰　楽満一輝　泉谷勝巳　竹田東洋雄
北　俊成　中山正敏　小松勇作　徳田外勇
藤岡昇　関良治　宮子章　白尾惇　村上満
中山幸夫　氷田正男　押村孫二　沼田清一郎
上田広次　川本悦子　中村慶子　浅田三郎
坂部重之　向田タミ子　山下英明　松田耀子
野村正作　野口美智代　中島久寿　蜷川俊則
米島誠二　金藤雄三　篠原誠子　田口裕子
徳田修二　高浪克子　東中修司　小杉隆一
高野章　森井博　西野亘　蔵敏則　島進一
西村善二　松田伸裕　小林加世子　宮崎真
林　荒山　吉田

（加能人誌Ｓ50.10月号）
※関東一泉の保管資料に出席者（予定者）リスト見当たらず。

昭和51年 1976

総会は開催されなかった

この年の国内・海外の主な出来事

2.16	ロッキード事件で衆院予算委、小佐野賢治らを証人喚問	コンコルド初めて乗客を乗せて飛行
3.4	児玉誉士夫脱税で起訴	
3.23	前俳優の前野光保が軽飛行機で児玉誉士夫宅へ自爆、死亡	
7.27	ロ事件で田中角栄前首相、榎本秘書とともに逮捕	
9.6	ソ連ミグ25戦闘機、函館空港へ強行着陸	

昭和52年 1977

総会は開催されなかった

この年の国内・海外の主な出来事

4.29	東海大・山下泰裕が全日本柔道選手権で初優勝
6.1	たばこ「マイルドセブン」発売
6.12	樋口久子、全米女子プロゴルフ選手権で日本人初の優勝
7.14	日本初の静止気象衛星「ひまわり」ケープカナベルから打ち上げ
9.3	王貞治、ハンク・アーロンの記録を破る756号本塁打の記録樹立

★下記の本部資料「昭和54年の関東一泉同窓会参加呼びかけ」の文章の中に、昨年（昭和53年）12月８日３年振りの　とあって、昭和51、52年開催されなかったことが判明。

関東一泉同窓会の皆さん，お元気ですか

去年12月８日３年振りの関東一泉同窓会は予想を上回る三百名近くの出席者をえて，盛大に開催されました。

この事は郷土・北国新聞にも大きく報道されましたほか，ふるさとの雑誌「加能人」にも喧伝された通り，石川県関係の各種の在京同窓会の中でも最高の組織となりました事を心から祝福致します。

その後欠席の方からも「残念だった次回は参加する」との嬉しいお便りが五百余通も寄せられ，今後が大いに楽しみであります。

先日来各卒業期の幹事の方にご参集戴き色々なご意見をまとめ本年度総会を次の通り決定致しました。

秋は何かと行事多き時，ご多忙とは存じますが年に一回の大会を昨年にもまして盛況であることを期待して，幹事一同一生懸命努めますので会員の皆様是非万障繰合わせご出席賜りますようお願い申し上げます。

昭和54年９月

関東一泉同窓会幹事一同

同　窓　会　長　鏑木政岐先生

石川県学生寮長　中村俊貞先生

年卒実行委員

会　場　ご　案　内

神宮の森に囲まれた静かな場所です。

百年近い歴史ある建物が新築されました。

●国電／信濃町駅より徒歩７分・千駄ヶ谷駅より徒歩７分
●地下鉄銀座線／青山１丁目駅より徒歩７分・外苑前駅より徒歩５分

一泉本部資料　S54.9発行

昭和53年

4.4　キャンディーズ最終公演
4.6　超高層ビル｛サンシャイン60｝開館
5.20　成田空港開港
6.12　宮城県沖地震
8.10　日中平和友好条約調印
10.12　プロ球団｛西武ライオンズ｝誕生

1978.12.8(金)

関東一泉同窓会総会

於・目黒雅叙園観光ホテル

約300名出席
世話をされていた吉野先生が倒れられて以来、書類を保管していたロッカーのカギが行方不明となっていたが、見つかり3年ぶりに総会が開催された。

安田会長逝去。吉野勝太郎氏（53年1月8日享年84）も。
新会長に、鏑木政岐氏選ばれる。
金沢から来賓　小川忠男一泉同窓会副会長、西多外喜次本部事務局長、出野秀二恩師　　司会・北山雅義氏（一中55期）

・加能人誌S53.12月、54.1月号より

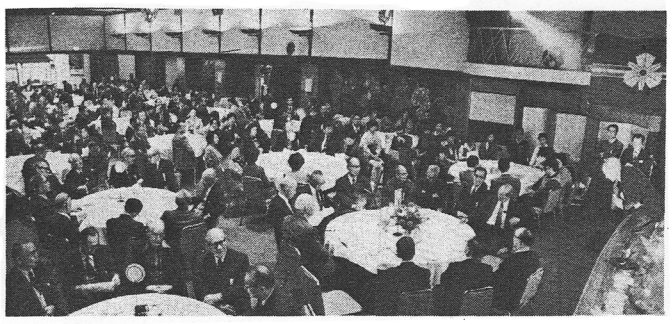
鏑木政岐 第三代会長

鏑木政岐氏略歴
金沢一中（大9・一中27）、東大（理）卒。国土建設学院院長（昭和53年当時）。昭和53年、第三代関東一泉同窓会長に就任。
昭和62年12月逝去。

関東一泉同窓会

十二月八日、東京目黒の雅叙園観光で約二百五十名出席の下に本年度総会を盛大に開いた。泉丘高ＯＢの婦人会員が約六十名も参加するなど泉丘高ＯＢが多数を占め、金沢一中もだんだん遠くなってゆく感じ。（詳細次号）

（加能人誌S53.12月号）



関東一泉同窓会総会

関東一泉同窓会は十二月八日午後六時から、東京・目黒の雅叙園観光ホテルで三年ぶりの同窓会総会を開いた。

北山雅義氏の司会で開会、鏑木政岐世話人代表が「三年前の会合二カ月後、会の世話をされてきた吉野先生がたおれられ、書類がロッカーにカギをかけられたままとなり、今年になってこのカギが見つかり、若い人たちの熱心な準備で今日の開催となった」とあいさつ、安田幾久男会長ら物故者に黙禱を捧げたのち、新会長に鏑木氏を選任して懇親宴に移った。

金沢の本部からかけつけた小川忠男副会長、出野秀二恩師（30回）西多外喜次事務局長らが祝辞をのべ、各期テーブル毎に記念写真をとったり、段上で歌ったり、泉丘ＯＢの女性も多く出席して花やかな雰囲気をもりあげ、八時二十分大正時代応援団長だった黒田重治氏の万歳音唱を高らかに唱和して散会した。

（出席者）（明36年卒～大15年卒）吉田一郎　郡山義夫　松田政平　小堀保行　鏑木政岐　西野常夫　松山広夫　黒田重治　白川孝三　柴山威則　島崎康通　林錬策　黒田千吉郎　出野良二　山本直一　粟田添星　小林重一　瓜生順良　瓜生留雄　柴田喬　野崎与五郎　下村節義　相馬克己　橋郁雄　寺島克次郎　赤井直添　安藤憲雄　春日力　北村道四郎　林俊孝　近藤師家司　高田小市　鍋谷太喜雄　安田俊雄　山田義孝　村上外雄　柳瀬芳意　大島金次　（昭和卒）大沢錠二　福田重一　斉藤季夫　村上四郎　松本三郎　竹下五久男　田向丁吉　卯西外次　松岡貞和　近藤師家男　中村俊貞　黒田辰夫　前田睦　西多外喜次　青戸泰賢　沢田久雄　本田泰　伊藤直之　幸村博敏　前田弘　長井洞　南重孝　杉田正　橋本正之　関觴　島村隆　中谷郁夫　中側尚英　浅井利一　荒木端茂　山口九郎　西川浩史　安田道夫　中村八郎　益谷一夫　金原経　山田国雄　山本周三　森忠吉　村井又兵衛　松本豊次　岩脇音次　奥田敬和　中川智雄　鉾田太郎　中川智雄　中村達　中村健三　多田安夫　吉村久光　林威　卯西喜久次　小川忠男　吉本幸弘　河島正康　川北博　河島正康　北村尚善　松江重隆　山上正雄　松田利三　山本武夫　塚岸昭二　南礼次　能谷耕正　足立仁一　井上和夫　改田尚三　中野達雄　東幸雄　近藤修　山本良之助　外田正男　辻良平　糸多崇人　岡本俊　宮川隆泰　丸山一郎　四谷輝夫　奥田光夫　中村喜三郎　山本周三　林永　若松嘉之　鶴屋一郎　平松健治　小堀和哉　中島義順　大桑啓仁　北山雅義　石橋雄二　寺田久義　大西章　卯西　多田安夫　関甲一　絹川洋　吉村久光　五反田良精　市橋昌利　三輪英一　（泉丘高）荒木一夫　岩木羊子　別所美智子　田中昭久　岡田理子　新藤安子　宮子章　沢井雄志　篠原誠子　大麗子　牧野喜美男　松田耀子　竹田孝　今井弘　荒瀬俊雄　土田栄作　石塚治子　降矢礼子　中島玲子　古村澄一　紺清伸一　西博子　中川三砂子　藤本悦子　石橋英夫　原茂男　高山美恵子　徳田修二　川本悦子　二口善乃　亀井雅子　住駒明弘　幸村鹿子　高崎絢子　伊藤正　高浪克子　下川敏子　浅田昭子　柴田律子　武田宏一　古谷綾子　岩本渉　山田小枝子　川村隆一　三村雅子　中村慶子　沼田武二郎　岩本史郎　土田淑子　沢靖子　政岡喜美子　成清治道　大塚容子　田村町枝　神野秀　北野昭式　吉川隆子　野本正作　高西健夫　昇塚清臣　畦地洋子　杉村亨　河村外喜子　清水美雪　渡辺利子　岩上正　前田フサ子　加藤嘉久　池田禎一　兼田泉　坂井外代子　清水弘勝　番井幸夫　宮本毅　瀬尾外代美　岡田紘美　岡野光子　井上康子　天日雄三郎　藤沢好一　市川成一　小倉捷良　加藤順子　辰巳勇三　徳光直美　柳瀬芳意　大谷孝弘　米本正　南桂子　松本弘　白崎晃　岡本章　額谷忠彦　笠間晴隆　森信義　新井祝子　森崎勝也　岩倉誠治　梶井倫子　服部紀雄　進藤幸子　小杉圭子　新谷修　西田久美子　小林和重　国頭誠子　桝田志津　新井田紀世　佐々木一博　林信子　松家祥子　西多邦夫　宇野亜結子　松宮秀夫　瀬下孝二　高瀬延江　越野正行　高村紘一　清水妙子　笠間紀子　森本泰三　羽野みち　中垣紘一　大野健司　島村真吉　田中洋子　森修　米田外茂男　河南良一　宮田静枝　館正康　河井美智子　覚本孝二　関淳一　森昭夫　検見崎俊夫　杉本和夫　園野昌彦　星野良成　村本宣夫　松山正武　河崎肇　寺田裕紀　松原重進　宮島宣昭　明石勲　辰野峰幸　中川秀人　安田秀喜　宮島宣昭　本秀行　佐々木康治　宇野明美　二村研谷　長雄　高島誠

（写真上・当日の会場風景）

総会アルバムから

（加能人誌S54.1月号）※関東一泉の保管資料に出席者（予定者）リスト見当たらず。

この年の国内・海外の主な出来事

1.13　国立大学の共通１次試験、初実施(２25会場、32万7163人受験)
1.25　上越新幹線大清水トンネル開通（2万2228m、世界最長の山岳トンネル）
1.31　江川卓投手阪神入団、巨人・小林繁投手と即日トレード
7.11　東名日本坂トンネル事故

[英] マーガレット・サッチャー、ヨーロッパ初の女性首相となる

昭和54年

1979.10.26(金)

関東一泉同窓会総会

於・日本青年館

約320名出席。
金沢より来賓　西多外喜次一泉同窓会事務局長
会費　男性5,000円、女性3,000円、同伴会員3,000円
一泉同窓会讃歌（作詩作曲野本正作氏・泉６期）発表。
乾杯は93歳の吉田一郎氏。中山登紀子（女流新人賞受賞作家・泉４期）さんのスピーチや加賀とび、山中節歌われ、盛会であった。
司会・北山雅義氏（一中55期）

・一泉本部資料（下記）、同窓会会報「一泉」創刊号（S55.4.1）・加能人誌S54.11月号より
※関東一泉の保管資料に出席者（予定者）リスト見当たらず。

(1) 創刊号　一泉　昭和55年4月1日

一泉

『一泉』の発刊に際して

一泉同窓会会報「一泉」創刊号S55.4.1

◇関東一泉同窓会総会

関東一円の在住者を以て組織する関東一泉会では十月二十六日午後六時から、東京・神宮球場前の日本青年館に於て総会を開いた。

まづ、明治、大正の卒業の先輩を全員拍手で会場に迎え入れ、北山雅義氏（昭和23年卒）の司会で鏑木政岐会長が「93才の吉田一郎さんも出席されたが北山、北野氏らの若い人たちの世話でこの会も昨年以上に盛大になった。是非一中の伝統を受けついでほしい」と挨拶があった。

金沢の一泉同窓会本部より出席した西多事務局長から母校の近況、同窓会の現況、旧師の「日置謙先生研究」（山森青硯著）の本を同窓会にて発行した、との報告があり、吉田一郎氏の乾杯で開宴、一泉同窓会讃歌（作詩作曲・野本正作・昭和29年卒）の発表や、中山登紀子（女流新人賞）のスピーチ、約三百二十名の賑かな歓談の間に加賀とび、山中節など歌が出て盛会だった。

会報「一泉」創刊号S55.4.1　P9

記

日　　時　　昭和54年10月26日（金）　午後６時～午後８時
場　　所　　日本青年館　大ホール
（神宮外苑）　電話４０１－０１０１
会　　費　　男性会員　5,０００円
女性会員　3,０００円
同伴会員　3,０００円

今年はバンド演奏はやめて，郷里の懐しい味をメニューに加え静かに語りながら盃をくみかわすパーティと致します。

懐しい顔ぶれが集り，同級生と何年振り何十年振りの再会，兄や弟や姉や妹の同級生，幼な馴染との久々の対面など昨年も湧きに湧きました。

今年は恩師をなるべく大勢お招しようと幹事一同努力致しております。

出欠は同封のハガキにて～~~十月末日までに~~

名簿完備の資料とするため，全員必ずお返事を

◎尚昨年も多数の方々より会の運営のためご寄附を賜りましたが，本年も又，よろしくお願い致します。

１口　2,０００円以上
北国銀行東京支店　普通預金　００７７５２
関東一泉会口座宛　どしどしお送り下さい。

S54.10.26総会への案内状（一泉本部資料・原文のまま）

金沢一中同窓生　在京各位にお願い

……金沢一中から若き泉丘高校の若者達へ吾等の未来をバトンタッチしよう……

今は亡き名物先生，デモさんこと吉写勝太郎先生が，晩年執念を燃やして金沢一中と泉丘高校の同窓会の合体を成就され，永遠に続く立派な同窓会組織を創り出されました。

そして毎年一回秋の総会は吾等が後輩の女性が年々参加者の数をまし，華かなものとなって参りました。デモ先生亡き後，現在鏑木会長が，生前吉野先生の寄託をうけ，本会の発展に尽力されております。

平和な世の中に同じ学び舎に青春の想い出を持つものが，肩を抱き合って，共に盃をあげ人生の哀歓を語り合うことは，理屈抜きに楽しいものではありませんか，昨年三年振りに復活した関東一泉同窓会は従来の100名前後の参加者が一挙に300名近くとなりました。（その中には泉丘高校の女性会員も80名の多きを数えました）こうした会の発展繁栄が期待される時吾等金沢一中の同窓生は先輩として，後輩が同窓会の永遠なる発展に努力するのを全面的に支援すべきであります。

先輩は「金は出すけど口は出さず」の金言に則り，大いに会の運営寄金を集めたいと存じ各位のご方志を仰ぐことに致しました。吾等幹事有志は率先して物心両面に同窓会の発展のため尽しますが，同窓生各位も万障繰合わせ

10月26日（金）の大会にご参加下さると共に　一口　2,０００円以上出欠に拘らず振って同窓会の発展のため，ご寄附を願いたいと存じます。

石川県学生寮内
関東一泉同窓会（会長　鏑木政岐）
金沢一中実行委員一同

ご寄附振込先　北国銀行東京支店　普通預金口座007752
関東一泉同窓会

S54.10.26　寄付のお願い（一泉本部資料）

「関東より愛をこめて」
関東一泉会便り

全国の一泉同窓会の皆さん、元気かいね。関東一泉同窓会は達者でやっとりみす。

会員だけでも六千人は、東京横浜千葉埼玉へ集っとって、名前調べて手紙出すだけでも転手古舞や。大変やぞ！

関東一泉会は、一中の名物先生「デモ」こと故吉野勝太郎先生が十何年も昔から石川県学生寮の寮長をおやりになった合い間に始められて、毎回百人近い人が集っておりみした。東条英機の懐刀だった故佐藤賢了中将も、日軽金社長故安田幾久男先輩も、その他政界、財界、官界、学界の名士方達もちょくちょく顔出しされとりみしたがや。故吉野先生が数年前亡くなられてから、二年間中断しとったがを、俊英鏑木四兄弟のお一人、東大天文学博士の鏑木政岐先生のご熱意とご尽力で「関東一泉会」をまたやるまいか！と若い人が中心となって、一昨年から復活させ去年の秋は三百人も集ったがやいね。

会員には珍しい人もあって、女流作家の中山登紀子さん、「天皇の料理番」「夕陽将軍」など伝記作家で、国際ペンクラブの副会長、杉森久英先輩、宮内庁時代皇太子殿下、美智子妃殿下の世紀の大ロマンスをまとめた瓜生順良先輩を始め、今も各界で大活躍の異色の方々を含み、豪華な顔ぶれやぞ！　去年の秋の一泉同窓会では会場はあふれんばかり三百人の熱気むんむん、テーブルには芝ずしの押し寿しに、福正宗の酒をくみかわし、どじょうのカバヤキを喰いつき、これが大好評、これを食べる為に毎年この会に出んならんと言っとる人もおったがいね。

（誰やら加賀万才をやったし、加賀宝生も加賀の女も出て、とっしょりも若いじゃーまもよう飲んで騒いどったわいね）（関東一泉会は、男性百人女性二百人と女性上位時代の象徴か、圧倒的にヂャーマが多くて、オットロシーゾ！）

神宮の森の一角に聳える日本青年館の大宴会場は、六時から始って九時近くまで話しはつきない。

九時を過ぎて、青山六本木新宿、歌舞伎町、銀座へと、クラス、グループ、先輩後輩肩組み合って、カラオケ、ダンスに飲み明かす。

今年の秋も、関東一泉会は、元気にやりまっそ、金沢からも、大阪も名古屋もみんな一回、関東へいらっし、きまっし、よるまっし、まっとるがいね。（関東一泉会M・K生）

関東一泉の総会への参加呼びかけ
会報「一泉」創刊号Ｓ55.4.1
Ｐ12～13

一泉同窓会讃歌

春爛漫の

作詩作曲・野本正作（泉6回）

一、春　爛漫の泉原
桜ぞ薫る我が母校
集いし時も今はるか
人世は瞬時の夢なるや

二、医王の嶺を仰ぎつつ
冽き流れの犀川に
心を浸し結びたる
我等が契り固からん

三、世は虚いにあけくれて
さまよい惑わんことあれど
我に確たる友あれば
針路自ら拓かれん

四、いざ友輩よ今宵こそ
盃かわし腕組みて
声高らかに謳うべし
ああ一泉の意気高し

会報「一泉」創刊号Ｓ55.4.1　Ｐ13

関東一泉同窓会

関東一泉同窓会では、十月二十六日六時から東京・神宮球場前の日本青年館で総会を開いた。拍手で先輩を迎え入れ、北山氏の司会で、鏑木会長が「93才の吉田さんも出席されたが、北山、北野氏らの若い人の世話でこの会も盛大になった。伝統を受けついでほしい」と挨拶。金沢から出席した西多事務局長から母校の近況と「日置謙先生研究（山森青硯著、500円）の本を同窓会で発行した」との報告があり、吉田氏の乾盃で開宴。一泉同窓会讃歌（作曲・野本正作＝昭29年卒）発表や、中山登紀子（女流新人賞）のスピーチ、約三百人の賑やかな歓談の間に加賀とび、山中節など歌が出て盛会だった。

総会アルバムから

（加能人誌Ｓ54.11月号）

昭和55年
1980.11.7(金)

55年度関東一泉同窓会総会
於・日本青年館

この年の国内・海外の主な出来事

3.7　人気歌手の山口百恵、婚約発表
4.25　銀座でトラック運転手が１億円拾得
6.12　大平首相が総選挙中に死去
7.3　「イエスの方舟」事件に強制捜査
8.19　新宿バス放火事件
11.4　巨人軍長嶋監督辞任　王貞治現役引退
この年はツービートら漫才ブーム

［米］レーガンがカーターを大差で破り大統領に当選
第21回モスクワオリンピック開催
アフガニスタン侵攻に抗議して、日本、米、西ドイツなどIOC加盟148ヵ国のうち67ヵ国不参加。

200余名出席。
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、西多外喜次一泉同窓会事務局長、大高彰八泉丘高等学校長
役員改選　新しく瓜生順良氏が副会長に。
総会は58年度（90周年）までに完成を目指す校舎改築が話題となった。
司会・北山雅義氏

・会報「一泉」２号Ｓ55.10.15、３号Ｓ56.4.10より　総会出席者名は、加能人誌Ｓ55.12月号参照

関東一泉同窓会が盛大に

東京を中心に関東在住の会員にて結成の関東一泉同窓会が十一月七日午後六時から東京・明治神宮外苑の日本青年館で秋の総会を開催した。本部同窓会より宮太郎会長、大高彰八校長、西多事務局長が加わり、旧金沢一中、泉丘高校卒の会員二百余名が一堂に集った。

北山雅義氏（55期）の司会で開会。鏑木政岐会長がまず開会の挨拶、引き続き宮会長、大高校長より校舎改築の工事概況の報告があり「総工費三十数億円、県立高校では初めての五階建て、エレベーター付きの校舎で現在の倍以上の規模となる。五十八年度の90周年までに完成したい。旧校舎の思い出が皆様にあり、今の内に母校を訪門されるように」と母校の近況報告があった。

又、西多事務局長より母校同窓会の最近の活動状況の報告があった。これより役員改選に移り、瓜生順良氏を副会長に承認、瓜生新副会長の音頭にて乾盃、懇親会に移った。当日、多忙な日程の中を参加した坂本代議士のスピーチ、華やかに着飾った女性会員を混じえての母校校歌、応援団歌が次から次へと飛び出し、宴席は賑ったが八時すぎ再会を約して散会した。

会報「一泉」3号Ｓ56.4.10
Ｐ10

関東より一泉同窓会の発展を祈って

秋になると「一泉同窓会」はまだかとアチコチから催促の声があがる。夏休みをきめこんだ幹事がのんびりしていると追い立てられる想いで、さて会場は、費用は、誰れをお招きするか、何月、何日、何曜日を選ぶか幹事が何回も会合をもち、走り廻ることゝなる。今年も関東焼き（注どじょうの蒲焼）の手配は大丈夫か……これを食べたくて毎年会に出るよ…との有難い先輩会員の仰せ、酒は福正宗か、白山か、かぶら寿しは未だ時期が早いかな、はんぺんの煮込みなんか懐かしい料理として受けるかな。折角集っていたゞいた機会に郷里の味、一品や二品出したいと三十名の幹事が集ってワイワイ、ガヤガヤ。

漸く五十五年度関東一泉同窓会総会の大筋が決って案内状の作成、発送をはじめ、サア今年は何人集るかな、一昨年は二三〇名、昨年は二八〇名、今年は三〇〇名を超えて何人だろう。

女性の会員も年々ふえて華やかさ一入の会となるにつれ女性会員に満足いたゞける趣向も必要となる。ない智恵をしぼるのはぜいたくな悩みかも知れません。かくて関東一泉会より全国の同窓会にご案内申し上げます。私等は本年も元気に集ります。上京の機会があれば是非お寄り下さい。

（文責　北山雅義）

昭和55年度関東一泉同窓会総会
十一月七日㈮午後六時
日本青年会館（神宮外苑）
会長　鏑木政岐

総会の案内を掲載　会報「一泉」2号Ｓ55.10.1　Ｐ18

関東一泉総会

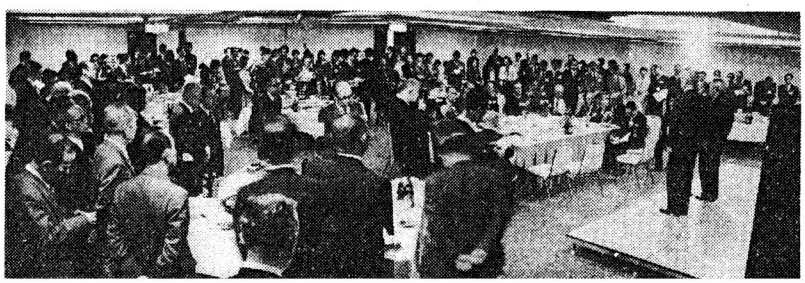
新旧２百名で盛大に

関東一泉同窓会では十一月七日六時から東京・明治神宮外苑の日本青年館四階大宴会場で、秋の総会を開いた。

北山氏の司会で開会、鏑木会長が「泉丘の泉＝スプリングの名のように、皆さんもすくすく生長してほしい」と挨拶。さらに宮太郎本部会長、大高彰八校長から「校舎改築が始まったが、四期に分けて工事をする。総工費は三十一億円、県立では初めて五階建て、エレベーター付きの校舎で、現在の倍以上の規模となる。五十八年の90周年までに完成したい。旧校舎は思い出が一杯詰まっており、今のうちに母校を訪門されるよう……」との母校改築の説明がある。

また西多事務局長から「一泉会報は評判が良く、年2回発行したい」の報告があって役員改選に移り、瓜生順良氏を副会長に承認。瓜生副会長の乾杯音頭で懇親会に移った。来賓の坂本代議士のスピーチ、舞台では母校応援歌も飛び出し、宴席は賑わったが、八時すぎ万才三唱で散会した。

出席者　谷恵吉郎　郡山義夫　沢田一雄　小堀保行　伊藤和夫　鏑木政岐　島村　隆　西多外喜次　宮崎五夫　小林重一　瓜生順良　黒田千吉郎　粟田添星　赤井直恭　下村節義　北村道四郎　柴田　喬　浦　茂　村上四郎　高柳目出臣　斉藤季夫　中村俊貞　普神益雄　小倉富士雄　松本三郎　青戸泰賢　中山正敏　近藤師家男　小松勇作　橋本正久　中谷郁夫　竹下五久男　鴻野五八　中側尚英　古沢英雄　浅井利一　荒川　宏　中村八郎　松林理国　金原　経　坂本三十次　松江重隆　能谷　明　木村博典　中村喜三郎　石田　清　氷田正男　鶴屋一郎　石橋雄二　坂井桂一　田谷輝夫　小堀和哉　北山雅義　林　永　荒木一夫　今井　弘　新藤安子　北野昭式　中村外喜子　大西小村　伊藤　修　津川通泰　伊藤　脩　鷲沢貞子　寺川和子　枡本洋子　幸村鹿子　生垣昌子　高浪克子　清水嶺子　上田広次　二口善乃　徳田修二　高崎絢子　越川武司　石橋英夫　牧　寛　川本悦子　武内　宏　浅田照子　松井昭祐　野村弘毅　北　貢　村本昭夫　小堀郁代　川村隆一　古谷凌子　高山美恵子　大塚容子　沢　靖子　野本正作　河原　勇　林　芳治　奈田博充　広瀬　渉　初田　亮　大野木敦子　今井洋次　宮川正男　生垣　中　山崎利彦　杉村　亨　昇塚清臣　畦地洋子　深野美代子　宮本　毅　古谷綾子　野口美代子　早水康葵　古村桂子　加藤順子　小林鎌仁　西島幸夫　小倉捷良　蒲田亮子　大窪紀吉　金子兵衛　岡本　章　今田　隆　城郁子　安原由紀子　小杉圭子　木村佐知子　小林和重　浅尾広行　小林二郎　佐々木一博　北川淑子　新谷　修　新井祝子　多田美代子　酒井輝夫　蜂谷淑子　岩倉誠治　松原悠紀雄　松永祥子　北川　昭　高瀬延江　新井由紀世　高村紘一　橘　好碩　笠間紀子　羽野みち　梅谷和子　松宮秀夫　北川昭八　竹内　肇　寺田湯美　西多邦夫　飯野靖四　玉井真寿美　梶井倫子　富田静枝　島村真吉　大野木敦子　大野健司　片岡弘和　田中洋子　河合美智子　赤岩　濤　検見崎俊行　笹川信子　荒谷陽子　上田正山　園部昌彦　吉田昌兼　寺田裕紀　松本　健　金戸弘司　荒川　清　青谷　恣　荻田慈世治　株田栄一



（加能人誌Ｓ55.12月号）※関東一泉の保管資料には出席者（予定者）リスト見当たらず。

この年の国内・海外の主な出来事

1.17　大関貴乃花引退、3.10　横綱輪島引退
2.15　日劇、48年の幕を閉じる
3.19　神戸ポートピア81開幕
3.31　ピンク・レディー最終公演
10.19　福井謙一京大教授ノーベル化学賞受賞
11.28　ロッキード裁判で榎本美恵子の爆弾証言

［イラン］アメリカ人の人質52人 443日ぶりに解放
［英］チャールズ皇太子がダイアナ・スペンサーと挙式

昭和56年

1981.9.24(木)

56年度関東一泉同窓会総会

於・九段会館

240名出席（男性167名、女性73名）　総会案内はがき2050枚印刷・発送
金沢より来賓　竹田長末一泉同窓会副会長、西多外喜次一泉同窓会事務局長、大高彰八泉丘高等学校長、高川義一教諭、長谷場千鶴元教諭
会費　男性6,000円、女性4,000円　　寄付金　85,000円

・加能人誌S56.10月号、昭和56年度収支決算書、出席者（予定）リストより

関東一泉同窓会

三百名余の参加

関東一泉同窓会（文京区小石川、石川県学生寮内、鏑木政岐会長）は九月二十四日六時から九段会館で56年度総会を開いた。地元金沢からの参加を含め、会員三百人のほか大高彰八校長、竹田長松副会長も出席。福田氏（北陸放送副部長）の司会で、瓜生順良副会長の開会の言葉に続き、鏑木政岐会長が「ことしは母校も米寿の歴史になった。同窓会は一つの泉から水が湧き上がり、末長く発展させたい」と挨拶。大高校長と西多同窓会事務局長から母校の現況、同窓会の近況と、来春には旧校舎が全部解体されるなど報告あり、尾山藤仁氏（大3）の音頭で乾杯、和やかな懇談に入った。

郷里から出席の隅谷与一郎氏（昭3、刀剣人間国宝）、大阪から駆けつけた蜷川氏のスピーチもあり、最後に新旧校歌や応援歌、瓜生副会長の千秋楽謡、そして松田耀子副会長の閉会の辞で散会した。

出席者（大正3年卒）尾山　6林　8小堀9鏑木11押村、野崎、斉田、宮崎12山本13粟田、瓜生、谷本、橋場、14赤井、北村相馬、下村、柴田昭2浦3黒田、大沢、4村上、土屋5小倉、中村、近藤、湯浅、広瀬、松本7瓜生、伊藤8橋本9杉田、北谷10島村、古沢、久保木、坂部、久保田、鴻野、中側、中谷11浅野12佐藤13中村、隅谷高木、保田、益谷14得田15宮保、中島16今井、広瀬17大坪、北川、本多、山田、新保多田18吉本、村田19高木20近藤、二俣、松田、横井、改田、足立、市橋、寺中、塚岸21辻22中村、奥田、氷田、岡本、島崎、伊勢23丹羽、早崎、石橋、大桑、寺田、河村北山、下村、大西、林、小堀、谷、中川、金原25中上、中村、宮子、松田、荒木、大西、別所、亀井26古村、矢鋪27寺川、幸村高浪、川本、徳田、山良、沼田、亀井、荒山、牧、岡田、大久保、篠木、伊藤、藤村浅田、武内、羽野、小森、野村、江口29田村、土田、大塚、沢、吉田、三村、織田、平松、河原、沼田、三田村、北野、橋浦、野本、永井30杉村、吉田、中沢、松本、高迫、織田、奈田、堀内、山崎、松本、畦地菅、白尾31北条、岡田、篠原、山本、中谷鈴木、岩上、高田32野口、岡野、木村、新田、西島、上丸、山崎、小林、小倉33長森小室、大窪、木村、安原、岡本、徳光34新谷35浦、梶井、笠間、玉井、橘、松宮、野村、西田、近藤、寺田、高瀬、大野木、広村、高村、飯野、松永、梅谷、羽野、村上土田、石橋、江尻、北川36布施、島村37河崎、中本、吉田、高田、中西、村中38田村39前田、東川40折戸、松田41塗師、笠間42、稲葉45梶田46布村48中村（金沢から）大高校長、高川教諭、西多、鍔、三沢、長田、上野、福田、中谷、高島（恩師）長谷場（大阪から）蜷川

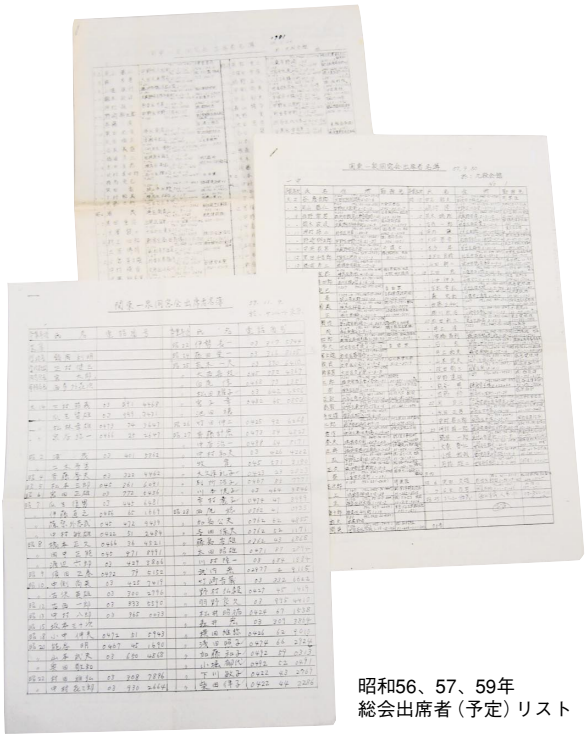
（加能人誌S56.10月号）

昭和56年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（５名）
竹田長松一泉同窓会副会長、西多外喜次同事務局長
大高彰八金沢泉丘高等学校長、高川義一同校教諭、
長谷場千鶴同校元教諭

一中　101名
（一中21）　尾山藤仁
（一中24）　林孝善
（一中26）　小堀保行
（一中27）　鏑木政岐、西野常男、黒田重治
（一中29）　押村孫二、斉藤洟
（一中30）　山本直一、黒田千吉郎、野崎與五郎、小林重一
（一中31）　粟田添星、瓜生順良、谷本義盛、橋浦彦三、野崎與五郎
（一中32）　赤井直恭、北村道四郎、相馬克巳、柴田喬、下村節義
（一中33）　武藤文雄
（一中34）　浦茂
（一中36）　村上四郎、土屋博靖、大澤錠二
（一中37）　小倉冨士雄、中村俊貞、近藤師家男、湯浅滓三郎、広瀬道次郎、普神益雄、松本三郎
（一中38）　双佐潔、中山正敏
（一中39）　瓜生復男、伊藤春夫
（一中40）　橋本正久
（一中41）　杉田正、北谷久一
（一中42）　久保木信夫、嶋村隆、古沢英雄、坂部重之、久保田全俊、鴻野五八、中側尚英、中谷郁夫
（一中43）　森山隆平、浅野実、池田忠彦、谷山巖、山本重久
（一中44）　飯森正秀、荒木直繁、佐藤靖雄
（一中45）　中村八郎、隅谷與一郎、安田道夫、金原径、高木兼二
（一中47）　宮保彦継、中野喜代二、中島久雄
（一中48）　今井一郎
（一中49）　五反田良精、山田耕二、新保友義、多田安夫、大坪景章、北川啓
（一中50）　吉本幸弘、村田敬久
（一中51）　高木繁、和田静夫
（一中52）　山田肇、松田利三、佐藤弘、山本武夫、足立仁一
（一中53）　石川弘、藤田裕、近藤修、二俣和夫、中野達雄、横井辰雄、改田尚三、市橋昌利、能谷明
（一中54）　辻良平、中村喜三郎、嶋崎春也、岡本佼、伊勢長一、林希樹、奥田光夫
（一中55）　丹羽靖一郎、大桑啓仁、寺田久義、河村賢一、北山雅義、下村佳生、大西章、林永、谷行雄、小堀和哉、中川了一、早崎鉅造

泉丘　160名（男97　女63）
（泉丘２）　中上正、蜷川俊則、中村外喜子、鍔弘子、長林茂、宮子章、松田耀子、荒木一夫、竹沢貞子
（泉丘３）　古村澄夫、矢鋪憲治
（泉丘４）　寺川和子、幸村鹿子、高崎絢子、高浪克子、川本悦子、徳田修二、山良真作、沼田清一郎、牧寛、二口善乃、宮岸毅、三沢優子、荒山倭子、長田八栄子、上野千世子、清水嶺子、向田タミ子、別所浩子、亀井雅子、岡田京子、大久保礼子、森田幸子、大西和子
（泉丘５）　松井昭祐、鈴木喜和子、高山美恵子、篠木俊明、野村弘毅、下川敏子、伊東嘉陽子、藤村礼子、浅田照子、安田保、武内宏、羽野良久、柴田律子
（泉丘６）　田村町枝、中谷道子、土田淑子、大塚容子、澤靖子、吉田春美、三村雅子、織田充彦、福田政博、平松正利、沼田武二郎、三田村正、伊藤正、北野昭式、橋浦久男、野本正作、神野秀、成清治道、鈴木弘子、永井妙子
（泉丘７）　渡辺利子、西田更生、初田亮、杉村亨、池内克哉、吉田紀幸、奈田博充、堀内瑛一、山崎利彦、松本良雄、畦地洋子
（泉丘８）　北條英俊、坂井外代子、加藤嘉久、岡田紘美、篠原弘、山本紀久子、宮丸凱史、中谷玲子、佐々木信憲、鈴木啓子、河原勇
（泉丘９）　野口美智代、岡野光子、加藤順子、木村昭乃、新田幸子、西島幸夫、砺田和史、早水康葵、小林鎌仁、上丸満
（泉丘10）　長森敏秦、徳光直美、永井信太郎、大窪紀吉、白崎晃、大谷孝弘、安原由紀子、岡本章、小室拓士、田村昌克
（泉丘11）　新谷修、大西昭一
（泉丘12）　西田久美子、近藤昌子、寺田潟美、高瀬延江、越野正行、南部信政、石橋武、大野木敦子、広村万嘉、高村紘一、越村稔、飯野靖四、岩倉誠治、松永祥子、梅谷和子、西多邦夫、羽野みち、村上与恵、浦卓夫、梶井倫子、笠間紀子
（泉丘13）　布施武、島村眞吉
（泉丘14）　河崎肇、中本久男、吉田昌兼
（泉丘15）　松本健
（泉丘16）　前田鎮禍、東川博明
（泉丘17）　井上宏明、荒谷内允、折戸儀夫、松田常雄、吉田吉明
（泉丘18）　塗師道彦、笠間泰彦、布村秀夫
（泉丘19）　稲葉健太郎
（泉丘22）　竹村均
（泉丘25）　中村裕子
（泉丘28）　村瀬雅俊



昭和56、57、59年
総会出席者（予定）リスト

この年の国内・海外の主な出来事

昭和57年

2.8　ホテル・ニュージャパン火災
2.9　日航機が羽田沖で墜落(機長の逆噴射で)
4.1　500円硬貨発行
6.23　東北新幹線、11.15　上越新幹線開業
9.22　三越、岡田社長解任を決議

フォークランド紛争

1982.9.30(木)

57年度関東一泉同窓会総会

於・九段会館

200余名出席。
金沢より来賓　西多外喜次一泉同窓会事務局長、
楠　禎一郎泉丘高等学校教頭、垣内謹治同校教諭
瓜生順良副会長（元宮内庁次長）が４月に逝去、浦茂氏（元空幕長・一中34）が副会長に。57年度総会世話人・松田耀子（泉2）、幸村鹿子（泉4）氏

・会報「一泉」７号Ｓ58.4.10より

関東一泉会の幹事会ひらく

毎年秋に挙行される関東一泉会の総会の幹事会が、近く石川県紀尾井会館に於て催される。副会長として関東一泉同窓会で会員に親しまれ、会の発展に寄与された故瓜生順良氏のあとをうけて浦茂氏（昭二年卒元空幕長）が新任された。今年は九月三十日開催と内定し、その準備をすすめることとなった。世話人として松田耀子、幸村鹿子の両氏があたられる。

会報「一泉」6号Ｓ57.10.1　Ｐ17

関東一泉同窓会雑感

東京での一泉同窓会を、今年もまた九段会館で、九月三十日に開くことになりました。

吉野勝太郎先生にお世話戴いていた昔から、九月の声を聞くと、この集まりの案内状が舞込むことになっておりました。暑さもどうやら収まり、受付を手伝って貰う学生さん達の試験もほぼ終り、何かと行事の多い十月に入る一寸前と言うこの時期に、多分これからも行われることでありましょう。

それにしても、此の同窓会支部総会なるものは何とまぬめにくいものなのかと、嘆息まじりに準備を始めたのでしたが、出席の返事もぽつぽつ届きはじめ、やはり、伝統ある学び舎のえにしに結ばれて、これから先も集い続けられると言う手応えが感じられてほっとしているところです。

記念行事を機に、久し振りに故郷へ帰って懐しい顔に出遇うと言う程の感激も得られず、運名を呼び合う同志が集まって騒ぐ同期会のような気安さも無いと言うことなのでしょう、無関心の人があまりにも多いので、二年に一度でもいいのではないかしらと考えたりしましたが、それでは、そうでなくても滞りがちの、「一泉」配布をどうしたら良いかしらなどと思い余った末、とにかく呼びかけを始めることにしました。やがて暑い中を、神奈川、千葉、埼玉と住まいも離ればなれ、先輩から後輩まで年もかなり違う方達が集まって来て下さって、和やかに、しかも積極的に意見を交わす姿を見る事が出来、私が世話役から開放される日も近いと安心したことでした。

昨年、新聞に載った案内を見て、一中卒退後、長い間交友が途絶えていた方が喜こんで参加して下さったり、同期の消息を知らない若い方達が連絡して下さったりした事を思い返し乍ら、私自身は、誰のお誘いで何時頃から出席し始めたのだったかしらと、ふと振り返ってみました。

当時会場は海運クラブでした。九十と言うお歳の畠山一清氏が、杖を手に悠然と入っていらっしゃった姿が目に泛びます。集まりは小じんまりとしていて、同期の人が居た記憶も無く、たまたま私の親友の伯父様であった中川善之助氏と隣り合わせになって、英国人と結婚して日本を離れてしまった其の友達の事を話し合ったことなど感慨深く想い出されます。

会場が雅叙園へ移った頃から、吉野先生に呼び出されて案内の宛名書きなどをさせられるようになり、其の処でやはり手伝いをしていらっしゃった現会長鏑木政岐先生との御縁が出来るように成りました。

吉野先生ご健在のうちは、皆がお手伝い程度で気楽に参加して居りましたので、先生が急に倒れられると、目立つ程スマートな浦先輩は、私個人としては書家としても尊敬申し上げて居り、大変ご多用の身ながら幹事会にも毎回出席して下さって頼もしいので、吉野先生がお一人でなさっていた運営も漸く組織化して来ようと言うことと相俟って、関東一泉同窓会の将来に明るさを感じ、今は一日も早く私の御役御免を願って、舞い込んだ通知を手に気軽に参加する身になりたいものと思って居ります。

厳霜碑にゆかりの皆様、関東一泉同窓会をどうぞよろしく!!

（松田耀子）

?と期待し乍ら、いい時に土光氏が活躍して下さったものと思ったりして居ります。又、スポーツで鍛えられた長身は若い人の中へ入ってさえ一泉会の資料一切は開かずのロッカーに眠ったまま、同窓会の開かれない年が続くことに成りました。後任のロッカーは鍵屋さんの手を借りて開けられ、どう云う訳か、中の物そっくり私の処へ届けられてしまいました。事務的なことの苦手な私ですので、適当と思われる方にお願いしてお渡ししましたのに、雅叙園でも再会後、日本青年館、九段会館と、会場も替えて数年経った今、又々我が陋屋へ戻って来ていて、事務所の無い支部の有様をちょっぴり嘆いても居ります。

かねがね、八十になったら後の人に譲りたいと言っていらっしゃった鏑木会長が、とうとう満八十のお誕生日を迎えられてしまいました。後を継いで頂く筈の瓜生副会長は、思いもよらない事でしたが急逝されてしまい、後任には浦茂氏のご内諾を頂くことが出来ましたが、鏑木会長のお元気なご様子と、お人柄を慕うあまり、「ゴルフをなさっている内は……」とか「土光さんよりお若いのですから」とかお引留めする声も高く、もう暫くお願い出来るのでは

会報「一泉」6号
Ｓ57.10.1　Ｐ16

瓜生順良氏の死を悼む

旧金沢一中大正十三年卒で関東一泉同窓会副会長の瓜生順良氏が四月十七日、ジン不全のため逝去されました。氏は人も知る宮内庁次長を約二十年間務め宇佐美前宮内庁長官を補佐し、皇室の〝番頭役〟を果たされた。昨年秋の関東一泉会の総会にも出席され、演台にて謡曲の一節を披露された元気な姿が強く印象に残り、ここにつつしんで哀悼の意を表します。

会報「一泉」6号
Ｓ57.10.1　Ｐ3

◇関東一泉同窓会総会ひらく

例年秋に開催される関東一泉会総会が時折り小雨の降る九月三十日、会場も昨年と同じ九段会館ホールにて催された。

集う会員は、大正二年卒業の大先輩谷恵吉郎氏をはじめ、二百余名の会員が一堂に集合した。大正十四年卒業の下村節義先輩の開会宣言に続き、前副会長故瓜生順良氏への黙禱を捧げご冥福を祈る。

鏑木政岐会長の元気な挨拶のあと金沢の同窓会本部より参加した楠禎一郎教頭、垣内謹治教諭、西多外喜次事務局長より夫々母校の現況と五十九年に迎える母校創立九十周年事業及び校舎の新築完成祝賀についての報告が行われた。

これより谷先輩の音頭による乾盃で開宴。同じ学窓に育った者等の集い、談笑風発、先輩後輩が一つになっての宴は、他の会合には見られぬ和やかな風景をかもしだした。

久しく聞けなかった懐かしい金沢弁が自然に飛び出し故郷に帰ったかの感が会場一杯に溢れる光景となった。

宴が終り散会とはなったが、同期の連中にはまだ名残りが尽きぬことか三々五々それぞれのグループに分れ第二次会へと向った。

尚、この席上にて欠員となった副会長には、昭和二年卒の浦茂氏が選ばれ「お役に立つなら喜こんでお引受けします」との心強いご挨拶をいただいた。今後愈々関東一泉同窓会は活発な活動が期待されることと思う。

（西多記）

会報「一泉」7号
Ｓ58.4.10　Ｐ13

関東一泉会

副会長に浦茂氏

関東一泉同窓会（文京区小石川、石川県学生寮内、鏑木政岐会長）では、九月三〇日東京・千代田区の九段会館で57年度総会を開いた。

一中卒七十五人、泉丘卒百二十人のほか、母校から楠禎一郎教頭ら来賓が出席。挨拶に立った鏑木会長は、この春亡くなった瓜生順良副会長の死を悼み「後任の会長にと思っていたが残念でならない。今後は伝統の一泉会の発展に力を合わせよう」と語り、後任の副会長に浦茂氏（昭2、水産エンジニアリング社長）を選んだ。

引き続き楠教頭が、母校の現況を説明、現在行われている校舎改築工事が終了する五十九年三月に創立90周年記念式典を、一年繰りのべて行うことなど報告。最長老の谷恵吉郎さん（87、大2）の音頭で乾杯し、懇親会に入った。

出席者は女性が多く、卒業年次別に代表が特設舞台に立って隠し芸など披露、一中や泉丘の校歌や応援歌、カラオケなどうたい、旧交を温めた。出席者は次の通り。（数字は卒業年）

大正＝2谷 3尾山 9西野 鏑木 11押村
野崎 中浜 12黒田 13橋浦 14赤井 北村 相馬 柴田 下村 15米本
昭和＝2浅田 浦 4村上 斉藤 5小倉 中村 近藤 松本 6双佐 沢田 中山 青戸 小俣 安原 小松 7伊藤 森田 前田 8橋本 古田 福田 谷内 9杉田 山岸 伊藤 10中側 中谷 嶋村 12荒木 古西 16渓内 17大坪 本多 五反田 山田 18上田 小中 吉本 森 佐藤 横川 20松田 井上 市橋 石川 井上 山本 改田 中野 能谷 近藤 22関 氷田 中村 23丹羽 鶴屋 大桑 小堀 石橋 25荒木 多田 山本 新藤 松田 由田 中川 大西 清水 幸村 加藤 松田 中山 28浅田 川村 藤村 古谷 29田村 土田 沢 三村 沼田 北野 野本 30渡辺 杉村 河村 吉田 松葉 高迫 31岡田 當山 坂井 馬場 32古村 石橋 野口 木村 天日 加藤 33盛田 鍋谷 大西 荒木 34小林 奥波 進藤 新井 板垣 35笠間 土田 東 羽野 西田 36新谷 斉藤 山瀬 田形 龍田 奈良 38寺田 寺田 中垣 40佐藤 亀田 41青谷 43高山 池田 伊藤 板宮 44垣内

（加能人誌Ｓ57.11月号）

昭和57年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
西多外喜次一泉同窓会事務局長
楠禎一郎金沢泉丘高等学校教頭、垣内謹治同校教諭

一中　78名
(一中20)　谷恵吉郎
(一中21)　尾山藤仁
(一中27)　西野常男、鏑木政岐
(一中29)　押村孫二、中浜辰男
(一中30)　黒田千吉郎、野崎與五郎
(一中31)　橋浦彦三
(一中32)　赤井直恭、北村道四郎、相馬克己、柴田喬、下村節義
(一中33)　米本正
(一中34)　浅田賢造、浦茂
(一中36)　村上四郎、斎藤季夫
(一中37)　小倉富士雄、中村俊貞、近藤師家男、松本三郎
(一中38)　双佐潔、中山正敏、青戸泰賢、小俣外世雄、安原二郎、小松勇作、沢田久雄
(一中39)　伊藤春夫、前田弘、瓜生復男
(一中40)　橋本正久、古田登、福田正次郎、谷内上、森田正典
(一中41)　杉田正、山岸智十郎、伊藤和夫
(一中42)　中側尚英、中谷郁夫、嶋村隆
(一中44)　荒木端茂、古西一郎
(一中48)　渓内謙
(一中49)　大坪景章、本多昇、五反田良精、山田耕二
(一中50)　上田恵、小中伸夫、吉本幸弘、森忠和、佐藤正千代、横川政治
(一中52)　松田利三、井上清、山本武夫、能谷明
(一中53)　市橋昌利、石川弘、井上和夫、改田尚三、中野達雄、近藤修
(一中54)　関良治、氷田正男、中村喜三郎
(一中55)　丹羽靖一郎、鶴屋一郎、大桑啓仁、小堀和哉、石橋雄二、北山雅義
(一中56)　荒木一夫、長林茂

泉丘　118名（男65　女53）
(泉丘２)　多田春夫、山本審、新藤安子、松田耀子、由田文子、中村外喜子
(泉丘３)　山本恵波、中島玲子
(泉丘４)　原茂男、向田タミ子、白川幸子、大西和子、清水嶺子、牧寛、高浪克子、二口善乃、川本悦子、幸村鹿子、加藤操子、松田元子、中山登紀子
(泉丘５)　浅田照子、川村隆一、野村弘毅、村本昭夫、藤村礼子、北貢、高山美恵子、古谷綾子、小森昇
(泉丘６)　田村町枝、土田淑子、澤靖子、三村雅子、沼田武二郎、北野昭式、野本正作
(泉丘７)　渡辺利子、杉村亨、山崎利彦、河村外喜子、吉田紀幸、畦地洋子、松葉美子、新井恵美子、高迫栄子
(泉丘８)　岡田紘美、北條英俊、當山節子、坂井外代子、馬場公子、兼田泉
(泉丘９)　小林鎌仁、古村桂子、石橋寛、野口美智代、木村昭乃、天日雄三郎、砺田和史、加藤順子
(泉丘10)　山下久良、徳光直美、盛田孝、鍋谷汎、大谷孝弘、小林淳一、大西忠、荒木康善、長森敏泰、宅美志郎、今川庄造、木村佐知子、安原由紀子
(泉丘11)　山田祥二、小林和重、小林二郎、奥波満智子、進藤幸子、新井祝子、木嶋良枝、板垣幸子
(泉丘12)　広村万嘉、西多邦夫、笠間紀子、土田裕三、岩崎洋一、東和子、羽野みち、梶井倫子、越野正行、西田久美子、北川昭八、村上与恵、川口義昭
(泉丘13)　今田二三子、新谷渉、斉藤龍太、山瀬利博、田形凱喜、島村眞吉、龍田陽、布施武、奈良俊彦
(泉丘14)　検見崎俊行
(泉丘15)　松本健、寺田裕紀、中垣紘一
(泉丘16)　東川博明
(泉丘17)　佐藤宏、亀田憲治
(泉丘18)　青谷懿
(泉丘20)　高山充、池田勉、伊藤修一、板宮光恵
(泉丘21)　垣内幸雄
(泉丘24)　林健
(泉丘28)　村瀬雅俊

昭和58年

1983.10.17(月)

58年度関東一泉同窓会総会

於・九段会館

幹事期・泉丘４期

この年の国内・海外の主な出来事

1.9　中川一郎自民党代議士、札幌のホテルで自殺
2.4　日本初の実用通信衛星「さくら２号ａ」打ち上げ
4.4　NHKテレビ「おしん」放送開始
4.15　東京ディズニーランド開園
10.12　ロ事件、田中元首相に実刑判決

大韓航空機、ソ連軍機に撃墜される

約180名出席（加能人誌Ｓ58.11月号より）

金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、小川副会長、鍋丘利明泉丘高等学校長、田村昌俊、小川忠男同校教諭

鏑木政岐会長辞任。新会長に浦茂氏、副会長に瓜生復男氏が選ばれた。

この年より年度代表幹事期（50歳になる期）が総会を企画、進行することになった。

・会報「一泉」８号Ｓ58.12.17より

◇関東一泉同窓会総会が盛大に

関東一円在住の会員にて組織する関東一泉同窓会総会が今年も十月十七日九段会館で開催された。旧金沢一中、泉丘のＯＢら二百名が一堂に集り盛大に催された。

金沢の本部からは宮太郎会長、小川副会長、学校からは今春着任した鍋岡校長、田村教諭とが加わり、夫々挨拶に立った。宮会長からは「来年は全校舎の完成をまって母校創立90周年を記念した種々の行事を計画しているので絶大のご協力を」との言葉があり、鍋岡校長よりは学校の近況報告があった。

この度、永らく関東一泉会の会長をつとめられた鏑木政岐会長が辞任され、後任会長に浦茂会長を推せんされ満場の拍手で浦氏が会長に承認された。また新副会長に瓜生復男氏が選ばれた。

浦会長から鏑木氏に長年の労をねぎらう謝辞があり、記念品を贈られた。

今年は女性会員の姿が多く見られ、司会の幸村鹿子さん、乾杯音頭に立った松田耀子さんと活躍が目立った。

祝宴は各卒業年次別にテーブルを囲み、和やかな歓談、舞台での校歌、応援歌、陰し芸と賑やかな同窓会風景が見られた。また代議士の坂本三十次氏も馳せ参じ、スピーチを行って旧交を温めた。宴は午後八時、来年の再会を期して散会した。

浦　茂新会長（昭和二年卒、元防衛庁航空幕僚長、現在水産エンジニアリング代表取締役、東京石川県人会副会長）

浦　茂
第四代会長

浦　茂氏略歴
金沢一中（昭2・一中34）、陸大（52期）卒。終戦と共にGHQへの大本営連絡官、吉田総理の内閣調査室員、航空自衛隊創設と共に入隊、防衛庁航空幕僚長（昭41年退職）を経て水産エンジニアリング代表取締役（昭58年当時）、東京石川県人会副会長。昭和58年第四代関東一泉同窓会会長に就任。平成13年11月18日逝去。

平成6年4月29日
マックスウェル空軍基地のさくら植樹祭

浦会長は、国際平和・日米親善のために、米国の各基地を桜で満たしたいと、日本国内から４種の種１万個を送って米国の基地で育苗を試みた。昭和63年に最初に種を送ってから気候の違いから数度失敗を重ねたが、６年越しの執念が実って育苗が成功、40～50cmの苗木に成長し、13の基地に桜の植樹ができることになった。

会報「一泉」8号
S58.12.17　P14

関東一泉　会長に浦茂氏　副会長に瓜生氏

関東支部の新役員。
左から瓜生副会長、浦会長、鏑木前会長。

関東一泉同窓会の58年度総会は、十月十七日夕、千代田区・皇居横の九段会館で開かれ、一中、泉丘ＯＢら百八十名が出席して盛大だった。

ことしは高校４回卒生の世話により、幸村慶子さんが司会を担当。挨拶に立った鏑木会長は「51、52年に安田幾久男会長、吉野勝太郎世話人が相次いで死去され、同窓会が一時中断したが、53年若い人の世話で再開、私が会長となって五年も経ったので浦茂副会長にバトンタッチしたい」と述べ万場の拍手で浦氏が会長に承認され、また新副会長に瓜生復男氏が選ばれた。

浦新会長から鏑木氏に長年の労をねぎらう謝辞があり、記念としてゴルフのバターが贈られた。

金沢から出席した宮本部会長と鍋岡泉丘、高校長から「校舎を改築して四年目だが、来春には講堂が完成しすべてが終了。日本一、二の立派な施設を誇る校舎となる。また今春、国公立大に二百七名も合格したが、希望大学のレベルを下げないため四割が浪人。県議会でも問題になったが、翌年にはほとんど合格しており、素晴しい先輩に続けと励ましている」と交々母校の近況を語り、松田耀子さんの乾杯音頭で懇親会に入った。

出席者には女性も多く、卒業生年次別にテーブルを囲み、和やかに懇談。坂本三十次代議士のスピーチ、特設舞台での隠し芸、校歌や応援歌をうたい旧交を温めた。

浦茂新会長　昭和２年卒、元防衛庁航空幕僚監部幕僚長。現在、水産エンジニアリング代表取締役、朝日航空企業会長。東京石川県人会副会長でもある。

出席者（金沢から）鍋岡利明校長　宮太郎
田村昌俊　小川忠男（大正卒）谷恵吉郎
小堀保行　鏑木政岐　西野常男　押村孫二
中浜辰男　橋浦彦二　下村節義　赤井直恭
柴田喬　春日力（昭２～）浦茂　中村俊貞
小倉冨士雄　松本三郎　深田久雄　小松勇作
青戸泰賢　宮田正雄　瓜生復男　山本正治
谷内上　山岸智十郎　北本一平　杉田正（昭10～）中側尚英　古沢英雄　中谷郁夫
鉾田太郎　古西一郎　荒木端茂　吉田喜市
坂本三十次　近藤靖　諸江義厚　卯西喜久朗
岡島重雄　宝賀共　佐藤正千代（昭20～）
石川弘　寺中慶二郎　改田尚三　藤岡昭男
別所久一　中野達雄　松田利三　能谷　明
市橋昌利　沓掛哲男　岡本校　中村喜三郎
永田正男　辻良平　平松登　泉常夫　山本
浅香善夫　長林茂　亀田広　白尾惇　金守
多田春夫　荒木一夫　村上満　中村外喜子
竹沢貞子　松田耀子　大れい子　飯野弘之
石原英夫　赤岡淳子　原茂男　大久保礼子
井田敬子　岡田京子　大西和子　川本悦子
清水嶺子　白川幸子　寺川和子　幸村鹿子
高浪克子　山崎良子　上田　北出　川村隆一
野村弘毅　竹崎吉蔵　武内宏　小森昇　北貢
浅田照子　加藤和子　藤村礼子　中山恵子
小堀郁代　古谷綾子　下川繁子　関戸寿美子
高山美恵子　沼田武二郎　野本正作（昭30～）杉村享　吉田紀幸　松葉美子　清水弘勝
加藤嘉久　佐々木信憲　猪坂智学子　北井博
坂井外代子　西島幸夫　杉森醇子　山本利門
野口美智代　小谷捷良　大西忠　荒木康善
山下久良　長森繁秦　小林淳一　出口久雄
宮本俊吾　森　信義　小林二郎　安原伸正
北川昭八　谷口克俊　越野正行　小林和重
寺田潟美　高瀬延江　橘好碩　西田久美子
笠間紀子　山田雅代　東和子　板野美津子
川島章子　羽野みち　谷口義昌　広瀬美恵子
大野健司　山瀬利博　覚本孝二　河合美智子
島村真吉　田中晃弘　田中洋子　高田静枝
折戸征夫　喜多喜信　槻崎　佐藤博　高山巧
柴野邦彦　寺本武郎　斉藤学　村井与志一
藤田健一　山岸茂夫　塗師道彦　吉室　誠
花野健二　徳田悠　遠藤美知子　板宮光恵
伊藤修一　滝本誠　高島誠

（加能人誌Ｓ58.11月号）※関東一泉の保管資料に出席者（予定者）リスト見当たらず。

昭和59年

グリコ・森永脅迫事件
5.12　NHKが日本初の衛星放送開始
6.30　日本人の平均寿命（男74.2,女79.8）で長寿世界一
10.6　朝日新聞社と日劇の跡地に有楽町マリオンビルがオープン
11.1　新1万,5千,千円札発行

ロサンジェルス・オリンピック開催
カール・ルイス（米）金メダル４個獲得

1984.11.9（金）

59年度関東一泉同窓会総会

於・ホテル・サンルート東京
幹事期・泉丘５期

約150名出席
金沢より来賓　宮　太郎一泉同窓会会長、西多外喜次事務局長、鍋岡利明泉丘高等学校長、正村健三教諭
会費　男性8,000円　女性6,000円
寄付金　計119,400円（昭和59年度収支決算書より）
エレクトーンの美しい演奏が会場に流れた。

◎昭和59年10月　一泉創立90周年

・会報「一泉」10号Ｓ60.3.1、加能人誌Ｓ60.1月号より

（1）十号　一泉　昭和60年3月1日
一泉
石川県立金沢泉丘高等学校 創立90周年
創立90周年記念式典盛大に挙行される

昭和59年10月15日金沢で、創立90周年記念式典挙行され、浦会長が出席された。
関東一泉同窓会からお祝いとして母校へ10万円寄附。

◇関東一泉会支部の総会

本年は会場を新宿駅南口のホテルサンルート東京に移して、関東一泉同窓会総会が催された。

泉丘高校よりは鍋岡校長、正村教諭、同窓会本部よりは宮会長、西多事務局長とが参加し、総勢百五十名の会員が一堂に集った。

大正十四年卒の下村節義氏等の同期生から昭和四〇年代の若き会員で会場は熱気に包まれ和気溢れる同窓会となった。

浦会長は開会の挨拶の中で、先般、金沢の母校創立九十周年記念に参加の模様をくわしく説明され、その盛会振りを報告された。

続いて鍋岡校長よりその謝辞あり、宮会長より、関東一泉会支部よりの多大の協力のあったことに対し、お礼の言葉があった。

宴会には、ステージに立って歌う者、踊る者と、老いも若きも同じ学舎に学んだ同志の気易さに和気藹々の同窓会風景となった。

九時近く、又の会合を約し、別れを惜しみ乍らの散会となった。

会報「一泉」10号Ｓ60.3.1　Ｐ16

関東一泉同窓会
サンルートで総会

関東一泉同窓会（浦茂会長）では、十一月九日六時から東京・新宿南口、ホテル・サンルート東京の大宴会場で秋の総会を開いた。

松井昭祐氏の司会で、まず浦会長が十月十五日母校の90周年を祝う式典に出席の感激をのべ、さらにことしは幹事の中でも昭和28年卒の泉5期が世話役として責任を持ったが、今後は毎年若い人達へバトンタッチされることになり、各学年の特色ある総会の開催に期待が寄せられた。

鍋岡利明校長からも、新校舎の完成に伴う記念行事、関東一泉会からの寄付に対するお礼が述べられ、西多事務局長が、校友誌「いずみの原」の縮小版発行のため二十部を持参したところ、またたく間に売り切れ、追加注文をするほどだった。

そして宮太郎本部会長の挨拶と乾杯音頭で懇親会に移った。

宴席会場には、エレクトーンの美しい調べが流れ、料理の種類も豊富でおいしく、ムードが盛りあがったところで、生演奏でなつかしい校歌や応援歌がうたわれ、例年より遅い八時三十分に万才三唱で散会した。（高山さん報）

（加能人誌Ｓ60.1月号）

一泉

発行所
〒921 金沢市泉野出町
3丁目10－10
金沢泉丘高等学校内
一泉同窓会
電話(0762)42－0211
定価　1部　200円
㈱橋本清文堂

母校創立
九十周年記念
特集号

創立九十年の伝統と誇り

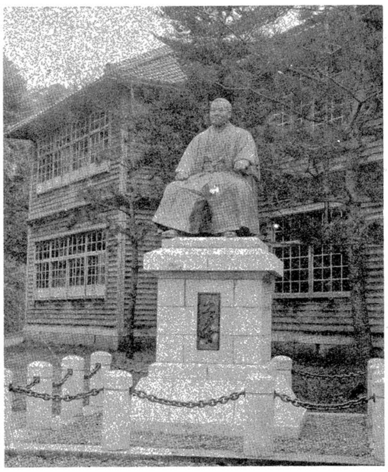
関東一泉同窓会会長
浦　茂
（一中三十四回卒）

卒業生二万有余、毎年三五〇名の新進を加えている私共の母校は、待望の新校舎も完成し、ここに創立九〇年を迎えた。地元石川県に次ぐ多数の卒業生を擁する関東一泉同窓会の各位と共に、心から慶祝申し上げます。

私共は誰しも、金沢一中や泉丘高校に学んだことに強い郷愁と誇りをもっている。明治、大正、昭和と激動の時代を経て、戦後の学制改革にも断絶することなく、九〇の年輪を重ねた伝統の精神と、郷土北陸の風土に培われた豊かな個性が、母校の校風と同窓生を育ててくれたように思う。そしてその本質は漲る勉学心と陶冶性でなかろうか。最近発表された国公立二二大学への泉丘からの進学、合格率に象徴される向学心、それに社会のあらゆる分野に活躍しておられる同窓の質実にして環境に適応する姿に窺われる陶冶性、ここに一泉の特色があるように感ずる。

私共の伝統と誇りは、草創期の一中生に包容力を薫陶された久田督校長の温容の銅像、野田藤馬校長制定の校訓の扁額、「厳霜烈日、可畏而仰」の碑文の厳霜碑、そして戦後の若さに萌える泉丘生に「科学に挑戦する勇気」を示唆した木村珪二氏の「逆流」の像などが精神的支柱となって、私共の心底を照らしている。また、厳霜碑文を書かれた前田利為氏は百万石の後裔、四二年前にボルネオで鰐狩りに連れていって戴いた私の郷兄の大先輩、このような先輩先人の母校や卒業生に対するご指導とご眷顧の積み重ねがあり、また星霜九〇年、師弟一如となって校風を磨き、共に学窓に励んだ連綿たる結実でもあろう。

関東一泉同窓会は当然のことながら、官界、財界、学界、芸術文化等、あらゆる社会の人材を網羅しており、極めて多彩である。特に明治、大正、昭和と三世代にわたって、先輩と若い新進が親和同心の雰囲気をかもしていることは「力を合せ睦み合い世の荊棘を拓くべし」の校歌そのものが顕現されているように思う。この九〇周年を寿ぐと共に、これを一つのふしとして母校の発展を願い、同窓同友が気楽に集り、懐しく語り、胸襟を開く触れ合いの場を広め、とくに若い方々の溌剌とした着想で、同窓の輪を広めたいと念願いたします。



会報「一泉」9号Ｓ59.6.20　Ｐ1
創立90周年に寄せた浦茂関東一泉同窓会会長のメッセージ

恩師・吉野勝太郎先生

富沢友治
（一中三十二回卒）

愛称「デモ」。私はこの先生から、剣道を通して、人間としての生き方と、歴史と伝統を尊重する、愛校精神というものを教えられました。

先生は、大正十年京都の「武専」を出て、直ぐ、母校の金沢一中の剣道教師として、ご赴任になり、終戦後の学制改革まで二十六年間、母校で勤務されました。私たちは、先生が母校のために、生涯を捧げられることが、ご自身の生きがいであり、本懐であるように、お見受けしていました。この間、剣道部員はもとより、全校生徒が先生の訓化を受け、等しく敬仰し信頼するところでした。歴代校長の更迭、時代の変遷、国の消長、教育界の移り変わりなどありましたが、先生の教育者としての節操ある態度、母校愛からほとばしる責任感と、直情径行の行動は、至誠一貫していました。いつどこで先生と逢っても、先生の変わらぬ風貌の底に、先輩から受け継がれた、一中スピリットを感じました。こうした先生の気高い人柄と、日常の生活行動を、誰よりもよく知り、信頼し尊敬していたのが、かつて、武徳殿での全国大会で優勝したときの、剣道部マネージャーとして、直接先生の教えを受け、宮内庁次官を最後に退官された、故・瓜生順良氏でした。先生が一中教諭から、モデル校としての新設組合立森本中学校長、引き続き、川北中学校長、浅野川中学校長を経て、現職を退かれたとき、いち早く、先生を東京の石川県学生寮の責任者として、荏原製作所社長畠山一清氏をはじめ、要人に推薦されたのが瓜生氏でした。昭和三十三年以来、寮長として十八年余、在京石川県学生の育英に、最後の心魂を傾けられました。そして、新装成った学生会館の基盤と、健全な寮風を確立し、その運営を軌道にのせ、後任者を見とどけて、齢八十二歳で、五十一年七月末退任されたのでした。

この間、私は先生の初弟子の教え子の一人として、旧制中学時代はもとより、先生の最期の日まで、親しく交わらせていただきました。先生によって培われた、先生の全人格―体を通しての「義に勇んで徳に果つ」の剣道精神は、いつまでも私の心の糧として、生涯のバックボーンとなっていることを感謝しています。

先生が寮長の晩年、奥様（木村清松先生〈物理〉娘）に先立たれたことは、先生の生涯における最も悲痛の極みとしての不祥事でした。いつまでも意気盛んな先生のご令室として、淑やかで、温かく深みのある方でした。学生寮を退き、金沢のお家で、若い方々とごいっしょに余生を送っていられたのでしたが、老人特有の脳血栓を患われ、先生の教え子である、川北病院長の誠意ある治療と、ご家族の看護も空しく、五十三年一月八日八十四歳で、静かに永眠されたのでした。

一泉同窓会の歴史に、いつまでも残る、愛校の情熱と、節を曲げない気骨ある先生でした。今日、一泉同窓会会員名簿が、明治二十七年の第一回卒業生以来、連綿として記録され、生彩を放っていることは、一に先生が現職の傍ら、丹念に初期時代の名簿作成の、資料収集と整理に奉仕された、誠意の賜であることを明記して、その労を多としたいものです。更に先生が、本多町から現在地に校舎移転の際は、その中枢として、その後、泉丘高校が旧一中の精神を継承し、名実ともに世の信頼と、確固たる基盤をつくり上げるまでの転換期においても、学外にあって、同窓会の立場から支援された、母校愛も見逃してはなりません。

（故　吉野勝太郎先生）

先生の薫陶を受けた多くの人材が、今日、それぞれ社会的に活躍し、先生をいつまでも敬慕していることを聞くにつけ、先生の生涯は、全く〝剣の道人の道〟で、教育者として真実に生き、誠実にして高潔、無私の人であったというべきでしょう。母校創立九十周年を迎え、ありし日の颯爽たる師の面影を偲び、懐古の情を新たにしています。

（一九八四・三・五記）

関東一泉同窓会の草創期、長年に亘ってお世話をされた
故　吉野勝太郎先生に寄せる追悼文
（会報「一泉」9号Ｓ59.6.20　Ｐ8）

昭和59年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（４名）

宮太郎一泉同窓会会長、西多外喜次同事務局長
鍋岡利明金沢泉丘高等学校長、正村健三同校教諭

一中　31名

（一中32）　下村節義、瓜生留雄、松林幸雄、泉谷弥一
（一中34）　浦茂、二木秀雄
（一中36）　斉藤季夫
（一中37）　松本三郎
（一中38）　宮田正雄、青戸泰賢
（一中39）　瓜生復男、伊藤直之、篠原外志武、中村敏雄
（一中40）　橋本正久、田中正能、渡辺六郎
（一中41）　須田正春
（一中42）　中側尚英、古沢英雄
（一中44）　古西一郎
（一中45）　中村八郎
（一中47）　坂本三十次
（一中50）　小中伸夫
（一中51）　毛藤文男
（一中52）　能谷明、山本武夫、奥田敬和
（一中54）　村田雅弘、中村喜三郎、伊勢長一
（一中55）　藤田栄一

泉丘　97名（男57　女40）

（泉丘２）　荒木一夫、大西喜枝、白尾惇、松田耀子、宮子章、池田穣、大れい子
（泉丘３）　竹田伸二
（泉丘４）　斉藤計宏、中谷治一、中村和夫、牧寛、大久保礼子、別所浩子、川本悦子、幸村鹿子
（泉丘５）　西尾稔、加島公夫、寺田保夫、藤島岑雄、太田昭雄、川村隆一、武内宏、竹崎吉蔵、野村弘毅、羽野良久、松井昭祐、森井宏、横田維弥、浅田照子、加藤和子、小堀郁代、下川敏子、柴田律子、鈴木喜和子、関戸寿美子、高山美恵子、田畑鶴子、中山恵子、藤村礼子、古谷綾子、松田栄子、陸田敦子、山田小枝子
（泉丘６）　北野昭式、沼田武二郎、野本正作、四井武、大塚容子、田村町枝、土田淑子
（泉丘７）　池内克哉、杉村亨、吉田紀幸、畦地洋子
（泉丘９）　小林鎌仁、杉本直治、辻勝介、松原弘平、森井博、山本行雄、加藤順子、杉森醇子、野口美智代
（泉丘10）　大西忠、田中蓉子、出口久雄、長森敏秦
（泉丘11）　赤井次郎、雲戸辰夫、津田暎信、西道隆、板垣幸子、小林和重、村上博子、松原悠紀雄
（泉丘12）　麻田孝治、飯野靖四、越野正行、谷口克俊、西多邦夫、安原伸正、笠間紀子、川島章子、高橋明美、寺田潟美、西田久美子、東和子
（泉丘13）　島村眞吉、田中洋子
（泉丘14）　園部昌彦、瀬村龍一、上田正山
（泉丘15）　松本健
（泉丘18）　株田栄一、越田嘉範、徳田悠

昭和60年

この年の国内・海外の主な出来事

1.26　山口組組長・竹中正久ら幹部3人射殺される
3.10　青函トンネル本坑（世界最長53.85km）貫通
3.14　新幹線上野駅開業
4.1　日本電信電話会社（NTT、旧電電公社）、日本たばこ産業会社が民営化スタート
7.13　天皇陛下最長寿記録（30756日）
8.12　日航ジャンボ機が空中分解、群馬県の御巣鷹山尾根に墜落
11.2　阪神タイガース21年ぶりリーグ優勝、日本シリーズ初優勝

［ソ］ミハエル・ゴルバチョフ共産党書記長となる
メキシコ大地震

1985.9.20（金）

60年度関東一泉同窓会総会

於・ホテル・サンルート東京

幹事期・泉丘6期

約170名出席

金沢より来賓　小川忠男、柴野常太郎、中谷道子 一泉同窓会副会長、西多外喜次一泉同窓会事務局長、田畠恒保泉丘高等学校教頭、田村昌俊同校教諭

役員改選にあたり、会長　浦茂（一中34）、副会長　瓜生復男（一中39）、顧問　下村節義（一中32）氏の再任に加えて、次第に泉丘出身の時代となる情勢を考慮し、副会長に北野昭式（泉6）、高浪克子（泉4）氏が選出された。

きり金工芸の人間国宝・西出大三氏（一中39）も出席。
総会の計画・運営は一切泉丘6期が年度代表幹事期として行った。

・会報「一泉」11号S60.12.20、加能人誌S60.10月号、出席者（予定）リストより

◇関東一泉会ひらく

本年度関東一泉会の総会は、九月二十日計画及び運営は一切が泉六期生で開催の準備をすることになった。金沢より馳せ参じた同期生五、六名も加わり大成功裡に大会が進行した。

六期生の北野昭弐君の開会の辞にはじまり、浦茂会長の挨拶と来賓の紹介があり議事に続き役員の改選があり、情勢も次第に泉丘出身の時代となる為に役員の強化の意味で新らしく副会長に泉丘出身の北野昭弐氏及び高浪克子氏を指名され全員の賛同を得た。

会場となった新宿のサンルート東京のホールも一七〇名の会員で熱気に溢れる盛況であった。

学校側より田畠教頭、田村教諭、同窓会本部より小川副会長、西多事務局長が出席し夫々学校、同窓会活動の状況報告があった。

開宴は顧問の下村節義氏の乾盃で始まる。壇上、檄をとばす者、スピーチをなす者、流行歌をうたいまくる者、久濶をよろこび合うグループがあちこちに集り和気あいあいの風景がみられた。

尚、会場には先般、人間国宝に指定された截金工芸の西出大三氏の姿もみられ、大会は来年の再会を期して九時散会した。

会報「一泉」11号S60.12.20　P18

関東一泉同窓会

170名出席

関東一泉同窓会（会長・浦茂氏）では、九月二〇日六時から新宿駅前・ホテル・サンルート東京で60年度総会を開いた。

金沢から小川副会長、中谷副会長、西多事務局長、田畠教頭、田村先生が出席、さらに司会者として北陸放送の福田氏も出席、関東の会員百七十名が参加して盛会だった。浦会長の挨拶のあと、小川副会長、西多事務局長から母校の近況があり、さらに役員が改選され、次のとおり改選された。

会長・浦茂（再）　副会長・瓜生復男（再）　顧問・下村節義（再）　副会長・高浪克子（新）　北野昭式（新）

福田氏の名司会で懇親も盛り上がり、和やかに懇談。特設舞台での隠し芸、校歌や応援歌をうたい旧交を温めた。

出席者（中学）押村㉙　小林㉚　瓜生　春日　柴田㉜　脇水㉟　斉藤㊱　小倉㊱　青戸　沢田㊳　伊藤　西出　幸村　高松　村上　越村㊴　橋本㊶　須田　関㊶　小黒　久保木　鴻野　中側　中谷㊷　金原　中村　松原　安田㊺　吉田㊻　石川㊾　石川　市橋　井上　金谷　改田　香谷　杉谷　中野　永井　人見　二俣　横井　近藤　杉野㊸　宮川㊹（泉丘）村上　亀田　大原　松田　杉野　白石　山下　竹田②　宮本　川本　高木　高浪　清水　徳田　幸村　中山　石橋　大久保　中村　大西　別所　亀井　国本④　関戸　古谷　中山　小堀　野村　藤村　高山　浅田　松田　川村　多田　田畑⑤　割崎　福島　船戸　三村　吉村　福田　藤村　徳田　辻　橋浦　鈴木　能勢　板本　神保　平松　北野　大塚　沢　永井　吉田　若村　田村　土田　和田　菅谷　藤田　氷見　成清　大美　野本　渡辺　中谷　清水　深元⑥　畦地　今井　杉村　河村　中村　米　吉田　前田　高迫　宮橋　奈田⑦　猪ノ坂　宮本　宮丸　佐々木　山本　清水　坂井　円角　竹花⑧　杉本　川上　中村　小林　蒲田　石橋　西島　加藤　古村　木下　小倉　杉森⑨　大西　森⑩　小林　田中　佐々木　小林　雲戸　斉藤　吉田　石垣　佐々木　庄山　中村　前田　渡辺　三宅　板垣　山田⑪　近藤　安原　羽野　飯野　大野木　笠間　額谷⑫　田中⑮　藤村⑰　市村⑱　内藤㉜

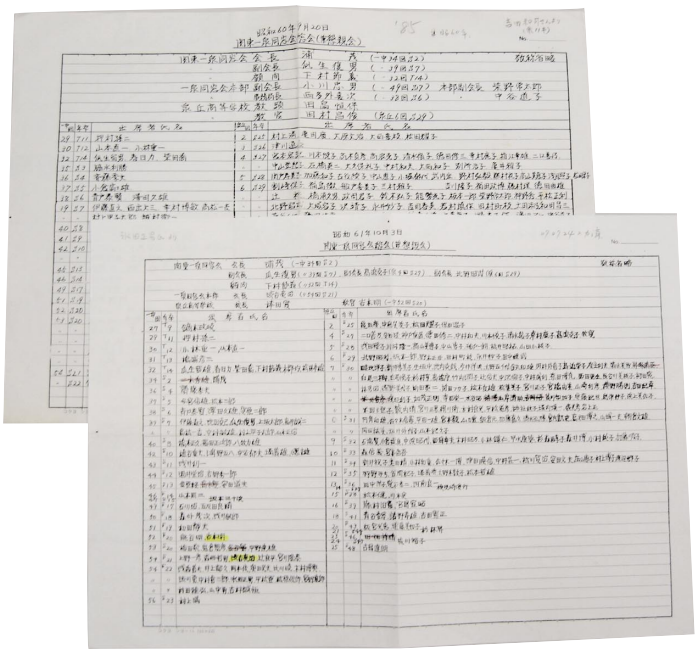
（加能人誌S60.10月号）

昭和60年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（６名）
小川忠男一泉同窓会副会長（一中49)、
柴野常太郎同副会長（泉６)、中谷道子同副会長（泉６)、
西多外喜次同事務局長（一中38)、
田畠恒保金沢泉丘高等学校教頭、
田村昌俊同校教諭（泉丘６）

一中　67名
（一中29）　押村孫二
（一中30）　山本直一、小林重一
（一中32）　瓜生留男、春日力、柴田喬、下村節義
（一中34）　浦茂
（一中35）　脇水利勝
（一中36）　斉藤季夫
（一中37）　小倉富士雄
（一中38）　青戸泰賢、澤田久雄
（一中39）　瓜生復男、伊藤直之、西出大三、幸村博敏、
高松一吉、村上甲子太郎、越村衛一
（一中40）　橋本正久、田中正能
（一中41）　杉田正、須田正春、関暢
（一中42）　雄谷重夫、小黒智蔵、久保木信夫、鴻野五八、
中側尚英、中谷郁夫、古沢英雄
（一中45）　金原経、中村八郎、松原肇、安田信夫
（一中46）　吉田喜市
（一中49）　大坪景章、五反田良精、石川治、鬼塚通敬
（一中51）　井澤郁朗
（一中52）　足立仁一、松田利三、能谷明
（一中53）　石川弘、市橋昌利、井上和夫、金谷繁、
改田尚三、香谷進、杉谷光治、寺中慶二郎、
中野達雄、永井浩、人見悠紀夫、二俣和夫、
舛村善尚、横井辰雄、近藤修、関重夫、
東幸雄、杉野輝夫、竹田靖久
（一中54）　宮川隆泰、伊勢長一、中村喜三郎

泉丘　131名（男71　女60）
（泉丘２）　村上満、亀田廣、大原文治、大西喜枝、
松田耀子
（泉丘３）　津川通泰
（泉丘４）　宮本宏記、川本悦子、高木貞彦、高浪克子、
清水嶺子、徳田修三、幸村鹿子、指江幸雄、
二口善乃、中山登紀子、石橋英二、
大久保礼子、中村和夫、大西和子、別所浩子、
亀井雅子
（泉丘５）　関戸寿美子、加藤和子、古谷綾子、中山恵子、
小堀郁代、武内宏、野村弘毅、藤村礼子、
高山美恵子、浅田照子、松田栄子
（泉丘６）　割崎保子、福島徹、船戸喜美子、三村雅子、
吉川隆子、福田政博、藤村理、徳田由雄、
辻裕、橋浦久男、政岡君子、鈴木弘子、
能勢光子、坂本一郎、神野秀、平松正利、
北野昭式、大塚容子、沢靖子、永井妙子、
吉田春美、若村慎作、田村町枝、土田淑子、
和田昌三、菅谷くに、藤田佳恵、氷見正久、
成清治道、大美康子、野本正作、渡辺アヤ、
清水洋明
（泉丘７）　畦地洋子、今井洋次、杉村亨、河村外喜子、
中村成利、米外喜彦、吉田紀幸、前田英二、
高迫栄子、宮川正男、座主利夫、宮橋由美
（泉丘８）　猪ノ坂栄子、宮本毅、岡田紘美、宮丸凱史、
佐々木信憲、山本紀久子、清水弘勝、
坂井外代子、円角和雄、村上博子、竹花貞行
（泉丘９）　杉本直治、川上拓、中村慶子、小林鎌仁、
蒲田亮子、石橋寛、西島幸夫、加藤順子、
古村桂子、木下克子
（泉丘10）　大西忠、森信義
（泉丘11）　小林二郎、田中昭子、佐々木一博、新谷修、
小林和重、雲戸辰夫、斉藤馨、吉田和可
石垣久世、佐々木美根子、庄山恵子、
浅田映信、中村荘一、山田義人、前田富士子
渡辺郷子、三宅恒
（泉丘12）　近藤昌子、安原伸正、羽野みち、飯野靖四、
大野木敦子、酒井忠夫、笠間紀子、額谷忠彦
（泉丘15）　田中正道
（泉丘17）　藤村治憲
（泉丘18）　寺田裕紀
（泉丘24）　宗形立夫
（泉丘32）　広岡良博



昭和60年、61年度の総会出席者（予定）リスト

この年の国内・海外の主な出来事

昭和61年

4.1　男女雇用機会均等法が施行
4.8　アイドル歌手の岡田有希子、飛び降り自殺
5.8　英皇太子チャールズ・妃ダイアナ来日
11.15　三原山大噴火
12.9　ビートたけしと軍団11人が、深夜講談社（フライデー）に殴り込み

米シャトル・チャレンジャー打ち上げ7分後に爆発
ハレー彗星、地球に大接近
ソ連チェルノブイリで原発事故

1986.10.3(金)

61年度関東一泉同窓会総会

於・日比谷松本楼

幹事期・泉丘７期

198名出席（61年度会計報告より）。**応援に金沢から30人以上の７期生が上京する。（同期生の多数出席が慣例となる）**

金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、棒田　実泉丘高等学校長、吉本　明教諭

卒業生の国会議員多数出席
坂本三十次、奥田敬和、和田静夫衆議院議員が挨拶
沓掛哲男参議院議員当選挨拶（61年7月初当選）

来賓・会員からの寄付金　計96,000円

会場に「柿の葉ずし」「どじょうのかばやき」が出る。

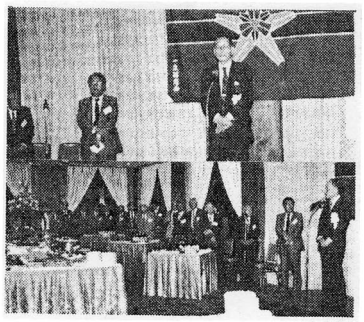
・予想を超える参加者だったので、松本楼側が２階が危ないので入場制限を申し入れてきた。（泉丘7期白尾氏より）

・加能人誌Ｓ61.11月号、61年度会計報告より

関東一泉同窓会

二百人が親睦

関東地区在住の金沢一中・泉丘ＯＢの関東一泉同窓会（浦茂会長）は十月三日六時から東京・日比谷公園・松本楼で61年度総会を開催。ことしは泉丘七期生が幹事となり、郷里から渋谷亮治本部会長や棒田高校長も出席。白尾三樹氏（七期）の司会で進行。まず杉村享代表幹事が開会の辞を述べたあと、浦茂会長が「母校は進学率も高く、文武両道に秀れていることは名誉なことである。ことしは創立92年を迎えた輝く歴史を記すため、関東地区の名簿の作成を計画している。協力を望む…」と挨拶。次いで渋谷本部会長から「金沢香林坊の再開発が完成し、面目一新したのでぜひ訪問を…」と述べ、棒田校長から「今春就任したばかりだが、伝統ある校風を守りたい」との祝辞があった。



ついで次回幹事を八期と十八期と決めて懇親会に入った。最年長の鏑木政岐氏（八四）の乾杯音頭で開宴。久濶を叙して盃をくみかわした。会場には坂本三十次、奥田敬和両代議士、沓掛哲男参議員も顔をみせ、同級生らと旧交を温めた。宴酣にして在校時代を回顧して一中校歌、泉丘高校歌南征の調などの大合唱となり、初秋の日比谷公園の夜のしじまに響いた。司会者の指名で最年少者から本日の感想を一席述べるハプニングもあり、最後に同窓会副会長の瓜生復男氏から閉会の辞があってようやく散会した。

出席者（丸数字は卒業回数）次の通り。

（一中）鏑木㉗　押村㉙　小林重一　山本㉚　橋浦㉛　瓜生　春日　柴田　下村　本部　松林㉜　浦㉞　斎藤㊱　松本㊲　青戸　澤田　安原㊳　伊藤　池田　瓜生　上坂　高井　高松　中村　村上　山本㊴　橋本　福田　八牧㊵　雄谷　鴻野　中谷　堀　小黒㊷　浅井㊸　酒井　吉野㊹　金原　安田㊺　山本㊻　坂本㊼　石川　五反田㊾　森　浅井㊿　和田(51)　能谷　吉本(52)　梅田　鬼倉　中野(53)　上野　沓掛　渋谷　辻　宮川　浅香　井上　岡本　奥田　北川　木村　渋川　中村　氷田　平松　松原　宮野　村田　山中　吉村(54)　村上(55)　（泉丘）亀田　中島　松田　保田②　二口　安田　神戸　徳田　中村　川本　清水　幸村　高浪　牧④　浅田　川村　高山　中山　船戸　松井　山田⑤　北野　坂本　野本　田村　永井　田中⑥　畦地　新井　生垣　池内　今井　大野　金丸　河村　高迫　座主　清水　白尾　白尾　杉村　高橋　竹内　辻　中沢　中村　奈田　西田　長谷川　初田　林　深野　前田　前田　松本　松葉　宮川　宮橋　山崎　横野　吉田　渡辺　加茂　寺西　水谷　山岸　荒川　安藤　島津　浜上　米田　薮内　宮川　絹川　木村　平松　神社　堀内　俵　岩上⑦　円角　佐々木　平田　宮本　山口　飯倉　加藤　清水　宮丸　高畑　山城　朝倉　岡田　坂井　山本⑧　石橋　小倉　中浜　西島　木村　小林　早水　杉森　森井　小村　加藤⑨　森　宮本⑩　新井　老田　小林　佐々木　津田　中村　松川　安田　庄山　村上　渡辺⑪　羽野　笠間　堀　大野木　松本⑫　田中　覚本　河南⑬　検見崎⑭　松本　川本　⑮藤村　宮島⑯　青谷　諸野⑱

（加能人誌Ｓ61.11月号）

昭和61年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
渋谷亮治一泉同窓会会長
棒田実金沢泉丘高等学校長、吉本明同校教諭

一中　69名
(一中27)　鏑木政岐
(一中29)　押村孫二
(一中30)　小林重一、山本直一
(一中31)　橋浦彦三
(一中32)　瓜生留雄、春日力、柴田喬、下村節義、本部均、松林幸雄
(一中34)　浦茂
(一中36)　齋藤季夫
(一中37)　松本三郎
(一中38)　青戸泰賢、澤田久雄、安原二郎
(一中39)　伊藤直之、池田克巳、瓜生復男、上坂太郎、高井誠二、高松一吉、中村敏雄、村上甲子太郎
(一中40)　橋本正久、福田正次郎、八牧力雄
(一中42)　雄谷重夫、鴻野五八、中谷郁夫、堀義雄、小黒末雄
(一中43)　浅井利一
(一中44)　酒井栄治、吉野秀一郎
(一中45)　金原経、安田道夫
(一中46)　山本周三
(一中47)　坂本三十次
(一中49)　石川治、五反田良精
(一中50)　森外茂次、浅井敏郎
(一中51)　和田静夫
(一中52)　能谷明
(一中53)　梅田敬、鬼倉照彦、中野達雄
(一中54)　上野一彦、沓掛哲男、辻良平、宮川隆泰、浅香善夫、井上韶久、岡本佼、奥田光夫、北川暁、木村博典、渋川勇、中村喜三郎、氷田正男、平松登、松原俊郎、宮野達郎、村田雅弘、山中勇、吉村誠恒
(一中56)　村上満

泉丘　140名（男86　女54）
(泉丘２)　亀田廣、中島芙美子、松田耀子、保田温子
(泉丘４)　二口善乃、安田隆、神戸重盛、徳田修二、中村和夫、川本悦子、清水嶺子、幸村鹿子、高浪克子、牧寛
(泉丘５)　浅田照子、川村隆一、高山美恵子、中山恵子、船戸一朗、松井昭祐、山田小枝子
(泉丘６)　北野昭式、板本一郎、野本正作、田村町枝、永井妙子、田中維武
(泉丘７)　畦地洋子、新井恵美子、生垣中、池内克哉、今井洋次、大野五千代、金丸和雄、河村外喜子、高迫栄子、座主利夫、清水美雪、白尾三樹、白尾悦子、杉村亨、高橋守、竹内潤子、辻信夫、中沢倫子、中村成利、奈田博充、西田更生、長谷川美枝子、初田亮、林芳治、深野美代子、前田英二、前田フサ子、松本良雄、松葉美子、宮川正子、宮橋由美、山崎利彦、横野勝則、吉田紀幸、渡辺利子、加茂正則、寺西栄一、水谷昭、岸清助、荒川知加子、安藤紀世、島津妙子、浜上美佐子、米田澄子、藪内清、宮川正男、絹川衛、木村良光、平松道彦、神社秋子、堀内瑛一、俵光彦、岩上正
(泉丘８)　円角和雄、佐々木信憲、平田一雄、宮本毅、山口豊、飯倉元、加藤嘉久、清水弘勝、宮丸凱史、高畑博之、山城一夫、朝倉文雄、岡田紘美、坂井外代子、山本紀久子
(泉丘９)　石橋寛、小倉捷良、中浜昭代、西島幸夫、木村昭乃、小林鎌仁、早水康葵、杉森醇子、森井博、小村純子、加藤順子
(泉丘10)　森信義、宮本信吾
(泉丘11)　新井祝子、老田靖、小林和重、佐々木一博、津田暎信、中村荘一、松川寛治、安田文夫、庄山恵子、村上博子、渡辺郷子
(泉丘12)　羽野みち、笠間紀子、堀義典、大野木敦子、松本哲雄
(泉丘13)　田中洋子、覚本孝二、河南良一
(泉丘14)　検見崎俊行
(泉丘15)　松本健、川本実
(泉丘16)　藤村治憲、宮島宣昭
(泉丘18)　青谷懿、諸野寿雄、吉田憲正
(泉丘20)　板宮光恵、遠藤美知子
(泉丘21)　杉林昇
(泉丘24)　荒川裕子
(泉丘25)　古島達朗

同窓会通信

浦　茂氏に記念刀贈られる
―日本刀剣保存会から―

終戦後マッカーサー元帥のＱＨＱからの指令で「個人所有を含むすべての刀剣の破壊を要求する」との内容に対し、美術品としての日本刀の滅亡を防ぎたいと願って、終戦時大本営連絡官としてマッカーサー元帥のＧＨＱとの折衝窓口として終戦処理に当られた浦氏がこのＧＨＱに対して、二ヶ月間筆舌に尽し難い苦労と根気でもって折衝の努力を続けられ、ついに昭和二十年十月二十四日「善意の日本人の所有する骨董品、美術品的刀剣は審査のうえ保管を許す」とのＧＨＱ指令をかちとられ、その後二十一年六月に勅令が発布され刀剣の審査権、所持許可権は一切日本政府自づから管掌し、本間順治氏を委員長とする刀剣審査会が組織され、名実ともに日本刀復帰が実現いたしました。

そして浦氏が陸軍大学ご卒業のとき天皇陛下より拝領された恩賜の軍刀は米軍に没収されたまま還りませんでしたが、思いがけず日本刀剣保存会では同じ作者小谷靖憲刀匠の同年同月日の裏銘のある作品を奇しき縁で入手し、これを研磨完成され、日本刀の未曽有の危機に際し一身を賭して努力された大恩人の浦氏に心からの感謝の意を捧げたいと、この日本刀を日本刀剣保存会主催の第十五回大会（昭和六十一年七月六日、東京都港区の八芳園‖旧大久保彦左衛門邸‖で開催）懇親会席上で記念品として浦氏に贈呈された。

この年の国内・海外の主な出来事

昭和62年

3.17　アサヒビール・スーパードライ発売
4.1　国鉄分割・民営化、JRスタート
5.3　朝日新聞阪神支局に覆面男侵入、散弾銃発砲、記者１人死亡
10.1　TBS、フジテレビ、平日24時間放送開始
10.12　利根川進がノーベル医学生理学賞を受賞

世界人口50億人を突破

1987.10.2(金)

62年度関東一泉同窓会総会

於・ホテル国際観光

幹事期・泉丘８期

（泉丘18期）

（10年後輩の期が幹事期をサポート）

199名出席（一中87名、泉丘112名（内女性27名））（62年度会計報告より）
金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、山本道生同副会長、
堀口　渉一泉同窓会事務局長、棒田　実泉丘高等学校長
会費　男性9,000円　女性8,000円
来賓・会員その他からの寄附金　計170,000円
金沢からの土産「どじょうのかばやき」が出る。

作詩・作曲した野本正作（泉６）氏が「一泉讃歌」を披露。
★宮本毅幹事代表は会員名簿をパソコンで作成し、フロッピーに保存。
次年度に名簿作成を要請した。（62年度反省会資料より）

・加能人誌Ｓ62.11月号、62年度会計報告より

関東一泉同窓会　二百五十名が出席

一方、関東一泉同窓会（浦茂会長）は十月二日六時から東京八重州の国際観光ホテルで開き、ここも二百五十五名の盛況だった。同会も泉丘８期生が当番となり、宮本毅幹事の司会で進行、開会に先立って金沢側より郷土名物どじょうの蒲焼四百本が寄贈された。

浦会長は本日の盛会を祝し、故郷への思いが長寿にもつながると挨拶。来賓の棒田校長も学校の近況として、大学への優秀な入学率、インターハイでの活躍を報告、さらにことしは創立94年を迎えたが、来たる百周年には盛大な式典を計画していると報告。このあと渋谷亮治同窓会長、山本道生副会長、堀口渉事務局長がそれぞれ挨拶。

懇親会に入り、押村孫二幹事の乾杯音頭で開宴。かくて皎々たる宴会場をうずめ尽くした出席者で大賑わい。久闊を叙し、健康を祝し合いながら献盃しきり、和気あいあいの雰囲気につつまれた。宴酣に及んで野本正作幹事が作詞作曲の「一泉讃歌」を声高らかに披露したので、一同感激しきり。そして恒例の一中校歌・泉丘校歌の斉唱がホールにこだまして学生時代の気分がみなぎった。やがて瓜生留雄副会長の閉会の辞で、名残りを惜みながら散会した。

（加能人誌Ｓ62.11月号）

関東一泉同窓会

関東一泉同窓会は十月二日六時から東京八重洲のホテル国際観光で開いた。幹事は宮本毅(泉31)、北村誠一(泉41)の両氏が担当した。

10月号に速報が掲載された。
※宮本、北村氏の（　）内は、卒年表示。
（加能人誌Ｓ62.10月号）

（葉書往信用）　　　関東一泉同窓会ご案内

同窓会長　浦　　茂

会員の皆様！　恒例の秋の総会・懇親会が、決定しました。
先輩、後輩と、一年に一度、同じ学び舎の思い出を賑やかに語り合いましょう。
尚、お知合いで通知もれの方がございましたら誘っておいで下さい。

日時：　１０月２日（金）午後５時半受付開始
場所：　ホテル国際観光　大宴会場
　　　　　電話　０３－２１５－３２８１
交通：　ＪＲ　東京駅八重州北口徒歩２分
会費：　男性　９０００円　　　女性　８０００円

大正
昭和＿＿＿卒業＿＿＿回 幹事＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿より
（9月15日までにお返事下さい）
お願い　来年度は関東在住者の同窓名簿を発行いたしますので、出欠に拘らず所定事項記入の上必ずご返信下さい。

（葉書返信用）　　　昭和６２年度
関東一泉会同窓会総会・懇親会

出
欠
（不要の文字を消して下さい）

ふりがな
ご芳名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

卒業年次：大正
　　　　　昭和　　　　　年卒業　（　　　）回

ご 住 所：〒＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご自宅電話：＿＿＿＿ー＿＿＿＿ー＿＿＿＿＿＿

ご 職 業：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
勤務先名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　勤務先 電話：＿＿＿＿　＿＿＿　＿＿＿＿

お願い　来年度は関東在住者の同窓名簿を発行いたしますので、出欠に拘らず所定事項記入の上必ずご返信下さい。

各期の幹事の皆様へ

左記の要領でご案内を差し上げたいと存じます。こちらで作成しました名簿を元にして、勝手ながら枚数を割り当てたいと思いますが、お許し下さい。八月十日ごろに皆様のもとへお届けできるか思います。お手元に届きましたら往信面に、お宅様のお名前を記入の上、投函して頂きますようお願い申し上げます。右用件のみにて

草々

七月二十七日

六二年度幹事代表
第八期幹事　宮本　毅
第一八期　〃　北村　誠一

様

お詫び

本来ならば、各期の幹事の方全員に案内状を差し上げるべきなのですが、郵送上の煩雑さもあり、各期１名様にして頂きましたので、ご了承下さい。それで、各期の名簿を一部同封致しました。右端に幹事と記してある方があなたの期の幹事です。どうぞご連絡をお取りになってスムースに行くように御配慮下さい。又、御手元の住所録と照らしあわせて、ご確認を願います。訂正の部分が、多々あると思いますので、お世話様でもご一報下さい。

★総会の案内はがきは、年度代表幹事から各期幹事宛に各期の名簿を添えて該当枚数を送付し、各期の幹事が宛名を書いて会員に発送していた。

昭和62年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（４名）
渋谷亮治一泉同窓会会長、山本道正同副会長、
堀口渉同事務局長、
棒田実金沢泉丘高等学校長

一中　114名
(一中29)　押村孫二
(一中30)　小林重一
(一中31)　橋浦彦三
(一中32)　瓜生留雄、春日力、下村節義、柴田喬、寺島克次郎、松林幸雄、
(一中34)　浅田賢造、浦茂
(一中35)　越田喜久治、林俊朗、福田重一
(一中36)　岩野正隆、齋藤季夫
(一中38)　青戸泰賢、久我久夫、小俣外世雄、澤田久雄、友田正雄、安原二郎、宮田正雄
(一中39)　伊藤直之、瓜生復男、上坂太郎、高井誠二、高松一吉、中村秀臣、中村敏雄、幸村博敏
(一中40)　橋本正久、八牧力雄
(一中42)　中側尚英、中谷郁夫、西村忠恭、古沢英雄、堀義雄
(一中43)　河毛二郎、谷山巖、中林二郎、村本健次郎
(一中44)　吉野秀一郎
(一中45)　金原経、楠隆雄、小西金郎、高木兼二、中村史郎、中村八郎、松林理国、山口九郎、安田道夫、駿河敬二郎
(一中46)　吉田喜市
(一中47)　池田亥左夫、越智啓介、坂本三十次、福岡二郎
(一中48)　米谷清正
(一中49)　小原明、北川啓、五反田良精、高橋啓
(一中50)　市野孫之丞、大橋信之、小中伸夫、藤野正行、松島由次、安田健夫
(一中51)　上野修、北中久一、越田保、和田静夫
(一中52)　足立仁一、井土清、宇野富美雄、卯西鉄男、奥田敬和、村永幸男、山田肇
(一中53)　石川弘、井上和夫、市橋昌利、改田尚三、金谷繁、香谷進、近藤修、榊原廣、杉谷光治、中野達雄、東幸雄、人見悠紀夫、二俣和夫
(一中54)　浅香善夫、伊勢長一、泉谷勝巳、奥田光男、木村博典、中村喜三郎、氷田正男、松原俊郎、宮川隆泰、村田雅弘、山本正純、四谷輝夫、糸多宗人
(一中55)　鶴屋一郎、中田直人
(一中56)　正見彰、長林茂、平野明、村上満、山本久雄
(一中57)　福岡省吾

泉丘　138名（男102　女36）
(泉丘２)　浦満、大西喜枝、金守謙吉、亀田廣、白尾惇、高岡歩、中島晃一、松田耀子、宮子章
(泉丘３)　竹田伸二
(泉丘４)　岡崎健治、北出公則、国本明、斉藤計宏、高浪克子、徳田修二、中村和夫、中山登紀子、牧寛、森田幸子、
(泉丘５)　川村隆一、高山美恵子、野村弘毅、宮本晴彦
(泉丘６)　織田充彦、河嶌拓治、北野昭式、清水洋明、辻裕、徳田由雄、沼田武二郎、野本正作、藤村理
(泉丘７)　畦地洋子、新井恵美子、池内克哉、生垣中、高迫栄子、白尾三樹、杉村亨、辻信夫、西野博、平松道彦、前田英二、松葉美子、吉田紀幸、米外喜彦
(泉丘８)　猪ノ坂知栄子、岩上誠次、岡田紘美、尾崎洋子、兼田泉、坂井外代子、定木正人、三納吉二、清水弘勝、下村外志夫、鈴木啓子、田村利雄、中野明彦、平田一雄、藤盛曠和、宮丸凱史、宮本毅、山口豊、山城一夫、山本紀久子、吉野修、鷲田巖、星野正憲
(泉丘９)　市川成一、太田健人、加藤順子、蒲田亮子、小林鎌仁、古村桂子、杉原弘泰、高嶋勲夫、中村慶子、西島幸雄、野口美智代、林雅章、早水康葵、松田砂江子、森井博、山岸正勝
(泉丘10)　大西忠、木村佐知子、中山幸夫、長森敏泰、鍋谷汎
(泉丘11)　小杉圭子、小林和重、佐々木一博、新谷修、多田美代子、谷順二、橋本健一、山田祥二
(泉丘12)　笠間紀子、北川昭八、東和子、山田勝利、渡辺敦志
(泉丘13)　覚本孝二、米田外志男
(泉丘14)　検見崎俊行、塗師斌
(泉丘15)　生山匡、中川孝雄、松本健、丸岡昭夫、保谷美苗
(泉丘17)　右沢幸雄、折戸儀夫、高橋隆之
(泉丘18)　青谷懿、北村誠一、小関彩子、小高智、鈴木久美子、田川久美、中村孝一、三宅仁美、山岸茂夫、吉田憲正
(泉丘20)　板宮光恵、遠藤美知子、浜田久恵、松本正一
(泉丘21)　飯田晶子、北岡健一、島田誠司、福田廣志、熊田潔、本田聡、松野博明

昭和62年～平成１年度
総会出席者（予定）
リスト

昭和63年に発行された
「関東一泉会員名簿」。
巻頭に掲載された
浦　茂 会長のご挨拶。

発刊にあたり

関東一泉同窓会会長　　浦　　茂

この度、豫てから要望のありました首都圏の同窓会の名簿が、発行されますことをお欣び申しあげます。霽蒼たる本多の森の一中、広い畑の中の泉丘高、そして今の近代校舎、九十五年の星霜を経て綴られたこの名簿は、私どもが若き日のロマンと情熱を傾け、学業にいそしんだ同窓の生きた消息便りであります。

そしてまた、百万石の城下町を背景に、厳霜砕を仰ぐ列々たる気風を、逆流の像から科学する心を、久田校長像の温容から包容力を、感じ学んだ輝かしい歴史と伝統の縦と横との絆として、さらに人生の尊い触れ合い、懐かしい友垣のオアシスの一隅を、この冊子が照らすであろうことを祈念します。

歴史と伝統は人を造り、人また歴史と伝統をつくります。連綿として永劫に続く母校と同窓会の心の通いを深めようと、この名簿作成にご尽力された各期幹事の各位に深く感謝いたします。そして五年後の母校創立百周年をめざして、この初版が更に内容の充実をはかられますよう念願いたします。

昭和63年

1988.10.5(水)

63年度関東一泉同窓会総会

於・グランドヒル市ヶ谷

幹事期・泉丘９期

（泉丘19期）

関東一泉会員名簿
1988年10月　母校創立95周年記念
A4サイズ１色刷全78ページ（名簿・広告ページ他）

この年の国内・海外の主な出来事

3.13　青函連絡船最終便　青函トンネル開業
3.13　東京ドーム完成
4.10　本州と四国を結ぶ「瀬戸大橋」が開通
5.6　よど号日航機ハイジャック犯の１人、日本赤軍の柴田泰弘を新宿で逮捕
6.18　リクルート疑惑
7.23　海上自衛隊潜水艦なだしおと釣り船が衝突30人死亡

イラン･イラク戦争８年ぶりに停戦
［米］大統領選挙でブッシュ当選
第24回オリンピック　ソウル（韓国）で開催

212名出席（男性172名、女性40名）（63年度会計報告より）
金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、中谷道子同副会長、高山義一泉丘高等学校教頭
会費　男性8,000円　女性7,000円
寄付金　46,000円　浦　茂関東一泉同窓会会長より1,000,000円
・総会の司会に若手落語家を起用。進行を盛り上げる。
★関東一泉名簿発行　売上　631,000円
広告収入　1,270,000円（名簿印刷代897,800円）
・63年度「反省会」資料より

（西島幸夫泉丘９期代表幹事より当時の様子が寄せられた）

★・会場をはじめてグランドヒル市ヶ谷に移した。折から昭和天皇の病状悪化が伝えられ、崩御の場合は、中止するとの浦会長指示があった。幸い予定通り開催されたが、万一の場合に備えて緊張の日々であった。
・関東の総会では初の企画として、「経営心理について」というミニ講演を松本順会員（一中42）を講師に行ったが、集中して聞いて貰えなかった。
・名簿の発刊に際し、広告依頼に奔走して無事刊行した。

昭和63年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
渋谷亮治一泉同窓会会長、中谷道子同副会長
高山義一金沢泉丘高等学校教頭

一中　95名
（一中29）　押村孫二
（一中32）　春日力、柴田喬、下村節義、竹田喜久三、松林幸雄
（一中34）　浅田賢造、浦茂、中川尚二
（一中35）　福田重一、脇水利勝
（一中37）　小倉冨士雄、竹下五久男
（一中38）　青戸泰賢、小俣外世雄、沢田久雄
（一中39）　伊藤直之、瓜生復男、中村敏雄、西出大三、前田弘、山本正治
（一中41）　梶本義男、谷村弘、南丁巳知
（一中42）　雄谷重夫、鴻野五八、中谷郁夫、古沢英雄、松本順
（一中43）　浅井利一、中林二郎、藤田正辰、松林理彦、森山隆平
（一中45）　駿河敬次郎、中村史郎、中村八郎、安田通夫、山口九郎
（一中46）　村本健次郎、吉田喜市
（一中47）　近藤靖
（一中49）　石川治、小原明、武田浩、山田耕二
（一中50）　浅井敏郎、川北博、藤岡昇、堀吉彦、安田建夫
（一中51）　越田保、高木繁
（一中52）　足立仁一、宇野富美雄、笠松佳吉
（一中53）　石川弘、市橋昌利、井上和夫、梅田敬、改田尚三、金谷繁、香谷進、近藤修、杉谷光治、鞆安昭、中野達雄、人見悠紀夫、二俣和夫、山本信夫
（一中54）　泉谷勝巳、伊勢長一、糸多宗人、奥田光男、川久保昇、北川暁、木村博典、田島武治、中村喜三郎、平松登、松原俊郎、村田雅弘、山本正純
（一中55）　今永幸人、鶴屋一郎、平松健治
（一中56）　正見彰、長林茂、西井辰男、平野明、村上満
（一中57）　永多昭、福岡省吾、宮崎茂

泉丘　152名（男99　女53）
（泉丘２）　荒木一夫、今井弘、大西喜枝、北野昭義、篠原誠子、田中照久、宮子章、谷内章
（泉丘３）　下川幸代、竹田伸二、津川通泰
（泉丘４）　岡田京子、亀井雅子、川本悦子、北出公則、幸村鹿子、清水嶺子、高崎絢子、高浪克子、徳田修二、中山登紀子、二口善乃、別所浩子、山良真作、米村傳子
（泉丘５）　川村隆一、小堀郁代、高山美恵子、野村弘毅、古谷綾子
（泉丘６）　大塚容子、北野昭式、澤靖子、辻裕、沼田武二郎、野本正作、橋浦久男、平松正利、藤村理
（泉丘７）　高迫栄子、座主利夫、杉村享、辻信夫、中村成利、平松道彦、福島務、前田英二、松本良雄、吉田紀幸、米外喜彦
（泉丘８）　猪ノ坂知栄子、岩上誠次、岡田紘美、加藤嘉久、兼田泉、河原勇、定木正人、清水弘勝、下村外志夫、田村利雄、宮本毅、山本紀久子
（泉丘９）　市川成一、井上康子、岩上豊、岩下恵子、大倉輝子、小倉捷良、尾崎良二、加藤順子、蒲田亮子、上丸満、川上拓、木津克司、北井博、北田明弘、木下克子、木村昭乃、車信弘、小林鎌仁、小村純子、杉本直治、杉森醇子、高坂要子、田縁勝治、任田晃一郎、中浜昭代、中村慶子、南藤和子、西島幸夫、新田幸子、野口美智代、早水康葵、深尾外代美、古村桂子、松田砂江子、松本知直、三谷成行、三由敏雄、森井博、四井敬子
（泉丘10）　大谷孝弘、大西忠、金子兵衛、敷地晶恵、長森敏泰、鍋谷汎、森礼子、安原由紀子
（泉丘11）　板垣幸子、井上孝、老田靖、小杉圭子、小林和重、小林二郎、佐々木一博、新谷修、津田暎信、中西寿雄、田島辰己、渡辺郷子、山田祐久
（泉丘12）　江尻弘、大野木敦子、大宮修、玉井真寿美、羽野みち、村上与恵、安原伸正、山本衛
（泉丘13）　覚本孝二
（泉丘17）　上村真一、折戸儀夫、高橋隆之、右沢幸男、桜谷博
（泉丘18）　鈴木繁、青谷懿、北村誠一、寺西巧
（泉丘19）　久保田正、山崎喬、高木政行、高本豊二、吉川雄三
（泉丘20）　板宮光恵、中島大蔵、松本正一
（泉丘22）　中村建
（泉丘31）　滝本誠、村上覚、近藤勝則
（泉丘35）　越馬明子

この年の国内・海外の主な出来事

昭和64.1.7　天皇陛下崩御、皇太子明仁親王即位、平成と改元
平成元年1.8　平成の年号を施行
4.1　消費税制度スタート（税率３％）
6.24　美空ひばり没（享年52）
7.23　宮崎勤を八王子署が強制わいせつ現行犯で逮捕
9.4　日米経済構造協議開始
9.22　横綱千代の富士、本場所通算965勝の最多記録達成

天安門事件
米惑星探査機ボイジャー２号、海王星に再接近
ベルリンの壁取り壊し

平成1年

1989.10.5(木)

平成元年度
関東一泉同窓会総会
於・グランドヒル市ヶ谷
幹事期・泉丘10期

約200名出席
金沢より来賓　浅香以都子一泉同窓会副会長、宮崎光二泉丘高等学校長、
高橋　威同校教諭

会費　男性8,000円　女性7,000円
・ビンゴゲームで盛り上がる。出席者への土産は入浴剤「湯の華」。
・加能人誌H1.11月号より

関東一泉会
二百名が歓談

十月五日六時から東京・市谷のグランドヒル市谷で大宴会場に二百名が参集、金子兵衛氏の開会の言葉のあと浦茂会長が「若き日のロマンと情熱を抱き、本日かくも大勢会したことは感激にたえない…」と歓迎の挨拶。次いで本部の浅香以都子副会長、宮崎光二校長が相次いで挨拶、学校の近況など報告した。さらに石川弘参議員が祝詞を述べた。

↑関東一泉会の会場

押村孫一氏の力強い乾杯の音頭で開宴。花の名前を付けテーブルを囲んで歓談、久闊を叙した。やがて余興の司会、鍋谷汎氏の進行で、学窓時代を回顧して校歌応援歌を斉唱。舞台では太鼓、応援歌の旗が乱舞、次々と応援歌が続いた。やがて待望のビンゴゲームが始まり、次々と出てくる数字に一喜一憂、豪華な賞品を頂く人など、会場は大騒ぎ。かくて時至り、瓜生復男副会長の閉会の辞でようやく散会、土産に入浴剤「湯の華」を手に帰宅した。

（加能人誌H1.11月号）

平成１年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）

浅香以都子一泉同窓会副会長
宮崎光二金沢泉丘高等学校長、高橋威同校教諭

一中　90名

(一中29)　押村孫二
(一中30)　世良田健一
(一中32)　春日力、柴田喬、下村節義、相馬克己、松林幸雄
(一中34)　浅田賢造、浦茂
(一中35)　福田重一、脇水利勝
(一中38)　小松勇作、澤田久雄、友田正雄、安原二郎
(一中39)　伊藤直之、瓜生復男、中村敏雄、前田弘、山本正治、西出大三、幸村博敏
(一中40)　田中正能、橋本正久
(一中41)　谷村弘
(一中42)　中谷郁夫、山本欽一
(一中43)　浅野實、浅井利一、河毛二郎、谷内亮三、谷山巖、中林二郎、藤田正辰、古川榮治、見砂一郎、村本健次郎
(一中44)　吉野秀一郎
(一中45)　金原経、小西金郎、西川浩史、安田道夫、山口九郎、元正久
(一中47)　杉田賢四郎、中川智雄、中島章、中野喜代二、中村達
(一中49)　石川治
(一中50)　川北博、藤野正行
(一中52)　足立仁一、井上清、宇野富美雄、芳賀輝夫、藤岡昭男、山田肇
(一中53)　石川弘、井上和夫、梅田敬、香谷進、杉谷光治、人見悠紀夫、市橋昌利、改田尚三、近藤修、寺中慶二郎、東照栄
(一中54)　泉谷勝巳、伊勢長一、井上韶久、奥田光夫、辻良平、中村喜三郎、松原俊郎、村田雅弘、山本正純
(一中55)　鶴屋一郎、中田直人、平松健治、下村佳生、宮崎茂
(一中56)　安藤鐘一郎、川口敬恕、北山久幸、村上満
(一中57)　高木富康、本多満、福岡省吾

泉丘　208名（男146　女62）

(泉丘２)　荒木一夫、今井弘、亀田広、白尾惇、多田春夫、松田耀子、宮子章、谷内章
(泉丘３)　荒瀬俊雄、石塚治子、竹田伸二
(泉丘４)　石橋英夫、上田廣次、川本悦子、幸村鹿子、指江幸雄、清水嶺子、幸昭弘、高浪克子、徳田修二、二口善乃、牧寛、桝本洋子、宮本宏記、越川武司
(泉丘５)　川村隆一、関戸寿美子、高山美恵子、中山恵子、野村弘毅、藤村礼子、古谷綾子、宮本晴彦
(泉丘６)　坂本一郎、大美康子、北野昭式、鈴木弘子、辻裕、徳田由雄、永井妙子、沼田武二郎、野本正作、橋浦久男、氷見正久、平松正利
(泉丘７)　生垣中、杉村亨、平松道彦、前田英二、座主利夫、西田更正、吉田紀幸
(泉丘８)　飯倉元、猪ノ坂知栄子、岡田紘美、加藤嘉久、坂井外代子、清水弘勝、清水博行、中谷玲子、中村玲子、額谷兼行、水上征二、宮本毅、山本紀久子
(泉丘９)　太田健人、加藤順子、蒲田亮子、車信弘、小竹浩、小林鎌仁、南藤和子、西島幸夫、野口美智代、林雅章、早水康葵、古村桂子、松本知直、山崎利門、小倉捷良、上丸満、塚本和也
(泉丘10)　朝日向吉晟、荒木康善、今田隆、小田久子、大窪紀吉、大谷孝弘、大西忠、笠間晴隆、金子兵衛、木村佐知子、木村征士、敷地晶恵、城郁子、城宝博子、高橋憲生、宅崎芳郎、田中蓉子、谷波正久、中田進、中村喬、中村敏子、中山一郎、永井信太郎、長野邦夫、長森敏泰、鍋谷汎、白田良子、宮腰幸男、宮本信吾、盛田隆士、森信義、森礼子、安原由紀子、山下久良、横田保子、若林善一郎、川畠外茂江、越野宗郎、徳光直美、小林健一、小林淳一、小室拓士
(泉丘11)　新井祝子、板垣幸子、北肇夫、北川晃一、小杉圭子、小林和重、小林二郎、佐々木一博、新谷修、田島辰巳、中瀬進、中西寿夫、西道隆、橋本健一、村上博子、山田祥二、渡辺郷子、西村修一、蜂谷淑子
(泉丘12)　飯野靖四、大野木敦子、川口義昭、川島章子、木谷幸雄、久保育雄、藤本震一、松宮秀夫、村上与恵、安原伸正、笠間紀子
(泉丘13)　今田二三子、覚本孝二、河合美智子、富田静枝
(泉丘14)　井上晃、喜多喜信、金七昭子、検見崎俊行、田中準子、中本久男、原田節子、村中肇、浅岡昌俊
(泉丘15)　河崎国広、直地武夫、直地輝江、松本健、田中伸治
(泉丘16)　中村弘次
(泉丘17)　池田潔
(泉丘18)　青谷懿、北村誠一、小高智、若狭哲夫
(泉丘19)　油谷大、池田三千子、久保田正、田部千枝子、村田茂雄
(泉丘20)　板宮光恵、小鍛治史郎、清水あつ子、高山充、浜田久恵、浜野直樹、増田隆茂、丸岡峰男、吉田倫雄
(泉丘21)　飯田晶子
(泉丘22)　塚越勉、安田弘義
(泉丘23)　内島孝、五色慶悟、松林資隆
(泉丘24)　山田雄一
(泉丘25)　青木誠治、古島達朗、今井亮一
(泉丘26)　中森伸一
(泉丘29)　村本修司
(泉丘31)　近藤勝則、滝本誠、富田直也、村上覚

この年の国内・海外の主な出来事

1.13　共通一次試験に替わる大学入学センター試験スタート
3.20　日銀、公定歩合5.25%（１%引き上げ）高金利時代へ
4.1　大阪で「花の万博」開催（～9.30）
6.29　天皇の次男礼宮文仁・川嶋紀子結婚、秋篠宮家を創設
12.2　TBS記者秋山豊寛、ソユーズTM11号に搭乗
バブル経済崩壊

イラク軍、クウェートに侵攻
東西ドイツ統一

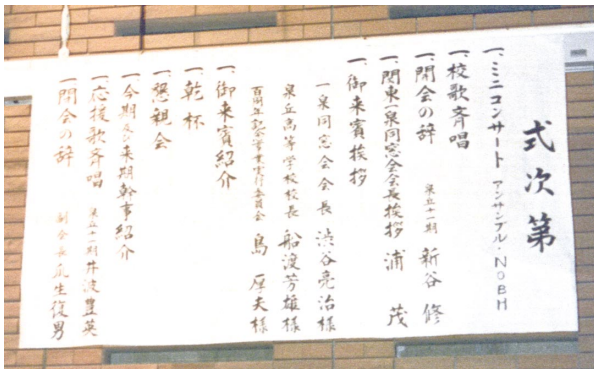
平成２年

1990.10.5(金)

平成２年度
関東一泉同窓会総会
於・グランドヒル市ヶ谷
幹事期・泉丘11期

206名出席（内女性52名）（会計報告より）
金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、
島厚夫100周年記念事業実行委員会事務局長、
小松暁一同総務委員長、
船登芳雄泉丘高等学校長、太田永久同校教諭
会費　男性10,000円　女性9,000円
寄付金（当日・振込）計247,150円
（浦会長からの寄付金を特別会計より繰り入れる　1,033,644円）

★総会はミニコンサート（オーケストラ演奏）で幕を開けた。
・会報「一泉」18号H3.3.1、　当日式次第・出席者リストより



平成２年度総会の式次第

【関東一泉同窓会】
10月５日㈮午後６時から、関東一泉同窓会（浦茂会長・一中34期）の総会・懇親会が、東京のグランドヒル市ヶ谷で、開催されます。今年は、泉丘11期が、会の運営を担当します。

総会の案内が掲載された。　会報「一泉」17号H2.10.5　P６

【関東一泉同窓会第10回記念総会】

平成２年10月５日午後６時から、関東一泉同窓会（浦茂会長・一中34期）の総会・懇親会が東京グランドヒル市ヶ谷で、200人余りの参加をえて開催されました。ミニコンサートで幕を開け、浦会長の挨拶、船登校長の母校の近況報告、澁谷一泉同窓会長の挨拶、100周年記念事業実行委員会の島事務局長の同事業の内容説明と協力要請の後、和やかな懇親会が続き、最後に校歌と応援歌を斉唱し楽しい同窓会となりました。今回は泉丘11期生が会の運営を担当しました。　（新谷修記）

関東地区泉丘12期（昭和35年卒業）からのご挨拶

'91年の「関東一泉同窓会総会・懇親会」を関東地区在住110余名の泉丘12期生（緑窓会：山本外吉校長先生が名付け親）が幹事期としてプロデュースさせていただくことになりました。

本年は、「いらっし　みまっし　よるまっし」をキャッチフレーズに「'91関東一泉同窓会総会・懇親会」を先輩、後輩、同輩が一堂に会しての楽しい語らいの泉（オアシス）として、いっそう充実させていきたいと思います。学んだ時代が違っても、みんな同じ校風の中で青春を過ごした仲間。再会の喜びを確かめ、新たな交流の輪を広げる場になれば幸いです。

昨年と同じグランドヒル市ヶ谷を会場に、９月中旬から10月上旬の間に開催を予定しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会報「一泉」18号H3.3.1　P７

平成２年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（５名）
渋谷亮治一泉同窓会会長、
島厚夫100周年記念事業実行委員会事務局長、
小松暁一　同　総務委員長
船渡芳雄金沢泉丘高等学校長、太田永久同校教諭

一中　67名
（一中32）　下村節義、柴田喬、春日力、松林幸雄
（一中34）　浦茂
（一中35）　福田重一、脇水利勝
（一中38）　澤田久雄、小俣外世雄
（一中39）　村上甲子太郎、越村衛一、幸村博敏、高松一吉、前田弘、瓜生復男、中村敏雄、上坂太郎
（一中40）　橋本正久
（一中41）　杉田正
（一中42）　古沢英雄、中谷郁夫
（一中43）　浅井利一、浅野實、野村誠夫、村本健次郎、中林二郎、島誠夫
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　吉田喜市
（一中47）　池保、安嶋彌
（一中49）　石川治
（一中50）　市野孫之丞
（一中51）　和田静夫
（一中52）　宇野富美雄
（一中53）　改田尚三、梅田敬、人見悠紀夫、東幸雄、藤田裕、杉谷光治、近藤修、大窪利昭、市橋昌利、井上和夫、石川弘
（一中54）　宮川隆泰、中村喜三郎、松原俊郎、伊勢長一、岡本佼、泉谷勝巳、氷田正男、山本正純
（一中55）　寺田久義、小堀和哉、円角脩、野村正、下村佳生、鶴屋一郎、林永、河原富士夫
（一中56）　西井辰夫、安藤鐘一郎、正見彰、村上満、長林茂

会場風景

浦会長と来年年度代表幹事の12期の出席者

泉丘　174名（男119　女55）
（泉丘２）　高岡歩、宮子章、金守謙吉、白尾惇、荒木一夫、今井弘
（泉丘３）　津川通泰
（泉丘４）　長沢光男、高浪克子、二口善乃、山良眞作、清水嶺子、川本悦子、別所浩子、徳田修二
（泉丘５）　野村弘毅、古谷綾子、藤村礼子、高山美恵子、羽野良久
（泉丘６）　北野昭式、藤村理、氷見正久、中村成利、辻裕、沼田武二郎、田村町枝、永井妙子
（泉丘７）　近藤正行、吉田紀幸、座主利夫、奈田博充
（泉丘８）　田村利雄、岩上誠次、宗玄勝也、加藤嘉久、池田禎一、高畑博之、山本紀久子、茶屋勝也
（泉丘９）　加藤順子、上丸満、石橋寛、中村慶子、蒲田亮子、尾崎良二、小竹浩、西島幸夫、堀木悠一
（泉丘10）　長森敏秦、永井信太郎、木村佐知子、白田良子、金子兵衛、山下久良、盛田孝、田中蓉子、大西忠、小室拓士、安原由紀子
（泉丘11）　井波豊英、吉村外茂勝、太田永久、中橋一枝、鍋島辰子、久保由紀、高松孝子、今井康晴、石垣久世、小杉圭子、吉川美紀、蜂谷淑子、大西昭一、井上孝、金藤良子、塚光雄、多田美代子、泉久枝、田中昭子、岩間静子、吉田和可、松川寛治、中西寿夫、丸谷利博、北肇夫、山田裕久、田島辰巳、松原悠紀雄、前多一雄、赤井次郎、中瀬進、神田忠、橋本健一、小林二郎、浅尾広行、新谷修、佐々木一博、北川昭久、西村修一、西道隆、山田祥二、竹花貞行、板垣幸子、渡辺郷子、山田邦子、庄山恵子、小林和重、中村荘一
（泉丘12）　村上与恵、藤本震一、玉井真寿美、北川昭八、大野木敦子、川島章子、西多邦夫、橘好碩、羽野みち、大宮修、寺田潟美、麻田孝治、松永祥子、木谷幸雄
（泉丘13）　今田二三夫
（泉丘14）　中垣紘一、岸井徳雄、荒谷陽子、舟喜昭博、奥田勲、喜田喜信、検見崎俊行、井上晃、目代富子、笹川信子、十二丁信子、鈴木姫子、八尋章文、河崎肇
（泉丘15）　丸岡昭夫、安田浩子
（泉丘16）　前田鎮馬
（泉丘17）　池田潔、若村弘、河原勇、中村久、蚊戸憲行、橋場邦子、長森桂子、村上誠子
（泉丘18）　北村誠一、高山巧、小高智、塗師道彦、老田知栄子、古屋正明
（泉丘19）　山崎喬、山田義夫、稲葉健太郎、久保田正、中杉保雄、吉川雄三
（泉丘20）　山崎俊樹、小鍛冶史郎、丸岡峰男
（泉丘21）　小畠崇紀、飯田晶子、北岡健一、野村譲二
（泉丘22）　番井友英、遠藤典夫
（泉丘23）　松林資隆、内島孝、尾関文江
（泉丘30）　横田雅裕
（泉丘33）　横田泰子

平成3年

3.9　東京都庁落成式
6.14　横綱千代の富士引退
5.19　雲仙普賢岳噴火、火砕流発生
9.24　経済企画庁、景気拡大続き９月に過去最長のいざなぎ景気超えを発表

湾岸戦争始まる
ソ連邦消滅

1991.10.9(水)

'91関東一泉同窓会総会

於・ホテルニューオオタニ

幹事期・泉丘12期

（出席予定者が予想を上回り急遽会場がホテルニューオオタニに変更となった）

393名出席（来賓7、役員5名、一中60名、泉丘321名（内女性85）
出席予定者は435名あったが、雨天で欠席者多し）

金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、
小松喨一百周年記念実行委員会総務委員長、
長瀬直義同事務局長代理、船登芳雄泉丘高等学校長、
長谷勝彦、山本孝子同校教諭

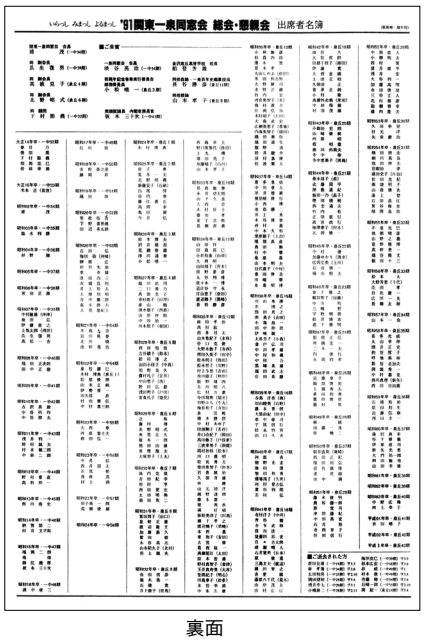
坂本三十次内閣官房長官が国会より駆けつけ、挨拶された。

会費　男性10,000円　女性9,000円
寄附金（当日・振込）計 587,620円

★初めて総会にキャッチフレーズをつけた。「いらっし　みまっし　よるまっし」
・エアロビクスダンス（デモンストレーション）、福引に盛り上がる。
★当日付け発行のA3両面１色コピー仕上げ「関東一泉会報」を出席者に配布
★関東一泉同窓会の事務局を北野法律事務所（北野昭式副会長　泉丘6期）に設置。
★一中、泉丘応援団旗が一泉同窓会本部より寄贈される。

・引継会資料、当日報より

当日配布「関東一泉会報」表面



裏面

⬆いらっし、みまっし、よるまっしを合言葉に大集合した関東一泉のOB。上は挨拶する浦会長。

よるまっし……

関東一泉盛況

関東一泉同窓会（浦茂会長）は十月九日六時からホテルニューオータニで開催。出席者が予定をはるかにこえたため、当初のグランド市ケ谷を急拠変更したとあって、幹事期（泉12期）はテンヤワンヤ。会場「鳳凰の間」には同窓会旗を揚げた金屏風の舞台を中心に満員の盛況。

出席者四百五十名、川口義昭氏の司会で、浦会長が21世紀を目ざして新しい創造を加えたいと力強く挨拶。次いで渋谷亮治本部会長が、百周年記念事業推進にご協力を！と要望。さらに小松亮一百周年記念実行委員からも募金の協力があり、つづいて一泉同窓会旗と、一中泉丘応援団旗の贈呈があって懇親会に入った。

下村節義顧問の音頭で乾杯。久濶を叙し、献盃歓談、珍味可肴に秋の夜を楽しむうちに、舞台では美女三人によるエアロビクスダンスが披露され、一泉同窓会員を象徴するように潑溂たる妙技を展開。やがて福引の抽せんが始まると会場は大騒ぎ。豪華賞品に一喜一憂。やがて今期及び来期幹事の紹介あり、最後に一中、泉丘の校歌、応援歌の斉唱に学窓時代のムードを味わい、瓜生復男副会長の閉会の辞でようやく散会した。

（加能人誌H3.11月号）

カレンダーの10月9日(水)に◎を！

いらっし みまっし よるまっし
'91関東一泉同窓会のご案内

関東一泉同窓会会長　浦　茂

夏の名残りとはいえ、吹く風に秋の香りが感じられます。本年は、一泉同窓会本部のご協力により、関東地区会員が4,600名（明治45年卒・一中19期～平成２年卒・泉丘42期）リストアップされました。このすべての皆様にご案内申し上げ、金沢からも多数の来賓をお迎えして、先輩、後輩、同輩との語らいのひとときを大いに楽しんでいただきたいと存じます。“いらっし　みまっし　よるまっし”万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますよう、心よりお待ち致しております。

日時●平成３年10月９日(水) 午後６時～８時30分
受付開始　午後５時30分
総会並びに懇親会☞懇親会ではエアロビクスダンスのデモンストレーションと福引きも行います。

会場●グランドヒル市ケ谷・新館３F「瑠璃の間」
TEL.03－3268－0111
（会場のご案内は往信面下段をご参照ください）

会費●男性 10,000円　女性 9,000円

☞９月20日までに、必ずご返信ください。

★幹事期（泉丘12期）の努力がみのり、約400名の出席が見込まれた。予定会場では手狭となり、急遽ホテル・ニューオータニへ変更した。

会報「一泉」19号H3.10.5　P７

終わってホッと一息。浦会長を囲んで年度代表幹事期12期の記念撮影。金沢や関西から10名ほど上京し、在京組を盛り上げてくれました。

平成 3 年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（ 7 名）

渋谷亮治一泉同窓会会長、
小松喨一百周年記念事業実行委員会総務委員長、
長瀬直義一泉本部事務局長代理
船登芳雄金沢泉丘高等学校長、
長谷勝彦同校教諭・一泉百年史編纂担当、
山本孝子同校教諭、
坂本三十次衆議院議員内閣官房長官

一中　74名

（一中32）　春日力、柴田喬、下村節義、相馬克己、松林幸雄
（一中33）　米本正
（一中34）　浦茂
（一中35）　脇水利勝
（一中36）　杉野鐘
（一中38）　宮田正雄
（一中39）　中村敏雄、前田弘、伊藤直之、上坂太郎、瓜生復男、高松一吉
（一中40）　福田正次郎、田中正能
（一中42）　古沢英雄、中谷外作、中谷郁夫
（一中43）　浅井利一、野村誠夫、村本健二郎、中林二郎
（一中44）　野村喜直、高科伸一
（一中45）　西川浩史
（一中46）　納賀節二、村井又平衛
（一中47）　福岡二郎、池保、諸江義厚
（一中48）　淡中俊三
（一中49）　石川治
（一中50）　市野孫之丞、藤岡昇
（一中51）　越田保
（一中52）　笠松佳吉、宇野富美雄、田辺英五郎
（一中53）　石川弘、梅田敬、榊原広、杉谷光治、東幸雄、改田尚三、市橋昌利、井上和夫、大窪利昭、寺中慶二郎、萩本勝夫、人見悠紀夫
（一中54）　本島大造、宮川隆泰、北川暁、泉谷勝巳、木村博典、松原俊朗、山本正純、伊勢長一、川久保昇、村田雅弘、中村喜三郎
（一中55）　大西章、河原富士夫、前田弘一
（一中56）　今井弘、西井辰夫、正見彰、長林茂、村上満
（一中57）　田子島一郎、荒瀬俊雄

泉丘　354名（男270　女84）

（泉丘 2 ）　宮子章、荒木一夫、北野昭義、新藤安子、白尾惇、谷内章、藤江義正、高岡歩、亀田廣、今井弘
（泉丘 3 ）　松本輝夫、沢井雄志、津川通泰、
（泉丘 4 ）　越川武司、二口善乃、高浪克子、幸村鹿子、家山勉、清水嶺子、山岸伸郎、中谷治一、川本悦子
（泉丘 5 ）　西林恒治、古谷綾子、松村博之、野村弘毅、山田小枝子、羽野良久、藤村礼子、中山恵子、安食礼子、浅田照子
（泉丘 6 ）　辻裕、藤村理、北野昭式、氷見正久、坂本一郎、徳田由雄、富樫龍夫、大塚容子
（泉丘 7 ）　池内克哉、吉田紀幸、杉村亨、西田更正、太田明美、前田英二
（泉丘 8 ）　冨田邦子、星野正憲、渡辺隆文、加藤嘉久、鷲田巌、木谷高志、山本紀久子、岩上誠次
（泉丘 9 ）　会田信彦、堀木悠一、石橋寛、井上康子、西島幸夫、野口美智代、上丸満、蒲田亮子、加藤順子
（泉丘10）　長森敏泰、永井信太郎、山下久良、大西忠、木村征士、盛田孝、金子兵衛
（泉丘11）　山田祥二、田島辰巳、小林和重、大西昭一、山田邦子、俣野景彦、丸谷利博、佐々木一博、近江谷守永、庄山恵子、渡辺郷子
（泉丘12）　麻田孝治、高村紘一、西多邦夫、山本悠紀子、谷口克俊、大野木敦子、西田久美子、松本明子、松永祥子、村上与恵、前川睦子、飯野靖四、北川昭八、広村万嘉、寺田潟美、羽野みち、梅谷和子、泉匡隆、橋本勝郎、中村あゆ子、田畑勲子、井口由紀子、高田敏子、三波恵美子、岡村和枝、川口義昭、松宮秀夫、柴田美智子、岩倉誠治、久保育雄、林勝、山元禎洋、越野達郎、藤本震一、堀義典、橘好碩、板野美津子、瀬下孝之、本折進、東和子、大宮修、葛西紘一、高瀬延江、松本哲雄、野村真智子、玉井真寿美、笠間紀子、川島章子、木谷幸雄、中本久慶
（泉丘13）　小林敏彦、杉森四郎、濱本寛、覚本孝二、丸山しのぶ、米田外志男、大野建司、水野正毅、竹内宏、河合美智子、島村眞吉、片岡弘和、木村昭子、大島武史、広瀬美恵子、内海美智子、織田善臣、越田道生、飯野迪、松井駿介、辰村嘉俊、松波繁夫
（泉丘14）　喜多喜信、中川亜人、岸井徳雄、検見崎俊行、小西博、池森勝二、井上晃、木谷清宣、西村進、中本久男、栗原節子、園部昌彦、奥田勲、村中肇、桑原晨、山本昭夫、目代富子、豊田啓造、川崎肇、舟喜昭博
（泉丘15）　川出秀護、北博之、俣田真之、南英子、小鳥昌一、田中伸治、伊崎誠一、大林芳子、金戸弘司、中川孝雄、中村和義、中村力、黒崎英雄、福田武志、庄田英勝
（泉丘16）　寺島洋美、田山睦美、藤本晋一郎、大黒由紀、東中修司、平尾信行、松永恒男、出口久次
（泉丘17）　河原勇、徳野光宏、池田潔、惣田和秀、橋場邦子、河村登志弘、蓑谷利朗、若村弘
（泉丘18）　市村洋子、青谷懿、寺本武郎、保川法一、後藤田祐宏、百々吉太郎、成瀬晴人、石井寛美、原俊道、三島文夫、横川智之、吉室誠、湯原八千代、山岸茂夫、山村広行
（泉丘19）　油谷大、大谷哲郎、田部千枝子、伊藤寛、大西吉國、土田正昭、久保田正、喜多正純、小村隆、高橋外志美、中杉保雄、村田茂雄
（泉丘20）　小鍛治史郎、山崎俊樹、河原昭、森昭憲、前川外美夫、寺中修、寺中恵美子
（泉丘21）　蕉木邦子、武藤周平、屋敷道紀、飯田一乃、樫田清樹、西念通夫、竹内裕、正田直行、高宮政行、梅澤泰子、北岡健一
（泉丘22）　中村優、加藤ゆかり、広岡立美、石田啓一、桶川幹夫
（泉丘23）　金子隆之、鶴谷智子、中川均、三嶋哲、宇野明美、松井清志、道下善明
（泉丘24）　形屋正弘、河越宏一、二木一夫、向俊行、永岡利孝
（泉丘25）　近藤章平、服部啓男、上端秀夫、多田和秀、冨田俊信、能村哲
（泉丘26）　堀誠、加藤一良、原健二
（泉丘27）　朝井直美、西田正紀、福田和弘、宮竹康修、連哲朗、山中満
（泉丘28）　藤木俊明、奥谷謙一郎、新覚司、津田勝紀、中田昌宏、石井裕、寺西享子、任田信行
（泉丘29）　中西直人、小柳明夫、西村実、望月康平、浅井宏、大谷利一、加藤高明、寺田啓治、三谷正人、北村雅彦、能瀬雅幸、橋向隆夫
（泉丘30）　久田幸史、村元洋、矢来慶治
（泉丘31）　桶田浩志、細川晃良、池田伸夫、岩鍛治淳、碓田史子、松田克紀、葉袋明子、山森健次、湯上登、石田昌江、賀谷梅吉、福岡良治
（泉丘32）　不室克巳、池部晴彦、山野之義、室野隆博、高野恵一、端谷隆文、飯田十三
（泉丘33）　松本大、大野芳恵、庄田孝、日比慶一、広川一夫、長瀬友樹
（泉丘34）　山本一也
（泉丘35）　喜多充成、丸山幸伸、酒井正史、釣谷厚子、畔地美砂、新谷志加夫、洞庭秀一、中村嘉克、西川真理、西川日出雄
（泉丘36）　石浦裕治、原田和生、近藤弘康、西田圭一
（泉丘37）　湯沢真幸、谷下雅義、伊東浩司、新矢光恵、大門祐一郎、桝田敏也、山田幸俊
（泉丘40）　中野広海、河上幸子
（泉丘41）　吉田晴子

平成4年

1992.10.23(金)

'92関東一泉同窓会総会
於・グランドヒル市ヶ谷
幹事期・泉丘13期

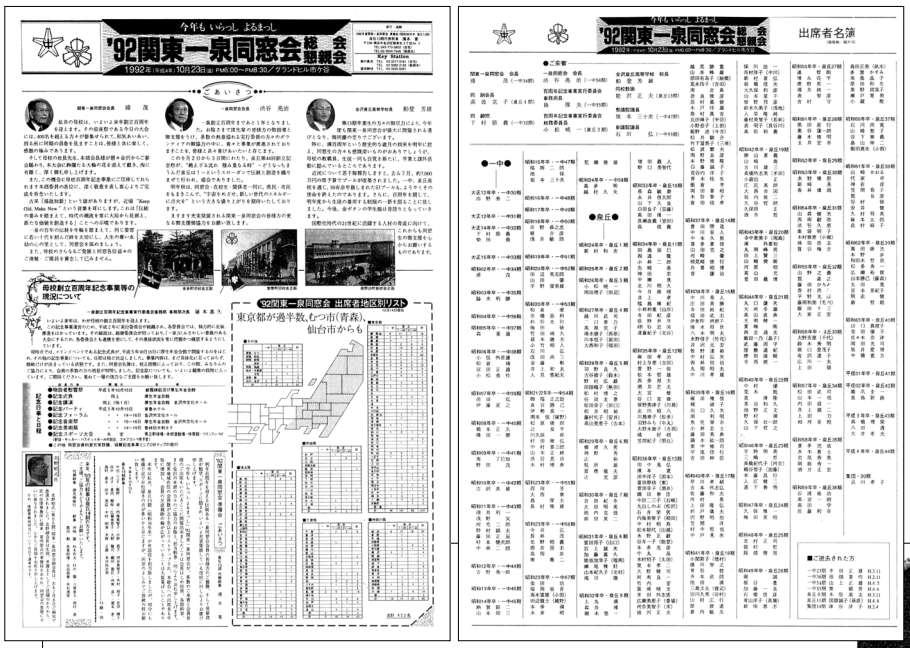
この年の国内・海外の主な出来事

4.25　尾崎豊急死（26歳、ロック歌手）
5.2　国家公務員、完全土曜日休日を実施
7.25　岩崎恭子、バルセロナ五輪200平で優勝（五輪史上最年少の14歳）
9.12　日本人初の宇宙飛行士毛利衛、スペースシャトル・エンデバーに搭乗

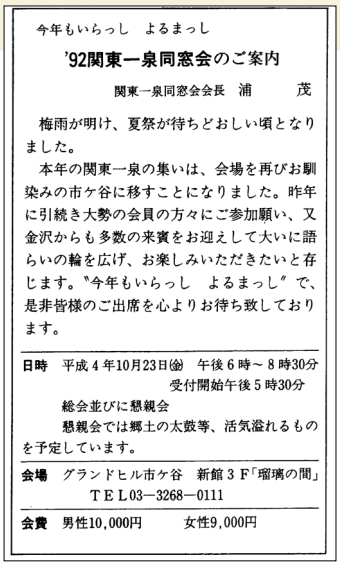
ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争
地球環境サミット　国連が、ブラジル・リオで国際会議開催
韓国・中国が国交樹立

346名参加（来賓5名、役員3名　一中68名、泉丘270名（うち女性77名）出席予定者は423名あった）
金沢から来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、小松喨一百周年記念実行委員会総務委員長、島　厚夫同実行委員会事務局長、船登芳雄泉丘高等学校長、能沢正夫同校教諭
坂本三十次衆議院議員、石川弘参議院議員も出席

会費　男性10,000円　女性9,000円
寄附金（当日・振込）計579,390円
★総会のキャッチフレーズ「今年もいらっし　よるまっし」
・百周年記念行事の進捗状況報告に続き、ふるさと炎太鼓、抽選会、劇団四季会員によるスペシャルプログラムで盛り上がった。。
★当日付け発行のA3両面スミ1色印刷の「関東一泉会報」を出席者に配布
・北野昭式（泉丘6期）関東一泉同窓会副会長（関東一泉の事務局を担当）逝去（1992.2.8）。・引継会資料、当日報より



当日配布「関東一泉会報」表面（左）、裏面（右）



今年もいらっし　よるまっし

'92関東一泉同窓会のご案内

関東一泉同窓会会長　浦　茂

梅雨が明け、夏祭が待ちどおしい頃となりました。

本年の関東一泉の集いは、会場を再びお馴染みの市ケ谷に移すことになりました。昨年に引続き大勢の会員の方々にご参加願い、又金沢からも多数の来賓をお迎えして大いに語らいの輪を広げ、お楽しみいただきたいと存じます。"今年もいらっし　よるまっし"で、是非皆様のご出席を心よりお待ち致しております。

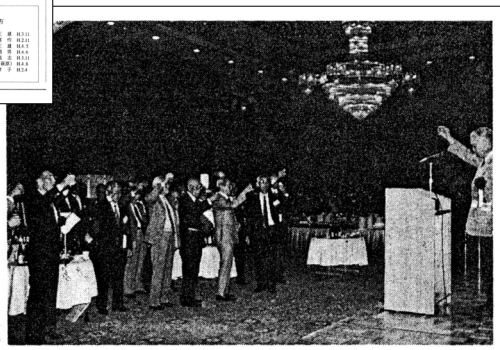
日時　平成4年10月23日(金)　午後6時～8時30分
受付開始午後5時30分
総会並びに懇親会
懇親会では郷土の太鼓等、活気溢れるものを予定しています。

会場　グランドヒル市ケ谷　新館3F「瑠璃の間」
TEL03—3268—0111

会費　男性10,000円　女性9,000円

会報「一泉」20号
H4.8.1 P11

（加能人誌H4.12月号）



母校の百周年を来年にして気勢をあげる
関東一泉会の会員ーシャンデリアの下で乾杯

関東一泉同窓会 盛況!!

来年の母校百周年に気勢

関東一泉同窓会（浦茂会長）の今年度の総会が十月二十三日六時から東京・グランドヒル市ケ谷で開かれ、四百人余りの会員が参集した。

織田善臣氏の司会で、当番幹事（泉13期）浜本寛氏が開会の辞、ついで浦会長が「来年百周年を迎えるに当たり、当番幹事（泉14期）には色々なイベントを計画中のこと、成功を祈りたい。また前夜祭ともいうべき本日は、四百二十名の出席者を数え、幹事の努力に感謝する」と挨拶。

本部会長渋谷亮治氏が「同窓会を人生のオアシスとして楽しみ、末永く伝えていきたい」との挨拶があって島厚夫記念実行委事務局長から、募金など進捗状況の報告があった。

議事終了、物故会員に黙禱を捧げ、下村節義氏の音頭で乾杯、懇親会に入った。来賓の船登芳雄校長から母校の近況、石川弘参議員から祝辞があり、華々しい宴となった。シャンデリア輝く下、卒業期毎にセットされたテーブルで祝杯を挙げつつ歓談に時を過ごした。船登校長差し入れの「どじょうの蒲焼」を味わっているうち、福引が行なわれ、九谷焼「湯呑」「銘々皿」「箸置きセット」に一喜一憂の大騒ぎ。

このあと劇団「四季」が登場、ミュージカル・オペラの怪人、ウエストサイド物語からの抜粋曲を披露、会場を陶酔させた。最後に高浪克子副会長の閉会の辞でようやく終了、来年の百周年を胸に散会した。

平成 4 年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（ 7 名）

渋谷亮治一泉同窓会会長、島厚夫百周年記念事業実行委員会事務局長、
小松暁一百周年記念事業実行委員会総務委員長
船登芳雄金沢泉丘高等学校長、能沢正夫同校教諭
坂本三十次衆議院議員、石川弘参議院議員

一中　75名

（一中30）　出野秀二
（一中32）　下村節義、柴田喬
（一中34）　浦茂
（一中35）　脇水利勝
（一中37）　森重雄
（一中38）　小俣外世雄、松倉靖、宮田正雄、小松勇作
（一中39）　前田弘、伊藤直之
（一中40）　橋本正久、横田一麿
（一中41）　南丁巳知、野田茂
（一中42）　古沢英雄
（一中43）　浅井利一、浅野実、河毛二郎、野村誠夫、藤田正辰、村本健次郎、中林二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　納賀節二、山本周三
（一中47）　福岡二郎、池保
（一中50）　市野孫之丞、堀吉彦、浅井敏郎
（一中52）　田辺英五郎、山田肇、宇野富美雄
（一中53）　和泉潔、市橋昌利、杉谷光治、梅田敬、竹田靖久、萩本勝夫、小竹昭人、改田尚三、金藤彰、井上和夫、人見悠紀夫
（一中54）　御福正之助、泉谷勝巳、伊勢長一、岡本佼、松原俊郎、辻良平、川久保昇、村田雅弘、中村喜三郎、山本正純、木村博典
（一中55）　西田芳、大西章、長村雅雄
（一中56）　今井弘、長林茂、北野昭義、西井辰夫、高岡歩、南喬二
（一中57）　金田治、福岡省吾、高木富康、田辺龍士、本多満、永多昭、荒瀬俊雄
（一中58）　高多明、越村久夫

泉丘　342名（男256　女86）

（泉丘１）　新村和吉
（泉丘３）　岡田理子
（泉丘４）　越川武司、二口善乃、高浪克子、清水嶺子、川本悦子、大西和子
（泉丘５）　羽野良久、古谷綾子、野村弘毅、田畑鶴子、松村博之、谷田友景、松田栄子、松井昭祐、藤村礼子、高山美恵子
（泉丘６）　橋浦久男、神野秀、辻裕、税所雄、富樫龍夫、辻克彦
（泉丘７）　吉田紀幸、太田明美、池内克哉、前田英二
（泉丘８）　富田邦子、岩上誠次、加藤嘉久、猪坂知栄子、瀬尾雅好、山本紀久子、滝川徹
（泉丘９）　上丸満、森井博、堀木悠一、増田義人、野口美智代
（泉丘10）　長森敏泰、永井信太郎、山下久良、白田良子、高田清一、長瀬直義、森信義
（泉丘11）　田島辰巳、西道隆、小林二郎、矢崎勇、神田忠、中瀬進、北川昭久、今井康晴、井上孝、福島輝紀、小林和重、寺田紀彦、俣野景彦、硎谷忠男、遠藤紀子
（泉丘12）　麻田孝治、村上与恵、菅野一弥、松本哲雄、西多邦夫、酒井忠夫、大宮修、谷口克俊、板野美津子、北川昭八、川島章子、羽野みち、大野木敦子、橘好碩、笠間紀子
（泉丘13）　田中晃弘、濱本寛、田中洋子、富田静枝、管田幸子、織田善臣、今田二三子、丸山しのぶ、石井栄男、内海美智子、中村昭寿、松本郁代、水野正毅、谷井一子、本多克彦、牛丸晶、木村昭子、覚本孝二、大野健司、河南良一、竹内宏、箕浦晴文、米田外志男、広瀬美恵子、河合美智子、越見勝重、山本峰雄、須田有為子、荒木玲子、南吉典、奈良俊彦、辰村嘉俊、木戸伴雄、島村真吉、在田輝子、小野恭子、飯野迪、松井駿介、竹下冨美子、松波繁夫、岡野良彦、本野雅隆、白藤誠子、荒谷内洋子、青木桂生、飯倉亨、岡田喜昭、木谷泰子、倉田信孝、能沢正夫
（泉丘14）　豊田啓造、中川亜人、中本久男、喜多喜信、山田克之、河崎肇、検見崎俊行、舟喜昭博、菅謙治
（泉丘15）　中川秀人、庄田英勝、寺田祐紀、福田武志、伊集院摂都子、清水将世、八木明夫、水野信子、井沢元宏、牧野達裕、中村弘次、西林恒治、丸岡昭夫、中川孝雄
（泉丘16）　塚岸雅信、梶淑子、出口久次、岡利明、魚住栄市、小林忠士、藤田英典、鏑木紘一郎、東中修司、平尾信行、吉田艸臣
（泉丘17）　早川孝紹、吉本外志弘、佐藤和夫、河村勇、上田隆弘、折戸儀夫、沢野昭治、笠間洋、村中哲也、中戸晃次
（泉丘18）　小関彩子、横川智之、青谷懿、寺本武郎、池田満、三島文夫、田川久美、山村広行、原俊道、喜内敏夫、保川法一、市村洋子、新村喜弘、前橋信次、大久保利彦、山本星子、柴野邦彦、鈴木久美子、入栄隆純、藤村美智子、表明子、高松和義
（泉丘19）　勝山喜義、山崎喬、吉川雄三、高橋外志美、小鍛冶正、江尻英郎、大西吉国、垣内俊二、大谷哲郎、久保田正、酒井哲
（泉丘20）　寺中恵美子、浦外喜知、丸岡峰男、田上賢三、山崎俊樹、河原昭、高山充、堂田義博
（泉丘21）　丸口謙次、大河幸雄、高山直典、北岡健一、夏梅衛、西念通夫、飯田一乃、武藤周平、屋敷道紀、樫田清樹、寺西俊一
（泉丘22）　中村優、荒木勉、表清隆、茶谷和久、油野正文、野村満、久保壮一郎、山下哲之
（泉丘23）　宇野明美、三嶋哲、高橋紀代子、鶴谷智子、本藤昌行、入江健二、道下善明
（泉丘24）　久保雅一、梅田英昭
（泉丘25）　北村正司、能村哲、服部啓男
（泉丘26）　堀誠、板谷豊、加藤一良、石橋信彦、青山洋子、新保恵志
（泉丘27）　連哲朗、増永荘平、樫野英一、酒井純一、表智彦、吉村守
（泉丘28）　黒田直行、奥谷謙一郎、藤木俊明、玉井宏幸
（泉丘30）　水野雅男、新崎晃、香林慎哉
（泉丘31）　山森健次、西岡毅浩、渋谷久恵、薬袋明子、木村雅恵、桶田浩志、賀谷梅吉
（泉丘32）　山野之義、髭直之、藤田ひろみ、香村尚子、平野光彦、藤岡和美、飯田十三、大家正宏
（泉丘33）　大野芳恵、鈴木秀明、坂口登茂子、有沢道子、広川一夫、上田領
（泉丘34）　松田武司、山本一也、内田滋一、井上誠二、上田力、相河幸昭
（泉丘35）　喜多充成、水本貴士、岩尾秀美、洞庭秀一、酒井正史
（泉丘36）　石浦裕治、高宮一朗、高田学、佐藤利幸、島田正美、多賀かすみ、高桑晶子、原田和生、東野理実子、瀬戸寛美、小蔵隆
（泉丘37）　石川尚寛、山崎聖子、谷下雅義、畠山伸二、飯田真生（小西）
（泉丘38）　山崎かおる、代家卓、神佐淳、笠間香子、髭良彦、谷村悌、安井健、久村将英、塚本太郎、武村麻子
（泉丘39）　嶌田康光、本野歩、和田木哲哉、松多秀一、広瀬裕俊、山本勝巳、太田寛、宮本亜紀子、熊走健、薮哲朗
（泉丘40）　山口真理子、金田優子、佐々木奈津、岡田光司、坂井愛理、中橋寛方
（泉丘42）　橋爪圭一、長島彩路
（泉丘43）　高橋理栄、八田透、大井考光
（集団・20）　品川孝子

この年の国内・海外の主な出来事

- 1.27 曙太郎が横綱に昇進（外国人初）
- 4.23 天皇皇后両陛下、沖縄を訪問（歴代天皇として初めて）
- 5.15 日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ、10チーム）開幕
- 6.9 皇太子が小和田雅子様とご結婚
- 7.12 北海道南西沖地震発生
  奥尻島が津波と大火事があり壊滅状態

［米］ビル・クリントンが42代大統領に就任

平成5年

1993.11.26（金）

'93関東一泉同窓会総会

於・グランドヒル市ヶ谷

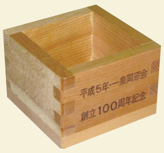
幹事期・泉丘14期

286名出席（来賓5名、一中45名　泉丘236名（うち女性73名））
金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、島厚夫百周年記念実行委員会事務局長、小西　優泉丘高等学校長、宮崎謙治同校教諭
石川弘参議院議員出席
浦会長が辞任され、顧問に。役員改選で新会長に河毛二郎氏（一中43・新王子製紙会長）が就任され、副会長・瓜生復男（一中39）、高浪克子（泉4）、大西忠（泉10）、村上与恵（泉12）、顧問・下村節義（一中32）の各氏を承認。

会費　男性12,000円　女性10,000円
寄附金（当日・振込）計470,000円（内、本部より50,000円）
・母校100周年を記念。100周年にちなんで“おめでとうございます”の海老一染太郎・染之助出演
・金沢に於ける百周年記念のビデオ放映、福引、鏡開きが行なわれた。

★当日付け発行のA3両面スミ1色印刷の「関東一泉会報」を出席者に配布。

・引継会資料、当日報より



281名がつどって母校100周年祝う
―関東一泉同窓会―

関東一泉同窓会（浦茂会長・一中34期）では、母校100周年を記念して1993（平成５）年11月26日、東京・グランドヒル市ケ谷の大ホールで総会・懇親会を開催した。参加281名。

来賓として渋谷亮治本部会長、島厚夫100周年記念事業事務局長、小西優校長、それに石川弘参議院議員（当時）が出席。

本年は泉丘14期が当番期。中西健氏の司会で、まづ倹見崎俊行氏の挨拶で開会、浦会長が「本同窓会は創設以来45年を経、また母校100周年を迎えて本日は意義ある日。一層の発展を期したいものです」と挨拶。来賓の紹介があり、小西校長と島事務局長から、それぞれ同年10月15日行われた母校100周年記念式典の盛大な模様と、学校の近況が報告されました。

物故者の冥福を祈って黙禱を捧げたあと、役員改選に移り、新会長に河毛二郎氏（一中43期・新王子製代会長）を選任、副会長に瓜生復男（一中39）、高浪克子（泉丘４）、大西忠（泉丘10）、村上与恵（泉丘12）、顧問に下村節義（一中32）の各氏を選任した。河毛新会長の挨拶があり、つづいて威勢のよい鏡開きが行われ、脇水利勝氏（一中35期）の乾杯音頭で懇親会へと移った。

校歌、応援歌の斉唱、時を忘れての歓談に同窓会のきずなを強めた一日。席上、浦会長はじめ永年功労のあった方々に記念品と花束が贈られた。

河毛二郎 第五代会長

河毛二郎氏略歴
金沢一中（昭11・一中43）卒。
1941年東大（経済）卒。王子製紙㈱入社、樺太・恵須取工場に配属。
1982年代表取締役社長、1989年代表取締役会長、1995年相談役、2002年名誉顧問歴任。日本製紙連合会会長、日経連副会長。
1984年藍綬褒章受章
1993年勲一等瑞宝章受章同年関東一泉同窓会第五代会長に就任。
1998年7月カトリック洗礼を受けられる。
2004年（平成16年）5月24日逝去。
享年86。

百周年を祝って、鏡開き

会報「一泉」22号H6.3.15　P11

ひと

新王子製紙名誉会長　河毛二郎さん

■人生も企業も石垣ですか

信長、秀吉、家康の中ではこの人、家康が一番好きだそうだが、フジテレビのトレンディードラマの花形ディレクターである一人息子にいわせると、

「人のことを実にクールにシビアに見ているけど表情には出さない。まあ、人あたりのいい信長という感じかな」。

そういう人だから前任の社長の急病という予想外の事態で十二年前に社長になってから今日まで活躍することもできたのだろうが、こんど出版した初のエッセー集『逆風順風』の端正な文章を読むと、この信長の、教養、見聞、交際の広さ、深さに驚かされる。文人の趣があるのだ。

「本を読んだ方から『社長業はいつしていたんだい』とよくいわれますがね。私は、人生は石垣のようなものだと考えていまして、石はがっちり積んでもスキ間ができます。ゆとりといってもいいですが、そのスキ間に、小さくても草花を咲かせたい。私はそう思っているんですよ」

昔から映画や音楽会は妻と一緒にいく習慣がある。労務を担当したとき、組合との交渉の席で「生活が苦しくて」といわれて「しかし、うちの女房にいわせるとね」とやって、相手を戸惑わせることがあったそうだ。

「夫婦のあかしは六十を過ぎてからですよ。それでよく夫婦の船旅を勧めるのですが、『女房と二週間も、何を話せばいいのですか』と聞かれる。さみしい話ですねえ」

「墓参りと音楽会は後の気分がいい」そうで、本社ビルの中に造った王子ホールの館長もしている。客席数三百ちょっとで採算はとれない。

「ホールは、会社の石垣のスキ間の花です。石垣ががっちりしていないと花は咲かないのですから、このホールが立派に維持できるように、本業をしっかり頼むよ、といっているのです」

文・川村二郎
写真・横田正大

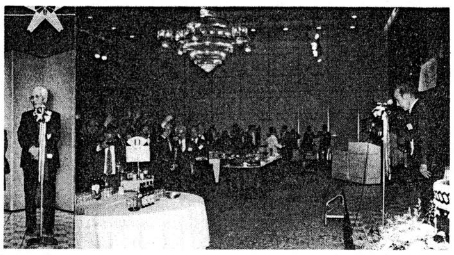
1982年から社長、89年会長、昨年から名誉会長。大のイヌ好きだ。76歳。

（朝日新聞H6.8.13）

関東一泉同窓会

母校百周年を祝う
新会長に河毛氏就任

関東一泉同窓会（浦茂会長）では、母校百周年を記念して十一月二十六日六時から東京・グランドヒル市ケ谷の大ホールで総会、懇親会を開催した。



当日は来賓として渋谷亮治本部会長、島厚夫百周年記念事業事務局長、小西優校長、それに石川弘参議院議員が出席。定刻、中西健氏の司会で、まず倹見崎俊行氏の挨拶で開会、浦会長が「本同窓会は創設以来四十五年を経、また母校百周年を迎えて本日は意義ある日であり、一層の発展を期したいもの」と挨拶。来賓の紹介につづいて、小西校長と島記念事業事務局長から、それぞれさる十月十五日母校において挙行された記念式典の盛大な模様と、学校の近況がこもごも報告された。

物故者の冥福を祈って黙禱を捧げた後、役員改選に移り、新会長に河毛二郎氏（新王子製紙会長）を選任、副会長に高浪克子、大西忠、村上与恵、瓜生復男、顧問に下村節義の各氏を留任した。

河毛新会長の新任の挨拶があり、つづいて威勢のよい鏡開きが行なわれ、脇水利勝氏の乾杯音頭で懇親会の幕が切って落とされた。さすが伝統を誇る名門校の百周年記念の会とあって、四百名の同窓生でホール一杯の壮観さだった。

百周年に因んで「きんさん、ぎんさん、おめでとう」の加賀弁ゲームやお目出度うタレントの染太郎、染之助のコンビで場内は爆笑の渦。このあと浦前会長が、関東一泉会の発展に永年功労のあった人々に記念品と花束を贈呈。

やがて校歌、応援歌の斉唱となり、一同時の経つのも忘れる歓談も終焉を迎え、大西忠氏の閉会の辞でようやく散会した。

（加能人誌H6.1月号）

平成５年度総会　出席者（予定）リスト

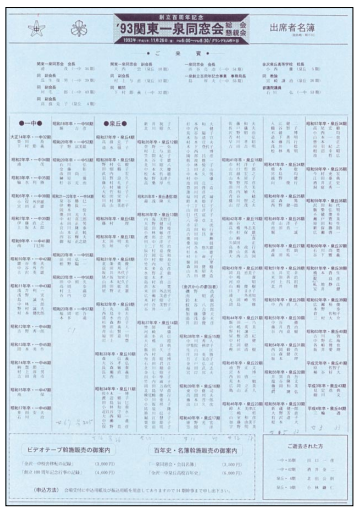
来賓（５名）
渋谷亮治一泉同窓会会長、
島厚夫一泉創立百周年記念事業事務局長
小西優金沢泉丘高等学校長、宮崎謙治同校教諭
石川弘参議院議員

一中　52名

（一中32）　柴田喬、下村節義
（一中34）　浦茂
（一中35）　脇水利勝
（一中38）　宮田正雄、小俣外世雄
（一中39）　伊藤直之、上坂太郎、瓜生復男
（一中41）　南丁巳知
（一中42）　雄谷重夫、中谷外作、古沢英雄
（一中43）　浅井利一、浅野実、島誠夫、中林二郎、
野村誠夫、村本健次郎、河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中45）　岡本勇作
（一中46）　納賀節二、村上淳男、吉田喜市
（一中47）　池保
（一中49）　多田安夫、石川治
（一中50）　堀吉彦
（一中52）　宇野富美雄
（一中53）　金藤彰、改田尚三、榊原廣、杉谷光治
（一中54）　泉谷勝巳、伊勢長一、岡本佼、奥田光夫、
中村喜三郎、氷田正男、宮川隆泰、
山本正純、四谷輝夫、御福正之助
（一中55）　前田弘一、柏野陽一
（一中56）　田中照久、高岡歩、村上満、谷内章
（一中57）　福岡省吾、本多満

泉丘　279名（男206　女73）

（泉丘４）　高浪克子、清水嶺子
（泉丘５）　野村弘毅、田畑鶴子、武内宏、羽野良久、
藤村礼子、古村綾子、大竹和子、松田栄子、
川村隆一、高山恵美子
（泉丘６）　藤村理
（泉丘７）　太田明美、生垣中
（泉丘８）　北条英俊、富田邦子、坂井外代子、
猪ノ坂知栄子、山本紀久子、岡田紘美、
星野正憲
（泉丘９）　上丸満、西島幸夫、清水治吉、杉森醇子、
増田義人、青山賢一、福田嘉明、岩上豊
（泉丘10）　森信義、大谷孝弘、長森敏泰、長瀬直義、
大西忠
（泉丘11）　佐々木一博、渡辺郷子、田島辰巳、
小林和重、近江谷守永、大西昭一、中瀬進、
俣野景彦、新井祝子、北川昭久
（泉丘12）　菅野一弥、村上与恵、笠間紀子、木谷幸雄、
北川昭八、中本久慶、松本哲雄、
板野美津子、高桑厚生、湯浅隆夫（通信３期）
（泉丘13）　内海美智子、大野健司、富田静枝、
小林敏彦、渡部忠男、田中洋子、
十二丁邦治、辰村嘉俊、片岡弘和、
中村昭寿、竹内宏、本多克彦、水野正毅、
覚本孝二、島村真吉、浜本寛、米田外志男、
広瀬美恵子、木村昭子、河合美智子、
谷井一子
（泉丘14）　塗師斌、河崎肇、喜多喜信、大橋霞、
沢良典、飯田久子、西村進、舟喜昭博、
石田君江、北川順章、金七昭子、田中準子、
竹内淑子、岡田万寿代、北島早苗、
検見崎俊行、中川亜人、小坂祥子、祐泉隆、
笠川信子、堀江慧子、栗原節子、堂前明子、
杉本和夫、中西健、荒谷陽子、木谷清宣、
村本宣夫、木下登代子、小西博、園部昌彦、
栃波修一、小林悦子、上田正山、中本久男、
村中肇、池田亮二、豊田啓造、蓮川洋一、
福田武城、鈴木姫子、十二丁信子、
山田洋子、目代富子、八尋章文、赤岩洸、
高田和行、吉田昌兼、奥田勲、桑原晨、
河合悠久雄、杉本一雄、村上淑子、堀田翠、
森田健樹、山本昭夫、吉田建造
（金沢からの参加者）
磯野浩、南昭武、鈴木巌、蚊谷八郎、
槻吉郎、加藤肇夫、湯浅泰夫、井田俊彦
（泉丘15）　中川秀人、伊集院摂津子、生山匡、
庄田英勝、吾子美奈子、金戸弘司、
福田武志、宮岸邦夫
（泉丘16）　東中修司、高岡邦夫、藤本晋一郎、
出口久次
（泉丘17）　徳野光宏、笠間洋、佐藤和夫、折戸儀夫、
沢野昭治、若村弘、早川孝紹、吉田吉明
（泉丘18）　市村洋子、山口哲郎、宮越宏之、山本星子、
柴野邦彦、田川久美、喜内敏夫、青谷懿、
横川智之、山岸茂夫
（泉丘19）　油谷大、高橋外志美、中杉保雄、山崎喬、
久保田正、高本政行、勝山喜義、大西吉国
（泉丘20）　岡島恵美子、中嶋潔、河原昭、山崎俊樹、
日下まさ子、浦外喜知、丸岡峰男、岡島修
（泉丘21）　飯田一乃、中嶋英美、野村譲二、屋敷道紀、
中村健、北岡健一、樫田清樹
（泉丘22）　油野正文、宮本博、西田啓一、荒木勉、
広岡立美、亀山正人
（泉丘23）　鈴木美津江、三嶋哲、山室和彦、
加藤由美子、宇野明美、入江健二、
鶴谷智子、不破博、道下善明、本藤昌行、
浅井稔、松林秀明
（泉丘24）　橋本聡、宮島均、越野健、向俊行
（泉丘25）　富森篤、西野健一郎
（泉丘26）　青山洋子、池田真一、堀誠
（泉丘27）　連哲朗、森田祐一
（泉丘28）　玉井宏幸、米田善治、河上昌則、北井睦
（泉丘29）　中西直人
（泉丘30）　中谷徹、藤井貴治、谷内嘉樹
（泉丘31）　西岡毅浩、山森健次、坂本理
（泉丘32）　井黒真吾、端谷隆文、藤岡和美、鍔隆弘
（泉丘33）　新蔵健一郎、大野芳恵、有沢道子、松本大
（泉丘34）　高尾宏毅、小西均、山本一也、皆本正、
丹羽紀之、相沼幸昭、池哲広
（泉丘35）　今村充宏、江田泰典、酒井正史、洞庭秀一
（泉丘36）　沢田和代、飯柴弘明、不破俊幸、瀬戸寛美、
原田和生、新保勝則、広瀬啓一
（泉丘37）　石川尚寛、谷下雅義
（泉丘38）　橋本貴生、髭良彦、礼地静江、安井健
（泉丘39）　広瀬裕俊、本野歩、倉佐和子、三村大介
（泉丘40）　吉川敦、中野広海、各船雅也、坂井愛理
（泉丘41）　原佐智子、桶谷好大
（泉丘43）　見定浩典、細川文
（泉丘44）　三輪透



当日配布「関東一泉会報」表面（左）、裏面（右）

インドで行方不明になっている高口和生（泉丘47）（京大生）君の消息と捜査資金カンパを求めるビラが出席者に配布された。

2.4　初の純国産大型ロケットＨ２，打ち上げ成功
6.27　長野県松本市住宅街で夜、突然有毒ガス発生（のちサリンと判明）
7.8　女性宇宙飛行士・向井千秋、スペースシャトル・コロンビアに搭乗
6.29　衆参両院、社会党委員長村山富市を首班に指名。6.30　村山富市内閣成立

［米］ロサンゼルスを中心とする南カリフォルニア一帯で大地震
［北朝鮮］金日成主席が急死

平成６年

1994.11.2(水)

'94関東一泉同窓会総会

於・グランドヒル市ヶ谷

幹事期・泉丘15期

251名出席（来賓2名、招待6名（金沢から15期メンバー）、会員243名（一中43名　泉丘200名（うち女性55名））
金沢より来賓　渋谷亮治一泉同窓会会長、小西　優泉丘高等学校長
副会長に宮川隆泰（一中54）氏、監事に西島幸夫（泉丘9）氏が新任される。
会費男性12,000円　女性10,000円
寄附金（当日・振込）計442,000円（内、本部より50,000円）
・「金沢今・昔」スライド映写　BGM弦楽四重奏行われる。
・ポラロイドカメラにて会場内撮影・配布。

★当日付け発行　A3表面4色裏面1色印刷の「関東一泉会報」を配布。
★関東一泉同窓会会則　制定（平成6年11月2日施行）される。（巻末に掲載）
・引継会資料、当日報より

【関東一泉同窓会平成６年度総会】

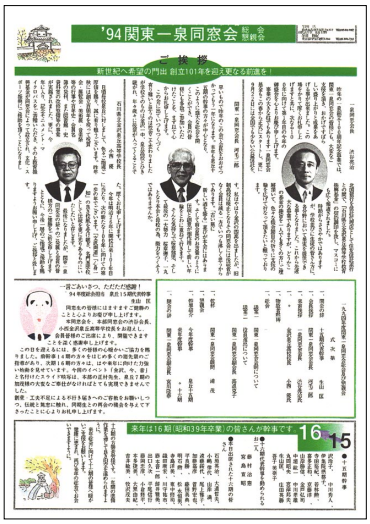
11月２日㈬東京都グランドヒル市ケ谷にて251名が参集し、総会に引き続き、懇親会が行われた。総会では副会長に一中54期の宮川隆泰氏、監事に泉丘９期の西島幸夫氏の新任が承認された。

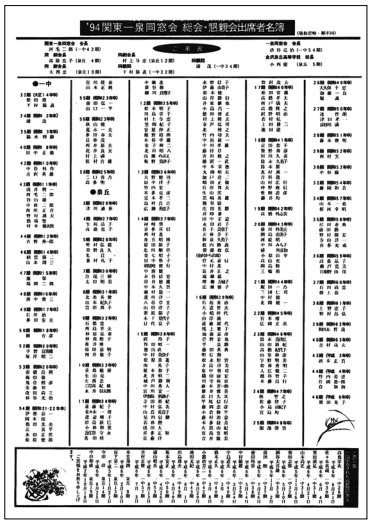
懇親会では「金沢今・昔」というスライド映写がなされたが、一中43期河毛二郎会長と、泉丘５期小西校長のりりしい生徒時代の映像が会場を沸かすなど、和気あいあいと進められた。幹事期泉丘15期は金沢からの参加者もあり、その創意に満ちた進行は大変評判であった。

なお７年度の幹事期は16期である。

会報「一泉」23号Ｈ7.6.30　Ｐ５

ご来賓と一中の先輩方





当日配布「関東一泉会報」表面（左）、裏面（右）

関東一泉同窓会
今昔のスライド上映

関東一泉同窓会（河毛二郎会長）では、十一月二日六時から東京・グランドヒル市ケ谷で今年度の総会を開催した。

開会にあたり、会員はまず麗しきリヒトストリーグ　カルテットの女性演奏グループに迎えられて大宴会場に入場。新しい趣向に興奮のうち、当番幹事・泉十五期の寺田裕紀、伊集院摂都子氏ペアによる司会で、華やかにオープン。

まず当番幹事代表の生山匡氏が開会の辞、ついで河毛会長が「会長に就任してから一年になるが、今年も泉十五期の幹事のおかげで盛大に開催することができた。古い瓶に新しい酒を盛るというがごとく、本会には末長く後輩が続く喜びがある。桜章健児、桜章撫子ともに一丸となって、同窓会や母校に尽くして欲しい」と挨拶。

つづいて小西優母校校長が、母校の現状や大学入試の合格率の優秀性を説明「文武両道に秀でた学校」の伝統を、さらに光りあるものにしたいと力説した。また渋谷本部同窓会長から、昨年の母校創立百周年記念行事が盛大に、無事に挙行できたことのお礼のことばがあった。

物故会員に黙禱を捧げたあと、浦茂顧問の発声で懇親会に入った。シャンデリア煌めく大宴会場に、三百名にのぼる出席者の熱気あふれる中、今回のイベント「金沢・今・昔」のスライドが上映された。これは本部の正村事務局長、加茂氏（泉七期）の奉仕によって実現できたもので、出席者も感嘆しながら鑑賞。そして各テーブルに配られたカメラでお互いに写しあうなど、和気あいあいのうちに盛大だった百周年行事の思い出などに花を咲かせた。

歓をつくすほどに時至り、一中、泉丘の校歌斉唱したあと、今年度の幹事、泉十五期十六名の紹介、つづいて来年度幹事となる十六期二十六名の紹介があり、宮川隆泰副会長の閉会の辞でようやく散会した。

（加能人誌Ｈ6.12月号）

平成６年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（２名）
渋谷亮治一泉同窓会会長
小西優金沢泉丘高等学校長

一中　52名
（一中32）　柴田喬、下村節義
（一中34）　浦茂
（一中35）　脇水利勝
（一中40）　田中正能
（一中42）　中谷外作、古沢英雄
（一中43）　浅井利一、河毛二郎、谷山巌、中林二郎、西川正喜、野村誠夫、橋場堅、村本健次郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　納賀節二、山本周三
（一中47）　池保、福岡二郎
（一中48）　淡中俊三
（一中49）　石川治、多田安夫
（一中50）　堀吉彦
（一中52）　宇野富美雄、塚岸昭二
（一中53）　市橋昌利、梅田敬、鬼倉照彦、金藤彰、改田尚三、杉谷光治
（一中54）　伊勢長一、岡本佼、奥田光夫、辻良平、氷田正男、松原俊郎、宮川隆泰、山本正純
（一中55）　前田弘一、山口一平
（一中56）　秋山健、荒木一夫、多田春夫、長林茂、西井辰夫、花井良夫、村上満、松村吉雄
（一中58）　二口善乃、高多明

泉丘　249名（男175　女74）
（泉丘３）　津川通泰
（泉丘４）　生垣昌子、高浪克子
（泉丘５）　野村弘毅、羽野良久、北貢、藤村礼子
（泉丘７）　白尾三樹、太田明美
（泉丘８）　北条英俊、山本紀久子、富田邦子
（泉丘９）　石橋寛、西島幸夫、杉原弘泰、杉森醇子、森井博、福田嘉明、四井敬子
（泉丘10）　長森敏泰、生山亮、大西忠、三百苅紀雄、永井信太郎
（泉丘11）　遠藤紀子、佐々木一博、渡辺郷子、田島辰巳、小林和重、近江谷守永、老田靖、中瀬進、新谷修、細川真理子
（泉丘12）　松本明子、川島章子、村上与恵、笠間紀子、安原伸正、飯野靖四、木谷幸雄、金子輝二、北川昭八、高瀬のぶえ、板野美津子
（泉丘13）　大野健司、田中洋子、竹内宏、本多克彦、覚本孝二、島村真吉、広瀬美恵子
（泉丘14）　河崎肇、喜多喜信、西村進、舟喜昭博、原田節子、北川順章、金七昭子、田中準子、検見崎俊行、中西健、木谷清宣、岸井徳雄、中本久男、瀬村龍一、蓮川洋一、八尋章文、山田洋子、栗原節子、木下登代子、目代富子
（泉丘15）　沢玲子、作田昭一、徳山直、中村美奈子、松原重進、南英子、坂本和子、北井恒二、城戸勝利、中川秀人、宮川宏一、伊集院摂都子、寺田裕紀、中村弘次、山蔦佐貴子、星川信勝、若林勲、浅田大、喜多正和、京藤洋、水野信子、伊藤由美子、松本健、山岸勝信、井家継也、小島昌一、徳田博正、村上隆夫、金戸弘司、北博之、竹内功夫、中垣紘一、中川孝雄、藤村章、吉川政之、越沢一武、中本栄徳、丸岡昭夫、加戸浩二、崎田正倫、宮岸邦夫、生山匡、黒崎英雄、熊谷廣、庄田英勝、寿時蕃、田中正道、永田清子、吾子美奈子、大林芳子、和泉久美子、薮内勝義、新羅政弘
（金沢から出席）
倉元泰信、中村進、長井正之、成瀬巌、畔柳万城子、広瀬優子
（泉丘16）　石垣英治、大道哲夫、小嶋倖代、山岸満、遠藤綏代、尾上雅子、加藤嘉彦、菅野宏也、平良勝、藤田英典、明石勲、松永恒男、寺島洋美、東中修司、織田康宏、川守祐市、藤本晋一郎、餅井雅美、出口久次、平尾信行、藤岡忠彦、小倉修平、藤村治憲、本多捷美、大黒由紀、宮島宣昭、吉井敏美、牧沢茂夫
（泉丘17）　松田常雄、高橋孝夫、折戸儀夫、高橋隆之、沢野昭治、若村弘、上田耕三、池田潔
（泉丘18）　京田葉子、柴野邦彦、田川久美、鈴木久美子、鈴木繁、北村誠一、青谷懿、山村広行、沖野政信、塗師道彦、藤井均
（泉丘19）　高橋外志美
（泉丘20）　前川外美夫、岡島恵美子、河原昭、中川みち子、浦外喜知、小原由幸、高山充、岡島修、三輪裕
（泉丘21）　飯田一乃、三国仁司、中村健、北岡健一
（泉丘22）　宮本博、広岡立美
（泉丘23）　鈴木美津江、山田裕紀、高橋紀代子、山室和彦、宇野明美、松林秀明、入江健二、鶴谷智子、本藤昌行
（泉丘24）　西智之、佐藤律子、小島由紀子、宮島均
（泉丘25）　服部啓男
（泉丘26）　大久保千恵、加藤一良、堀誠
（泉丘27）　連哲朗、津田孝一、長谷川満
（泉丘28）　藤木俊明
（泉丘29）　西村実
（泉丘30）　中谷徹
（泉丘32）　藤岡和美
（泉丘34）　山本一也、相河幸昭
（泉丘35）　江田泰典、前田勝、野村朋宏、寺山詳一、喜多充成
（泉丘36）　高桑晶子、瀬戸寛美、日根野由佳
（泉丘37）　石川尚寛、掛上恭
（泉丘38）　上野恵子、野村昌弘
（泉丘39）　和田木哲哉
（泉丘40）　吉村高太
（泉丘43）　浜本正貴
（泉丘44）　竹内美恵、片岡進一郎、倉知加
（泉丘46）　新田晃子

会場では各期の記念撮影が行われた。

この年の国内・海外の主な出来事

平成7年

1.17　阪神大震災　震源は淡路島
　　マグニチュード7.2の直下型地震
2.13　野茂英雄投手、
　　米大リーグ・ロサンゼルス・ドジャーズと契約
3.20　地下鉄サリン事件、オウム事件摘発
3.30　警察庁長官国松孝次、狙撃され重体

［韓］ソウル市のデパートの半分が崩壊

1995.11.2(木)

'95関東一泉同窓会総会

於・サンケイホール

幹事期・泉丘16期
（甲子園出場を果たした期）

250名出席（来賓4名、招待23名（野球部関係、友情参加）、会員223名（内女性48名））
会費　男性12,000円　女性10,000円
金沢より来賓　川北篤一泉同窓会新会長、乙村董同副会長、
　　正村健三同事務局長、足立満泉丘高等学校教頭
寄附金（当日・振込）計429,220円（内、本部より50,000円）

・「思い出の甲子園」スライドで野球部の活躍を紹介。
　当時の応援団長広瀬靖久氏、藤村治憲氏（泉16）ら応援団員が勢揃い。
・ビンゴゲームに盛り上がる。
★当日付け発行　A3・4ページ2色刷の「関東一泉会報（一泉甲子園特集）」を出席者に配布。

・引継会資料、当日報、会報「一泉」より

思い出の甲子園
関東一泉同窓会平成７年度総会

11月２日（木）、東京大手町のサンケイホールに264名が集い、総会・懇親会が開催された。

河毛二郎（一中43期）関東一泉同窓会長の挨拶に続き、澁谷亮治前会長の後を受けて一泉同窓会会長となった川北篤氏（一中55期・一高）の祝辞、中田修泉丘高校長の代理として足立満教頭の母校近況報告などが行われた。

懇親会では「思い出の甲子園」と題し、スライドを使って大正、昭和の甲子園大会に出場した野球部の活躍が紹介され、参加者一同懐しく当時を振り返った。甲子園出場を果した泉丘16期生が幹事期。

金沢からも当時の応援団長・広瀬靖久氏がかけつけ、藤村治憲氏（泉丘16期）ら応援団員が勢ぞろいして校歌・応援歌を合唱し、母校野球部の甲子園出場への夢ふくらませた。

すばらしい景品の当たるビンゴゲームも行われ、大変和やかな雰囲気のなか会員の健勝を祈念し再会を誓いあって会を終了した。

次年度の幹事期は17期である。

（泉丘16期・長村保宏記）

会報「一泉」
24号H8.4.10
P5

関東一泉同窓会
サンケイホールに260名

関東一泉会（河毛二郎会長）は、十一月二日六時からサンケイ会館ホールで今年度の総会を開催した。

梶淑子さんの司会でスムーズに華やかに開会。藤村治憲代表幹事の開会の辞に引き続き、河毛会長が挨拶。「本年の担当幹事16期の会員の趣向で、思い出の甲子園出場をテーマにした特集会報を発行するほか、出場にまつわる資料など大変な努力で盛会を見ることが出来たことは、大いに多とする」との感謝の言葉があった。

次に本部同窓会長川北篤氏及び学校長代理安達教諭から、学校の現状の報告があった。ここで総会を終了し物故者の冥福を祈り黙禱を行った。

懇親会に入り、瓜生復男氏の乾杯の音頭で宴に入った。大ホールに満ちた二百七十名の出席者の中にははるばる郷里から賛助参加された会員も多く、高潮した雰囲気に包まれた。

会場の壁面に飾られた大正13年、昭和23、28、38年と過去四回に及ぶ甲子園出場の写真や新聞記事とともに、正面のスライドには出場関係のデータの説明が映写され、当時の模様を伝える映像に、出席会員は懐かしの情を湧きたたせた。

やがて協賛各社による景品を分ける抽選会に入り、テーブル別に抽選が行われた。景品の中には郷里の銘酒やホテル宿泊券などもあり、大いに盛り上ったところで泉丘の校歌、応援歌の斉唱が鳴り響いた。そして今年の幹事16期と来年の17期の紹介、河毛会長の万歳三唱で大締となり、高浪克子さんの閉会の辞で漸く散会となった。

「一泉甲子園特集」発行　16期幹事では、総会の参考資料として「一泉甲子園特集」を折り込んだ会報（4頁）を出席者に配布した。甲子園特集では、かって野球部選手として甲子園へ出場した藤田誠一（大13）、横井健（昭23）、徳光重希（昭28）、小森勝範（昭38）四氏が思い出を述べている。

（加能人誌H7.12月号）

当日配布「関東一泉会報」p1　　p4

p2　（甲子園特集）　p3

平成７年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
川北篤一泉同窓会会長、乙村董同副会長、
正村健三同事務局長、
足立満金沢泉丘高等学校教頭（校長代理）

一中　47名
（一中32）　柴田喬、下村節義
（一中35）　脇水利勝
（一中38）　小俣外世雄
（一中39）　瓜生復男
（一中41）　須田正春
（一中42）　中谷外作、古沢英雄
（一中43）　河毛二郎、中林二郎、野村誠夫
（一中44）　吉野秀一郎
（一中45）　駿河敬次郎
（一中46）　納賀節二
（一中47）　池保、中島章、福岡二郎
（一中49）　多田安夫
（一中50）　田中長、堀吉彦
（一中52）　佐藤弘
（一中53）　石川弘、市橋昌利、梅田敬、大窪利昭、
金藤彰、杉谷光治、東昭栄
（一中54）　井上韶久、岡本佼、木村博典、御福正之助、
辻良平、中村喜三郎、氷田正雄、宮川隆泰、
村田雅弘、山本正純
（一中55）　石橋雄二、西田芳、丹羽靖一郎、鶴屋一郎
（一中56）　西井辰夫、村上満
（一中57）　福岡省吾、田子島一郎
（一中58）　高多明

泉丘　209名（男154　女55）
（泉丘４）　生垣昌子、高浪克子
（泉丘５）　高山美恵子、羽野良久、藤村礼子、
野村弘毅
（泉丘７）　白尾三樹
（泉丘８）　荒木二夫、加藤嘉久、水上征二、田村利雄
（泉丘９）　西島幸夫、尾崎良二、加藤順子、福田嘉明
（泉丘10）　大谷孝弘、長森敏泰、金子兵衛、大西忠
（泉丘11）　佐々木一博、板垣幸子、庄山恵子、
田島辰巳、小林和重、新谷修、俣野景彦、
細川真理子
（泉丘12）　羽野みち、川口義昭、菅野一弥、西多邦夫、
川島章子、村上与恵、笠間紀子、松永祥子、
酒井忠夫、飯野靖四、木谷幸雄、高村紘一、
大野木敦子、江尻弘、橘好碩、山元禎洋、
前川睦子、板野美津子、山崎幸子
（泉丘13）　大野健司、田中洋子、奈良俊彦、竹内宏、
本多克彦、覚本孝二、島村真吉、浜本寛、
広瀬美恵子
（泉丘14）　舟喜昭博、検見崎俊行、祐泉隆、岸井徳雄、
中本久男、山本昭夫、八尋章文、河崎肇
（泉丘15）　福田武志、中川秀人、伊集院摂都子、
寺田裕紀、星川信勝、若林勲、喜多正和、
松本健、山岸勝信、中垣紘一、中本栄徳、
宮岸邦夫、生山匡、熊谷廣、田中正道、
新羅正弘
（泉丘16）　尾島瑛子、石垣英治、田山睦美、大道哲夫、
小嶋倖代、押田樹幸、金浦悠夫、遠藤綏代、
尾上雅子、三谷道子、加藤嘉彦、小鳥公哉、
平良勝、藤田英典、淵上顕、古屋和彦、
明石勲、梶淑子、松永恒男、寺島洋美、
千間好隆、高瀬良夫、番作朔子、小林忠士、
東中修司、徳田悠子、織田康宏、河合春夫、
川守祐市、関文雄、高畠昭次、早乙女明美、
藤本晋一郎、餅井雅美、的場昇二、
宮重俊一、山森俊彦、吉田艸臣、田島明夫、
出口久次、平尾信行、八木田喜昭、
小倉修平、紺家正、藤村治憲、前田俊宣、
松下庄蔵、佐々木瑛子、吉井敏美、
大黒由紀、阿久津順子、南坂信子、
宮島宣昭、高橋和加子、畠中信夫、
角間知子
（泉丘17）　沢野昭治、高橋孝夫、若村弘、吉田吉明、
松田常雄、横山絹子、亀田憲治
（泉丘18）　田川久美、木村実、喜内敏夫、横川智之、
竹下剛
（泉丘19）　水野成夫、田部千枝子、伊藤寛、大谷哲郎、
高本政行
（泉丘20）　丸岡峰男、山崎俊樹、浦外喜知、
前川外美夫、増田隆茂
（泉丘21）　中村健、飯田一乃、北岡健一、中根孝子、
竹内裕
（泉丘22）　茶谷和久、西田啓一
（泉丘23）　浅井稔、鈴木美津江、鶴谷智子、
高橋紀代子、作宮明夫
（泉丘24）　林徹夫
（泉丘25）　服部啓男
（泉丘26）　加藤一良、堀誠、河野伸子
（泉丘27）　長谷川満、連哲朗
（泉丘28）　池田佳隆
（泉丘30）　武田耕造
（泉丘32）　村山秀一
（泉丘34）　山本一也、高橋渉
（泉丘35）　酒井正史
（泉丘36）　高桑晶子、高田学
（泉丘37）　古永義尚
（泉丘40）　木村純子、飯田真吾
（泉丘42）　中村寛人、久世麻美子
（泉丘44）　美野聡志、岡田博紀

野球部の精鋭（金沢から参加）
（一中52）　吉本明
（一中54）　山本道生
（泉丘16）　小森勝範、野市幸男
（泉丘17）　山本和行
（泉丘39）　谷口圭史

泉丘15期の友情参加
谷威広、平澤和夫
泉丘16期の友情参加
山本武生、田島吉郎、八田伸一、能上宏、
木本利夫、山辺泰臣、宮嶋清明、長村保宏、
広瀬靖久、北方睦子、中村喜久子、桑原豊、
平野裕、前田鎭禡、山本和代

平成8年

1996.11.1（金）

'96関東一泉同窓会総会

於・サンケイホール

幹事期・泉丘17期

この年の国内・海外の主な出来事

2.14　将棋の羽生善治名人７冠独占
（竜王、名人、棋聖、王位、王座、棋王、王将）
3.29　新王子製紙と本州製紙が合併調印、社名は王子製紙
4.24　オウムの松本（麻原彰晃）被告初公判
7　O-157による集団食中毒列島を襲う
8.17　国産大型ロケットH2の4号機で世界最大級の地球観測衛星「みどり」打ち上げ

第26回オリンピック　アトランタで開催
［英］皇太子夫妻の離婚が成立
ペルー日本大使公邸人質事件

248名出席（来賓7名、会員　一中28名、泉丘213名（内女性48名））（当日報より）
金沢より来賓　川北篤一泉同窓会会長、正村健三同事務局長、
中田修泉丘高等学校長
楠禎一郎、松川一雄、柳田勇、安高徹のなつかしい先生方
会費　男性12,000円　女性10,000円
・役員改選　河毛会長以下、役員全員再任される。
★総会のテーマ「思い出の先生に会おう」・「思い出の校舎」
★当日付け発行　A3両面2色刷の「関東一泉会報」を出席者に配布。
裏面の「心に残る思い出の先生」には、出欠返信はがきに寄せられた先生方のニックネームや思い出が載せられている。
・当日報、当日配布紙、会報「一泉」より

「思い出の先生に会おう」を合言葉に220名が集う
【関東一泉同窓会平成８年度総会】

平成８年の関東一泉総会は『思い出の先生に会おう』・『思い出の校舎』というテーマで11月１日サンケイ会館で開催された。幹事期（泉丘17期）に関係の深い楠禎一郎、松川一雄、柳田勇、安高徹先生のご出席をいただいた。

2500通を越える返信はがきには、昭和の初めから平成に至るまでの先生方の膨大なエピソードやニックネームなどが記されていた。その行間から伺えることは、15年戦争、敗戦、経済の高度成長……と社会の大変動の時代にもかかわらず、先生と生徒との人間味あふれる師弟関係は、いささかも変わることがなかったということであった。先生の一言が人生の原点になったという人もいた。ただ不思議なことには、70年の推移の中で、当初はほんの例外を除き、校長先生はもちろん全先生にニックネームがつけられていた。ところが昭和50年代頃からはその風習が消え始めたようである。

なお総会出席者は220名を越え、山岸幹事長以下の努力と創意で有意義に進行し、盛会であった。

会報「一泉」25号
H9.4.21　P5

1996年11月1日 サンケイホール
'96関東一泉同窓会 総会・懇親会

御出席の方々

心に残る思い出の先生

この一年で逝去された方々

今年度総会代表幹事から

景品提供会社

王子製紙㈱　リゾートパレス武蔵野　金沢ニューグランドホテル
㈱大　和　金沢シティモンドホテル　㈱能　作

当日配布「関東一泉会報」
表面（左）、裏面（右）

平成 8 年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（ 7 名）

川北篤一泉同窓会会長、正村健二同事務局長
中田修金沢泉丘高等学校長、楠禎一郎同校教諭、
松川一雄同校教諭、柳田勇同校教諭、安高徹同校教諭

一中　28名

（一中32）　柴田喬
（一中42）　古沢英雄
（一中43）　河毛二郎、島誠夫、村本健次郎
（一中44）　高柳武男、吉野秀一郎
（一中46）　村上淳男
（一中47）　中島章、福岡二郎
（一中53）　石川弘、市橋昌利、梅田敬、金藤彰、
人見悠紀夫
（一中54）　糸多宗人、岡本佼、御福正之助、四谷輝夫
（一中55）　下村佳生、鶴屋一郎
（一中56）　荒木一夫
（一中57）　岩城宏之、上田源三、福岡省吾、福田達郎、
松田福久、松本輝夫

泉丘　213名（男165　女48）

（泉丘４）　高浪克子
（泉丘５）　野村弘毅、羽野良久
（泉丘７）　近藤正行、白尾三樹
（泉丘８）　北條英俊、中田啓、山本紀久子
（泉丘９）　井上康子、尾崎良二、杉森醇子、中村慶子、
西島幸夫、野口美智代、深尾外代美、
藤沢好一、松田砂江子
（泉丘10）　大西忠、大山鑭、長森敏泰、牧野健太郎、
森信義
（泉丘11）　浅尾広行、大西昭一、北川昭久、小杉圭子、
小林二郎、小林和重、佐々木一博、庄山恵子、
田島辰巳、中村荘一、細川真理子、
俣野景彦、吉田和可、渡辺郷子
（泉丘12）　江尻弘、金子輝二、菅野一弥、松宮秀夫、
村上与恵、吉本修
（泉丘13）　大野健司、覚本孝二、桜井武司、斉藤真一、
島村眞吉、竹内宏、浜本寛、松井駿介、
米田外志男
（泉丘14）　河崎肇、検見崎俊行、小西博、中川亜人、
西村進、村中肇、祐泉隆
（泉丘15）　生山匡、寺田裕紀、中村和義、中本栄徳、
福田武志、松本健、宮岸邦夫、山岸勝信、
山本由明
（泉丘16）　石垣英治、小倉修平、梶淑子、高岡邦夫、
田島明夫、出口久次、東中修司、藤村治憲、
藤本晋一郎、宮島宣昭
（泉丘17）　青木昭子、荒谷内允、池田潔、池森惇、
伊東千佳子、伊藤恵美子、今井亮太、
上田隆弘、上村真一、右沢幸男、遠藤一明、
木村嘉孝、小笠原繁、折戸儀夫、蚊戸憲行、
亀田憲治、河崎俊美、北村秀成、黒田博之、
越島健三、佐藤和雄、沢野昭治、正司義民、
菖蒲谷典子、高橋孝夫、高橋隆之、土田啓示、
中戸晃次、中田里美、中西恭子、中村久、
中村雅美、中山芳子、長井幸三、長森絓子、
根木山幸夫、能村邦宏、橋場邦子、
早川孝紹、平沢慎一、福田美世子、
増田幸子、松田常雄、松田博保、松原俊雄、
松本修、三浦貞夫、村上誠子、毛利隆昭、
山岸章、山脇睦美、横山絹子、吉川伍郎、
吉田吉明、吉村豊、吉本外志弘、依田初栄、
若村弘
（金沢から出席）
川原憲子、小堀幸穂、近藤美智子、坂本清、
嶋谷潤一郎、八田次郎、山腰茂樹、渡辺満
（泉丘18）　青谷懿、伊村富士夫、勝田良蔵、喜内敏夫、
木村実、桜井まち子、柴野邦彦、
鈴木久美子、高柳久男、寺本武郎、中村祐、
布村秀夫、松井康彦、山本星子、保川法一、
横川智之
（泉丘19）　小鍛冶正、高本政行、水野成夫
（泉丘20）　浦外喜知、大屋哲、中川敏明、西田外志男、
藤田真理子、丸岡峰男
（泉丘21）　飯田一乃、太田英明、大河幸雄、北岡健一、
中根孝子、中村健、丸口謙次、水野茂、
屋敷道紀
（泉丘22）　荒木勉、加藤ゆかり、竹沢紀子、茶谷和久、
西田啓一、山下哲之
（泉丘23）　太田真、黒梅春季、鈴木美津江、
高橋紀代子、鶴谷智子、照井健生、林辰行、
不破博、村上澄夫、山室和彦
（泉丘24）　越野健
（泉丘25）　片倉典子、服部啓男
（泉丘26）　加藤一良、河野伸子、新保恵志
（泉丘27）　長谷川満
（泉丘28）　才田淳
（泉丘29）　笹田泰嘉
（泉丘32）　藤岡和美
（泉丘33）　新保義隆
（泉丘34）　浅川竜一郎、上田庄平、山本一也
（泉丘35）　木村美樹
（泉丘37）　石川尚寛
（泉丘39）　和田木哲哉

平成9年

1997.10.31（金）

’97関東一泉同窓会総会

於・ホテル・センチュリーハイアット

幹事期・泉丘18期

この年の国内・海外の主な出来事

1.10　東京国際フォーラム、丸の内の東京都庁跡に開館
4.1　消費税５％に引き上げ実施
5.27　酒鬼薔薇事件（殺人犯が神戸新聞社に手紙を郵送）
11.16　第16回ワールドカップアジア地区予選
　日本が初出場決定
11.19　土居隆雄、スペースシャトル・コロンビアに搭乗、
　日本人初の宇宙遊泳

世界初、英国でクローン羊誕生
ペルー日本大使公邸人質127日目に解放
「中国香港」がスタート
ダイアナ英元皇太子妃、パリで交通事故死

242名出席（来賓4名、一中24名、泉丘214名（内女性65名））
金沢より来賓　川北篤一泉同窓会会長、正村健三同事務局長、
　竹部義晴泉丘高等学校長、清水勇同校教頭
会費　男性12,000円　女性10,000円
寄附金（当日・振込）計676,000円（内、本部より通信費補助として200,000円）
・98、99年の役員、河毛会長以下を再任。
★総会のタイトル〈あの頃のわたし、そして今の私たち〉「人間邂逅」
・昭和6年卒・一中38期～平成7年卒・泉47期までの広い世代が出席。
・「あの頃、聴きました」クイズ、プロ歌手（二期会）の独唱、ピアノ演奏。
★当日付け発行　A3両面グリーンとスミ2色刷の「関東一泉会報」を出席者に配布。
　裏面には、返信はがきの通信欄に寄せられたメッセージが載せられている。
・当日報（出席者リスト）、式次第、会報「一泉」より

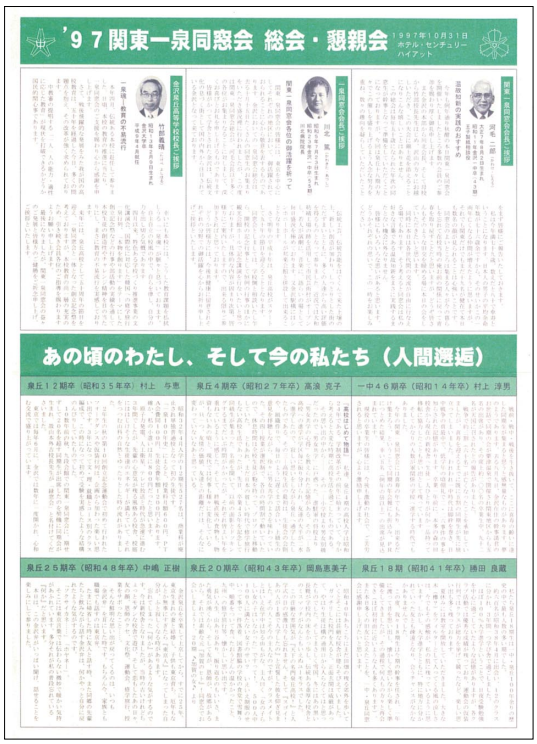
【97年関東一泉同窓会総会】

関東一泉総会は10月31日西新宿のホテル・センチュリーハイアットで泉丘18期が幹事期となって〈あの頃のわたし、そして今の私たち〉「人間邂逅」のタイトルで240名余の出席を得て開催された。出席数は近年減少気味であったが、各期幹事の努力の甲斐もあって、昭和６年卒業・一中38期の大先輩から、平成７年泉丘卒業・47期の学生まで、広い世代の交流が会の雰囲気を盛り上げた。懇親会も、多彩な隠し芸披露にプロの歌手の独唱・ピアノ演奏もあるなど、賑やかなうちにも格調の高いペースで進行した。

例年のことながら、関東の総会の“会報”が楽しい。校色モスグリーンを使って印刷され、同窓のプロの編集者が編集を担当。〈あの頃のわたし、そして今の私たち〉というようなタイトルで募られたユニークな文章で盛りつけられている。

今年のテーマ「人間邂逅」とは、出会うことによってそれまで見えなかったものが見えてくる、それがまた契機となって新たなる転進の動機になるという意味をこめているのだそうで、幹事さんたちの思想の高さと配慮がうかがえた。

会報「一泉」26号H10.5.1　P４



当日配布「関東一泉会報」表面（左）

裏面（右）

平成９年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（４名）
川北篤一泉同窓会会長、正村健三同事務局長
竹部義晴金沢泉丘高等学校長、清水勇同校教頭

一中　24名
（一中38）　松倉靖
（一中39）　瓜生復男
（一中42）　古沢英雄
（一中43）　河毛二郎、野村誠夫
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　伊東章、納賀節二、村上淳男、山本周三、吉田喜市
（一中47）　中島章、福岡二郎
（一中49）　石川治
（一中51）　伊藤昭雄、森聖揚
（一中53）　市橋昌利、梅田敬、金藤彰
（一中55）　下村佳生、大西章
（一中57）　松田福久、松本輝夫
（一中58）　高多明

泉丘　214名（男149　女65）
（泉丘３）　下川幸代
（泉丘４）　高浪克子
（泉丘５）　横田維弥、藤村礼子、古谷綾子、秋谷美代子
（泉丘６）　成清治道、野本正作、沢靖子、土田淑子、神野秀、河嶌拓治、徳田由雄、天池健作、藤村理、大塚容子、田村町枝、永井妙子、辻裕、小西二郎、橋浦久男、嶋倉幸子、割崎保子
（泉丘８）　佐々木信憲、宮本毅、山口豊、荒木二夫、北條英俊、山本紀久子
（泉丘９）　石橋寛、西島幸夫、加藤順子、森井博、高坂要子、松田砂江子、福田嘉明
（泉丘10）　長森敏泰、牧野健太郎、大西忠
（泉丘11）　渡辺郷子、田島辰巳、小林和重、新谷修、俣野景彦、細川真理子
（泉丘12）　羽野みち、菅野一弥、村上与恵、東和子、飯野靖四、国原芳弘
（泉丘13）　本多克彦、覚本孝二、島村眞吉、浜本寛
（泉丘14）　河崎肇、舟喜昭博、検見崎俊行、木谷清宣、岸井徳雄、山本昭夫、蓮川洋一
（泉丘15）　福田武志、寺田裕紀、若林勲、京藤洋、松本健、山岸勝信、中村和義、中本栄徳
（泉丘16）　今井あかね、寺島洋美、岡利明、高岡邦夫、藤本晋一郎、吉田艸臣、梶淑子、出口久次、小倉修平、藤村治憲、吉井敏美、大黒由紀、宮島宣昭
（泉丘17）　青木昭子、松田常雄、山岸章、横山絹子、村上誠子、高橋孝夫、荒谷内允、折戸儀夫、高橋隆之、三浦貞夫、桜谷博、沢野昭治、依田初栄、若村弘、中村雅美、上田隆弘、白石克成、池田潔
（泉丘18）　荒磯千舟、北川文子、神部美喜子、表明子、今戸詩美、黒田由紀子、大窪明美、藤村美智子、山本耕作、大久保秀樹、古屋正明、前川久子、山村孝、山本星子、伊村富士夫、木村実、柴野邦彦、新村喜弘、老田知栄子、田川久美、布村秀夫、鈴木久美子、湯原八千代、由井和子、竹下剛、荒屋正年、川合明子、大久保利彦、斎藤慎一、垣田悠子、塚原啓子、石井寛美、三島文夫、喜内敏夫、高柳久男、成瀬晴人、井波博、北村誠一、百々吉太郎、青谷懿、株田栄一、中井誠一郎、横川智之、松井康彦、宮野進、村井重之、山岸徹夫、勝田良蔵、下田達也、長元正春、八尾純二、吉室誠、牛村敦、片岡一郎、中村祐、兼盛俊男、橋場秀逸、中川憲吾、山岸茂夫、山村茂
（泉丘19）　角田信之、村田茂雄、渡辺章一
（泉丘20）　小鍛冶史郎、清水あつ子、藤田真理子、山崎俊樹、畠進、日下まさ子、中川敏明、丸岡峰男、高山充、小田茂一、岡島恵美子
（泉丘21）　飯田一乃、中村健、北岡健一
（泉丘22）　宮本龍彦、茶谷和久、荒木勉、山下哲之
（泉丘23）　鈴木美津江、中川均、山室和彦、鶴谷智子
（泉丘24）　向俊行、宮村慎一郎
（泉丘25）　中嶋正樹
（泉丘26）　大久保千恵、河野伸子、加藤一良
（泉丘27）　亀山桂子
（泉丘28）　酒井知道
（泉丘29）　大宮哲夫
（泉丘33）　島崎厚、溜幸生、庄田孝
（泉丘34）　山本一也、相河幸昭
（泉丘35）　横村学、上田庄平
（泉丘36）　沢田和代、瀬戸寛美、高田学
（泉丘38）　石川留理
（泉丘40）　高原敦、飯田真吾、寺島正
（泉丘41）　吉村公成
（泉丘47）　村田朋子、堀岡満

関東一泉会会長河毛（カワケ）二郎氏講演
「石川県民大学校教養講座」
演題は『自分の言葉を持つ』

王子製紙の会長を勤めた河毛氏（一中43期）の話は、昭和初期の氏の青春時代の金沢に始まってグローバル化の進む現代に至るまでをたどってのものであった。敗戦後ソ連軍占領下の樺太に抑留された後の製紙工場運営の苦労、高度成長期の公害問題への対応、縮小均衡へ入りつつある日本経済の展望などを交えた豊富な内容で、その足跡からでた「その人の人生こそ言葉」という信念は感慨深いものであった。聴衆の中には一中OBの姿も多く見られた。

会報「一泉」26号H10.5.1　P４

この年の国内・海外の主な出来事

平成10年

2.2　郵便番号７桁実施
2.7　冬季長野オリンピック開催
5.2　人気ロックバンド元X JAPANのギタリストhide自殺
7.25　和歌山で毒入りカレー事件
8.22　横浜高校の松阪大輔投手が夏の甲子園決勝戦でノーヒット･ノーラン達成

【米大使館同時爆破テロ】ケニア・ナイロビとタンザニア・ダルエスサラームの米大使館で米英がイラクを空爆

1998.11.6(金)

'98関東一泉同窓会総会

於・サンケイ会館ホール

幹事期・泉丘19期

◎平成10年10月
泉丘創立50周年を迎えた。

240名出席。(来賓3名、一中27名、泉丘210名（内　女性56))
金沢より来賓　乙村　董一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長、
　　中山　修泉丘高等学校長
会費　一律10,000円
・乾杯は出席者の最若年の北野朝子(泉43)さん。
・加賀山昭・保科有理氏の「金沢の歌」(金沢民謡）ライブ、ビンゴゲームで会場は賑わった。
・式次第（出席者(予定)リスト)、会報「一泉」より

関東一泉総会

平成10年11月６日（金､)午後６：30より
千代田区サンケイ会館

関東在住者240人の大集合で賑やかに開催された。うち一中の先輩のご出席は27人で、皆さんお元気な姿を見せて下さった。幹事期は泉丘19期で不況の中鋭意人集めをしてくれたらしい。折しも読売新聞に関東一泉同窓会会長河毛二郎氏（一中43期、王子製紙元会長・現相談役）の「わたしの道」が連載中で、金沢一中時代の水泳部の活動や本多町プール建設勤労奉仕の話なども語られており、話題となっていた。

河毛会長、一泉同窓会乙村副会長（一中55期)､中山学校長（泉10期）の挨拶に続いて予・決算報告があって、懇親会に入った。乾杯は出席者中最若年の北野朝子（泉43期）さんの音頭、宴途中加賀山昭・保科有理氏の「金沢の歌」があった。

関東在住OBは6000人近くになり、総会通知等の通信費の負担が重くなっている。会員の通信費応援のご協力が欲しいところだ。

会報「一泉」27号
H11.5.31　P５

平成10年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）

乙村董一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長
中山修金沢泉丘高等学校長

一中　27名

(一中42)　古澤英雄
(一中43)　河毛二郎、野村誠夫
(一中44)　吉野秀一郎
(一中46)　山本周三
(一中47)　池保、中島章、福岡二郎
(一中49)　石川治、緒方裕
(一中50)　北村尚善
(一中51)　森聖揚
(一中52)　塚岸昭二
(一中53)　市橋昌利、金藤彰、東昭栄
(一中54)　伊勢長一、岡本俊、川久保昇、氷田正男、宮川隆泰、四谷輝夫
(一中55)　石橋雄二、下村佳生、竹中道人、鶴屋一郎
(一中57)　小林凱

泉丘　210名（男153　女57）

(泉丘２)　松田耀子
(泉丘４)　高浪克子
(泉丘５)　浅田照子、横田維弥、松村博之、三田村啓、古谷綾子
(泉丘６)　沢靖子
(泉丘７)　白尾三樹、杉村享、西田更生
(泉丘８)　平田一雄、加藤嘉久、宮丸凱史、定木正人、北條英俊、猪ノ坂千栄子、山本紀久子
(泉丘９)　西島幸夫、加藤順子、森井博、高坂要子、福田嘉明
(泉丘10)　堀内寛司、大西忠、長森敏泰、谷千里
(泉丘11)　佐々木一博、渡辺郷子、北川昭久、田島辰巳、小林和重、新谷修、俣野景彦、加野淑子
(泉丘12)　羽野みち、玉井真寿美、村上与恵、鈴木淑江、板野美津子
(泉丘13)　辰村嘉俊、奈良俊彦、竹内宏、覚本孝二、島村眞吉、浜本寛
(泉丘14)　菅謙治、山本昭夫
(泉丘15)　福田武志、若林勲、松本健、中村和義、中本栄徳、三井理、宮岸邦夫、生山匡、山本由明
(泉丘16)　加藤嘉彦、梶淑子、大森佐知子、東中修司、岡利明、高岡邦夫、畠中信夫、藤本晋一郎、小倉修平、宮島宣昭、前田鎮禍
(泉丘17)　松田常雄、山岸章、高橋孝夫、能村邦宏、三浦貞夫、沢野昭治、依田初栄、若村弘、上田耕三、中村雅美、上田隆弘、沼田憲、桜谷博、吉田吉明
(泉丘18)　大窪明美、山本星子、老田知栄子、田川久美、小関彩子、鈴木久美子、竹下剛、垣田悠子、喜内敏夫、北村誠一、青谷懿、横川智之、野畠厚雄、山岸徹夫、勝田良蔵、長元正春、山村廣行
(泉丘19)　高岡菊代、佐藤京子、平栗寿子、水野成夫、油谷大、内島妙子、高橋外志美、津山伴成、中杉保雄、堀口周昭、山崎喬、渡辺章一、伊藤栄俊、大谷哲郎、久保田正、堀口邦子、下崎君代、西川秋子、高本政行、赤土充、金浦節子、中里すみ子、宮村栄一、平岩博美、浅田敏博、坪野恵美子、小島由信、日向三郎、上田章二、奥村みずゑ、垣内俊二、蚊戸俊一、河辺候一、角田信之、喜多正純、鈴木隆久、橋本幸洋、藤田哲生、山川博、谷内正、大胡芳子、村田省一、大西吉國、吉川雄三、石田潤、大村外志隆、酒井誠、佐藤英明、高田外志男、多川健吉、松田外幸、稲葉健太郎、井口敏之、小鍛冶正、村田茂雄
(泉丘20)　清水あつ子、藤田真理子、山崎俊樹、畠進、日下まさ子、板宮光恵、中川敏明、丸岡峰男、高山充
(泉丘21)　飯田一乃、丸口謙次、北岡健一、加藤良雄
(泉丘22)　宮本龍彦、茶谷和久、山下哲之、荒木勉、広岡立美
(泉丘23)　中川均、山室和彦、入江健二、鶴谷智子、不破博
(泉丘24)　荒尾泰則、南和也、宮村慎一郎
(泉丘25)　坂井康弘、八日市谷隆
(泉丘26)　新開佳行、大久保千恵、河野伸子、加藤一良、安藤育美、二羽淳一郎
(泉丘27)　黒田一彦、連哲朗
(泉丘28)　宇野泰宏
(泉丘32)　不室克巳、平野光彦
(泉丘34)　尾上一郎、吉田雅美、相河幸昭
(泉丘35)　今村充宏、上田庄平
(泉丘36)　高桑晶子、高田学
(泉丘37)　石川尚寛、古永義尚
(泉丘40)　高原敦、室本直子
(泉丘41)　松本匡史、河合英文、後藤尚彦、泉博樹、島田厚
(泉丘43)　北野朝子

この年の国内・海外の主な出来事

平成11年

1.1　携帯電話・PHSの電話番号が11桁に
3.27　日産自動車、仏ルノーとの資本提携に合意・調印
7.23　全日空機乗っ取り、機長刺され死亡
9.30　東海村の民間核燃料加工会社ジェー・シー・オーの施設で臨界事故発生

世界人口60億人突破
NATO軍、ユーゴスラビアを空爆
パナマ運河、支配していた米国からパナマに返還
マカオがポルトガルから中国に返還

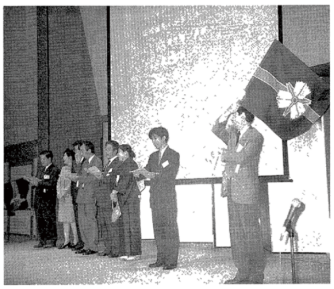
1999.11.5(金)

平成11年度 関東一泉同窓会総会

於・サンケイ会館ホール
幹事期・泉丘20期

232名出席（来賓5名、一中33名、泉丘194名（内女性49名））
金沢より来賓　川北篤一泉同窓会前会長、小倉周一郎一泉同窓会会長、水谷昭同副会長、正村健三同事務局長、中山　修泉丘高等学校長
（一泉同窓会は川北会長から10月新会長に小倉周一郎氏に）
寄付金　120,000円　本部より通信費補助として200,000円
★1900年代最後の年ということで、総会テーマ「思い出の1900年代」として企画
・「母校の思い出」のビデオ上映・シャンソンとビンゴゲーム　景品盛り沢山
・引継会資料、当日配布式次第、会報「一泉」、より

“一泉”のきずなと友情を新たに
平成11年度関東一泉同窓会総会



関東一泉同窓会総会は例年のごとく11月の第一金曜日６日の午後６時半から、サンケイ会館ホールで開催された。多年にわたって日本の製紙業界のリーダーであり、近来はエッセイストとしてとみに名が高い河毛二郎会長（一中43期）の挨拶。

急用のため止むを得ず欠席の小倉周一郎（泉丘７期）一泉同窓会新会長に代わって、水谷昭副会長（泉丘７期）が就任披露の元気な挨拶をした。川北篤（一中55期・一高）前会長からは４年間の在任の報告と協力御礼の言葉が、中山修校長（泉丘10期）からは学校の現況、特に好成績の進学や、活発な水泳部・陸上部・囲碁将棋部などの活動状況の報告があった。

懇親会は、例年のごとく移動自由な立食パーティで水を得た魚のごとくテーブルからテーブルへ回る人も多い。企業の中核で働いている人が多いのだろう。アトラクションはシャンソンとビンゴゲームで大いに盛りあがった。金沢と東京でよくもこんなに集めたと思われる程たくさんの景品の山で、ビンゴで上がれなかった者も出口で景品を頂き、うれしい解散であった。幹事期の20期大変にご苦労さまでした。（正村記）

会報「一泉」28号H12.5.31　P２
（※文中の開催日、第一金曜日6日は5日が正しい）

三氏が母校で講演

宮川隆泰氏（一中54期）
「知識と情報」
平成11年10月13日啓泉講堂で全生徒を対象に行われた。哲学や社会学を基礎にした認識論から始まり、情報と知識と知恵との関係、道具としてのコンピューターの役割と人間の判断の主体性との関係分析、そして現代の大学での学生のあり方、自分の個性と実社会の関係に至るまで、奥深い内容であった。物事を基本・原理から考える態度を説かれた。宮川氏は三菱総合研究所の主任研究員を務められ、金融バブルを引き起こした日本人を暗に批判する中央公論新書『岩崎小弥太伝』の著者。

生垣　茂氏（一中58・泉丘４期）
「高校生の喫煙は何故悪いか」
平成11年12月14日啓泉講堂で行われ、多年に渡る医療の現場で収集されたスライドと実証的な統計・知識と臨床経験を使ってタバコの害を教える説得的な内容であった。生垣茂氏は輪島総合病院の院長として地域医療に取り組む一方、喫煙の抑止を呼びかけて来た。人柄のおおらかさと暖かさで患者さんにも病院関係者にもファンが多い。

河原山晴夫氏（泉丘５期）
「スポーツで得たもの」
平成12年２月啓泉講堂で１・２年生対象に行われた。氏は泉丘高在学中はバドミントンのインターハイ選手。永年にわたる高校教員生活の中で得た教育者として、またスポーツ指導者としての貴重な体験談。練習、栄養、時間、保健の具体的な事項から、組織の組み立て方、勝者敗者の条件、海外遠征の状況など多岐にわたり、人生訓とも言える具体的で明快な話し振りに生徒は真剣に聞き入った。

会報「一泉」28号H12.5.31　P11

平成11年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（５名）
小倉周一郎一泉同窓会会長、水谷昭同副会長、
川北篤前一泉同窓会会長、正村健三同事務局長
中山修金沢泉丘高等学校長

一中　33名
（一中40）　福田正次郎
（一中42）　古澤英雄
（一中43）　河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　納賀節二、村上淳男、山本周三
（一中47）　福岡二郎、中島章
（一中49）　五反田良精、石川治
（一中50）　高橋忠男
（一中51）　森聖揚
（一中53）　金藤彰
（一中54）　宮川隆泰、伊勢長一、川久保昇、村田雅弘
（一中55）　鶴屋一郎、西田芳、下村佳生、小堀和哉、下地寛廸、大西章、関明、竹中道人、中村浄一、河村賢一、北山雅義
（一中56）　白尾惇、多田春夫、北野昭義
（一中57）　竹田伸二

泉丘　194名（男145　女49）
（泉丘３）　沢井雄志
（泉丘４）　高浪克子、二口善乃、石畝太一郎、山良眞作、金岩利忠
（泉丘５）　古谷綾子、松田栄子、田畑鶴子、高橋恵美子、横田維弥
（泉丘６）　橋浦久男、辻裕、永井妙子、沢靖子、大塚容子、川嶌拓治
（泉丘７）　池内克哉、白尾三樹、杉村亨、西田更生
（泉丘８）　荒木二夫、定木正人、加藤嘉久、北條英俊、猪ノ坂千栄子
（泉丘９）　西島幸夫、福田嘉明、森井博、杉森醇子、高坂要子、井上康子、深尾外代美、小竹浩、野口美智代
（泉丘10）　長森敏秦、谷千里
（泉丘11）　田島辰巳、新谷修、塚光雄、津田暎信、小林和重、佐々木一博
（泉丘12）　高桑厚生、村上与恵、松宮秀夫、飯野靖四、鈴木淑江
（泉丘13）　覚本孝二、松波繁夫、大野健司、荒木玲子、田中洋子、島村眞吉、松井駿介、清水信也、浜本寛、竹内宏、米田外志男、西村一郎、倉田信孝、館正康、内海美智子
（泉丘14）　中川亜人
（泉丘15）　中村和義、丸岡昭夫、三井理、中本栄徳、生山匡、福田武志、松本健、中垣紘一、伊集院摂都子
（泉丘16）　岡利明、大森佐和子、高岡邦夫、藤村治憲、梶淑子、宮島宣昭、中村外茂二、石垣英治
（泉丘17）　佐藤和男、沢野昭治、若村弘、能村邦宏、依田初栄、高橋孝夫、中田亜洲生、山岸章、魚住隆博、吉田吉明、辻久、上田隆弘、中村雅美、桜谷博、
（泉丘18）　斉藤慎一、山村廣行、田川久美、南修治、山本星子、青谷懿、横川智之、喜内敏夫、新村喜弘、長元正春
（泉丘19）　山川博、高本政行、吉田信夫、中杉保雄、久保田正、仙台博
（泉丘20）　清水あつ子、前川外美夫、堂田義博、増田隆茂、藤田真理子、丸岡峰男、高山充、山崎俊樹、板宮光恵、岡島恵美子、小鍛冶史郎、浦外喜知、西田外志男、佐野直文、浜田久恵、日下まさ子、中川敏明、長谷川眞知子、市川早百合、小浦場博、吉田倫雄、岸谷千秋、武田喜男、番口美智子、西谷三廣、長島善光、伏見安外喜、宮本正広
（泉丘21）　北岡健一、飯田一乃、竹内章、丸口謙次、正田直行
（泉丘22）　宮本博、荒木勉、表清隆、嶋田政次、宮本龍彦、西田啓一、茶谷和久
（泉丘23）　鶴谷智子、高橋紀代子、村上澄夫、山室和彦
（泉丘24）　深田拓夫
（泉丘25）　服部啓男
（泉丘26）　河野伸子、石橋信彦、大久保千恵
（泉丘27）　宮崎真、中務信一、小村純子、北村正、黒田一彦、西田習太郎、嶺藪英信、谷田満
（泉丘29）　中西直人
（泉丘31）　村上覚、木村雅恵
（泉丘32）　荒井祥宏、不室克巳、藤岡和美、飯田十三、大家正宏、平野光彦、塚本恵章
（泉丘33）　溜幸生、島崎厚、泉和宏
（泉丘34）　徳田陽一
（泉丘35）　島宇宏
（泉丘36）　瀬戸寛美、高田学、富田静枝
（泉丘39）　広瀬裕俊、和田木哲哉、瀬東明人
（泉丘40）　野間元太
（泉丘45）　亀井亮
（泉丘46）　新田晃子
（泉丘47）　永幡亜弓
（泉丘49）　新地崇裕

平成12年

2000.10.27(金)

平成12年度
関東一泉同窓会総会

於・サンケイプラザ

幹事期・泉丘21期

この年の国内・海外の主な出来事

1.28　不明の小学４年生を９年２カ月ぶりに保護、監禁男を逮捕
4.1　介護保険制度スタート
4.2　小渕首相、脳梗塞で緊急入院
4.5　森喜朗連立内閣成立
5.14　小渕前首相死去
7.8　三宅島の雄山、噴火

スヌーピーの作者チャールズ・シュルツ氏没
第27回オリンピック　シドニー［豪］にて開催

181名出席（来賓3名、一中19名、泉丘159名（内　女性32名））
金沢より来賓　水谷昭一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長、徳田寿秋泉丘高等学校長

「手取川」「天狗舞」で鏡割り、オペレッタ演奏、ビンゴゲームが行われた。

・当日配布紙（式次第）、会報「一泉」より

関東一泉同窓会総会

平成12年度関東一泉総会・懇親会は東京大手町の改装なったサンケイプラザで、10月27日（土）18：30より開催された。出席は130人余り、通知は金沢の事務局より5,125通出した。月末決算期のせいか昨年見えた銀行系の人たちの姿がなかった。不況の長いトンネルが抜けず、巷間不良債権の山と噂される大企業の方の姿も見え、同窓の皆さんの日頃のご辛苦が伝わる。

北岡健一（泉丘21期）関東総会代表幹事の開会の辞の後、河毛二郎会長（一中43期）の洒脱な挨拶。会長は、この夏随筆集『私のカウントダウン』を刊行。往年の金沢一中水泳部出身らしくますます達者で意気軒昂。徳田寿秋校長（泉丘12期）の熱情あふるる学校近況報告。水谷昭一泉同窓会副会長（泉丘７期）の挨拶があって、今や国際的にも名の上がりつつある加賀の名酒「手取川」「天狗舞」で鏡割り、乾杯が行われ、開宴となった。立食だが、金沢の芝寿司を頬ばり、ビンゴゲームの景品にも金沢の産物があり、皆満足して解散する。来年度は22期が幹事当番。

会報「一泉」29号
H13.5.30　P５
（※文中10月27日の（土）は、（金）が正しい）

平成12年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（３名）
水谷昭一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長
徳田寿秋金沢泉丘高等学校長

一中　19名
（一中42）　古沢英雄、鳥居忍
（一中43）　河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中46）　村上淳男、山本周三
（一中47）　福岡二郎
（一中48）　松川一雄
（一中49）　石川治
（一中53）　金藤彰
（一中54）　川久保昇、辻良平、宮川隆泰、氷田正男
（一中55）　大西章、鶴屋一郎、下村佳生
（一中56）　長林茂、村上満

泉丘　183名（男144　女39）
（泉丘４）　高浪克子、二口善乃
（泉丘８）　定木正人、清水弘勝、田村利雄、北條英俊
（泉丘９）　西島幸夫、四井敬子、加藤順子
（泉丘10）　長森敏秦
（泉丘11）　小林和重、佐々木一博、新谷修、田島辰巳、塚光雄、吉田和可
（泉丘12）　飯野靖四、板野美津子、玉井真寿美、瀬下孝之、中村亜結子、松本哲雄、村上与恵
（泉丘13）　大野健司、織田善臣、覚本孝二、島村眞吉、清水信也、竹内宏、西村一郎
（泉丘15）　生山匡、米谷浩平、宮岸邦夫、中本栄徳、松本健、丸岡昭夫、山岸勝信、若林勲
（泉丘16）　大森佐知子、高岡邦夫、東中修司、宮島宣昭
（泉丘17）　池田潔、魚住隆博、折戸儀夫、小高智、桜谷博、沢野昭治、高橋孝夫、中村雅美、根木山幸夫、山岸章、依田初栄、吉田吉明、若村弘
（泉丘18）　青谷懿、北村誠一、小林憲一、柴野邦彦、新村善弘、鈴木久美子、田川久美、長元正春、三島文夫、山岸茂夫、山村廣行
（泉丘19）　小松慶昭、吉村寛
（泉丘20）　板宮光恵、日下まさ子、小鍛治史郎、清水あつ子、高山充、堂田義博、中川敏明、西田外志男、長谷川眞知子」、藤田真理子、伏見安外喜、増田隆茂
（泉丘21）　飯田晶子、岩倉秀一、上田美恵子、樫田清樹、柏野博英、加藤良雄、河合悟、北岡健一、北川信重、北村芳博、小泉幸生、島田誠司、正田直行、杉林昇、竹内裕、西川すみ子、舟木政信、舟木紀美子、丸口謙次、屋敷道紀、早稲田邦子、山口外志、中村健、山元利晴
（泉丘22）　荒木勉、嶋田政次、高橋晃、茶谷和久、中村優、山下哲之
（泉丘23）　鶴谷智子、林辰行
（泉丘24）　越野健、辰巳順、宮島均、宗形立夫
（泉丘26）　飯尾むつ子、大久保千恵、加藤一良
（泉丘27）　西田習太郎、連哲朗
（泉丘29）　荒木章一、奥田健、鍋谷剛、三浦耕士、吉本直行、荻田秀一
（泉丘30）　中谷徹
（泉丘32）　粟森昌哉、大家正宏、織田滋、橋爪覚、平野光彦、藤岡和美
（泉丘33）　新保義隆
（泉丘34）　相河幸昭、奥村啓之、宮西裕幸
（泉丘36）　瀬戸寛美
（泉丘37）　徳応学
（泉丘38）　樫見勝
（泉丘39）　尾芝庸子、河村左予子、広瀬裕俊、和田木哲哉
（泉丘41）　新谷千明紀、吉峯教俊
（泉丘42）　清水信友
（泉丘45）　亀井亮、河原晴子、松田菜穂
（泉丘46）　小原一歩
（泉丘47）　北出千紘、嶋田千春、林祐香
（泉丘48）　川守久栄、西川明子、亀山寛子、守谷公美

この年の国内・海外の主な出来事

2.9　ハワイ沖で宇和島水産高の実習船えひめ丸と米原潜が衝突、実習生９人死亡
3.3　サッカーくじtotoの受付開始
4.26　小泉内閣誕生
5.1　埼玉県に「さいたま市」誕生
8.4　東京ディズニーシーがオープン
11.25　自衛隊が海外で軍事支援
12.1　皇太子妃雅子さまが第１子をご出産

9.11同時多発テロ事件
元ビートルズのジョージ・ハリスン死去
米英アフガニスタンへの空爆

平成13年

2001.10.5(金)

平成13年度 関東一泉同窓会総会

於・サンケイプラザ
幹事期・泉丘22期

178名出席（出席予定者は、一中13名、泉丘183名（内　女性43名）あった）。
金沢より来賓　水谷昭、普神貴行一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長、
徳田寿秋泉丘高等学校長
会費　10,000円（泉丘43～53期は5,000円）
寄附金（当日・振込）計353,530円（内、本部より50,000円）
同窓会通信費補助として別途本部より200,000円補助
・役員改選　会長に河毛二郎、副会長に宮川隆泰、高浪克子、大西忠、
村上与恵、監事に西島幸夫、検見崎俊行　各氏再任される。
★総会テーマ「2000年代の旅立ち」をタテ糸に「懐かしき金沢」をヨコ糸に織りなしての懇親会を意図して行われ、賑わった。
・鏡開き。古澤英雄氏（一中42）の乾杯音頭。
・出口辰治氏（泉22）のジャズ演奏、
西田啓一氏の歌謡曲（泉22）で賑やかに。
・ビンゴゲーム。土産はふるさとの味。
・当日配布式次第、会報「一泉」、引継会資料より

出口氏

西田氏のCD

2000年代の旅立ち
【関東一泉同窓会総会】

2001年度関東一泉同窓会総会は10月５日（金）大手町サンケイプラザで開催された。

幹事期は泉丘22期、出席は経済の厳しい環境にもかかわらず、178名、一中42期から泉丘53期までの65年の年令幅があるのは伝統校ならではと思わせる。金沢からは、徳田寿秋校長、普神貴行、水谷昭副会長、正村健三事務局長の４人が出席。

「2000年代の旅立ち」をタテ糸に、「懐かしき金沢」をヨコ系に織りなして、語り合い味わって頂こうという趣旨で始まった懇親会は盛大に進行。冒頭の鏡割は加賀辰の口の銘酒「福の宮」。ヨコ系の飲食品や商品の提供企業は、一泉 OB が役職を務める大和百貨店、中村酒造、宮本酒造、車多酒造、宇野甘源堂、四十万屋本舗、能作、いずみや兄弟商店、清風荘、天狗中田、宮本産業、他に埼玉県から斉藤写真館、東京ではサンケイ新聞であった。参加者全員近来特に名高くなってきたふるさとの味を楽しみ、喜んで土産に持ち帰った。

会報「一泉」30号
H14.5.20　P８

関東一泉同窓会総会
ジャズ演奏で賑やかに

関東一泉同窓会（河毛二郎会長）では、十月五日六時半から東京千代田区のサンケイプラザで２００１年度の総会・懇親会を開催した。

来賓に水谷昭、普神貴行両本部副会長、徳田寿秋校長を迎え、まず今回の世話期22期を代表して茶谷和久氏が開会の言葉を述べ、つづいて河毛会長が「この同窓会がさらに盛会になるよう世話を惜しまない」と力強く挨拶。来賓を代表して水谷本部副会長が「母校は二年後に110周年を迎えるが、その記念事業として木村珪二氏（一中29期）作による「久遠」の像を建立、部活用にバス一台を寄贈することを計画している」など報告があった。

ついで徳田校長から「心身一如の教育、成績と知性の相互補完を重視し、基本的な人間性の育成に万全を期している。一方、部活は登山、水泳、テニス、囲碁、合唱などが成績を上げている」など、祝辞にあわせ母校の近況を報告。

役員改選後、山下哲之運営幹事から今年度予算などの報告があり、承認して総会を終え、懇親会に移った。

加賀の酒「福の宮」で鏡開きのあと、古澤英雄氏（一中42期）の乾杯音頭で開宴。アーティスト・ビブラフォン奏者の出口辰治氏（泉22期、金沢市生まれ）によるジャズ演奏で華々しく開幕、俳優の西田啓一氏（泉22期）の歌謡曲、懐かしの歌と語りがあって会場は盛り上った。さらにビンゴゲームも行われ、数々の金沢の名産・銘品が当選者に割り振られた。和気藹々のうち、やがて校歌斉唱となり、次回は23期が世話役と決め、宮川隆泰関東副会長の閉会の辞でようやく散会した。

改選された役員は次の通り。
会長・河毛二郎（中43）
副会長・宮川隆泰（中54）　高浪克子（泉4）　大西忠（泉10）　村上与恵（泉12）
監事・西島幸夫（泉9）　検見崎俊行（泉14）

（加能人誌Ｈ13.12月号）

平成13年度総会　出席者（予定）リスト

来賓（４名）
水谷昭一泉同窓会副会長、普神貴行同副会長、
正村健三同事務局長
徳田寿秋金沢泉丘高等学校長

一中　13名
（一中42）　古沢英雄、鳥居忍
（一中43）　河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中47）　中島章
（一中50）　川北博
（一中51）　伊藤昭雄
（一中53）　金藤彰
（一中54）　宮川隆泰、石崎定男
（一中55）　鶴屋一郎
（一中56）　多田春夫
（一中57）　高木富泰

泉丘　183名（男144　女39）
（泉丘４）　高浪克子
（泉丘５）　古谷綾子、武内宏、松井昭祐、羽野良久、野村弘毅、川村隆一
（泉丘６）　橋浦久男
（泉丘７）　杉村亨
（泉丘８）　北條英俊、定木正人
（泉丘９）　三吉敏雄、杉森醇子、福田嘉明、西島幸夫
（泉丘10）　長森敏秦、大西忠、金子兵衛
（泉丘11）　田島辰巳、新谷修、北川昭久、西道隆、大西昭一、俣野景彦、山田祥二、小林和重、新井祝子
（泉丘12）　岩崎洋一、村上与恵、瀬下孝之、飯野靖四、南隆一
（泉丘13）　覚本孝二、倉田信孝、佐野次昭、
（泉丘14）　舟喜昭博、河崎肇、蓮川洋一
（泉丘15）　宮岸邦夫、丸岡昭夫、三井理、中本栄徳、若林勲、中垣紘一
（泉丘16）　石垣英治、大森佐知子、小倉修平、藤村治憲、吉田艸臣、宮島宣昭
（泉丘17）　八日市谷正明、沢野昭治、若村弘、大村嘉孝、伊藤恵美子、高橋孝夫、村上誠子、山岸章、魚住隆博、岩井寿子、中村雅美
（泉丘18）　山村廣行、新村喜弘、入栄隆純、宮越宏之、長元正春、原俊道
（泉丘20）　清水あつ子、中川敏明、武田喜男、西田外志男、藤田真理子、日下まさ子、高山充、仁藤早苗、板宮光恵
（泉丘21）　北岡健一、正田直行、丸口謙次、中村健、松浦徹男、樫田清樹
（泉丘22）　宮本博、高橋晃、表清隆、嶋田政次、宮本龍彦、西田啓一、茶谷和久、山下哲之、稲垣有司、出口辰治、中村優、油野正文、口田登、桶川幹夫、西野幸雄、生駒哲朗、若林修、中井明、市川俊介、小原光和、酒井和之、野村みつ子、酒田彰子、小山るり、相川倫子、加藤ゆかり、東野雅子、竹沢紀子、斎藤久美子、広岡立美、永瀬喜子、田中都子、中田紀子、木野一晴
（泉丘23）　三嶋哲、中佳代子、山田清美、鶴谷智子、辰野勉、林辰行、八木隆、黒梅春季、道下善明、上田稔、鈴木美津江、宇野明美、浅井稔
（泉丘24）　北原亨、形屋正弘
（泉丘25）　服部啓男
（泉丘26）　加藤一良、二羽淳一郎、船田政夫
（泉丘27）　北川真、田中孝房、森田祐一、中務信一
（泉丘28）　平尾博
（泉丘29）　小柳明夫、北村雅彦
（泉丘31）　赤沢信秀、河村匡逸
（泉丘32）　大家正宏、不室克巳、飯田十三、藤岡和美、伊佐真理子、平野光彦
（泉丘33）　新保義隆、島崎厚、泉和宏
（泉丘34）　浅川竜一郎、山本一也
（泉丘35）　米沢寛之、中農崇、酒井正史、竹中昭夫
（泉丘36）　瀬戸寛美
（泉丘39）　酒井貴子
（泉丘41）　長久勝、吉峯教俊、黒崎めぐみ、新谷千明紀
（泉丘42）　中村寛人
（泉丘43）　蚊谷友宏、中野隆史
（泉丘45）　森崇
（泉丘47）　星好孝
（泉丘49）　黒田卓、小寺寛志、岩崎真紀子、松本義法
（泉丘51）　北谷内常雄、林嘉信
（泉丘52）　由上良輔、川合春香、松永薫、河原麻衣
（泉丘53）　喜多村剛、栂貴久、長東大樹　　島田厚
（泉丘43）　北野朝子

50歳になって幹事をした皆さんへ

―河毛二郎会長の引継会でのスピーチ―

難しい時代になったが、難しく考えることはない。面白い時代になったのだと思えばよい。昔に較べるとしがらみに拘束されずにいろいろなことが自由にできる結構な時代になった。

少子化が進むので年寄りが遊んでいていいという時代が終わるかもしれない。定年制があるとかないとかいう時代が終わって、心身ともしっかりしていれば必要とされる限り働く時代になるかもしれない。

本当に役に立つのは50代からである。人生は健康で長生きすると、60・70とどんどん違った景観が見えてくる。

自分さえしっかりしていれば50歳からの人生が本当におもしろくなる。

（2002年３月８日）

河毛二郎会長の印象に残ったご挨拶（要旨）ー西島幸夫関東一泉監事（泉丘９）のメモよりー
（2002年3月8日　年度幹事期22期から23期への引継会にて　於・八重洲倶楽部会議室）

平成14年

この年の国内・海外の主な出来事

4.30　雪印食品が解散（牛肉偽装事件）
6.19　鈴木宗男衆議院議員があっせん収賄容疑で逮捕
8.5　住民基本台帳ネットワークが稼動
10.8　島津製作所・田中耕一所員がノーベル化学賞、東京大学・小柴昌俊教授がノーベル物理学賞

ユーロ圏12カ国で通貨「ユーロ」流通開始
チェチェン共和国武装勢力がモスクワ劇場を占拠

2002.10.4（金）

2002年度 関東一泉同窓会総会

於・青山ダイヤモンドホール
幹事期・泉丘23期

241名出席（来賓4名、一中17名、泉丘220名（内女性57名））
金沢より来賓　普神貴行、水谷　昭一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長、新村健了泉丘高等学校長
会費　10,000円（泉丘44～54期は5,000円）
寄付金（当日）100,000円（内本部より50,000円）
別途本部より通信費補助200,000円

・E-mailを使って動員を図る。学生の参加が多かった。
・ピアノ・フルート演奏、大河ドラマ「利家とまつ」ブームにちなんで金沢の名産、銘品を当てよう！ゲーム。テーブルを移動してのゲームは世代間の交流も図られて、会場は盛り上がった。

・会報「一泉」、2002年度関東一泉同窓会だより（幹事期23期作成）、引継会資料より

【関東一泉同窓会総会・懇親会】

2002. 10. 4（金）青山ダイヤモンドホール

金沢からは新村校長、普神貴行、水谷昭副会長（泉丘７期）、正村事務局長、一中45期石崎皓三代表、泉丘23期宮地治代表が出席。出席数は久し振りに250人を越えた。Emailという新兵器を駆使しての幹事期の努力で、例年より２倍の集まりとなった。

河毛二郎会長（一中43期）をはじめ80歳を越える先輩の元気なお姿が多く見えた。また、学生の参加も多く、故郷を離れての同窓会が一段と活気を帯びて和やかだった。懇親会の後半は、期別のテーブル割りを解消、老若の混合チームに編成し、折からの大河ドラマ「利家とまつ」ブームにちなむ「戦国ゲーム」で互いに世代間の交流をはかった。大型の景品に満足して散会。23期の幹事の皆さんご苦労さまでした。

会報「一泉」31号H16.6.1　P4

河毛会長と一中の先輩方

「戦国ゲーム」で選ばれ、賞品を手にした[利家]と[まつ]。

県人会・同窓会つどい

関東一泉同窓会総会
「利家とまつ」因むゲームも

関東一泉同窓会（河毛二郎会長）では、十月四日六時半から東京港区の青山ダイヤモンドホールで今年度の総会・懇親会を開催した。

新村健了校長など迎え、金沢からの出席者を交えて二百四十人が参加。まず今回の世話期23期を代表して黒梅春季氏が開会の言葉を述べ、つづいて河毛会長が「本日は青春に帰って大いに楽しんでいただきたい」と挨拶。

来賓の水谷本部副会長が「来年の110周年記念事業として「久遠」の像やマイクロバス、ピアノを寄贈することになった」など報告。新村校長から母校の近況が報告された。

鶴谷智子運営幹事から今年度予算などの報告があり、承認して総会を終え、懇親会に移った。

古澤英雄氏（一中42期）の乾杯音頭で開宴。ピアノ・フルート演奏で華々しく開幕。それぞれテーブルを囲んで歓談するうち、お待ち兼ねのアトラクション・ゲームに入った。

今回は「利家とまつ」にちなんで金沢の名産、銘品が当たるとあって、会場は大いに盛り上った。和気藹々のうち、やがて校歌斉唱となり、次回は24期が世話役と決め、宮川隆泰関東副会長が閉会の辞を述べ、次期幹事で応援団長だった辰巳順氏のフレーフレーの音頭で、みんなで拍手しながら散会した。出席者は次の通り。

（来賓） 新村健了　普神貴行　水谷　昭　正村健三
（会員） 山本欣一　古沢英雄　鳥居　忍　島誠夫　河毛二郎　吉野秀一郎　安田道夫　石崎皓三　高木兼二　中村八郎　山本周三　川北　博　宇野富美雄　金藤彰　宮川隆泰　岡本　佼　鶴屋一郎　福田武通　大西　章　北山政義　竹中道人　多田春夫　花井良夫

越村久夫　高多　明　石崎定男　松田耀子　高浪克子　二口善乃　古屋綾子　松井昭祐　野村弘毅　藤村礼子　羽野良久　藤村　理　杉村　了　北條英俊　兼田　泉　定木正人　西島幸夫　福田嘉明　高坂要子　森井　博　四井敬子　岩上　豊　小竹浩　野口美智代　大西　忠　大谷孝弘　木下朔郎　山本　竺　西道　隆　塚　光雄　小林和重　北川昭久　新谷　修　新井祝子　田島辰巳　俣野景彦　村上与恵　鈴木淑江　羽野みち　松永祥子　高瀬のぶえ　内海美智子　広瀬美惠子　大野健司　富田静枝　渡部忠男　覚本孝二　木村昭子　山田孝子　山瀬利博　辰巳典子　河南良一　島村眞吉　渡辺孝子　奈良俊彦　河合美智子　飯野迪　谷井一子　高橋治義　浜本　寛　岸井徳雄　菅　謙治　河崎　肇　中村和義　若林　勲　山岸勝信　中本栄徳　中垣紘一　生山　匡　三井　理　寺田裕紀　加藤嘉彦　小倉修平　川守祐市　宮島宣昭　藤村治憲　石垣英治　大森佐知子　若村弘　沢野昭治　佐藤和夫　山岸　章　能村郁夫　増田幸子　宮越宏之　鍛冶康博　青谷　懿　喜内敏夫　田川久美　原　俊道　池田政規　百々吉太郎　勝田良蔵　山岸茂夫　竹下剛　今戸詩美　長元正春　森　邦夫　大西吉国　久保田正　西田外志男　高山充　浦外喜知　山崎俊樹　堂田義博　中川敏明　板宮光恵　清水あつ子　日下まさ子　長谷川真知子　太田英明　小泉幸夫　竹内　裕　正田直行　樫田清樹　島田誠司　桜井慎治　屋敷道紀

北岡健一　丸口謙次　稲垣有司　宮本　博　山下哲之　西田啓一　高橋　晃　茶谷和久　嶋田政次　八尾深雪　浅井稔　加藤由美子　村沢　寛　市川　潔　宮野　丘　山田裕紀　黒梅春季　村上澄夫　葛城達夫　村内　博　尾関文江　辰野　勉　鶴谷智子　宇野明美　山田清美　林　辰行　松本正人　照井健生　田中誠治　松井清志　入江健二　道下善明　松林秀明　大西博久　米村光文　中川　均　鈴木美津江　中谷桂子　八木隆　松井　進　池田洋子　上田　稔　田畑将晴　織田信康　松下雅俊　高橋紀代子　三嶋哲　松林資隆　本藤昌行　竹内素子　阿宇地晴夫　橋本聡　中佳代子　山内照代　伊藤博子　菊田景子　形屋正弘　辰巳　順　河越宏一　西村善治　山田雄一　小林高博　服部啓男　加藤一良　大久保千恵　船田政夫　新開佳行　市川龍　河野伸子　北川　真　森田祐一　平尾　博　宇野泰宏　三浦洋一　美本昌文　北川秀二　田中　般　熊田大史　不室克巳　島崎　厚　泉　和宏　砂山藤広　相河幸昭　倉　宇宏　南　賢一　和田木哲哉　石黒知　沖田共之　橋爪圭一　亀井　亮　北岡理江　岡田圭介　新田晃子　尾崎友美　輪崎博司　南　竜太　寺岡幸恵　小田愛沙　星　良孝　清水彩子　小泉ユミ　近本　香　松田亜世　喜多麻美　倉本和典　松永　薫　押田華奈　鳥毛美子　石瀬　祐　成岡耕作　北方　薫　黒田　諒　畑　和人　◇

（加能人誌H14.11月号）

平成14年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（４名）
普神貴行一泉同窓会副会長、水谷昭同副会長、
正村健三同事務局長
新村健了金沢泉丘高等学校長

一中　17名
（一中42）　山本欽一、古沢英雄、鳥居忍
（一中43）　島誠夫、河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中45）　石崎皓三、高木兼二、中村八郎
（一中46）　山本周三
（一中50）　川北博
（一中52）　宇野富美雄
（一中53）　金藤彰
（一中54）　宮川隆泰
（一中55）　鶴屋一郎、福田武通、竹中道人

泉丘　220名（男163　女57）
（一高１）　石崎定男
（泉丘２）　松田耀子、多田春夫、花井良夫
（泉丘３）　鶴来伸一
（泉丘４）　高浪克子、二口善乃、高多明、清水嶺子
（泉丘５）　古谷綾子、松井昭祐、野村弘毅、羽野良久
（泉丘６）　藤村理
（泉丘７）　杉村亨
（泉丘８）　北條英俊、兼田泉、定木正人
（泉丘９）　西島幸夫、福田嘉明、高坂要子、森井博、四井敬子、小倉良、小竹浩、野口美智代
（泉丘10）　大西忠、大谷孝弘、木下朔郎、山本竺、田中蓉子、長森敏秦、広部和也
（泉丘11）　西道隆、塚光雄、大西昭一、北川昭久、新谷修、新井祝子、田島辰巳、俣野景彦、小杉圭子、庄山恵子
（泉丘12）　村上与恵、鈴木淑江、羽野みち、松永祥子、高瀬のぶえ
（泉丘13）　大野健司、富田静枝、覚本孝二、広瀬美恵子、木村昭子、山田孝子、山瀬利博、辰巳典子、島村眞吉、渡辺孝子、飯野迪、谷井一子、高橋治義、浜本寛、佐野次昭、舘正康
（泉丘14）　菅謙治、河崎肇
（泉丘15）　中村和義、若林勲、中垣紘一、生山匡、三井理、田上健
（泉丘16）　川守祐市、宮島宣昭、藤村治憲、石垣英治、大森佐知子、大道哲夫
（泉丘17）　若村弘、沢野昭治、佐藤和夫、山岸章、能村郁夫、増田幸子、荒谷内允
（泉丘18）　宮越宏之、鍛治康博、青谷懿、田川久美、原俊道、百々吉太郎、勝田良蔵、山岸茂夫、今戸詩美、長元正春、柴野邦彦、山本星子、若狭哲夫
（泉丘19）　久保田正
（泉丘20）　西田外志男、高山充、堂田義博、板宮光恵、長谷川真知子、中川敏明、清水あつ子、日下まさ子、藤田真理子
（泉丘21）　太田英明、小泉幸生、竹内裕、正田直行、樫田清樹、島田誠司、桜井慎治、屋敷道紀、北岡健一、丸口謙次
（泉丘22）　茶谷和久、嶋田政次、山下哲之、西田啓一、高橋晃、八尾深雪、斉藤久美子
（泉丘23）　浅井稔、加藤由美子、村沢寛、市川潔、宮野丘、山田裕紀、黒梅春季、村上澄夫、葛城達夫、村内博、尾関文江、辰野勉、鶴谷智子、宇野明美、山田清美、林辰行、松本正人、照井健生、松井清志、遠藤和宏、入江健二、道下善明、松林秀明、大西博久、宮地治、鈴木美津江、中川均、中谷桂子、松井進、池田洋子、山内照代、伊藤博子、田畑将晴、織田信康、松下雅俊、高橋紀代子、松林資隆、本藤昌行、竹内素子、三嶋哲、阿字地晴夫、中佳代子
（泉丘24）　橋本聡、菊田景子、形屋正弘、辰巳順、小林高博、西村善治、山田雄一
（泉丘25）　服部啓男
（泉丘26）　大久保千恵、加藤一良、船田政夫、新開佳行、河野伸子
（泉丘27）　中川之夫、北川真
（泉丘28）　平尾博
（泉丘30）　美本昌文、北川秀二、田中般
（泉丘31）　赤沢信秀、賀谷梅吉、河村匡逸、木越力、桐生和郎、番田康弘、向隆弘
（泉丘32）　熊田大史、不室克巳
（泉丘34）　砂山藤広、相河幸昭
（泉丘39）　和田木哲哉
（泉丘40）　石黒知
（泉丘41）　沖田共之
（泉丘42）　橋爪圭一
（泉丘43）　中野隆史
（泉丘45）　森崇、北岡理恵、岡田圭介
（泉丘46）　輪崎博司
（泉丘47）　寺岡幸恵、小田愛沙、星良孝
（泉丘49）　清水彩子、小泉ユミ
（泉丘50）　松田亜世、喜多麻美
（泉丘52）　倉本和典、松永薫、小阪純、坂井孝英
（泉丘53）　石瀬祐、成岡耕作、黒田諒、畑和人

～２００２年度　関東一泉同窓会だより～

恒例の「関東一泉同窓会」が盛大に開催されました
去る１０月４日（金）１８：３０分より、北青山の青山ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾎｰﾙ・ｻﾌｧｲﾔﾙｰﾑにて、約250名の会員の皆さんに参加戴きました。今年のテーマは「WA～輪・話・和」で、同窓生の縦のつながりをいっそう深めることにより、期を越え幅広い交流と親睦を図ることを目的としました。

受付のまわりを賑わした
のぼりやポスター

会場は加賀百万石博や能登空港、利家とまつのﾎﾟｽﾀｰやのぼりなどで飾り付けられ、会場全体に郷土の雰囲気がかもしだされる中、ＮＨＫ大河ドラマ「利家とまつ」にちなんだ音楽が流れ、アトラクションが行われるなど、参加者は金沢の思いを充分に満喫し、最後までお互いの交流を深め合うことが出来ました。

二〇〇二年度　関東一泉同窓会総会・懇親会
総会
一 開会の辞　泉丘二十三期代表幹事　黒梅　春季
一 会長挨拶　関東一泉同窓会会長　河毛　二郎
一 来賓挨拶　一泉同窓会副会長　水谷　昭
　金沢泉丘高等学校校長　新村　健了
一 議事　議題１　今年度予算
懇親会
一 乾杯　金沢一中四十二期　古沢　英雄
一 ピアノ・フルート演奏
一 アトラクション・ゲーム
　「利家とまつ」にちなんだ
　金沢の名産・銘品を当てよう！
一 一中校歌・泉丘校歌斉唱
一 幹事紹介　泉丘二十三期幹事　一同
　泉丘二十四期幹事　一同
一 閉会の辞　関東一泉同窓会副会長　宮川　隆泰

黒梅幹事長による開会宣言に始まり、河毛会長からご挨拶がありました。金沢一中から数え来年で創設１１０周年を迎えるとの事、改めて本校の歴史の深さを感じた人も多かったと思います。また、水谷副会長、普神副会長、新村校長には、はるばる金沢より参加され今回の同窓会を盛り上げていただきました。
古沢大先輩の乾杯の音頭で懇親会が始まり、各テーブルとも同期やクラスの仲間による思い出の「話」に花が咲きました。フルートとピアノ演奏をバックグランド・ミュージックに、久しぶりにたくさんの同窓の人と話し、美味しい料理に舌鼓を打ち、金沢の地酒を頂戴する。また、アトラクションゲームではテーブルを移動し、世代（期）を超えてお互いに名刺交換や歓談が行われ、大いに「輪」を楽しんだ良き思い出となりました。

～さあ、利家とまつはだれ？？？～
今回の同窓会のメインは「利家とまつ」にちなんだアトラクション・ゲーム。本ゲームはビンゴに似た内容で、物語に登場する人物を２０名テーブル毎に書き出し、その後各テーブルから１名ずつ順番に発表。他テーブルでも同じ人物を書いていれば得点が増え、総得点の多いチームが勝ち。どれだけポピュラーな名前を知っているかが勝敗を分ける。
老若男女知恵を合わせてゲームに熱中しました。入賞チームには協賛企業様からふるさと金沢の名産プレゼント付き。幸運にも優勝したチーム、残念ながら賞から外れたチーム、各テーブルがゲームの進行に一喜一憂し、異常に盛り上がりました。

ゲームに熱中する皆さん

最後は「利家とまつ」が選ばれ、なごやかな内にフィナーレとなりました。
幸運なお２人様おめでとう！！

「利家とまつ」のお2人で～す

幸運にも賞品を手にしたチームの皆さん

♪フルート・ピアノ演奏に酔いしれて♪
美女２人による華麗なミュージックも輪に花を添えてくれました

河毛会長を囲んで！
会長を初め一中の皆さん　有難うございました

今回の同窓会開催に当り、下記の通り多数の企業協賛を賜わりました。お蔭様で参加者全員が故郷の土産を手に出来ました。本当に有難うございました。（順不同）
（株）清風荘　東多酒造合名会社　宮本酒造（株）（株）宇野甘源堂　（株）いずみ屋兄弟商店
（株）長寿　宮本産業（株）中村酒造（株）　（株）大和　（株）能作　天狗中田産業（株）
吉田酒造（株）　桐漆工芸・上坂　湯涌山荘やまね　（株）宮地組　富士通（株）
関東東京石川県人会　石川県東京事務所　石川県空港企画課
最後に、今回お忙しい中ご出席戴きましたご来賓の方々をはじめ、同窓会員の皆様に心より御礼申し上げます。
泉丘２３期同窓生の皆さん当日の世話役ご苦労さん。みんなの努力で、素晴らしい会になりました。これからも毎年参加し同期の花を咲かせましょう。
泉丘２４期の皆さん　来年は宜しく！！

2002年度関東一泉同窓会　幹事一同

（引継会資料）
2002年度関東一泉同窓会だより
（幹事期23期作成）
当日欠席で寄附振込みの会員に
総会の様子を伝えた。

この年の国内・海外の主な出来事

3.24　千と千尋の神隠し」、アカデミー賞アニメ映画賞を受賞
4.1　日本郵政公社が営業開始
6.19　早大サークル「スーパーフリー」メンバー５人が集団暴行で逮捕
12.1　地上デジタル放送開始
12.11　柔道の谷亮子選手がオリックスの谷佳知と結婚

スペースシャトル「コロンビア」が大気圏突入の途中で空中分解
米軍がイラクに侵攻　4月フセイン元大統領拘束
アーノルド・シュワルツェネッガーがカリフォルニア州知事に

平成15年

2003.10.3(金)

2003年度
関東一泉同窓会総会
於・一ツ橋如水会館
幹事期・泉丘24期

221名出席（来賓6名、一中20名、泉丘195名（内女性59名））
金沢より来賓　普神貴行、水谷　昭一泉同窓会副会長、正村健三同事務局長、新村健了泉丘高等学校長、南也司志一泉同窓会泉丘24期幹事
関西一泉より　亀田　廣関西一泉同窓会泉丘2期幹事
会費　10,000円（泉丘45～55期は5,000円）
寄付金（当日・欠席会員振込）242,300円　本部より通信費補助 200,000円
会場には、指揮者・岩城宏之氏、書家・氷田光風氏が。
★一泉110年を振り返るスライド「泉路は続くよーすじに」を制作、上映。
・アトラクション・ゲーム「栄冠は君に輝く」に会場は盛り上がった。
・若やいだ雰囲気は、若年層が前年より5%増えたことにあった。
・関東一泉同窓会事務局長として監事の山下哲之（泉22）氏が就任（03.2.7）。事務局を山下氏の㈱中央都市鑑定（銀座2）に置く。
★一泉創立110周年記念式典が金沢で行われた（03.10.15）。
・会報「一泉」、引継会資料より

【関東一泉同窓会総会・懇親会】

2003．10．６（金）一ツ橋如水会館、昨年に引続き250余名出席、金沢から新村健了校長、普神・水谷副会長、正村事務局長、関西から亀田広（泉丘２期）代表が出席。

一中で書道を教えられた氷田光風氏が車椅子で元気に参加された。氏は泉丘の元書道教諭清風氏の兄である。オーケストラ・アンサンブル金沢の監督・岩城宏之氏（一中57期）も出席され旧交を温めた。ＯＡＫの東京公演は定着しつつあり、関東地区の一泉会員の一層の支援を期待したい。幹事期24期が、ひと夏かけて苦労して制作したスライド「泉路は続くよ一すじに」を上映、懐かしさを誘った。後半、アトラクション「栄冠は君に輝く」では期別テーブル割りを解消、異世代間の交流をはかる混合テーブルゲームで楽しさを倍増、加賀名産ミヤゲをもらって解散。

幹事の皆さんご苦労さまでした。

［協賛企業］
大和　中村酒造　宮本酒造店　車多酒造
宇野甘源堂　能作　いずみや兄弟商店
天狗中田産業　吉田酒造店　宮地組

会報「一泉」31号H16.6.1　P５
※開催日の10.6（金）は、10.3の誤植

関東一泉同窓会が総会

110年を振り返るスライドも

関東一泉同窓会（河毛二郎会長）は、十月三日六時半から東京・一ツ橋の如水会館で今年度の総会・懇親会を開いた。

新村校長、水谷昭同窓会本部副会長を迎え会員約二百五十人が参加。まず今回の世話期24期を代表して山田雄一氏が開会の言葉を述べ、つづいて河毛会長の挨拶、新村校長の母校の近況報告があり、議事に移り、予算案、事業計画案など承認して総会を終え、懇親会に移った。

古澤英雄氏（一中42期）の乾杯音頭で開宴。創立から百十年当たるため、「泉路はつづくよ一すじに」をテーマにした歴代の学びやをまとめたスライドが上映された。さらにゲーム「栄冠は君に輝く」のアトラクションで会場は大いに沸き、一年ぶりの親睦を深めた。一中・泉丘高校歌斉唱のあと、次回は25期が世話役と決め、宮川隆泰副会長の閉会の辞で散会した。

今年は旧制金沢一中が明治二十六年に石川県尋常中として設置されて以来、百十周年の節目に当たり、出席者の中には、オーケストラ・アンサンブル金沢で音楽監督を務める岩城宏之氏の顔も見えた。

（加能人誌H15.11月号）

平成15年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（６名）

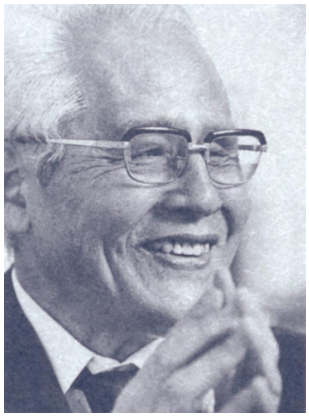
普神貴行一泉同窓会副会長、水谷昭同副会長、
正村健三同事務局長
新村賢了金沢泉丘高等学校長
亀田廣関西一泉同窓会幹事（泉丘２）、
南也司志一泉同窓会幹事（泉丘24）

一中　20名

（一中42）　鳥居忍、氷田作治、古澤英雄
（一中43）　河毛二郎
（一中44）　吉野秀一郎
（一中45）　安田道夫
（一中46）　納賀節二、西田勝次、山本周三
（一中54）　岡本佼、氷田正男、宮川隆泰
（一中55）　小堀和哉、竹中道人、平松健冶
（一中56）　多田春夫
（一中57）　岩城宏之、古村澄一、鶴来伸一
（一中58）　越村久夫

泉丘　195名（男136　女59）

（泉丘２）　荒木一夫、松田耀子
（泉丘４）　清水嶺子、高浪克子
（泉丘８）　北條英俊
（泉丘９）　小倉捷良、小竹浩、任田晃一郎、西島幸夫、福田嘉明、森井博、古村桂子、杉森醇子、高坂要子、四井敬子
（泉丘10）　大西忠、金子兵衛
（泉丘11）　大西昭一、新谷修、田島辰巳、西道隆、吉田和可、塚光雄、小林和重、庄山恵子
（泉丘12）　谷口克俊、笠間紀子、高瀬延江、村上与恵
（泉丘13）　大野健司、覚本孝二、木戸伴雄、佐野次昭、島村眞吉、竹内宏、高橋晴義、舘正康、山瀬利博、山田孝子、河合美智子、木村昭子、辰巳典子、富田静枝、広瀬美恵子
（泉丘14）　井上晃、近藤正彦、飯田久子、堀田翠
（泉丘15）　生山匡、北野喜方、小島昌一、田上健、中川秀人、中野敏朗、藤田宏一
（泉丘16）　加藤嘉彦、宮島宣昭、大森佐知子
（泉丘17）　魚住隆博、折戸儀夫、佐藤和夫、八日市谷正明、吉田吉明
（泉丘18）　青谷懿、入栄隆純、勝田良蔵、柴野邦彦、長元正春、新村喜弘、今戸詩美、田川久美、山本星子
（泉丘19）　日向三郎、中島美恵子
（泉丘20）　中川敏明、西田外志男、板宮光恵、日下まさ子
（泉丘21）　太田英明、小泉幸生、正田直行、丸口謙次
（泉丘22）　油野正文、桶川幹夫、高橋晃、茶谷和久、山下哲之、若林修
（泉丘23）　浅井稔、大西博久、黒梅春季、辰野勉、舘仁平、照井健生、中川均、林辰行、松井進、松林資隆、宮野丘、村沢寛、山田裕紀、宇野明美、加藤由美子、鶴谷智子、中佳代子
（泉丘24）　荒尾泰則、井上夏樹、形屋正弘、久保雅一、中島秀二、西村善治、橋本聡、深田拓夫、古西健、山田雄一、菊田景子、小島由紀子、佐藤律子、田中清美、谷玲子、立田かつみ、土田喜美、広井瑞枝、山下須美子、南也司志
（泉丘25）　上瑞秀夫、堅田幸博、蔵敏則、富永滋、中川昇、西山憲紀、能村哲、服部啓男、森田勝、安田邦夫、八日市谷隆
（泉丘26）　船田政夫、深田睦子、河野伸子、大久保千恵
（泉丘27）　円角隆、北川真、中川之夫、西田習太郎、宮竹康修、森田祐一、連哲朗、朝井直美
（泉丘28）　池田佳隆
（泉丘29）　北村雅彦、中村真人
（泉丘30）　北川秀二、美本昌文
（泉丘31）　越崎善治
（泉丘32）　西和伸
（泉丘33）　泉和宏
（泉丘35）　酒井正史
（泉丘37）　赤坂清和
（泉丘38）　氏家卓
（泉丘39）　酒井貴子
（泉丘40）　石黒知、木地昌之、坂次哲也、柴田謙司、新矢均
（泉丘42）　橋爪圭一
（泉丘43）　水畑順作、小笠原玲子
（泉丘44）　八島生幸
（泉丘45）　谷明喜、直江正人、南川泰則
（泉丘46）　小原一歩
（泉丘47）　床川俊太郎、星好孝、牧野敏幸、林祐香
（泉丘49）　南奈央
（泉丘50）　喜多麻美、松田亜世
（泉丘51）　外崎学
（泉丘52）　里見伸明、西田和正、松永薫、山本健、田中瑞枝、河合春香、河原麻衣、小杉麻理子、吉田佳奈子、島崎理恵、宮森かほる
（泉丘53）　成岡耕作
（泉丘54）　外崎究
（泉丘55）　劔地章弘、堀田ひとみ、松田泉



平成15（2003）年11月20日(木) 午後6時30分～

河毛会長のお話を聞く会　テーマ「我流のすすめ」

会員32名参加
会費　5,000円（会場費、ビュッフェ料理等飲食代）
於・中央会館（銀座ブロッサム）７階ローズ
世話人・西島幸夫（９期）村上与恵（12期）山下哲之（22期）

河毛二郎会長「我流のすすめ」（お話の骨子）

孔子は論語の巻頭で「学んで時にこれを習う」と述べて何事もまず先生から教わりそれから自分でやってみることを薦めているが、私の長い人生を振り返ってみるとどうもその逆、習って時にこれを学ぶこともあったような気がしてならない。卑近な言葉でいえば我流も時と場合によってはあながち排除すべきものでなかった。

我流がもっとも成功したのはロシア語の習得であった。終戦時私は南樺太の王子製紙の工場に勤務していたがまもなくソ連軍に占領されその管理下で従業員全員が抑留され操業を続けることになった。工場長以下ロシア側のスタッフも逐次充実されたが最大の問題はお互いに言葉がチンプンカンプンで意思疎通がままならなかったことであった。若かった私は意を決してロシア語を覚えようとしたが、辞書も教科書もなく途方にくれたが窮すれば通ずで赤ん坊に帰った気持ちで相手の言うことを聞いていると、よく出てくる単語があることに気がつきそれがどんな場合かと考えるとだんだんその意味が分かってきた。数字、曜日、年月から働く、食べる、休むなど仕事や日常の生活に欠かせない言葉から覚えていくことになったが、文字や文法が分からなくても口移しの言葉はかえって相手にもよく通じた。例えばRの発音は日本人には苦手だがこのやり方では問題がなかった。働くことはアラボートと言っていたが、後に文字を習って読むとラボートに読める。しかしRを強くいうからアラが正しいといえる。昔日露戦争帰りの兵隊さんがロシアのことをオロシアといったのも同じことで活きた言葉は耳からと言うのは私どもが学校でまなび今も踏襲されている日本の外国語教育の忘れていることの一つである。しかし文法などの基本に裏づけられなかった私のロシア語は数十年の風雪に絶えず瀕死の状態であるが、まず習ってもそれから学ぶことの大切さは変わりないと思う。

キャリーアという英語は職業人としての生涯を意味するが、どんな仕事に自分は向いているかを予め知ることは難しいから、学校へ行って基礎教育や専門教育を受けるうちにその進路を決めるのが普通の人である。まさに孔子がいう学習の典型であろう。ところが学問や芸術に天才とか非凡と言われるほどの才幹をもっている人々には普通人の教育のやり方はむしろ回り道であって、まっすぐ自分の天分を伸ばすことができるに越したことはない。モーツアルトや吉田松陰がそのような環境で幼にして音楽や学問の道で名声を挙げたことはあまりにも有名である。これは高度な我流といってよいだろう。数年前惜しまれて世を去った作曲家の武満徹さんとはお互いの家内同士の縁で若い頃からお付き合いを願ったが、彼もまた類まれな才幹の持ち主であったことはその作品が今では内外のクラシック音楽会でスタンダードナンバー化していることでもわかる。その彼が芸大を出たわけでも無いのに独自の作曲活動を続けてその名声を得たこと思うと、天才にとっては概存の教育制度などは余計なものにすぎないという気がしてならない。「僕は学歴を訊かれるいちばん困る」と世間がなぜそのようなことにこだわるのかと首をひねっていたある時の彼の姿が思いだされる。しかし彼の音楽は難解で私などいまだに縁無き衆正の一人だが、本人もその著書で「僕自身が音楽家としての四十年、音を表現媒体として、自分でしか言い表せないようなことを表す。音楽といってもその表現のスタイル、形式は多様で、単に慰めや娯楽のための音楽であれば、時代の人たちが喜ぶような表現方法はあるような気がします。しかし僕がやっている音楽はそういうものではなく、音というものを通して人間の

実在について考える、どちらかというと詩とか哲学とか、そうしたものに近い表現形式としてやっているわけで、これが一番難しいところなんですね」といっている。創造性と個性、今の日本にこれほど求められているものはない。その彼の音楽が早くから欧米で評価されたのは、西洋音楽の手法によりながら、日本はじめ異文化の国や民族の音を取り入れて、19世紀の巨匠たちの優れた作品に続く手がかりを失っていたクラシックに新風をもたらしたからで、現代音楽はかれの作品なくして語れないといっても過言でない。

さて、日本が古くからまず中国や欧米から優れた文物制度を取り入れながらたんなる模倣に陥らず自らの風土に合うように工夫をして独自の文化を創ってきたことはあまねく知られているが、これこそ学んでこれを習うの典型といってよいだろう。人生を人並みに徹してきた私にもこんな経験がある。戦後樺太から引き揚げて東京の本社に復帰した私は労務関係の仕事に長く携わった。その中で忘れがたいのは昭和33年の百数十日におよぶ王子製紙の大争議でそのとき勤労課長であった私はいろんな苦労や体験をしたが、なによりも何故そのようなことがおきたのか。

戦後日本民主化の一環として労働組合が合法化され労働組合法が施行されたがそれらは、

1）企業横断的な独立した企業外組合であり

2）労使の利害は基本的に対立するというた欧米の組合と企業の関係を前提としており、企業内組合が大部分で組合も企業も同じ釜の飯を食う関係にあるわが国の実情にそぐわないことが多かった。しかしその頃はこのような実態を無視して過激な運動に走る組合指導者も多く、著名な大企業に大争議が続発した。王子争議もその流れの中にあり、労使の争点が労働条件でなく労働協約のユニオンショップ条項であったこともこれを端的に示している。（註　ユニオンショップは組合を除名された従業員は会社が解雇するという条項である）さいわい争議が長引くなかで従業員の中から不毛の闘争を中止し企業内組合の実態に即した新しい組合を結成する動きが高まり、やがて旧勢力を駆逐するに及んでさしものストも終結した。「うんと働いてうんと取ろう」「話し合いによる解決」は新しい組合のかかげた斬新な旗印で、日本的労使関係の幕開けでもあった。この新しい労使関係はその後急速に各産業に定着しわが国の経済発展の要となったことは周知の通りで、戦後日本が経済大国としてジャパン・アズ・NO.1といわれるまでに発展したのは労使関係のみならず産業のあらゆる分野でこのような学習効果を発揮できたからであった。

しかしその日本経済がこのところ長期にわたって不振を続けているのはこの伝統的な手法が限界に達しているからである。学ぶべき先生も技術もない、なにからなにまで独力でやるしかない、そんな時代がきているということにほかならない。これはかつて民族の歴史のなかった道であり、それができるかどうかに21世紀の日本の命運がかかっている。ヒットラーはかつて「わが闘争」で日本人は文化の担い手に過ぎないと断じ、欧米人も私どもの独創性に疑問をいだくものが多い。それだけに遠い困難な道であるがその第一歩は、頼むのは我のみという我流の必要性をしっかり自覚することにある。それが異常時や天才のことではなく誰にでも求められる行動規範になるとき日本の新しいロードマップが開けるのだと思う。福沢先生在世ならば学問ならぬ「我流のすすめ」を説かれたであろう。

2003.07.02 学士会会報　原稿より

著作

「逆風順風」　日経連広報部刊（1994年5月）

「私のカウントダウン」日経連出版部刊（2000年7月）

「紙は生きている」トランスアート刊（2003年11月）

「レーシー・ヘルプスのほん」レーシー・ヘルプス作
河毛二郎・福島栗雄 共訳　セーラー出版（1987年11月）

（著作紹介・写真は、2004.6.23「お別れの会」（王子製紙社葬）冊子、他より）

この年の国内・海外の主な出来事

2.11　アメリカで狂牛病発生の影響で、吉野屋が牛丼の販売を中止
3.20　ドリフターズのいかりや長介死去
11.1　1万・福沢諭吉、5千・樋口一葉、千円・野口英世、新札を発行

イチローがメジャー最多安打記録84年ぶり更新

平成16年

2004.10.2(土)

2004
関東一泉同窓会総会

於・一ツ橋如水会館
(15：00〜17：30)
初の開催時刻

幹事期・泉丘25期

253名出席（来賓5名、一中19名、泉丘229名（内女性66名））
金沢より来賓　蚊谷八郎新一泉同窓会会長(10.15より会長となられた)、
普神貴行、水谷昭同副会長、正村健三同事務局長、
上田政憲泉丘高等学校長

★河毛二郎関東一泉同窓会会長(2004年5月)、宮川隆泰同副会長(同年2月)、逝去。
★役員改選で、新会長に浅井敏郎氏(一中50)、新副会長に糸多宗人氏(一中54)が就任。
副会長に大西忠(泉10)、村上与恵(泉12)、宇野明美(泉23)、監事に西島幸夫(泉9)、監事兼事務局長に山下哲之(泉22)、顧問に高浪克子(泉4)氏が再任。

会費10,000円(泉丘46〜56期は5,000円(内学生は3,000円)、ご夫婦会員二人で15,000円)
寄付金(当日・欠席者会費振込)215,810円　本部より通信費補助 200,000円
★総会のテーマ「どきどきドーキ同窓会」
・金沢観光「金沢どうなっとるがや」ビデオ放映、金沢弁の思い出タイムがあった。
★初の土曜日午後3時開会。
・引継会では、出席者の当日欠席が多いと報告された。
・会報「一泉」、引継会資料より

浅井敏郎 第六代会長

浅井敏郎氏略歴
金沢一中(昭18・一中50)卒。1950年東大(経済)卒。味の素㈱入社、海外勤務が多く、そのキャリアを請われて1984年60歳の時日本たばこインターナショナル㈱に常務取締役で移籍。常勤監査役を経て74歳で退職。
2004年母校への恩返しをと、関東一泉同窓会第六代会長に就任された。

新役員紹介

04関東一泉同窓会総会・懇親会

新会長に浅井氏、副に糸多氏

'04関東一泉同窓会総会は10月2日、東京・千代田区の如水会館で約280人が出席して開かれた＝**写真**＝。金沢からは蚊谷八郎新会長、上田政憲校長ら5氏がかけつけ祝福した。

今年のテーマは「どきどきドーキ同窓会」。一人でも多くの参加を促し、二次会までゆっくりと年代を超えた交流が図れる有意義な集いにしようーとの配慮から、土曜日の午後3時開会となった。総会では河毛二郎会長（一中43期）と宮川隆泰副会長（同54期）の死去に伴う役員改選で、新会長に浅井敏郎氏（同50期）、同副会長に糸多宗人氏（同54期）を選出した。浅井会長は就任あいさつで「一中精神の継承」を訴えるとともに、「母校への恩返し」への協力を呼びかけた。

続く懇親会では「金沢どうなっとるがや」のビデオ放映、金沢弁の思い出タイムもあり、故郷と母校への思いを新たにした。最後に一中、泉丘の校歌を斉唱、幹事の25期の努力に感謝して閉会した。

その他の役員は次の皆さん。

▷副会長　大西忠（泉丘10期）、村上与恵（同12期）、宇野明美（同23期）▷監事　西島幸夫（同9期）▷監事兼事務局長　山下哲之（同22期）▷顧問　高浪克子（同4期）

会報「一泉」32号H17.10.15　P2

関東一泉同窓会が総会
金沢観光のビデオも上映

関東在住の一中、泉丘高卒業生でつくる関東一泉同窓会は、十月五日六時半から東京・一ツ橋の如水会館で今年度の総会・懇親会を開き、さる五月に死亡した河毛二郎会長の後任に、浅井敏郎氏（旧中学昭和18年卒）を選出した。

当日は金沢から蚊谷八郎本部同窓会長、上田政憲母校校長が出席。挨拶に立った蚊谷八郎本部同窓会長は、秋の石川大会で活躍した野球部を引き合いに「現役の生徒たちに負けず劣らず、活動を盛り上げていこう」と述べた。

また来賓の上田政憲校長が同校の近況を紹介。懇親会の会場では、金沢市の観光ビデオも上映され、出席者らが一年ぶりの旧交を温めた。

（加能人誌H16.11月号）

平成16年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（５名）

蚊谷八郎新一泉同窓会会長、普神貴行同副会長、
水谷昭同副会長、正村健三同事務局長
上田政憲金沢泉丘高等学校長

一中　19名

(一中42)　鳥居忍
(一中44)　酒井栄治、吉野秀一郎、古西一郎
(一中45)　安田道夫
(一中46)　山本周三
(一中50)　浅井敏郎、松島由次
(一中54)　糸多宗人、岡本俊、伊勢長一、氷田正男
(一中55)　大西章、鶴屋一郎
(一中56)　白尾惇、多田春夫、村上満
(一中57)　鶴来伸一
(一中58)　越村久夫

泉丘　228名（男163　女65）

(泉丘２)　松田耀子、竹沢貞子、
(泉丘３)　中島玲子
(泉丘４)　二口善乃、幸村鹿子、山良眞作、高浪克子
(泉丘５)　山田小枝子、藤村礼子、高山美恵子
(泉丘８)　清水弘勝
(泉丘９)　福田嘉明、四井敬子、小竹浩、高坂要子、
西島幸夫、小村純子、青山賢一、辻勝介
(泉丘10)　大西忠
(泉丘11)　新谷修、西道隆、中村荘一、塚光雄、
小林和重、渡辺郷子
(泉丘12)　村上与恵、鈴木淑江、高瀬のぶえ、
笠間紀子
(泉丘13)　覚本孝二、飯野迪、佐野次昭、島村眞吉、
大野健司、広瀬美恵子、本多克彦、竹内宏、
龍田陽、河合美智子、谷井一子
(泉丘14)　喜多喜信、舟喜昭博、河崎肇、小西博、
検見崎俊行
(泉丘15)　中村和義、田上健、生山匡、三井理、
宮岸邦夫、若林勲、吾子美奈子
(泉丘16)　畠中信夫、宮島宣昭、遠藤綏代、吉田艸臣、
藤本晋一郎、小倉修平
(泉丘17)　中村雅美、山岸章、魚住隆博、吉田吉明、
高橋孝夫、八日市谷正朗
(泉丘18)　鍛冶康博、新村喜弘、山岸徹夫、竹下剛、
原俊道、長元正春、田川久美、入栄隆純、
青谷懿、今戸詩美、山本星子
(泉丘19)　吉村寛、河辺候一、山川博、中杉保雄、
吉川雄三、高本政行、平岩博美、堀口邦子、
平栗寿子
(泉丘20)　高山充、堂田義博、仁藤早苗、中川敏明、
日下まき子
(泉丘21)　浅村修、杉林昇、樫田清樹
(泉丘22)　油野正文、山下哲之、茶谷和久
(泉丘23)　辰野勉、鶴谷智子、宇野明美、林辰行、
舘仁平、黒梅春季、浅井稔、宮野丘、
松井清志、照井健生、松林資隆、松本正人、
大西博久、松井進、中川均
(泉丘24)　橋本聡、西村善治、広井瑞枝、田中清美、
井上夏樹、土田貴美、山田雄一、谷玲子、
形屋正弘、菊田景子
(泉丘25)　服部啓男、能村哲、西山憲紀、八日市谷隆、
冨永滋、米川達也、山口彰美、沼田美栄、
片倉典子、田圃裕子、寺井高史、田中裕之、
中島市治、上端秀夫、田中妙枝、小泉透、
葛西弘樹、篭田周久、来栖十糸子、
安田邦夫、奥山陵子、泉屋繁、北川明洋、
森本重久、蔵敏則、小林正澄、津賀沼厚子、
堅田幸博、藤野夏代子、太田哲子
(泉丘26)　二羽淳一郎、川瀬真人、安藤育美、
大塚作一、大砂雅子、大砂正明、川辺洋子、
青山洋子、大久保千恵、堀誠
(泉丘27)　北川真、西田習太郎、今村功、宮竹康修、
小村純子
(泉丘29)　中西直人、中村真人
(泉丘30)　北川秀二、武田耕造、美本昌文、田中巧、
山田真人、田中般、八十島裕
(泉丘31)　山岸正幸、賀谷梅吉
(泉丘34)　奥村啓之、上田力
(泉丘35)　喜多充成、喜多充成夫人、高柳安紀、
酒井正史
(泉丘36)　土井下建治、松林賢司、木森弘造
(泉丘37)　山口和之、赤坂清和、稲野耕司、西田隆志
(泉丘39)　桂禎次郎
(泉丘40)　石黒知、高原敦、岡田光司
(泉丘42)　中村寛人、藤顕信、川本直樹、土谷薫、
澤口常紀
(泉丘44)　清水一弘、谷口雄幸
(泉丘47)　坂本貴代美、星良孝、牧野敏幸
(泉丘48)　梁井宏美、酒井涼子、塚西里紗
(泉丘49)　荒川和樹、黒瀬拓馬、西田助宏、原田正行
(泉丘50)　松田亜世、本多良恵、三宅大介
(泉丘51)　小林達矢、塩津聡
(泉丘52)　干場崇史、松永薫
(泉丘53)　畑和人
(泉丘54)　藤木慎太郎、寺田大地、市橋正祥、外崎究
(泉丘55)　堀田ひとみ
(泉丘56)　木村純子、越崎有美、今村陽香、
山田ちひろ

この年の国内・海外の主な出来事

1.25　NHK海老沢会長が辞任
2.17　中部国際空港（セントレア）開港
3.25　愛知県で愛・地球博覧会開幕
4.1　個人情報保護法施行
4.27　環境省、地球温暖化防止のために「クールビズ」を発表
8.24　つくばエクスプレス開業
11.15　紀宮清子内親王殿下と黒田慶樹さんがご結婚

英ロンドンで自爆テロ
ローマ法王ヨハネ・パウロ二世死去

平成17年

2005.11.2(水)

'05関東一泉同窓会総会

於・セルリアンタワー
　東急ホテル

幹事期・泉丘26期

308名出席（来賓5名、一中19名、泉丘284名（内女性87名））
金沢より来賓　蚊谷八郎一泉同窓会会長、普神貴行、泉屋利郎同副会長、
　中山一郎一泉同窓会事務局長、上田政憲泉丘高等学校長
★総会のテーマ「学から楽へ」
・アンサンブル金沢のメンバー４人による弦楽四重奏が３曲演奏。
・鏡割りと一中・泉丘校章入り漆塗り枡で乾杯。枡は土産として持ち帰る。
会費10,000円（泉丘47～57期は5,000円（内学生は3,000円）、ご夫婦会員二人で15,000円）
寄付金（当日160,000円、欠席者郵便振替など寄付振込105,000円）計265,000円
協賛金（企業より）120,000円　一泉本部より通信費補助　200,000円
★関東一泉のホームページを立ち上げての事前PR、Eメールでの参加受付などを行い大勢を動員する。
★当日欠席が54名、当日参加28名。若年期２割強の64名参加。
・会報「一泉」、引継会資料より

賑わった会場風景（ホームページより）

05関東一泉同窓会総会・懇親会

過去最高の315人が参加

2005年関東一泉同窓会の総会・懇親会が11月２日、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開かれた。今年のテーマは「学から楽へ」ー。オーケストラ・アンサンブル金沢の出演やホームページを立ち上げての事前PR、Eメールでの参加受付など、幹事の泉丘26期の趣向を凝らした呼びかけが功を奏し、過去最高の315人が出席する盛会となった。

総会は26期の大砂雅子代表幹事の歓迎の言葉で始まり、浅井敏郎会長（一中50期）のあいさつに続いて来賓の蚊谷八郎一泉同窓会会長、泉屋利郎同副会長が祝辞を述べ26期の努力を称えると共に「関東一泉」のますますの発展を祈念した。

OEK演奏にアンコール

この後、アンサンブル金沢の弦楽四重奏が登場、エルガーの「愛のあいさつ」など４曲

を演奏、アンコールにも応えた。続いて上田政憲泉丘高校校長が母校の近況などを報告した。

懇親会の始まりもユニークだった。浅井会長や来賓による鏡割、お土産に持ち帰った一中、泉丘の校章入り漆塗り枡での乾杯、元応援団長の松田亜世君（泉丘50期）、馬渡寛君（同51期）のリードによるエールと校歌斉唱。会場のあちこちに同期生が旧交を温める輪が広がり、同じ学び舎から巣立った者同士が年代を超えて集う有意義な場となった。糸多宗人副会長（一中54期）の一本閉めで、別れを惜しんで閉会となった。

会報「一泉」33号H18.3.31　P3

関東一泉同窓会　11月2日開催

アンサンブル金沢のタベを予定

金沢一中、泉丘高OBの関東一泉同窓会（浅井敏郎会長）は、十一月二日（火）六時半から、セルリアンタワー東急ホテル地下2階「ボールルーム」（東京渋谷区桜丘町、℡03―3476―3000）で今年度の総会を開く。今回はアトラクションとして、「学から楽へ」―アンサンブル金沢のタベ―（カルテット演奏）を予定している。会費一万円（泉丘47期～57期＝五千円、うち学生三千円、夫婦二人で一万五千円）。

問合・連絡は、関東一泉同窓会代表幹事（26期）大砂雅子まで。℡03―3988―2791（勤務先：対日貿易投資交流促進協会）携帯：090―7426―0738

http://www.kanto-issen.com/index.htm

総会案内が掲載された
（加能人誌H17.9月号）

平成17年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（５名）

蚊谷八郎一泉同窓会会長、泉屋利郎同副会長、
普神貴行同副会長、中山一郎同事務局長
上田政憲金沢泉丘高等学校長

一中　19名

（一中42）　鳥居忍、古澤英雄
（一中44）　吉野秀一郎
（一中50）　浅井敏郎、小中伸夫、佐藤正千代、田中長
（一中51）　西川忠
（一中54）　糸多宗人、岡本佼、辻良平、氷田正男
（一中55）　下村佳生、鶴屋一郎、丹羽靖一郎
（一中56）　多田春夫
（一中57）　竹田伸二、宮崎茂
（一中58）　越村久夫

泉丘　284名（男197　女87）

（泉丘２）　松田耀子、荒木一夫
（泉丘４）　上田広次、二口善乃
（泉丘５）　藤村礼子、古谷綾子、横田維弥、
高山美恵子
（泉丘６）　長基顕、若村慎作
（泉丘７）　杉村亨
（泉丘８）　荒木二夫、佐々木信憲、佐々木令夫人
（泉丘９）　小竹浩、杉原弘泰、杉原令夫人、杉原令兄、
西島幸夫、野口美智代、福田嘉明
（泉丘10）　大谷孝弘、浅井武二
（泉丘11）　岩間静子、小林和重、佐々木一博、
庄山恵子、塚光雄、西道隆、蜂谷淑子、
俣野景彦、山田祥二、吉田和可、
細川真理子
（泉丘12）　橘好碩、中本久慶、村上与恵、高瀬のぶえ、
松永祥子
（泉丘13）　大島武、大島令夫人、覚本孝二、倉田信孝、
竹内宏、舘正康、南吉典
（泉丘14）　検見崎俊行、近藤正彦、西村進、吉田昌兼
（泉丘15）　田上健、中垣紘一、中村和義、三井理、
若林勲
（泉丘16）　石垣英治、大森佐知子、川守祐市、
高岡邦夫、出口久次、藤村治憲、宮島宣昭
（泉丘17）　折戸儀夫、高橋孝夫、能村邦宏、山岸章、
若村弘
（泉丘18）　青谷懿、新村喜弘、高山巧、田川久美、
原俊道、宮越宏之、八尾純二、田井賢、
今戸詩美、塗師道彦
（泉丘19）　久保田正、山川博
（泉丘20）　板宮光恵、日下まさ子、高山充、堂田義博、
中川敏明、西田外志男
（泉丘21）　太田英明、樫田清樹、桜井慎治、杉林昇、
山森茂、丸口健次
（泉丘22）　小山るり、嶋田政次、高橋晃、茶谷和久、
山下哲之、和田恵子
（泉丘23）　浅井稔、入江健二、宇野明美、大西博久、
加藤由美子、黒梅春季、鶴谷智子、
照井健生、中川均、宮野丘、村上澄夫、
村沢寛、舘仁平、道下善明、松井清
（泉丘24）　荒尾泰則、形屋正弘、立田克美、田中清美、
谷玲子、西村善治、橋本聡、広井瑞枝、
山田雄一
（泉丘25）　内田博之、片倉典子、小泉透、津賀沼厚子、
冨永滋、西山憲紀、沼田美栄、服部啓男、
森本重久、安田邦夫、八日市谷隆、
米川達也、清水正子
（泉丘26）　荒井光夫、安藤育美、飯尾むつ子、
飯田真由美、池田真一、石橋信彦、
井村朋子、大久保千恵、大砂正明、
大砂雅子、大塚作一、大屋保二、小田直之、
貝谷洋一、川瀬真人、加藤一良、川辺洋子、
神原昭彦、木村昭輝、巻田篤子、河野伸子、
小西了介、新開佳行、新保恵志、杉本英騎、
高橋洋子、友田幸宏、中川安弘、中田慎一、
中村肇、長基健司、中森伸一、西田俊高、
西本哲二、二羽淳一郎、船田政夫、
干場克英、堀誠、本田幸弘、南俊守、
山口一郎
（泉丘27）　川村明子、北川真、高橋徹、中川之夫、
西田習太郎、花本健也、道浦正樹、
嶺藤英信、連哲朗、村田正子、宮竹康修
（泉丘28）　中田有子
（泉丘29）　中村真人、中西博之
（泉丘30）　北川秀二、田中般、美本昌文、小川哲哉
（泉丘32）　藤岡和美、小村亮博
（泉丘33）　野上哲彦、広瀬智弘
（泉丘34）　奥村啓之、山本一也
（泉丘35）　木島勝、高柳安紀
（泉丘36）　越野定文、須原理彦、土井下建治、
東野理実子
（泉丘38）　正元敏之、室野栄
（泉丘39）　広瀬裕俊
（泉丘40）　山口真理子
（泉丘41）　山本陽一
（泉丘43）　大島尚子、堂井貴之、中谷秀一、畑中一寿
（泉丘44）　森下奈美
（泉丘45）　三谷昌弘、宮前英和
（泉丘46）　川上佳代子、新屋敷絵美、村田篤史、
和田紀子
（泉尾47）　熊木裕子、坂本貴代美
（泉丘50）　坂一博、松田亜世
（泉丘51）　小林達矢、馬渡寛、柏川優子、大橋乃梨子、
広沢敦子
（泉丘52）　新城祐児、石田厚子、押田華菜、川愛子、
干場崇史、松田和美、松永薫、今井英理子、
寺西貴志
（泉丘53）　岩田朋樹、富樫幸子、西田圭吾、畑和人、
宮森智基、森茂博、山田心也
（泉丘54）　浅野公美、太田真紀、上陽介、坂口泉、
東真希、道下可奈子、宮田昌子、山野睦、
山本雄貴、和田学、藤木慎太郎、宮村仁、
池田陽平
（泉丘55）　高安麻子、西村紀彦、橋本光生、
堀田ひとみ、松田和泉
（泉丘56）　今村陽香、太田友博、大西里奈、置田彩、
北川恵理、小谷浩平、炭しおり、
住川奈保子、多田美加、津田薫人、
干場真利子、山本祐也、和田修、清水優、
上前あかね
（泉丘57）　大家有貴、瀧田陽平、堤あおな、松浪宏明、
和藤菜穂子

平成18年

2006.10.13(金)

2006年関東一泉同窓会総会
於・アルカディア市ヶ谷
幹事期・泉丘27期

この年の国内・海外の主な出来事

1.18　ライブドア本社に強制捜査のメス
1.23　ライブドアの堀江社長と取締役3人逮捕
2.10～26　トリノ五輪で荒川静香選手アジア勢初の金
4.26　耐震強度偽装で姉歯元建築士ら8人逮捕
9.6　秋篠宮紀子さまが男子ご出産。
　　お名前は「悠仁（ひさひと）さま」

北朝鮮が日本海に7発のミサイル発射
第一回WBC、王監督率いる日本が優勝
インドネシア・ジャワ島西部で大地震発生

272名出席（来賓4名、一中16名　泉丘252名（内女性81名））
（出席予定者は300余名あった）
金沢より来賓　蚊谷八郎一泉同窓会会長、普神貴行同副会長、
中山一郎同事務局長、上田政憲泉丘高等学校長

★総会テーマ「嬉し！楽し！お菓子く！同窓会」
★役員改選　副会長に大西忠氏（泉10）に代わり杉原弘泰氏（泉9）が就任、他は再任。

会費10,000円（泉丘48～58期は5,000円（内学生は3,000円）、ご夫婦会員二人で15,000円）
寄附金（欠席者より振込・寄付）**154,000円**　（当日寄付・協賛金）**270,000円**
本部より通信費補助　230,000円（一泉同窓会本部より、総会案内ハガキに使用したプライバシー保護のシール代としてプラス30,000円の補助があった）

・イベントは大道芸のパフォーマンス出演・第1回東京都認定大道芸人「おじゃるず」
・出身中学校別チーム対抗ゲーム

★引継会に於いて、関東地区における会員約5,700名のうち、1,800名にメールアドレスがあることが報告された。

★当日欠席（寄附振込）の会員に総会の様子を伝えるレポートを作成し送付した。
（A3両面４色仕上げ）

・会報「一泉」、引継会資料より

'06関東一泉同窓会総会・懇親会

世代を超えて親睦深める

関東一泉同窓会の平成18年度総会・懇親会が10月13日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれた。開催幹事の泉丘27期による「嬉し！楽し！お菓子く！同窓会」のテーマに沿った演出に、出席した一中42期から卒業したての泉丘58期までの約300人が世代を超えて親睦を深めた＝写真＝。

総会では役員改選が行われ、大西忠副会長に代わって新たに杉原弘泰氏（泉丘９期・弁護士）を選出、浅井敏郎会長（一中50期）ら７氏が再選された。浅井会長は今夏の高校野球決勝戦の感動を引き合いに「母校も過去４回甲子園に出場している。近い将来再び出場してくれることを願っている」とあいさつ、蚊谷八郎一泉同窓会会長が盛会に対し祝辞と27期の努力にお礼を述べた。

続いて上田政憲校長が母校の近況を報告した後、乾杯の音頭を取り懇親会に移った。歓談の合間に大道芸の披露や全員参加のゲームがあり、旧交を温めた。27期の西田習太郎代表幹事から次期幹事の28期・宇野泰宏代表に幹事引継ぎが行われ、一中・泉丘の両校歌を高らかに合唱、糸田宗人副会長（一中54期）の閉会の言葉で名残を惜しみながら散会した。

会報「一泉」34号H19.3.31　P3

選任された役員と賑わう会場風景

関東一泉同窓会
世代を超えて親睦深める

関東一泉同窓会（浅井敏郎会長）の総会・懇親会が十月十三日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれた。開催幹事の泉丘27期による「嬉し！楽し！お菓子く！同窓会」のテーマに沿った演出に、出席した一中42期から泉丘58期までの約三百人が世代を超えて親睦を深めた。

総会では役員改選が行われ、病気療養中の大西忠副会長に代わって新たに杉原弘泰氏（泉9期、弁護士）を選出、浅井敏郎会長（中50期）ら七氏が再選された。

浅井会長は今夏の高校野球決勝戦の感動を引き合いに、「母校も過去四回甲子園に出場している。近い将来再び出場してくれることを願っている」と挨拶、蚊谷八郎本部同窓会長が祝辞と27期の努力にお礼を述べ、上田政憲校長が母校の近況を報告した後、乾杯の音頭を取り懇親会に移った。

歓談の合間に大道芸の披露や全員参加のゲームがあり、会場をわかせた。27期の西田習太郎代表幹事から次期幹事の28期・宇野泰宏代表に幹事引継ぎが行われ、一中、泉丘の両校歌を高らかに合唱した。最後に、糸田宗人副会長の閉会の言葉で名残を惜しみながら散会した。

改選された役員は次の通り。（○は新任）

会長・浅井敏郎（中50）
副会長・糸多宗人（中54）　○杉原弘泰（泉9）　村上与恵（泉12）　宇野明美（泉23）
監事　西島幸夫（泉9）
監事兼事務局長　山下哲之（泉22）

（加能人誌H18.11月号）

平成18年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（４名）
蚊谷八郎一泉同窓会会長、普神貴行同副会長、
中山一郎同事務局長
上田政憲金沢泉丘高等学校長

一中　16名
(一中42)　古沢英雄
(一中44)　吉野秀一郎
(一中50)　浅井敏郎、小中伸夫、堀吉彦、田中長、松島由次
(一中52)　塚岸昭二
(一中54)　糸多宗人、石崎定男
(一中55)　下村佳生、大西章、平松健治、竹中道人
(一中56)　安藤鐘一郎
(一中58)　越村久夫

泉丘　252名（男167　女85）
(泉丘２)　松田耀子、荒木一夫
(泉丘４)　上田広次、高浪克子
(泉丘５)　古谷綾子、田畑鶴子、松田栄子、高橋恵美子
(泉丘６)　和田昌三
(泉丘７)　杉村亨
(泉丘８)　荒木二夫、清水弘勝
(泉丘９)　西島幸夫、高坂要子、四井敬子、杉原弘泰、野口美智代、天日須美恵、加藤順子
(泉丘10)　本間由紀子
(泉丘11)　渡辺郷子、小林和重、西道隆、山田祥二、新谷修、庄山恵子、北川昭久、岩間静子、吉田和可、俣野景彦、新井祝子、大西昭一、細川真理子、小杉圭子
(泉丘12)　村上与恵
(泉丘13)　佐野次昭、田中洋子、覚本孝二、竹内宏
(泉丘14)　河崎肇、検見崎俊行、吉田昌兼、八尋章文、中本久男
(泉丘15)　中村和義、宮岸邦夫、生山匡、三井理
(泉丘16)　大森佐知子、高岡邦夫、吉田艸臣、遠藤綏代、石垣英治、出口久次、宮島宣昭、川守祐市、小倉修平
(泉丘17)　山岸章、沢野昭治、依田初栄、若村弘、魚住隆博、大屋泰夫
(泉丘18)　山本星子、新村喜弘、鍛冶康博、長元正春、岡田秀樹、大久保利彦、高山巧、田川久美、入栄隆純
(泉丘19)　久保田正、西田吉孝
(泉丘20)　仁藤早苗、日下まさ子、西田外志男、高山充、中川敏明、清水あつ子、堂田義博
(泉丘21)　夏梅衛、樫田清樹、若林洋子、水野茂
(泉丘22)　桶川幹夫、茶谷和久、山下哲之、出口辰治
(泉丘23)　鈴木美津江、浅井稔、加藤由美子、宇野明美、中川均、鶴谷智子、宮野丘、村沢寛、林辰行、村上澄夫、館仁平
(泉丘24)　谷玲子、広井瑞枝、久保雅一、橋本聡、吉本裕子、菊田景子、清水敦子、荒尾泰則
(泉丘25)　服部啓男、米川達也、柳瀬隆志、森本重久、安田邦夫
(泉丘26)　荒井光夫、大砂雅子、中森伸一、川瀬真人、飯田真由美、深田睦子、大塚作一、二羽淳一郎、青山洋子、新開佳行、堀誠、川辺洋子、西田俊高、大久保千恵
(泉丘27)　黒田一彦、早瀬久美子、朝井直美、中川之夫、宮竹康修、津沢順子、小村純子、村田正子、中務信一、前田博樹、嶺蔭英信、連哲朗、中村嘉孝、井家通、村井雄一、道浦正樹、円角隆、北川真、森田祐一、受川猛、添田佐知子、隅田泰生、山本常勝、川村明子、鈴木直哉、西田習太郎、鍋谷郁太郎、酒井純一、北村正、坂下章、長谷川満、橋本淳子、高橋徹、中村陽一、越野美栄子、稲葉理恵、前田雅之
(泉丘28)　小原光雅、藤木俊明、新覚司、中田有子、山本豊子、丹伸次、大塚和佳子、宇野泰宏、岡田譲、東靖人、滝沢桂子、谷村和彦
(泉丘29)　宮越鏡子、中村真人
(泉丘30)　武田耕造、竹内禎朗、吉野正俊、北川秀二、李俊哉、山本慎一郎、味岡能文、藤田繁人、白崎勇人、藤里智子、久田幸史
(泉丘31)　嶋中美佳、碓田史子、賀谷梅吉、近藤照子
(泉丘33)　太田光春
(泉丘34)　相河幸昭
(泉丘35)　喜多充成、木島勝、中農崇
(泉丘37)　小西博行、吉本真
(泉丘38)　西村信一郎
(泉丘39)　広瀬裕俊
(泉丘41)　宮川聖子、吉峯教俊、北村淳子
(泉丘43)　英敏秀
(泉丘47)　西田陽輔、星良孝
(泉丘48)　新田祐平、大田哲也、畑中崇宏
(泉丘49)　明田紘子
(泉丘50)　松田亜世、兎原香織、高井まゆ子、笹原裕司
(泉丘51)　川守慶之
(泉丘52)　山形直也
(泉丘53)　山口記可、水上達治、森茂博、村上真里英、富樫幸子、林裕子
(泉丘54)　清水文子、倉本広太郎
(泉丘55)　西村紀彦、村上紘美、小坂菜穂、高下剛一、西野希美
(泉丘56)　木村純子、太田友博、松山敏也、神谷嘉一、多田実加、丹羽洋基、津田薫人
(泉丘57)　大家有貴、瀧田陽平、元山和久、成田香織、泉千寿、三原拓也、正司かおり、宇野祐一郎、秋元有己子、吉野朝子
(泉丘58)　村上友里恵、谷夏実、亀渕萌、津田久美子

「来年は、私たちが年度代表幹事期です」と、28期の皆さん。

引継会資料より→
当日欠席の寄附振込みの会員に総会の様子を伝えた。

この年の国内・海外の主な出来事

1.11　大手菓子メーカー「不二家」で消費期限延長の偽表示発覚
1.20　「発掘！あるある大事典」で捏造、番組打ち切り
2.18　第一回東京市民マラソン
3.16　ライブドア事件で前社長・堀江被告に懲役2年6月の実刑判決
3.25　能登半島沖地震発生
7.16　新潟県中越沖地震発生
9.14　安倍晋三首相、突然に辞任会見
10.1　日本郵政公社民営化

平成19年

2007.10.27(土)

2007年関東一泉同窓会総会
於・アルカディア市ヶ谷
幹事期・泉丘28期

総会出席者に、軸に巻かれている紙を引き出すと校舎の変遷が印刷されているボールペンがプレゼントされた。

255名出席（来賓4名、一中11名　泉丘240名（内女性66名））
（出席予定者は324名あった）・案内ハガキ5,600枚発送
金沢より来賓　泉屋利郎一泉同窓会副会長、水谷昭同副会長、
中山一郎同事務局長、鈴森庸雄泉丘高等学校長

★総会テーマ「前夜祭☆」～円と縁そして宴～

会費10,000円（一中42期～泉丘48期）（泉丘49～52期は5,000円、53～59期は3,000円、ご夫婦は二人で15,000円）

寄附金（当日一泉本部と来賓より）110,000円、（欠席者より当日と郵便振替）81,700円、
協賛金（企業４社より）80,000円
本部より通信費補助　240,000円

・イベントは大江戸助六流佐倉勇翔太鼓の演奏
・返信はがきのアンケート結果に基づいたチーム対抗ゲーム、司会に合わせて全員でフォークダンスを踊った。
★当日は、季節はずれの台風に見舞われて激しい風雨となり、キャンセルが70余名あった。しかし、28期の見事な演出で会は盛り上がりをみせた。

・会報「一泉」、引継会資料より

★出席者にお願いしたアンケート結果（回収量は時間的問題もあって58名）
・総合満足度ポイント84点で、全体としては、概ね出席者に「楽しんで頂けた同窓会」を開催できた。
・日程、開催時間、曜日、場所等にも特に大きな不満は見られない。（金曜開催との優位性は不明で、土曜開催は時間の早期化の検討を要す）
という大筋の結果が出た。今後の参考としたい。詳細は、引継会資料に記載されている。

「縁と宴」で親睦深め合う
関東一泉同窓会に255人集う

関東一泉同窓会の平成19年度総会・懇親会が10月27日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれた。当日は季節はずれの台風が関東地方を直撃、激しい風雨に見舞われ、320人の参加申し込みあったがキャンセルが続出した。それでも出席した255人は開催幹事の泉丘28期（堀浩明代表）が準備したテーマ「前夜祭☆円と縁そして宴」に沿った演出の中で、親睦を深め旧交を温めた＝写真＝。

総会では関東の浅井敏郎会長（一中50期）が「関東一泉同窓会は来年50周年を迎えるので沿革史作成の準備にかかっている。これを機にさらに同窓の輪を広げていきたい」とあいさつした。来賓の泉屋利郎一泉同窓会副会長（泉丘14期）は「母校も来年、新生泉丘高校となって60周年の節目を迎える。母校発展と後輩たちの活躍のため、関東からも物心両面の支援を賜りたい」と述べ、鈴森庸雄校長（同18期）も「生徒たちは首都圏で活躍中の皆さんに負けないよう頑張っている」と母校の現況を説明した。

続いて水谷昭一泉同窓会副会長（同７期）が乾杯の音頭を取り、50周年の前夜祭にふさわしく大江戸助六流佐倉勇翔太鼓の演奏で懇親会が始まった。再会や初めての出会い、関東一円の同窓生という縁で結ばれた中で青春と故郷を懐かしみ、歓談の合間にアンケートに基づいたテーブル対抗クイズやフォークダンスもあり、瞬く間に終宴の時間が近づいた。堀代表幹事から次期幹事の同29期・西村実代表に幹事引継ぎが行われ、一中・泉丘の両校歌を合唱、糸多宗人副会長（一中54期）の閉会のことばで名残を惜しみながら散会した。

関東一泉同窓会総会
50周年前夜祭で盛り上がる

関東一泉同窓会（浅井敏郎会長）の総会が十月二十七日午後六時から東京九段のアルカディア市ヶ谷で開かれ、季節はずれの台風が関東地方を直撃したためキャンセルが続出。それでも出席した二百五十五人は開催幹事泉28期が準備したテーマ「前夜祭☆円と縁そして宴」に沿った演出の中で、親睦を深め旧交を温めた。

総会では浅井会長（中50）が「関東一泉同窓会は来年50周年を迎えるので沿革史作成の準備にかかっている。これを機にさらに同窓の輪を広げていきたい」と挨拶した。来賓の泉屋利郎本部副会長（泉14）は「母校も来年、新生泉丘高校となって60周年の節目を迎える。母校発展と後輩たちの活躍のため、関東からも物心両面の支援を賜りたい」と述べ、鈴森庸雄校長（同18）も「生徒たちは首都圏で活躍中の皆さんに負けないよう頑張っている」と母校の現況を説明した。

続いて水谷昭一本部副会長（同7）が乾杯の音頭を取り、50周年の前夜祭にふさわしく大江戸助六流佐倉勇翔太鼓の演奏で懇親会が始まった。歓談の合間にアンケートに基づいたテーブル対抗クイズやフォークダンスもあり、瞬く間に終宴の時間が近づいた。堀代表幹事から次期幹事の同29期・西村実代表に幹事引継ぎが行われ、一中・泉丘の両校歌を高らかに合唱、糸多宗人副会長（中54）の閉会のことばで名残を惜しみながら散会した。

会報「一泉」35号2008.3.31　P３

（加能人誌Ｈ19.11月号）

平成19年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（４名）
泉屋利郎一泉同窓会副会長、水谷昭同副会長、
中山一郎同事務局長
鈴森庸雄金沢泉丘高等学校長

一中　11名
（一中42）　古沢英雄
（一中44）　吉野秀一郎
（一中47）　中島章
（一中49）　石川治
（一中50）　浅井敏郎、田中長、青地龍男
（一中54）　糸多宗人、氷田正男
（一中55）　下村佳生
（一中57）　本田満

泉丘　240名（男174　女66）
（泉丘２）　松田耀子
（泉丘４）　幸村鹿子
（泉丘５）　古谷綾子、大竹和子
（泉丘８）　荒木二夫、北条英俊
（泉丘９）　杉原弘泰、西島幸夫、三由敏雄、四井敬子、小倉捷良
（泉丘11）　西道隆、新谷修、小林和重、清水潔人、岩間静子、庄山恵子、三宅真理子、吉田和可、渡辺郷子
（泉丘12）　村上与恵、松宮秀夫
（泉丘13）　覚本孝二、倉田信孝
（泉丘14）　吉田昌兼、河崎肇、近藤正彦、船喜昭博、検見崎俊行
（泉丘15）　若林勲、村上隆夫、三井理、宮岸邦夫
（泉丘16）　藤村治憲、東中修司、大森佐知子、野村雋一、高岡邦夫、石垣英治、川守祐市、宮島宣昭、大道哲夫
（泉丘17）　依田初栄
（泉丘18）　吉室誠、大久保利彦、入栄隆純、新村喜弘、原俊道、藤島寛仁
（泉丘19）　高本政行、山川博
（泉丘20）　西田外志男、高山充、仁藤早苗、日下まさ子、中川敏明、堂田義博、板宮光恵、浦外喜知
（泉丘21）　水野茂、杉林昇、樫田清樹、赤土誠一郎
（泉丘22）　山下哲之、安田弘義、茶谷和久、川端俊朗、澤田徹
（泉丘23）　宇野明美、宮野丘、鶴谷智子、村沢寛、浅井稔、照井健生、辰野勉、三嶋哲
（泉丘24）　橋本聡、形屋正弘
（泉丘25）　服部啓男、米川達也、八日市谷隆、沼田三栄、池田加代子
（泉丘26）　青山洋子、大久保千恵、二羽淳一郎、川瀬真人、千葉克英・成世、荒井光夫、大砂雅子
（泉丘27）　西田習太郎、黒田一彦、中川之夫、中務信一、円角隆、宮竹康修、村田正子、川村明子、中村陽一、道浦正樹
（泉丘28）　青野城夫、岡田譲、谷村和彦、東靖人、小原光雅、丹伸次、豊島正徳、宇野泰宏、岩井千香子、佐々木尚、山本豊子、寺西亮子、嶋中博幸、中田有子、才田淳、米岡清登、山田純、川村道子、堀浩明、津田勝紀、池田佳隆、野村健、新覚司、坂下敏朗、酒井貢、山崎英毅、内藤俊吾、菊沢祐子、吉本誠、奥西好夫、西山文子、任田信行、畝博之、島田弘子、北山泰英、高本明、堀田徹郎
（泉丘29）　朝倉康晴、荻田秀一、奥沢明、神保一也、明翫治栄、宮本契一、荒木章一、吉本直行、西俊幸、小川裕純、冨永均、永田有機、西村実、桜井恵子、梅田毅、市村基、時田守明
（泉丘30）　北川秀二、味岡能文、田中般、笠井洋子、齊藤友紀雄、美本昌文、小林靖典、山本慎一郎、吉野正俊、藤田繁人、八十島裕、久田幸史、上木朝史、李俊哉
（泉丘31）　賀谷梅吉、富田直也、向隆宏
（泉丘34）　森川浩人、山本一也
（泉丘36）　谷村知彦
（泉丘37）　赤坂清和、小西博行
（泉丘38）　西村信一郎、光谷直樹、野村出、久慈晴子
（泉丘39）　宮崎徹、広瀬裕俊
（泉丘40）　石黒知、山口真理子
（泉丘41）　中野真紀、朝倉圭子
（泉丘42）　中村寛人、水口亜紀、出和陽子
（泉丘47）　星良孝
（泉丘48）　川村聡子、安達美穂、田中由紀
（泉丘50）　松田亜世
（泉丘51）　池田大介、加藤哲朗
（泉丘52）　武田宗大、中村太一、押田華奈、山形直也、干場崇史、田中秀明、浅田久美子
（泉丘53）　山口記可
（泉丘54）　澤田美樹、池田陽平
（泉丘55）　西村紀彦、橋本光生、西野希美
（泉丘56）　大西里奈、神谷嘉一、片桐佐紀栄、北川恵理、太田友博、津田薫人、小谷浩平、中村真暁、木村純子、干場真利子、増川洋平、下崎圭裕、浜谷靖子、丹羽洋基
（泉丘57）　秋元有己子、倉本亮介、氏田千尋、堤あおな、津田容子、石川結衣、三原拓也、今井攻、河田啓、山崎綾華、河野沙穂、寺田夢人、吉野朝子、平田那知、横山香織
（泉丘58）　山下晶子

28期の皆さんご苦労さん↑　　来年はよろしく29期の皆さん↓

平成20年
2008.10.25(土)

この年の国内・海外の主な出来事

1. 中国冷凍ギョウザ事件
4. ガソリン暫定税率、期限切れが、また復活
6.8 秋葉原無差別殺傷事件
6.14 岩手・宮城内陸地震
6. 食品偽装が相次ぎ発覚
7.7～7.9 北海道・洞爺湖サミット開催
8.29 アフガニスタンで日本人誘拐殺害事件
9. 汚染米の転売問題
9.26 福田首相辞任、麻生新内閣発足
10.7 ノーベル賞で日本人4人が受賞
12. 景気減速で、企業で相次ぐ大量解雇

3.10 チベットで暴動
5.13 中国四川大地震
8.6～8.24 北京オリンピック開催
9. サブプライム問題による
リーマン・ブラザーズ経営破綻
金融危機世界に短期間に広まる
10. 世界各国で株価が乱高下
11.4 アメリカ大統領選挙でオバマ氏当選
12 アメリカ自動車大手、ビッグ3の救済案が廃案

2008年関東一泉同窓会総会
(関東一泉創立50周年記念総会)
於・アルカディア市ヶ谷
幹事期・泉丘29期

総会出席者に、50周年を記念して、特製の栞(24金メッキ)が配られた。

324名出席(来賓5名、一中10名　泉丘309名(内女性89名))
(出席予定者は375名あった)・案内ハガキ5,900枚発送

金沢より来賓　蚊谷八郎一泉同窓会会長、水谷昭同副会長、泉屋利郎同副会長、中山一郎同事務局長、山下一夫泉丘高等学校長

来賓
蚊谷会長

来賓
泉屋副会長(左)
と山下校長(右)

★総会テーマ「合い言葉はフィフティ・フィフティ」
★役員改選　浅井会長以下全員再任された。
★関東一泉同窓会50周年を記念して纏められた「五十年の歴史」は、PDF形式で一泉同窓会のホームページに掲載された。また、略歴が出席者に配付された。
・「五十年史」は、一泉本部、加能人社の協力を得て、先輩、後輩幹事が資料を収集・検討し、村上副会長が中心となって五十年の総会開催状況を辿った。

会費10,000円(一中42期～泉丘49期)(泉丘50～53期は5,000円、54～60期は3,000円、夫婦は二人で15,000円)

寄附金(当日一泉本部と来賓より)110,000円、(欠席者より当日と郵便振替)151,400円

協賛金(企業3社)94,000円(当日栞売上@2,000×7=14,000円含)

本部より通信費補助　240,118円

・イベントは、オープニングダンス、石川県銘酒利き酒選手権、クラシック・ビューティ、松田亜世(泉丘50期)ミニライブ、金沢検定クイズと盛り沢山だったが、どれも好評。現在の母校で撮られた後輩からのビデオレターが紹介され好評。

★記念総会は、好天に恵まれ、泉丘29期の動員力(直前のリマインドメール実施)も発揮されて盛会であった。土曜日夕方開催が定着か？
★09年2月に持たれた30期への引継会(この項09.3月記述)
・30代前半の出席者が少ないのは、会費が30歳を超えると倍増のせいか
・子供連れの参加の是否は年度代表幹事の判断に任せる
・出席会費以外の収入増を記念品(栞)販売や募金箱設置で図った
・独自ドメインを取得して関東一泉ホームページの開設

など、報告、検討された。

50周年記念関東一泉同窓会
三百二十人が出席、大盛会

関東一泉同窓会総会・懇親会は十月二十五日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれた。今年は関東一泉同窓会の発足50周年にあたり、幹事期の泉丘29期が力を入れて参加者を募り、近年最高の三百二十八人が出席して盛り上がった。金沢からは蚊谷八郎本部会長(泉14期)、水谷昭同副会長(同7期)、泉屋利郎同(同14期)、中山一郎同事務局長(同10期)、山下一夫校長(同19期)の五人が出席した。

総会では役員改選が行われ、浅井敏郎会長(中50期)ら八人の全役員が重任された。挨拶にたった浅井会長は、村上与恵副会長(泉12期)の努力で立派な50年史が出来上がったことを紹介、関東一泉も母校と共にさらに発展していきたいと述べた。続く蚊谷本部会長は50周年を祝すと共に「同窓生意識の高まりは素晴らしい。先の本部同窓会も八百五十人の大盛況だった」と挨拶した。また、山下校長は母校の現況報告の中で部活動のための宿泊施設の必要性を話し、「この勢いで五年後の一泉120周年には同窓会館という形で実現できないものか」と訴えた。

懇親会は泉屋本部副会長の乾杯の音頭で始まり、舞台ではにぎやかなオープニングダンスが披露された。29期が準備した今年のテーマは「合言葉はフィフティ・フィフティ」。これまでの50年を懐かしみつつ、これからの50年の発展を期待するもの。久しぶりや一年ぶり再会に笑顔と金沢弁が会場にあふれた。

歓談の合間に女性プロ演奏者によるピアノとフルートのコラボレーション、泉丘50期のプロシンガー・松田亜世ミニライブ、母校の様子も含めた金沢検定クイズなどがあり、糸多宗人副会長の閉会の辞で拍手のうちに幕を閉じた。

(加能人誌H20.12月号)

浅井会長挨拶と再任された役員

賑わう会場風景

平成20年度総会　出席者リスト（実績数）

来賓（５名）

蚊谷八郎一泉同窓会会長、水谷昭同副会長、
泉屋利郎同副会長、中山一郎同事務局長
山下一夫金沢泉丘高等学校長

一中　10名

（一中42）　古沢英雄
（一中46）　村上淳男
（一中50）　浅井敏郎、田中長、堀吉彦
（一中54）　糸多宗人、氷田正男、渋川勇
（一中55）　下村佳生
（一中56）　白尾惇

泉丘　309名（男220　女89）

（泉丘２）　松田耀子
（泉丘４）　幸村鹿子、高浪克子、赤岡淳子、山崎良子
（泉丘７）　西田更生
（泉丘８）　加藤嘉久、荒木二夫、清水弘勝
（泉丘９）　杉原弘泰、西島幸夫、加藤順子、野口美智代、
（泉丘11）　西道隆、新谷修、小林和重、清水潔人、
田島辰巳、庄山恵子、三宅真理子、吉田和可、
田中昭子、蜂谷淑子、新井田紀世、俣野景彦、
山田祥二、渡辺郷子
（泉丘12）　村上与恵、大野木敦子、浦卓夫、中村亜結子、
東伊佐雄、羽野みち、本田保子、岩倉誠治、
高瀬のぶえ
（泉丘13）　覚本孝二
（泉丘14）　吉田昌兼、河崎肇、検見崎俊行、北川順章、
菅謙治
（泉丘15）　中垣紘一、三井理
（泉丘16）　小倉修平、東中修司、大森佐知子、藤村治憲、
高岡邦夫、石垣英治、宮島宣昭、畠中信夫、
加藤嘉彦、広田正克・道代、藤田英典
（泉丘17）　若村弘、山岸章、高橋孝夫、魚住隆博、
蓑谷利朗、上田隆弘、吉本外志弘
（泉丘18）　三島文夫、新村喜弘、長元正春、原俊道、
藤島寛仁、入栄隆純、高柳久男
（泉丘19）　沢由紀子、久保田正
（泉丘20）　西田外志男、高山充、日下まさ子、堂田義博、
浦外喜知、中川敏明、清水あつ子、仁藤早苗
（泉丘21）　杉林昇、樫田清樹、正田直行、水野茂
（泉丘22）　山下哲之、安田弘義
（泉丘23）　宇野明美、宮野丘、鶴谷智子、松林資隆、
村沢寛、黒梅春季、林辰行、照井健生、
加藤由美子、大西博久、成瀬正勝、谷口雅枝、
辰野勉
（泉丘25）　服部啓男、米川達也、西野亙・和美、
葛西弘樹、内田博之
（泉丘26）　二羽淳一郎、川瀬真人、加藤一良、大砂雅子、
荒井光夫、飯田真由美、木村昭輝、青山洋子、
大久保千恵、川辺洋子、船田政夫
（泉丘27）　西田習太郎、黒田一彦、津沢順子、山中満、
宮竹康修
（泉丘28）　岡田譲、谷村和彦、東靖人、宇野泰宏、
山本豊子、中田有子、川村道子、堀浩明、
北山泰英、丹伸次、池田佳隆、畝博之、
桜井俊一郎、津田正利
（泉丘29）　浅倉康晴、荻田秀一、奥沢明、神保一也、
岸川卓史、宮本契一、荒木章一、吉本直行、
西俊幸、小川裕純、冨永均、永田有機、
西村実、桜井恵子、梅田毅、北村雅晴、
中村純、川村理夏、井関薫、広瀬寛子、
平泉美奈子、北岡良一、中西直人、阿部澄乃、
宮越鏡子、大谷利一、小堀正人、大野卓一、
大嶋一人、米原裕行、北村良実、井田次郎、
矢来慶治、藤田宇明、大坪宏安、棒田哲司、
北村雅彦、小柳明夫、沖倫子、内田和博、
武藤佐和子、中西博之、喜多剛久、嶋崎正晃、
黒沢正一、北久雄、吉田建志、小林哲朗、
松代博之、伊東厚子、市村基、明翫治栄、
日高幹生、濱聡子
（泉丘30）　北川秀二、味岡能文、田中般、笠井洋子、
齊藤友紀雄、美本昌文、東中史朗、山本慎一郎、
吉野正俊、藤田繁人、武田耕造、久田幸史、
上木朝史、李俊哉、長谷川宏、山口義明、
吉本直哉、八十島裕、板坂良平、小林靖典、
村元洋、中谷徹、石塚康裕、米村和弘、
本荘史子、今村徹、山田真人
（泉丘31）　賀谷梅吉、富田直也、武田重和、舘宏司、
向隆宏
（泉丘32）　池部晴彦、不室克巳、小林茂雄、端谷隆文
（泉丘34）　金本秀男、若月寿賢、石橋和子
（泉丘35）　木嶋勝
（泉丘36）　川口慶子、嶋崎幸恵
（泉丘38）　福田立、中島敦史、宮本文雄
（泉丘39）　宮崎徹、広瀬裕俊
（泉丘40）　石黒知、山口真理子、窪田裕子、岡田光司
（泉丘41）　中野真紀、朝倉圭子、中川千英子、吉峰教俊、
長谷川凡
（泉丘42）　中村寛人、水口亜紀、出和陽子、沢飯敦、
藤顕信、堀岡知美、藤戸恭子、橋爪圭一
（泉丘43）　吉里裕也
（泉丘44）　西田正嗣
（泉丘46）　坪内俊之
（泉丘47）　星良孝
（泉丘48）　越後静恵
（泉丘50）　松田亜世、渡部典子、島田明子、西野秀明、
加藤宏康、内沢将太郎、松田景子
（泉丘51）　池田大介、車将之
（泉丘52）　押田華奈、干場崇史、田中秀明、
浅田久美子、寺西貴志
（泉丘53）　水上達治、田中秀憲
（泉丘54）　森真俊、山本雄貴
（泉丘55）　西村紀彦、橋本光生、西野希美、吉道さゆり
（泉丘56）　片桐佐紀栄、太田友博、津田薫人、
高畠一弥、木村純子、丹羽洋基、北川紘子、
置田彩、中村淳一郎、神谷嘉一、多田実加
（泉丘57）　堤あおな、今井攻、小林裕介、釜田麻依子、
塩本泰世、塩本宗義、和藤菜穂子、寺村千里、
島崎晋平、山崎綾華
（泉丘58）　林由貴、宮島あかね、村井智里
（泉丘59）　大瀧拓馬、高野将吾
（泉丘60）　越智雄祐、村上紗也子、北村彩乃

一中先輩方の校歌斉唱

泉丘校歌斉唱　29期の皆さんご苦労さん

受付準備万端整いました

司会コンビ

左・西村代表幹事
中・矢来副代表幹事

関東一泉同窓会会則

名　　称

第１条　本会は一泉同窓会（本部事務局・石川県立金沢泉丘高等学校内）の関東支部とし、関東一泉同窓会と称します。

目　　的

第２条　本会は会員相互の親睦をはかるとともに母校の発展に寄与することを目的とします。

会　　員

第３条　本会は正会員と特別会員で組織します。

(1)　正 会 員
関東地区在住の石川県立金沢第一中学校、石川県立金沢泉丘高等学校卒業生及び在校した者

(2)　特別会員
関東地区在住の母校の旧職員及び縁故者

役　　員

第４条　本会は会を運営するために、下記の役員を置きます。

(1)　会　長　　１　名
(2)　副会長　　若干名
(3)　監　事　　２　名
(4)　顧　問　　若干名

各（卒業）期幹事及び年度代表幹事

第５条　本会は会を運営するために、下記の幹事を置きます。

(1)　各（卒業）期幹事　　正副各１名
(2)　年度代表幹事　　正副各１名

役員、各（卒業）期幹事及び年度代表幹事の選任

第６条　会長、副会長及び監事は会員の中より幹事会で選出され、総会で承認をうけるものとします。顧問は、会長が委嘱します。
各期幹事は、各卒業期の会員の中より選出されます。
年度代表幹事は、各期幹事の中より卒年順に会長が委嘱します。

役員、各（卒業）期幹事及び年度代表幹事の職務

第７条　会長は、本会を代表し、会務を統括します。
副会長は、会長を補佐し、会長が会務を遂行できないときはこれを代行します。
監事は、本会の会務執行状況及び会計の監査を行います。
顧問は、本会の会務全般の相談にあたります。
各期幹事は、期を代表し本会の会務及び会員との連絡等にあたります。
年度代表幹事は、年度代表幹事期の会員を中心に準備会を組織し、本会の定期総会・懇親会等を企画し実施します。

役員、各（卒業）期幹事及び年度代表幹事の任期

第８条　会長、副会長及び監事の任期は２年とし、再任をさまたげません。
各期幹事の任期は、各期の任意とします。
年度代表幹事の任期は、原則として１年とします。

幹　事　会

第９条　本会の運営に必要な事項を審議決定します。
幹事会は、年度代表幹事が会長の委嘱により、役員、各期幹事を召集して行います。

事　　業

第10条　本会は毎年１回定期総会・懇親会を開き、必要あるときは臨時総会を開きます。
総会・懇親会は会長が召集します。
総会は役員の選出その他の事項を承認します。
特別行事・企画がある場合には役員、各期幹事を中心に委員会を設置して行います。

運　営　費

第11条　本会の運営は総会会費及び寄付金等をこれにあてます。

会 計 年 度

第12条　本会の会計年度は、１月１日より同年12月31日までとします。

会則の変更

第13条　本会則は、総会で承認されなければ変更することはできません。

〔付則〕

・本会の会員は主として東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県在住者とします。この地区以外の在住者も本人の申出により本会会員となることができます。
・この会則は平成６年11月２日から施行します。

「関東一泉同窓会　五十年の歴史」1958年7月～2008年10月
平成20（2008）年10月発行（平成20年10月25日の五十周年記念総会の項は、翌年3月に追記）
関東一泉同窓会事務局　〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-10 ㈱中央都市鑑定内